

<COPY>

31.1
冊子 500
ロータリー文庫

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

OFFICE: Shin Osaka Bldg.

ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku, Osaka 530, Japan

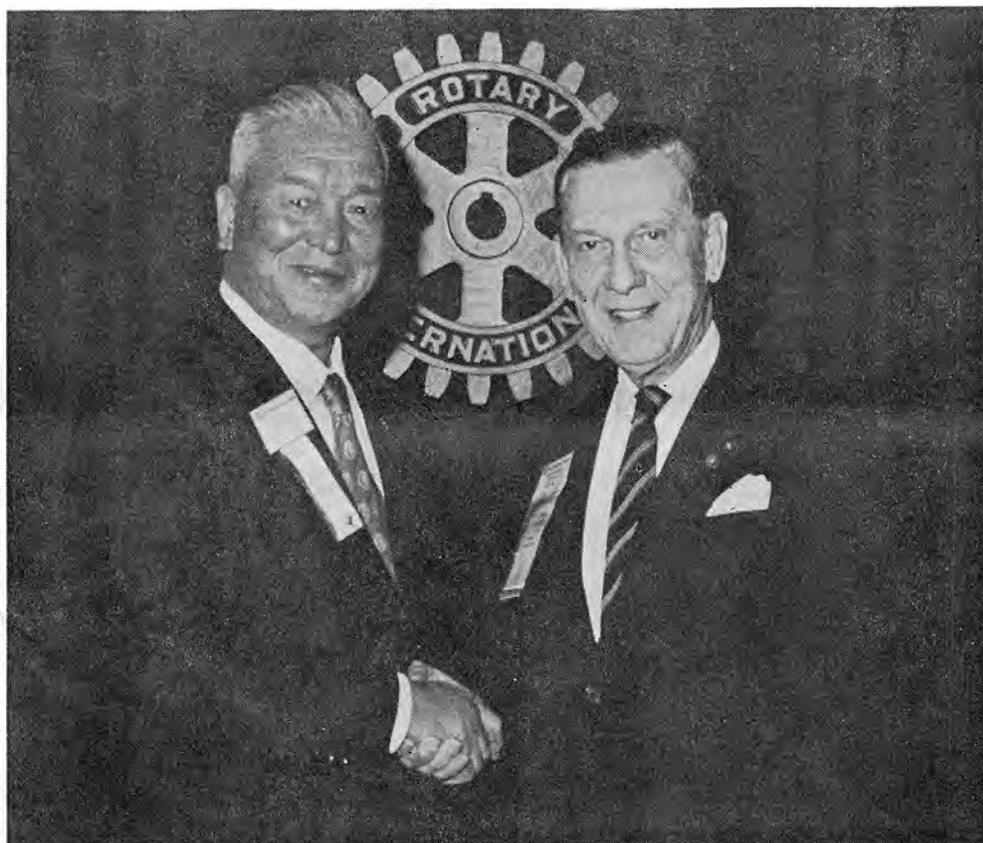
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

ガバナー 大谷 一雄

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)

電話 06-341-8710

第 1 信 昭和47年7月1日 ガバナー月信 No. 1 July 1. 1972



Roy D. Hickman R. I. 会長と大谷一雄ガバナー
(1972. 6. 5. レークプラシッド・クラブハウスに於て)



1972~73年度 国際ロータリー会長のメッセージ

LET'S TAKE A NEW LOOK!

(もう一度見直そう!)

ROY D. HICKMAN

ロイ D. ヒックマン会長

ガバナー就任のご挨拶

大 谷 一 雄

7月1日。この日と共に今後1年間、私は第366区のカバナーをつとめさせていただくことになりました。

過日レークプラシッドの国際協議会でロータリーR.I.本部の方々の素晴らしい奉仕への情熱と英知に接し、また友情と理解との雰囲気をつよみにかもし出す世界各国のカバナーを見て、私はこれからの自分の行き先と弱さを思い、何と無く恐ろしく感じました。

人として、人の、人の作る社会の仕合せを願わぬ者はありません。この願いが、どのように叶うかは、その人の力などによって違いますが、とに角、私のような乏しい者でも今後1年、国際ロータリーの役員として、これに関係し、いささかでも奉仕の誠をつくす機会に恵まれましたことは、本当に有難いことだと言わねばなりません。

今更、ロータリーの奉仕の理想やカバナーの任務について述べる必要はありません。

ロータリアンの1人1人がロータリーに入会された時から十分に、このことを知っておられる筈であります。

私は、私のカバナーとしての任務がよりよく遂行されるためには、是非共ロータリアンの皆さんの暖かいご理解と、ご協力をいただかなければならぬと思

いますし、また特にご経験の豊かな方々のご指導と、地区管理組織の役員であられる地区委員及び、幹事の方々、更には各ロータリークラブの役員の方々のご協力とご鞭撻を仰がねばならぬと存じます。この機会に心からお願い申し上げます。

5月30日、レークプラシッドの国際協議会の第1日目、会長アンスト G. ブライトホルツ (Ernst G. Breitholtz) 氏に次いで演壇に立たれた新会長ロイ D. ヒックマン (Roy D. Hickman) 氏は、新年度のターゲットとして、“LET'S TAKE A NEW LOOK!” (もう一度見直そう!) を示されました。

私は、このメッセージから、ロータリアン1人1人が4大部門について今迄の自分の、ロータリー活動を十分に反省し、新しい視点に立って見直し、ロータリーを一新させることに努めようとの意味に受取りました。

然も、このテーマについては尚く詳しい説明があり、私の受取り方では、十分に意を尽しておりませんので、今後機会ある毎に、敷衍説明若しくは是正し、皆さんと共に出来る限り新会長の方針に添いたいと思います。

茲に新年度のターゲットを掲げ未熟とは在りますが、その要旨を述べさせていただきました

のは、ご承知の通りロータリーが、この7月1日からいよいよ新しい年度に入るからであります。悪しからずご了承の程お願いいたします。

以上を以って甚だ勝手ながらガバナー就任のご挨拶とさせていただきます。

直前ガバナー尾形繁之さんへのお礼

尾形さんは、いつお会いしても一寸腰を折るような恰好でニコニコしておられる。そのためか知らず識らずに親しみを感じる。おまけに非常に親切で、何を聞いてもそれ以上のことを教えて下さる。また尾形さんが語気を改められたのを聞いたことがなく、その話し方からは、いささか朴訥の感じを受けないでもないが、実は長いロータリー生活の経験から何もかも心得られ、而かも、多くを語らず、強く主張せずしてその思うところ、願うところをいつとはなく、地区組織の中に徹底されたのである。

今、試みに1971~72年度の我が第366区のロータリー活動進展のあとを若干振り返れば、先ず新クラブとして泉南、堺泉北、東大阪中、豊中北、堺東の5クラブが誕生し、更にそれに加えてインターアクトクラブとして堺南インターアクトクラブが、ローターアクトクラブとして御坊、池田ローターアクトクラブが組織された。而して、この地区のロータリアンの総数は新クラブの誕生と相伴って227名純増の、3,672名（ガバナー月信5月15日 No. 12現在）となったのである。次に財団関係では、5月末すでに、本年度新しくポールハリスフェローになった人33名、準フェローに申し込んだ人85名で誠に驚くべき爆発的增加であった。この影響もあって地区全会員の平均寄付額は約20弗に達し、また昨年9月1日付けで、当第366区が300%ロータリー財団地区の栄誉を獲得し、全国的に見ても甚だしく好成績を示したのである。

更に、世界社会奉仕について見れば、例年に比し飛躍的進展を示し詳細は略しますが、沖

繩、韓国、香港、タイ、マレーシア、ネパール地区に11件の奉仕を行ない、これに総計10,050弗を送ったが、この外、堺クラブの如く、台湾に自ら赴いて医療奉仕をした例もある。奨学生研究グループの交換についても着々と手が打たれ、私のガバナー年度のために十分な路線がしかれている。

これを思い、かれを思えば、尾形さんがガバナーとして残された足跡は誠に偉大であって、私はこの地区のロータリアンの皆さんと共に大いに敬意を表わすると共に、殆んど全生活をロータリー活動に傾注していただいたご苦勞に対し衷心感謝しお礼を申し上げたいと存じます。本当に有難うございました。

なお、3月4、5の両日、高槻で催された地区大会はホスト高槻クラブと、コホストの吹田、茨木、枚方、寝屋川、門真、摂津、守口、ロータリークラブの協力の下に極めて盛大に、且つ、有意義に行なわれ、今以って楽しく暖かい思い出となっております。

最後に尾形さんと力を併せ研鑽を重ね苦勞を分かたれた地区委員並びに、地区幹事の方々に対し心から敬意を表し感謝申し上げます。

思えば、第365区が分割されて、生まれた当第366区は、初代ガバナーに名ガバナーとして井関久楠さんを頂き、次いでそれを基礎として飛躍され、また、名ガバナーの尾形さんを頂いたことは我々にとって、本当に有難いことだったといわねばなりません。

今後共宜しくご指導いただきますようお礼と共に併せてお願い致します。

ガバナー公式訪問及び I. C. G. F. 予定日程

7. 19 (水) 守口	8 (金) 河内長野	26 (木) 橋本
20 (木) 箕面	11 (月) 大阪西	27 (金) 東大阪中
21 (金) 寝屋川	13 (水) 大阪北	11. 1 (水) 東大阪
22 (土) 大阪天満橋	14 (木) 高槻	2 (木) 泉佐野
25 (火) 高石	19 (火) 松原	4 (土) 和歌山東南
27 (木) 富田林	21 (木) 門真	7 (火) 大阪西北
29 (土) 大阪心斎橋	22 (金) 泉南	9 (木) 堺
8. 2 (水) 和泉	25 (月) 大阪東淀	10 (金) 堺泉北
3 (木) 吹田	26 (火) 豊中	13 (月) 堺南
9 (水) 岸和田	27 (水) 海南	15 (水) 新宮
10 (木) 豊中南	28 (木) 東大阪東	16 (木) 田辺
11 (金) 泉大津	10. 3 (火) 和歌山	17 (金) 那智勝浦
22 (火) 枚方	4 (水) 茨木	20 (月) 大阪柏原
23 (水) 大阪西南	6 (金) 豊中北	21 (火) 堺東
25 (金) 和歌山南	11 (水) 粉河	24 (金) 摂津
29 (火) 大東	12 (木) 堺東南	25 (土) 池田
31 (木) 大阪東	13 (金) 大阪淀川	28 (火) 貝塚
9. 1 (金) 大阪城南	19 (木) 有田	12. 1 (金) 大阪
5 (火) 大阪南	10. 20 (金) 御坊	8 (金) 大阪住吉
6 (水) 八尾	21 (土) 白浜	
7 (木) 和歌山東	24 (火) 大阪阪南	

第1組	8. 5(土)	ゼネラル・リーダー 塚本義隆バストガバナー 白浜(ホスト)、新宮、那智勝浦、田辺、御坊 計5クラブ
第2組	8. 19(土)	ゼネラル・リーダー 森寿五郎バストガバナー 和歌山東(ホスト)、海南、和歌山、和歌山南、粉河、橋本、和歌山東南、有田 計8クラブ
第3組	9. 2(土)	ゼネラル・リーダー 未定 泉大津(ホスト)、岸和田、貝塚、泉佐野、和泉、高石、泉南 計7クラブ
第4組	9. 16(土)	ゼネラル・リーダー 未定 堺南(ホスト)大阪南、堺、堺東南、大阪住吉、大阪西南、大阪阪南、堺、泉北、堺東 計9クラブ
第5組	10. 14(土)	ゼネラル・リーダー 未定 東大阪(ホスト)、大阪東、大東、東大阪東、枚方、門真、守口、寝屋川、東大阪中 計9クラブ
第6組	10. 7(土)	ゼネラル・リーダー 未定 大阪北(ホスト)豊中、茨木、池田、箕面、豊中南、吹田、高槻、摂津、豊中北 計10クラブ
第7組	10. 28(土)	ゼネラル・リーダー 未定 河内長野(ホスト)大阪、八尾、大阪柏原、富田林、松原、大阪心斎橋 計7クラブ
第8組	11. 11(土)	ゼネラル・リーダー 未定 大阪淀川(ホスト)大阪西、大阪西北、大阪城南、大阪天満橋、大阪東淀 計6クラブ

国際ロータリー第366区ロータリークラブ一覧表

ガバナー(1972~73年) 大谷 一雄

事務所: 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1 〒530
新大阪ビル1階

電話: 06-341-8710

	クラブ名	例会日	例 会 場	電 話	☎	事 務 所	電 話	会 長	幹 事
A	有 田 木		丸万食堂 箕島駅前	07378-2-3164	649-03	有田川木材協同組合内 箕島30	07378-2-3128	酒井直之	川端敏夫
D	大 東 火		三洋電機健康保険会館内 守口市京阪本通2-22	06-991-1181	577	門野方 東大阪市長栄寺1-27	06-781-3382	富尾清治	佐藤信夫
G	御 坊 金		紀州信用金庫本店4階 御坊148	07382-2-5431	644	左に同じ	07382-2-5431	野尻敏樹	野村俊一
H	橋 本 木		幸福相互銀行橋本支店2階 古佐田2-2-6	07363-2-1110	648	橋本商工会議所内 古佐田2丁目2-3	07363-2-0004	松山正信	西畑久也
	東 大 阪 水		レストラン都 上本町近鉄百貨店内 天王寺区上本町6-1	06-779-1313	543	上本町近鉄百貨店南別館3階 天王寺区上本町6-1	06-772-6337	森田一夫	石橋 晴
	東 大 阪 東 木		石切青龍 上石切町1丁目11-12	0729-81-5001	579	福徳相互銀行枚岡支店内 本町6-13	0729-82-1221	山口真誠	阪口富三
	東 大 阪 中 金		東大阪経営者協会内 下小阪120-7	06-789-0032	577	左に同じ		中谷政男	山野一郎
	枚 方 火		枚方寝屋川商工会議所内 大垣内町2丁目12-27	0720-43-5151	573	左に同じ	0720-43-5304	松尾潤一	高木一郎
I	茨 木 水		茨木商工会議所4階 上中条1丁目9-20	0726-23-2164	567	茨木商工会議所内		天野利武	山根信七
	池 田 土		池田銀行本店 城南町2丁目1-11	0727-51-3521	563	左に同じ		森 幹利	大嶋利夫
	和 泉 水		住友銀行和泉支店 府中町1丁目7-1	0725-41-1580	594	泉州銀行和泉府中支店内 府中町1丁目7-7	0725-41-5204	辻林俊助	山本和男
	泉 大 津 金		大和銀行泉大津支店 田中町5-21	0725-33-4021	595	商工会館内 田中町10番7号	0725-32-3501	横山勝太郎	辻佐 要
	泉 佐 野 木		泉州銀行泉佐野支店3階 栄町	0724-62-8184	598	左に同じ		横河福次郎	北庄司芳文
K	門 真 木		松下電工㈱本社会議室 門真1048	06-908-1131	571	松下電工㈱内 門真1048		丹羽正治	藤井昭三郎
	海 南 水		海南商工会議所4階	07348-2-4363	642	海南商工会議所内 日方1294-18		寺本栄二	藤木成徳
	貝 塚 火		市立産業会館3階大会議室 畠中63	0724-22-3668	597	左に同じ		塔筋博文	南川 学
	河内長野 金		河内長野商工会館 野野町401	07215-3-5743	586	左に同じ	07215-2-2415	大西文次	三谷圭三
	岸 和 田 水		泉州銀行本店3階大会議室 宮本町	0724-23-2131	596	左に同じ		黒田静雄	矢倉定於
	松 河 水		幸福相互銀行粉河支店内 那賀郡粉河町大字粉河1760	073673-3351	649-65	左に同じ		平井嘉市	中田倍寛
M	原 火		松原市商工会館内3階 阿保1丁目2番30号	0723-31-1009	580	左に同じ		西本正一	西本米三
	箕 面 木		箕面観光ホテル 箕面1572	0727-21-7871	562	左に同じ		大井 治	麻島禎照
	守 口 水		三洋電機健康保険会館内 京阪本通り2-22	06-991-1181	570	左に同じ	06-993-0010	西宮重和	村野泰夫
N	那智勝浦 金		那智勝浦町観光会館 那智勝浦町勝浦北浜	07355-2-0265	649-53	那智勝浦町勝浦490	07355-2-0225	山本師郎	内田正年
	寝 屋 川 金		大和銀行寝屋川支店 桜木町1番3号	0720-21-0281	573	枚方寝屋川商工会議所内 枚方市大垣内町2-12-27	0720-43-5151	近末 貢	木下桂佑
O	大 阪 金		新大阪ホテル会館4階 北区中之島3-5	06-441-1431	530	新大阪ホテル内		井狩弥治郎	若井万古登
	大 阪 東 木		大阪コクサイホテル 東区内本町橋詰町58	06-941-2661	540	左に同じ		行田一典	河上英夫
	大 阪 阪 南 火		大阪都ホテル4階 天王寺区堀越町110	06-779-1501	543	大阪都ホテル内	06-772-5816	照井堯造	岡本全男
	大 阪 東 淀 月		東洋ホテル2階宴会場	06-372-8181	531	東洋ホテル内 大淀区豊崎西通1-21		三宅幸雄	前川宏光

	大阪城南	金	レストラン都 上本町近鉄百貨店12階	06-779-1313	543	上本町近鉄百貨店内 天王寺区上本町6-1	06-779-1231	上野元男	田中隆英
	大阪柏原	月	レストランニュー柏原 安堂町1番42号	0729-72-3333	582	光洋精工(株)国分駅前連絡所内 国分本町1-5-1	0729-78-6173	戸島晶海	水上賢三
	大阪北	水	阪急百貨店東側特別食堂	06-361-1381	530	阪急百貨店8階 北区角田町41	06-361-2681	野田孝	菅生浩三
	大阪西北	火	大阪ファミリー会館 福島区堂島浜通4丁目6	06-458-5601	553	左に同じ		藤井森男	立石行男
	大阪心斎橋	土	大丸百貨店8階 南区心斎橋筋1-118	06-271-1231	542	(株)大丸本部分室 南区西清水町16	06-271-9251	斉藤義雄	萬 満
	大阪南	火	高島屋5階ホワイトローズ	06-631-1101	542	高島屋本社内 南区難波新地6番町14		平沢俊雄	細川益男
	大阪西南	水	大阪ロイヤルホテル 北区玉江町2-1	06-448-1121	530	大阪ロイヤルホテル内338号室	06-443-2819	片桐正人	今橋 茂
	大阪住吉	金	阿倍野近鉄百貨店6階集会室	06-621-1231	545	阿倍野近鉄百貨店内 阿倍野区阿倍野筋1-1		木下裕康	山中一郎
	大阪天満橋	土	松坂屋8階社交室 東区京橋2-35	06-943-1111	540	松坂屋店内		藤野重郎	末澤俊夫
	大阪西	月	阪神百貨店7階グリーンルーム 北区梅田1	06-345-1201	530	左に同じ		椋本 修	石田征男
	大阪淀川	金	阪神百貨店7階グリーンルーム 北区梅田1	06-345-1201	530	左に同じ		中山純一	杉田幸視
S	堺	木	堺商工会議所5階大会場 戎之町西1-1-23	0722-38-5581	590	堺商工会議所内	0722-38-3250	飯沼 剛	磯野 節
	堺東	火	三和銀行中モズ支店2階 中百舌島町3丁428-3	0722-59-3661	591	日本ビロブロック製造(株)内 中百舌島町3丁331		小林 保	橋爪新一郎
	堺泉北	金	泉北開発センタービル4階第1集会室 茶山台1丁2番		590-01	左に同じ	0722-91-5501	貝 榊 忠 男	橋 泰 治
	堺南	月	堺商工会議所5階大会場 戎之町西1-1-23	0722-38-5581	590	堺商工会議所内	0722-21-9098	佐々木正男	釜下保男
	堺東南	木	三和銀行大美野支店3階 北野田	0722-36-3001	588	大美野会館内 大美野21-3	0722-36-4106	鶴 繁 松	中島千晴
	泉南	金	住友銀行泉南支店 樽井1671	07248-6601	599-01	泉南市商工会内 樽井1621	07248-6365	堀 庸	山田美貞
	摂津	金	摂津信用金庫正雀支店 正雀本町1丁目33-12	06-381-4481	564	左に同じ		平澤嘉邦	早田吉三郎
	新宮	水	新宮商工会議所2階 中央通り6696-79	0735-2-5144	647	新宮商工会議所内		尾崎一朗	佐藤啓三
	白浜	土	雁風荘 西牟婁郡白浜町	07394-2-3423	649-22	左に同じ		広浜 禎 三	園田莞爾郎
T	吹田	木	摂津信用金庫片山支店 片山町3丁目16-19	06-388-3441	564	左に同じ		坂東 宏	田村幸一
	高石	火	新東洋 羽衣2丁目5-30	0722-61-8181	592	新東洋内		原口佐一	嶋田祐史
	高槻	木	高槻商工会議所 大手町3-46	0726-74-5615	569	左に同じ		川崎友正	伊藤晋三郎
	田辺	木	紀陽銀行田辺支店内 栄町	0739-22-6000	646	左に同じ		糸川清一郎	稲垣淳之助
	富田	木	PLカントリークラブ・クラブハウス 新堂2345	07212-4-1111	584	左に同じ		荒谷純有	吉村能一
	豊中	火	ホテル・アイボリー 本町3-1-16	068-49-1111	560	左に同じ		林 董	福島進二郎
	豊中北	金	大阪エアポートホテル3階 麻田555	068-55-4621	560	関西国際空港ビルディング(株)内 蛍池西町3-555	068-56-6589	大原正蔵	福田茂治
	豊中南	木	ホテル・アイボリー 本町3-1-16	068-49-1111	560	左に同じ		澤 潤 一	貴田 勇
W	和歌山	火	県経済センター6階 西汀町1	0734-33-1500	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	雑賀豊太郎	小島良親
	和歌山東	木	県経済センター6階 西汀町1	0734-33-1500	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	中野政信	御前昌一
	和歌山南	金	県経済センター6階 西汀町1	0734-33-1500	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	得津太郎	信川広海
	和歌山東南	土	農協会館 美園町	0734-23-7271	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	柏井良夫	萩原重太郎
Y	八尾	水	八尾商工会議所会館内 本町2丁目2-8	0729-22-1181	581	左に同じ	0729-91-2129	山口秀高	増田 册

年間カレンダー（クラブ年中行事ならびに幹事報告送金等主要事務）

1972年7月～1973年6月

国際ロータリー第366区ガバナー 大谷 一雄

ガバナー事務所：大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1

新大阪ビル1階 〒530

電話：06-341-8710

月日	事項	報告先	送金先	備考
1972年 7月1日 (前期)	1. 半期報告 (Semi Annual Report)	・ R. I. 中央事務局 ・ (写) ガバナー		手続要覧P70 参照
	2. 人頭分担金 (per Capita Dues) 1人当り (半年分) (中途入会者はその半期間追加送金は不要) ¥ 1,212 (\$ 4.00)	・ R. I. 中央事務局 ・ (写) 東京都千代田区有楽町1-12三井銀行本店内 〒100 国際ロータリー在日財務代行者 (フィスカル・エイジェント)	・ 三井銀行本店内 (又は三菱銀行本店内) 国際ロータリー在日財務代行者 (フィスカル・エイジェント)	国際ロータリー細則第15条 第3節参照
	3. 「ロータリアン」 (The Rotarian) 購読数報告 1人当り (半年分) ¥ 455 (\$ 1.50)	国際ロータリー在日財務代行者 (フィスカル・エイジェント)	国際ロータリー在日財務代行者 (フィスカル・エイジェント)	国際ロータリー細則第19条 第2節(ロ)参照
	4. ロータリー財団への寄付 1ドル寄付 (1年分) ¥ 303 (これは7月1日のみ、但し随時・特別寄付可) 新入会員の10ドルの寄付は入会の際 ¥ 3,030	佐藤喜一郎氏 ・ (写) ガバナー	佐藤喜一郎口座	手続要覧P 202財団への 寄付(6)参照
	5. ロータリー米山記念奨学会への寄付 (会員1人につき各クラブ決定金額の半額づつを前後期初に送金すること)	・ 東京都千代田区有楽町1-4 月山ビル 〒100 財団法人ロータリー米山記念 奨学会	・ 三井銀行東京支店又は京橋支 店 財団法人ロータリー米山 記念奨学会口座 ・ 振替貯金 東京 41817	
1973年 1月1日 (後期)	6. 「ロータリーの友」 1人当り (半年分) ¥ 660 (雑誌を受取った月より起算、月割1部¥110の計算にて払込まれること)	・ 東京都千代田区丸の内3-4 月石ビル7階 〒100 「ロータリーの友」編集事務所	・ 三井銀行丸ノ内支店 「ロータリーの友」編集事務所 所口座	
	7. 地区資金 (District Funds) (ガバナー事務所分担金を含む) 会員 (名誉会員を除く) 1人当り (半年分) (¥1,300(地区資金¥800、ガ バナー事務所分担金 ¥500) ただし中途入会者、および新クラブ設立の 場合、その半年間は追加送金不要。			
	8. ガバナー月信 1人当り (半年分) ¥ 180 (中途入会者は1部¥30の割で送金のこと)	・ 大阪市北区堂島浜通1丁目25 番地の1 新大阪ビル1階 〒530	・ 大阪市北区堂島浜通1丁目25 番地の1 大阪銀行堂島支店 〒530	
	9. 地区大会分担金 (これは1月1日のみ) 金額は後日決定次第通知する。	国際ロータリー第366区 ガバナー事務所	国際ロータリー第366区 地区ガバナー事務所会計小田 原鐵也口座 (普通預金 No. 243747)	

国際ロータリー主要役員

地区大会 (1972-73) 委員長
平塚正俊
大阪西

第366区 バスターガバナー
尾井塚原森 形関本田 壽 繁久義秀五郎 之楠隆雄
和歌山 大阪 大阪北 大阪南 堺

第366区 ガバナー ノミニー
田宮佐
高槻

地区会計	地区幹事									
小田原鐵也	水垣憲一郎	小島清司	四宮誠祐	小川広己	鴻野真太郎	桃谷嘉四郎	松本清	中西正二	納谷良一	●益田乾次郎
大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西	大阪西

R.I. 第366区ガバナー
大谷一雄
大阪西

ロータリー財団部
井関久楠 総括担当
和歌山

拡大部門
田宮佐 藤本秀二 古市実 中川藤吉 ●塚本義隆
高槻 大阪南 大阪北 堺 大阪

国際奉仕部門
森寿五郎 総括担当
大阪南

財団学友会 委員会	財団推進 委員会	研究グループ 交換委員会	財団奨学生委員会
●若月春雄 ●奈良春雄 吉川信藏	●阪田靖人 ●井川定慶 平井常次郎	●山内敏男 ●田宮佐 ●山内一夫 ●永井一城 ●山崎一夫 ●西川武四郎	●宮本善史 ●吹野文治 ●松野文治 ●池田文治 ●宮本善史
和歌山南 大阪	大阪南 大阪北	高槻 大阪南 大阪北 和歌山 和歌山	大東 池田 大阪 和歌山 大阪西

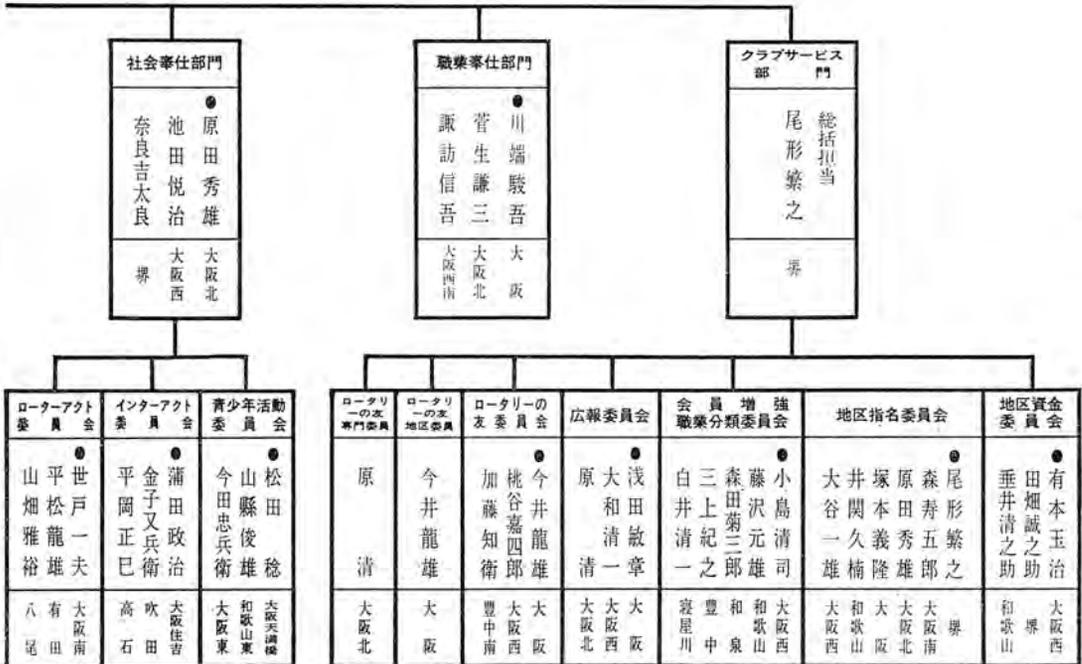
ローザンヌ 大会行会 委員会	米山学 会委員	記念会 委員会	青少年文 換会委員	世界社会奉 仕委員会
●堀口銀一郎 ●横田一夫 ●西森正昭	●柳原和夫 ●百々貞雄	●福地真道 ●入江和夫 ●斎藤一路 ●岡崎恒雄	●田宮佐 ●住吉榮一 ●王置勝也 ●原田誠一	●田宮佐 ●住吉榮一 ●王置勝也 ●原田誠一
和歌山東 大阪東 大阪北 高槻	和歌山 大阪東 大阪北	富田林 高槻 橋本 大阪西	高槻 大阪南 大阪南	高槻 大阪南 大阪南

●印は長

および第366区地区委員組織図

日本各地区のガバナー (1972-73)												事務総長 Harry A. Stewart (Chicago, U.S.A.)	R-1会長 Roy D. Hickman (Birmingham, U.S.A.)							
二七三	二七〇	二六九	二六八	二六七	二六六	二六五	二六一	二六〇	三五九	三五八	三五七			三五六	三五五	三五三	三五二	三五〇	地区	
東	立	石	古	入	大	田	若	安	石	鈴	半	白	岩	飯	村	塩	松	ガ バ ナ ー		
花	田	河	交	谷	中	松	野	川	木	田	勢	瀬	島	井	谷	井	幸			
博	和	辰	滋	衛	雄	豊	徳	次	吉	雄	一	一	一	俊	吉	猛	雄			
仁	雄	巳	柳	岡	甲	高	大	京	伊	一	川	東	浦	新	土	八	札	茅	ク	所
本	東	川	山	西	宮	知	阪	都	勢	宮	崎	京	和	潟	浦	戸	西	室	ラ	属

地区諮問委員				
森	原	塚	井	尾
寿	田	本	関	形
五	秀	義	久	繁
郎	雄	隆	楠	之
大	大	大	和	堺
阪	阪	阪	歌	山
南	北	南	山	



8月5日～ 11月11日	近接都市クラブ連合討論会 (Intercity General Forum) 時期および場所は尾形ガバナー月信5月15日第12号参照
9月10日～ 16日	世界理解週間 (World Understanding Week) 手続要覧P. 105参照
10月15日～ 21日	青少年活動週間 (Youth Activities Week) 手続要覧P. 185参照
11月12日～ 18日	ロータリー財団週間 (Rotary Foundation Week) 手続要覧P. 204参照
1月21日～ 27日	ロータリー雑誌週間 (Rotary Magazine Week) 手続要覧P. 153参照
2月18日～ 24日	地区職業奉仕週間 (Vocational Service Week, D. 366)
2月23日	ロータリー創立記念日 (Anniversary of Rotary) 手続要覧P. 33参照
3月3日～ 4日	1972年～73年度年次地区大会 (Annual District Conference) 大阪国際フェスティバルホール (大阪市) ホスト大阪西 R. C.
3月中	次年度会長・幹事・決定報告 (公式名簿記載資料提出) R. I. 中央事務局 (写) ガバナー事務所
4月	国際大会出席代表信任状 (Credential of Convention) ガバナー事務所
5月13日～ 17日	1972年～73年度国際大会 (International Convention) スイス、ローザンヌ市にて
適 当 な 時 期	1973年～74年度地区協議会 (District Assembly)
	クラブ討論会 (Forum on Club Level) (4大奉仕部門別に年4回開催)
	クラブ協議会 (Club Assembly) (年5回以上開催)
毎 月	出席率報告 (翌月8日までに必着するよう注意!!) ガバナー事務所
その 都 度	新入会者、退会者、その他変更 R. I. 中央事務局 (英文) ガバナー事務所 (和文)

●R. I. 中央事務局

Rotary International 1600 Ridge Avenue, Evanston, Illinois, 60201, U. S. A.

●文 献 注 文 先

{ 邦文 (東京都千代田区丸の内3丁目4 日石ビル4階 国際ロータリー文献事務所) 電話 東京 (212) 4981
{ 英文 (R. I. 中央事務局)

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大谷 一雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1 25 1, Dojima Hamadori, Kita Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

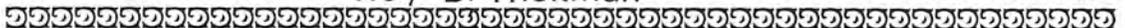
事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-3418 710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 2 信 昭和47年 7 月15日 ガバナー 月信 No. 2 July 15, 1972



国際ロータリー 第366区 1972~73 地区協議会 (47.6.24~25) 於新大阪ホテル



「レークプラシッド」での雑感

ガバナー 大 谷 一 雄

6月上旬レークプラシッドは丁度日本の4月の季候で新緑に燃え、ところどころにライラックの花が咲いていた。日本のあるガバナーノミニの夫人はわらびを摘んで我々にご馳走して下さい。昨年尾形ガバナーがレークプラシッドに行かれたのはこの時より1ヶ月早く、残雪も多く荒涼たる景色だと聞いていたが、たった1ヶ月の違いで、用意していった冬の下着も荷物になるだけであった。

レークプラシッドはニューヨークの北方をバスで約7時間の距離にあって、カナダ領に近い高地である。17年前にウインタースポーツとして、スキーのオリンピック大会が開かれたとのことである。そして、レークプラシッド・クラブハウスはレークミラーという湖に面している。冬は、スキーに、夏は避暑地として使われている。従って5月はシーズンオフであるため車の往復はほとんどなく、我々のみの生活であった。

ガバナーノミニの研修会はこのレークプラシッド・クラブの Agora (ギリシャ語で広場という意味) という講堂で、到着の翌日午前8時50分から開かれた。そして午後4時まで毎日昼食2時間を除いて連日研修が続いた。ある外人は朝寝をして呼び起こされ、会場に遅参したため注意された。えらい厳しいなあと思ったが最終日にクラブの支払いをしようとした時、ガバナーノミニの一切のホテルの費用を R. I. が負担して、我々が支払う必要が全然ないことを知り、なるほど厳しかったのもっともだと思った。しかし、おかげでこの8日間の講習でおぼろげながら、ロータリーというものが身につくのかガバナーとしてやっていけるのではないかという自信を持っにいたったのはうれしいことである。

6月24日及び25日の新大阪ホテルでの地区協議会でも述べたごとく、本会議 (plenary session) では日本語の同時通訳があり、またグ

ループセッションは日本人、韓国人、台湾人であったので公式の会議では特に不便はなかったが、食堂サロンでの会話にはほとんど閉口し、冷汗のものであった。この研修会で感じたことはいかに巧みに友好のふんい気がかもしだされるかということである。特にゼンキンス氏のロータリーソングの指導は堂に入ったものであった。彼の指導により前後の人と握手したり、肩をたたきあったりした。日本のロータリーの例会ではまったく見られぬふんい気である。日本のロータリーでも朗らかな歌を歌い、それがすめば同じテーブルの人たちが握手を交わしたりして、知合いを広め親睦を深めることが必要ではないかと思った。私は新年度早々いくつかのクラブのソングリーダーに集まってもらい、朗らかなロータリーソングの選定と、このような情勢を招来できるか研究したいと思っている。

今年のターゲットは LET'S TAKE A NEW LOOK! であって “もう一度見直そう!” と訳された。NEW LOOK という言葉は非常に訳しにくい言葉だから、こういう訳になったと思うが、新年度 R. I. 会長 Roy D. Hickman 氏のスピーチから受けた感じは、まず4つの部門について、はたして今まで自分は何をしただろうかと強く自己批判し、そして新しい何ものかを創造していこうというものであって、この翻訳より少し語調が強いように思う。彼が我々を招待して握手してくれた席場でも “NEW LOOK でいきましょう” というし、R. I. オフィサーも雑談や冗談の中でも “NEW LOOK で” といっていた。

我々も自己反省にたって、新しいアイデアのもとに今年のロータリーの活動を展開しなければならぬと思った。そこでロータリアンの各位も必ずしも旧来のやり方にとらわれることなく大いに新しいアイデアを生みだして楽しくかつ勇敢にロータリー活動をしていただきたいと思えます。

成功裡に終了した第366区地区協議会

新年度を数日後にひかえた6月24日(土)25日(日)の両日、新大阪ホテルに於いて第366区地区協議会は盛大に挙行されました。参加クラブ61RC、出席数義務者の出席率は94.36%で成功裡に終了いたしました。

第一日目は次期会長グループと幹事グループの2組で行なわれました。第二日目は、会員増強委員長を加え、昨年度より1組多い9組が、プログラムに従って、議事が進められ、その間熱心に協議し、質疑応答が続けられ非常に活気に満ちた協議会でした。

詳細についてはホストクラブに於て作成中で近く各クラブに送られますが、ここにその要点を記して、新年度クラブ運営のご参考に供したいと思います。

プログラム

第一日

昭和47.6.24(土)

於 新大阪ホテル

10:00~10:25 登 録<5階受付>

10:15~10:25 歌の練習<5階会場>

10:30~10:50 本 会 議<5階会場>

○国歌斉唱・ロータリーソング……………一同

○開会のことば ホストクラブ会長 納谷良一

○開会の挨拶……………ガバナー 尾形繁之

○紹介(次期ガバナー) “ ”

○挨拶……………次期ガバナー 大谷一雄

○「本会議の目的について」

ガバナー 尾形繁之

10:50~12:30 パネル討論

司会 ガバナー尾形繁之<5階会場>

・「クラブ運営について」パネラー塚本 義隆

“ 田宮 佐

“ 八木富士太郎

12:30~14:00 休憩・昼食

14:00~15:00 本会議

司会ガバナー尾形繁之

「クラブ定款ならびに細則の説明と討議」

15:00~15:15 休憩

15:15~16:10 分科会(会長及び幹事グループに分れる)<3階会場>

第1グループ クラブ会長

(説明リーダー) (討議リーダー)

大谷一雄(大阪西)尾形繁之(堺)

第2グループ クラブ幹事

塚本義隆(大阪)江藤基雄(大阪)

16:15~17:30 本会議

司会ガバナー尾形繁之

「地区関係の事項」<5階会場>

18:00~19:30 夕食

19:30 散会

プログラム

第二日

昭和47.6.25日(日)

於 新大阪ホテル

9:00~9:55 登 録<5階受付>

9:45~9:55 歌の練習<5階会場>

10:00~10:30 本会議

司会ガバナー尾形繁之

○国歌斉唱・ロータリーソング……………一同

○開会のことば ホストクラブ会長 納谷良一

○開会の挨拶……………ガバナー尾形繁之

○紹介(次期ガバナー) “ ”

○挨拶……………次期ガバナー 大谷一雄

○新年度の方針…………… “ ”

10:30~10:45 休憩

10:45~11:45 分科会(9会場に分れる)

第1グループ(クラブ会長)

(説明リーダー) (討論リーダー)

大谷一雄(大阪西)尾形繁之(堺)

第2グループ(クラブ幹事)

塚本義隆(大阪)江藤基雄(大阪)

第3グループ(クラブ奉仕担当理事)

杉本義雄(大阪東)松山英夫(大阪東)

第4グループ(職業奉仕担当理事)

川端駿吾(大阪)岡田敬太郎(大阪)

第5グループ(社会奉仕担当理事)

原田秀雄(大阪北)菅生謙三(大阪北)

第6グループ(国際奉仕担当理事)

森寿五郎(大阪南)平林忠雄(大阪南)

第7グループ(ロータリー財団委員長)

井関久楠(和歌山)小中義美(和歌山)

第8グループ(会報編集者)

岸野謙三(御坊) 瀬戸新一(御坊)

第9グループ(会員増強委員長)

小島清司(大阪西) 古谷庄太郎(大阪西)

- 11:45~14:00 休憩・昼食<5階階上>
14:00~15:00 分科会(再び9会場に分れる)
15:00~15:15 休憩
15:15~16:00 本会議<5階会場>

○新たに決定した諸規定の決議

塚本バスターガバナー

○報告事項……………ガバナー 尾形繁之

○閉会の挨拶……………次期ガバナー 大谷一雄

○閉会のことば……………ホストクラブ委員長

益田乾次郎

○ロータリーソング……………一同

16:00 散会

◎ 大谷一雄ガバナー挨拶

ガバナー・エレクトというものに最近なりました大谷です。5月29日から6月6日まで9日間、レークプラシッドで大いにしぼられてきました。ちょっとでも時間に遅れたらやかましい部屋に残っていたら呼び出しがあるし、会場監督は実にやかましいのです。

なるほどと思ったのは、奥さんは別ですが、費用はみな向うでもってくれる。なるほど費用は全部もってくれるんだから、これだけきびしくされてもやむを得ないと感じました。そんなことを知らず、レークプラシッドで勘定しようと思って知ったんで、きびしすぎると思ったんですが、「飼われたガバナーノミニー」で、それだけに勉強もさせられたのであります。

きょうここに掲げたターゲットについては、明日お話しますが、このニュールックという言葉が向うでは大はやりでした。皆さんも常識で考えて、この言葉を心に置いて、これからの会議を進行していただきたいと思います。

レークプラシッドがすんで、ヒューストンに参りました。ヒューストンではアストロドームという屋根つきの球場で、11日規定審議会の後夜8時から、世界140か国、2万人を集めて国際大会が開かれたわけです。とにかく実に広いところで、これだけ入っても半分そこそことい

う感じでした。

むずかしい話は大会当日はなく、演説らしい演説もなかった。ブライトホルツさんが、ヒューストンはいいところだとおっしゃったぐらいで、あとは海軍音楽隊、地方の高等学校の音楽隊、いろいろな音楽がありました。一番見物だったのは各国140か国以上の旗が、全部馬に乗って会場に駆け込んで来て、一せいにずらりと会場の周囲に並んだ光景で、日本ではちょっと考えられないし、想像もできない、さすがテキサスだなあというわけです。すばらしいものであります。

アストロドームはそのように広いので、開会式があって、ちょっとした青年の会があっただけで、あとは町の中心のサム・ヒューストン・コロシウムという、日本の武道館ぐらいの広きのあるところへ移りました。小さい会合はライスホテルでもありましたし、いろいろありました。

私がエレクトになったのは、15日の午前10時20分で、それにはノミニーの名簿が出ており、多くの人は気づかなかったかもしりませんが、ちゃんと被選挙人名簿というのがありまして、ノミニーを承認する。国際ロータリーのオフィサーは選挙と紹介があるが、われわれは地区で選出されているから、選挙でなくて承認で、あつという間に承認されノミニーからエレクトに変わったんです。

きょうはエレクトになったご挨拶を申し上げるわけですが、今度も行ってみると、次期のヒックマン氏がいろいろやるのかと思うとそうではない、ブライトホルツさんがみんなやられました。そしてこのLet's take a new look!ターゲットが出たのが15日のわれわれのハュミニションがすんだあとで、ヒックマン氏が話をし、次に閉会というときに、Goel-will begins with you の下にこれが下がった。私はそれで大へん嬉しく思ったのは、きょうあすの司会は全部ガバナーがやっていただける、私はちょっと顔を出せばいいと、やれやれと安心した次第です。何しろ帰ってまだ2日、時差の関係でまだ少々眠いので、お手やわらかにお願いいたします。

◎ 第1グループ 会長 1日目

われわれの大部分は、グループの原動力について、即ち何がグループを動かしているかという専門的な知識はもっていない。しかしわれわれはみなロータリー以外の場所、たとえば家庭とか、職場の中で仲間と一緒に働いているときに、そういう人々を観察する機会をもちます。自分が果たすべき役目について、ものごとを考える機会があるわけです。会長としてときどきその仕事から離れて、そしてクラブの実態と機能について反省と評価をしていただきたい。

◎ 第1グループ 会長 2日目

今年の R.I. 会長の新方針は、自己反省をしてくれということが第一である。必ずしも従来の慣行にとらわれず、New Look の仕事をして欲しいということである。会員はこの一年間に何をやろうかと考え、目標を定めて下さい。漫然と目標をもたずに会長が座っているのなら幹事まかせになるから、方針と推進の方向を定めて下さい。Club は決して平等ではない。

4つの目標は同じですが、進み方は Club それぞれ独自の見解を持っているから、自主的な仕事をしてもらいますと。ある Club は「ロータアクト」又「インタアクト」に興味を持つクラブになるかもしれないし、また親睦に国際奉仕に興味をもつ Club になるでありますが、各々独自の方針を立てて下さい。とに角 New Look でいって下さい。

吾々は4つの方針、奉仕をせねばならないというのを承知して入会されたと思います。従って自己反省をして、会長が考えて、理事委員長と流れて、すべてのロータリアンがやれるようにして下さい。

◎ 第2グループ 幹事 1日目

A 幹事の心構え

会長は (President) 大統領であり (全ての統括者) クラブの顔である。同時にロボットにしてはならない。

幹事は (Secretary) 長官、クラブの中心人物である (扇の要) いかなる場合に於ても、会長を引き立てるクラブの補佐役であり、会長、各委員会、理事会及び全会員のパイプ役である事。

B 幹事の任務

1. 会員の記録を整理保管する。
2. 会合に於ける出席を記録する (全ての会合)
3. 理事会他諸会合の通知をだす。
4. 全ての会合の議事録をつくる。
5. 1月1日及び7月1日付にて、R.I. 事務総長宛、半期毎の全員の報告及び移動をその都度出す。
6. 毎月の最終例会後、地区ガバナーに対してクラブ例会出席の報告を翌月10日までに提出する (報告紙はガバナーより配布)
7. その他、通常その職に付随する任務を処理する。
 - イ. 全ての会合の準備をする。
 - ロ. ガバナー公式訪問に備えて準備する。
 - ハ. あらゆる事務を24時間以内に処理する
 - ニ. クラブの財政を常に考慮する。
 - ホ. 文章文件には必ず幹事が目を通すこと
R.I. よりの書類は公式の名簿により、自宅宛または会社宛に発送されるため嚴重に注意、自分で処理する。

◎ 第2グループ 幹事 2日目

幹事は常にクラブ内の事情に精通であること

- イ. クラブ定款及び細則は必ず携帯する。
- ロ. 手続要覧 (1970年10月発行分、英和共文を備えつける。
- ハ. オフィシャル・ディレクトリー (1冊は必ず備える)
- ニ. ザ・ロータリアン、ロータリーの友、ガバナー月信の保管。
- ホ. 地区委員会の名簿 (組織表)
- ヘ. 地区カレンダー
- ト. 年間カレンダー

◎ 第3グループ クラブ奉仕

クラブ奉仕は範囲が広く、クラブ定款3条で

3. need の探求

社会奉仕の need がどこにあるかを見究めることがまず必要である。職業、社会（青少年）国際奉仕は夫々独立で他を侵さないというものではない、セクショナリズムに堕さず need を見直し共に実り高い効果をめざすべきである。

◎ 第6グループ 国際奉仕

本日のテーマは、世界社会奉仕計画の具体的なことをテーマとするということになっている。次期ガバナーから R.I. 会長ターゲット LET'S TAKE A NEW LOOK! というお話があった。ニュールックという観点を考慮に入れまして、皆さんのご意見を提示していただきあるいは討論をすすめたいと思います。

国際奉仕という言葉から受ける感じは、何か非常にむづかしい感じを受けるが、各人が自己の職域において自己の職域を通じて世に奉仕するそういう意味では国際奉仕においても、自己の職業を通じて国際的に奉仕する分野があると思う。

また資料調整室というようなところで、他のクラブと接触をもちながら、何が求められているか、またわれわれは何を、世界社会奉仕の立場でしようと考えるか、ということの交流を高めることが重要課題であるように思われる。

◎ 第7グループ ロータリー財団

ロータリー財団の発祥は1917年のアトランタ国際連合大会である。爾来50数年、困難な途を辿りながらも近年特に順調な伸展をつづけています。1970—71年度の財団に対する寄付金は246万米ドルで、1971—72年度はさらにこれを上廻るものと思われる。

ロータリー財団の活動について

財団活動のうち最も大きなものは、各種教育奨学金、教師奨学金（1973—74学年度）研究グループ交換補助金、及びロータリー財団の目的に添う活動に特別補助金等である。

奨学金の制度は1947年ポール・ハリス氏の逝去を記念して、18名の留学生をもってスタート

したのであるが、既に4,000名に近い人々が、奨学金や補助金の恩恵をうけている。

奨学金はボーナス制度採用の結果、当366区は1971—72年度（1973—74学年度）に於て大学院課程2口、大学課程1口、専門的訓練補助金1口、計4口の候補者と他に教師奨学金1口推薦、9月初めに決定される。

ロータリー財団に対する財政的援助の着想とその継続性。

当366区の61クラブの%は1,000%以上9クラブ、500%以下20クラブ、500%—1,000%32クラブ、地区の%は400%で、ハワイ500区の500%について365区と共に世界第2位である。

◎ 第8グループ 会報

クラブ会報委員長として、どのような方針を立てて一年を過ごしたかを申し上げます。

1. どうすれば会員が興味をもって会報を読むようになるか、興味ある資料をどうして収集すればよいか—

(イ)手紙を会員に出して原稿をお願いした。

(ロ)例会終了前10分間に、どんなことでもよいから書いて下さいと用紙を配布して、それを帰りの際提出してもらった。

2. 会報委員は速記者であってはいけない。

3. 読むことより先ず目を楽しめることから。

4. 週報は例会2日前までに各家庭に郵送する事。

5. 会報の充実が1年や2年では無理であるから実績を積み重ねて、予算の増額を図りつつ内容の充実を進めていくことが望ましい。

6. 編集上の注意と将来への希望—

(イ)会報はRCの歩みを記録し歴史をつづるものだから興味本位にすぎ品位を落さぬこと。

(ロ)会長は会報の重要性を再認識して会報委員の人選によく考えて決定すること。

(ハ)クラブ名入りで「クラブ会報綴」とした表紙を作り、全会員が保存するよう配慮すべきである。

◎ 第9グループ 会員増強

地区協議会に今回はじめて会員増強委員会が設けられた。増強委員会の主旨、増強の方法、並びに増強の現状等につき約30分間の説明があった後、討論に入る。

1. テリトリーの細分化や地域的に職業の種類が偏在するために未充填業種の充足が困難。
2. 地方地域の特殊事情のために候補者難がある等、増強委員会のあり方について幾多の問題が提起された。

☆お知らせ

堺東南 R.C. は47年7月6日(木)より例会場を下記の通り変更致します。

新例会場 堺市信用金庫登美丘支店三階
堺市大美野33の5 ☎ 588
(電話0722-36-5001)
南海電鉄高野線北野田駅西へ100
米四ツ辻北角
◎時間は従来通り18時30分です。

第1回 合同地区委員会開催さる

去る7月8日、新大阪ホテルに於いて、午前11時より午後3時過ぎまで、殆んど全委員が出席の下に極めて、終始なごやかに議事が進行した。

ハワイ 第500地区 よりインターアクト交換学生来日

ハワイ 第500地区 より女生徒6名、男生徒4名、アドバイザー及びアシスタント・アドバイザー各々1名の合計12名(うち日系人10名、米系人1名、中国系1名)が7月30日(日)東京羽田着、のち各地を見学して、大阪には8月17日(木)に到着1泊して帰米の予定。

◎来年3月3日、4日に開かれます地区大会の分担金が1人当たり2,500円と決定いたしましたのでご通知申し上げます。

☆訂 正

ガバナー月信第1号5頁年間カレンダーの内ロータリー米山記念奨学会への寄付の報告先が間違っていましたので下記の通り訂正致します。

〒100 東京都千代田区大手町2丁目3-6
タイム・ライフビルディング
財団法人 ロータリー米山記念奨学会

I. C. G. F. のゼネラル・リーダー決定

第1組及び第2組はガバナー月信第1信に既報、第3組以下は次の通りです。

第 3 組	9月2日(土)	直前ガバナー	尾形 繁 之氏
第 4 組	9月16日(土)	パストガバナー	井 関 久 楠氏
第 5 組	10月14日(土)	パストガバナー	塚 本 義 隆氏
第 6 組	10月7日(土)	パストガバナー	井 関 久 楠氏
第 7 組	10月28日(土)	直前ガバナー	尾形 繁 之氏
第 8 組	11月11日(土)	パストガバナー	原 田 秀 雄氏

ガバナー 雑報

7月2日及び3日東京ステーションホテルでロータリーの友の会が開催された。その席上色々のインフォメーションがあった。それらは雑然としているが、ご参考迄に下に記することにする。

国際ロータリー理事・役員(1972~73)

第3副会長：湯浅恭三（現理事、東京）

ロータリー財政委員：松本兼二郎（前理事、東京）

在日国際ロータリー各種委員

委員長：柏原孫左衛門（東京）

常任委員：西村二郎（新潟）

神野太郎（豊橋）

手島周太郎（仙台南）

向笠広次（中津）

原田秀雄（大阪北） 以上6名

ガバナー及びガバナーノミニー連絡会議

は昭和48年1月11日12時より開催予定（東京ステーションホテル）

ロータリー連絡委員会資料室より

ロータリー日本50年史は約10,000部の残りがあり、追加注文されたい。価格は1冊2,000円（送料300円）。購読申込みの少い、又は未購入クラブは出来るだけ多く申し込む様にとのこと。申込み先はロータリー資料室（住所は東京都千代田区有楽町1丁目5 有楽町ビル 10階）尚、ガバナー事務所には7月末までに5冊（無料）送付されるとのこと。

当地区で申込み数の少いクラブ（会員数に対

して）

クラブ名	会員数	申込数
東大阪	61	22
東大阪中	30	8 (72.3.3, R.I.加盟)
茨木	58	20
河内長野	58	23
堺東	27	(72.5.4, R.I.加盟)
堺泉北	29	(72.3.12, R.I.加盟)
堺東南	35	15+1 (71.12.30, R.I.加盟)

資料室長：西村二郎（新潟）

「ロータリーの友」創刊20周年記念行事

- (1) インターアクト、ローターアクト会員から論文を募集、その入選者を海外へ派遣する件。
(8月号に発表、10月〆切、選考の上、1月号へ発表)
- (2) ロータリアンより論文を募集、選考の上、入選者を夫人同伴でローザンヌ大会へ招待する件。
(8月号に発表、10月〆切、選考の上、1月号へ発表)
- (3) 各地区最優秀雑誌委員会を表彰する件。
(10月までに推薦、1月号に記載)
- (4) ロータリー美術館として毎月、ロータリーの友にのせたものをまとめて発行する1月の予定で事前に予約注文を募集する。
(10月〆切、8,000円位)
- (5) 来年1月号は20周年記念にふさわしい内容のものとする。

ロータリー文献事務所

ロータリー文献事務所は R. I. の日本に於ける出向機関であり前記ロータリー委員会の資料

室とは異なる。その事務所々在地も異なり之は日石ビルにある。今日までの文献事務所の実績は次の通りである。

翻訳： 187種

印刷数： 54万部以上

費用 { 印刷代： 1,480万円
 その他（人件費など）
 : 1,500万円

ロータリーソング

英語のロータリーソングを覚えておくと何かと便利。故に東京地区で2～3曲テープに入れて希望者に分けるようにしたいとのこと。

米山記念奨学会

在日外国人留学生に対する事実上唯一の奨学機関として文部省は固より各大学からも多大の信頼と期待を寄せられている。

23ヶ国からの留学生412名に対し奨学金を支給し、その総額は2億800万円を越えている。

本年度に対する奨学金の申込者は159名に及び採用は59名、競争率は3倍

奨学生総数（継続支給者44名+新規採用者59名+延長採用者30名=133名）は133名

東南アジア地区ばかりでなく少数ではあるがアフガニスタン、インド、イラン、マダカスカル及びバングラデシュから奨学生を迎えている。

現在月3万円の奨学金を増額した人数も増加したいので従来1,000円の寄附をできるだけ増額願いたく又、特別寄附金についても考慮されたい。

グァム島及びサイパン島

両島が第358地区（東京）に入ることに決定した。しかし両島 R.C. の承諾を必要とするのでそうなるのは明年度になるだろうとのこと。

規定審議会

湯浅理事によれば今後3年に1回開催することと規定を改めたいと考えているとのことである。

国際大会（大会開催地は5年前に決定）

1977年はサンフランシスコで1978年は東京になるらしい。（アジア地区と言うことになろうが場所などの問題から東京になると思う。正式決定は来年1月）

国際協議会開催日

1973年5月1日～5月9日、レークプラシッド、引き続きローザヌ大会

地区大会の P.G. の登録料について

- 現ガバナーは登録料は無料
- パストガバナーはその地区の人または分割前のその地区の人は無料
- 地区大会の R.I. 会長代理が決定したら直接地区に通知があるのでその通知があったら直ぐに連絡委員会に通知すること。

万博ロータリー組織委員会解散

(森 P.G. より報告)

570万円 万博協会に寄附し協会はお祭広場西隣りに約1,200坪の場所を選定し植樹する。

以上をもって精算したので万博ロータリー組織委員会を解散することにした。

因に万博開催中37ヶ国からその総計が13,800人におよんだ。

ロータリー・インスティテュート

開催日及び場所： 11月中旬京都(12月上旬に決定)

費用： 本部(R.I.)より300ドルのみ

第1回開催地： インド

第2回開催地： 日本

(注) これはガバナー・パストガバナー及びガバナーノミニーの研修会である。

ガバナー事務所費について

○松本理事の発言

- ガバナー事務所費の増額には資料を提出すること。
- 科目別にお願いしたい。
- 不足分については説明をくわしく。
- 新ガバナーは予算書をくわしく説明すること。

財団奨学生募集ポスターの統一企画

当366区で図案を考える。(大阪)

印刷はロータリーの友で一括して製作する。

○奨学生に出す身分証明書はどんなものか湯浅氏よりR.I.にたずねる。(R.I.の問題)

アーチ・クランプ賞

ロータリー財団への顕著な奉仕に対する賞

去年(昭和46年)7月7日井関久楠パストガバナー受賞

今年は秋山氏・伊藤氏・田中氏・岩崎氏・梶原氏・外1名の7名に与えられることに内定した。但し追加もある由。

尚塚本パストガバナーには6月9、10両日に亘るヒューストンでの規程審議会に出席され、その報告があった。それによれば、結局、可決された票は20件(内決議5件)の由、尾形ガバナー月信の最終号に掲載される筈であるが、若し紙面の都合で載らなければ、次号に塚本P.G.に執筆願う予定。



☆ 地区幹事の担当区分

当ガバナー事務所の事務全般は次記の通り、地区幹事の各位が分担いたします。この区分に従ってご連絡下さるようお願い申し上げます。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1) 幹事長 | 益田乾次郎 |
| 2) 副幹事長 | 納谷 良一 |
| 3) 総務 企画 | 中西 正二
松本 清 |
| 4) 月信 文献 | 桃谷嘉四郎
鴻野真太郎 |
| 5) 地区諸会合、クラブ連絡 | 小川 広巳
四宮 誠祐 |
| 6) 国際ロータリー関係 | 小島 清司 |
| 7) 諸外国ロータリー関係 | 水垣憲一郎 |
| 8) 地区資金委員長 | 有本 玉治 |
| 9) 地区会計 | 小田原鐵也 |
| 10) 事務専従 ガバナー庶務 | 久保ゆり子
八代由美子 |

◎ガバナー事務所

地区幹事当番日程表

月曜日	小田原鐵也	松本 清
火曜日	小川 広巳	中西 正二
水曜日	鴻野真太郎	四宮 誠祐
木曜日	小川 広巳	中西 正二
金曜日	鴻野真太郎	四宮 誠祐
土曜日	小田原鐵也	松本 清

(注) ガバナー事務所は午前9時15分から午後5時15分までとなっております。ただし土曜日は12時までですのでご了承下さい。

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大谷 一雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku.
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

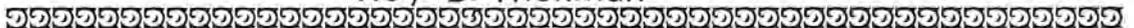
事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-3418710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 3 信 昭和47年 8月15日 ガバナー月信 No.3 August 15, 1972

R. I. 事務総長書翰より

ヒューストンにおける立法に関するクラブ投票

本年度ヒューストンにて開催された年次大会において、規定審議会は R. I. の立法機関としてその第一回目の会合を開きました。審議会における決議の報告は、8月21日に各クラブ宛に送達されます。この報告書には各制定案及び決議案について審議会が行った決定を承認するか否かを投票するに当ってクラブが使用する投票用紙が添付されます。もしも12月19日までに全クラブが行使し得る投票権の合計総票数の10%以上の票数を占めるクラブが、制定案又は決議案についての審議会の決定に対して異議ある旨を示した投票を事務総長に提出した場合は、その制定案又は決議案についての審議会の決定は効力を発生しないものとし、その制定案又は決議案はスイスのローザンヌにおいて開催される1973年国際大会に回付され、クラブの投票代議員の再審議と最終決定に付されるものとなります。

クラブの賛成を得た審議会の決定は1973年1月1日付にて効力を発するものとなります。R. I. ニュース8月号にこの手続についての記事が掲載されます。

ロータリー財団による追加補助金の授与

特に勝れた寄付記録を有する地区へ財団の追加補助金が授与されます。財団管理委員会はヒューストンにおいて開催された1972年年次大会において、もしも資格ある候補者が推薦される場合、1971—72及び1972—73年度を通じ勝れた寄付記録を有する地区には、それぞれ1974—75及び1975—76年度次の如く補助金を交付することを決議いたしました。

地区内会員1人当たり 平均寄付金額	追加補助金
\$ 3.00 — 5.99	1口
\$ 6.00 — 8.99	2口
\$ 9.00 — 19.99	3口
\$ 20.00又はそれ以上	4口

更に管理委員会は1974—75年度補助金50口（従来は25口）を心身障害者並びに教育上欠陥ある者の教師に、又同年度50口（従来は25口）を開発途上にある国々からの専門的訓練研修生候補者に交付いたします。

尚、1972—73年度管理委員会委員長には1968—69年度 R. I. 会長の東ヶ崎潔氏が選出されました。



公 式 訪 問 始 る

ガバナー 大 谷 一 雄

ガバナーの公式訪問は去る7月19日の守口 R. C. を第一回として始まり、7月29日現在すでに箕面、寝屋川、大阪天満橋、高石、富田林、大阪心齋橋計7 R. C. を終わりました。

いづれのクラブに参りましても周到なる準備が出来ており、極めて友好的な雰囲気であったことを感謝いたしております。

前々からガバナーの公式訪問があるという、皆様、非常に緊張されると承っておりますが、ロータリー活動に対する真剣さが自然とそうさせるのかとも思いますが、ガバナー個人の為にも、そういう風なことであれば、甚だ相済みなく思っております。ガバナー自身もつい数カ月前迄は皆様と同じロータリアンであり、しかも活動には熱心であったとしても、規約、手続要覧等については極めて不案内でした。

私が貴クラブを公式訪問しますとき、クラブ協議会が催されますのは、私に対するロータリー活動の計画報告であると共に貴クラブの役員と委員会各委員とが各自の計画と業績とを検討しつつ、もし問題があれば、私のアドバイスを



求められる程度のものであります。私としてはこの協議会に出席した場合、主として計画の説明に終わっていて、他の人の意見が出ないことが何んとも物足りなく思います。私としては、せつかくのクラブ協議会が単なる説明に終ることなく、各人の色々な意見が活発に出て、出来るだけ、その協議会が有意義に終ることを望んでおりますので、今後、心安く各人の意見を発表し、十分な討論をして戴きますと共にガバナーに対して何なりとご遠慮なく質問をして戴きます様をお願いします。

国際ロータリー理事会の決定事項抄録

ロータリー財団基本金よりの支出

理事会は、1973—74年度の財団活動及びプログラムのために、計 \$ 3,097,792 をロータリー財団の基本金より支出することを財団管理委員会が承認した通り、認可する決議文を採択いたしました。

世界のロータリー

1972年7月5日現在、149の国家及び地域に15,376のロータリー・クラブと約723,000人のロータリアンを有します。

1972年6月30日で終了したロータリー年度を通じ53ヶ国より504のクラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

特別週間行事について

ロータリーの重要なプログラムのひとつとして世界理解週間と青少年活動週間が近づいて来ました。各クラブは、特別週間行事として、例会プログラムその他適切な行事を計画するよう、各委員会委員長さんの注意を喚起して下さい。

◎ 世界理解週間

9月10日から9月16日まで

◎ 青少年活動週間

10月15日から10月21日まで

以 上

第1回合同地区委員会

昭和47年7月8日(土)

於 新大阪ホテル

退任の挨拶 尾形繁之直前ガバナー

過去1年の間、多くの方々にお助けをいただき何とか責任を果させていただきました。特に地区委員の皆様終始お助をいただき、まことにありがたく、厚くお礼申し上げます。おかげさまで健康に恵まれ、ご迷惑をかけることなく、過去1年間まがりなりにも任務なり職責を果させていただきました。

いずれすべての整理が終わったときに、手紙でご挨拶申し上げるつもりでおりますが、一言だけ退任のご挨拶をさせていただきます。

大谷ガバナー挨拶 これからの1年、経験の深い地区委員会の皆様御厄介になります。よろしくお願い致します。

(以下時々のガバナーの発言を要約)

クラブの拡大 国際協議会での話では、ことはR. I. は会費の人頭割をふやさないと、しかし人件費、物価は上がる、剰余金は少ない、やはり人は何パーセントかふやさなければやってゆけないことは自明の理です。グループセッションのときに、日本の各地区のガバナーノミニーは5つふやす6つふやすということで、計約70の新クラブが日本でふえるという結果になった。私は2つと言ったが2つという約束をしたわけではない。2つぐらいは最低できるだろうと考えたからです。それ以上は幾つできるか、塚本さん、中川さん、古市さん、藤本さんの手腕にかかっているといわねばなりません。

世界社会奉仕については、去年は塚本さんが大いにやられ、7月号のThe Rotarianに載っております。塚本説によれば、地区でやるよりも各ロータリー・クラブ・レベルでやるべきだ。また資金を援助するというだけでなく、資金も援助するが、人も行って人事の交流をはかって、国際的な理解と友誼を深める、そして大きくいえば世界平和に貢献するということが大切である。

会員増強職業分類は、拡大と進んでクラブの

中での増強だと思いますが、増強しなければロータリーの財政はつぶれると思しますので、小島さんよろしく願います。

米山記念奨学会普通寄付金は、1,000円であったのを、1,500円にするか、2,000円にするか、統制しないで各クラブ別々にやった方がいいのかご吟味願うわけです。他に篤志家による特別寄付金がある。

研究グループ交換は今度カナダからくる。私はその地区のガバナーノミニーと接触した。英国の122地区でも希望している。

職業奉仕部門は非常にむずかしい。ヒックマン氏もそうっておられる。大体、職業奉仕というと、自分が損をして、安く物を売るというようにとられやすいが、そうではない、大いに儲けて奉仕することだ。儲けることが悪いように思うことがいけないので、儲けて売れるのは、やはりそれだけ商品価値があるので、儲けなければ何もできない。私はそう思っています。He profits most who serves bestです。

前年度諸報告 尾形繁之直前ガバナー

昨年度の報告については、最終のものはまだ出ていませんが、ガバナー月信でそのつどご報告申し上げますし、いずれ今まとめつつある昨年度の地区としての諸報告がお手もとに参ると思しますので簡単に申し上げます。

昨年の拡大は5クラブ、泉南、豊中北、東大阪中、堺泉北、堺東が誕生しました。会員増強は今の5クラブ会員と、各クラブの増加を合すると約270~280名の増加で、年初に比べて7%の増加です。

職業奉仕関係は、「職業奉仕の勘どころ」再版、「4つのテストは前進する」というのを大阪R. C. で企画されたのに便乗し、地区全体にお配りしました。さらに職業奉仕週間に各クラブの会員個人の奉仕の事例をまとめたものを、そのうちにお届けできると思えます。

ローターアクトは御坊と堺と池田の3つを新しくお作り願いました。厚く感謝申し上げます。

インターアクトは現状維持に終わりましたが、本年度は幾つか増されることを願います。

研究グループは計画通りに R. I. も認めた、カナダのアルバータ州エドモントンを中心にしたところから迎えることになりました。

財団推進は最終の数字はわかりませんが、大休ポール・ハリスフェローは37名、準フェロー84名という多数で心強いことだと思います。

概算しますと、昨年度当地区からの寄付総額は8万5,000ドルに近く、1人平均25ドル近い数字がでるか推計しております。委員長はじめ皆さまが大へん熱心で非常に好調でした。

世界社会奉仕で、塚本委員長のもとで綿密な計画を立て、全クラブのロータリアンからの醸出金を幾つかに分けてお世話をしていただいたクラブを中心にして、12のプロジェクトに対し、それぞれの醸出金を送ることができたわけです。その結果は The Rotarian の6月号の昨年度のハイライトについての報告の中で、実例として366区の概略の奉仕の様子を掲げております。これは R. I. ではよほど注目されたと思います。このように世界社会奉仕は大へんりっぱな成績を上げましたことを感謝申し上げます。

以上で報告を終わります。

(世界社会奉仕委員会の塚本委員長、財団推進委員会の阪田委員長に、尾形直前ガバナーより感謝状の贈呈)

万博報告 森パストガバナー

万博では560~70万円余りました、登録料は1,100円で、来られたのが37カ国、日本人の家族も入れて1万3,800人、例会は53回ありました。この剰余金はロータリー組織委員会におまかせすることになり、東京のガバナーズ会議でも了解を得ました。

はじめ550万円ぐらいを万博協会に醸出してロータリーの森を作ってもらったということでしたが、万博協会の計画が遅れ、最近ですが、お祭り広場の西側に約1,200坪ばかりの土地を提供してもらい、平坦ではまずいから高いところは4mぐらい土盛りをし、そこに木を植える。平和のバラ園には1万3,000株ぐらいのバラが

ありますので、これも全部植えるというわけです。

全国の会員にこの始末を書類で報告し、なおロータリーの友にものせて報告することにしてあります。これでロータリー万博組織委員会は解散するというのを、この間の東京の連絡会議で申しあげました。

この地区は、特に皆さまの非常なご協力を得ました。会場設営のための4,000万円も、中心のところ、近く、遠方とに分けて出資金も区別され、この地区は一番多く負担を願った。これを最終の報告として、ロータリー万博組織委員会は解散いたします。ありがとうございました。

今井ロータリーの友委員長 「ロータリーの友」創刊20周年行事として3つが予定されております。

1. インターアクト、ローターアクト会員から論文を募集して、入選者を海外に派遣する。
2. ロータリアンより論文を募集し選考の上入選者には夫人同伴でローザンヌ大会に招待する。
3. 各地優秀雑誌委員会を表彰する。

1と2の論文募集は「ロータリーの友」8月号に詳細発表しております。

本年度各委員会の計画と活動について 各委員長より所見発表

塚本拡大委員長 大阪には市で R. C. のないところは4市あります。人口は羽曳野市が7万7,000、藤井寺市が5万、四条畷市が3万7,000、交野市3万3,000ということで、この4市に近い将来クラブを作り得るだろうと思います。人口20万の市で R. C. が1つしかないところが相当ある。人口10万あれば1つの R. C. ができる筈だと思っている。大阪市は298万で14しかないから、倍増できることになりましたが、一ぺんに倍増はできないでしょう。しかし徐々にふやしていく必要がある。人口50万の東大阪市には3つしかない、あと2つはできるはずで、可能性があるのは、昔、布施市といった区域、30万人ぐらいで現在1つしかない。堺は59万で5クラブ、豊中は36万8,000で3クラブ、和歌山は36万5,000で4クラブで当分はこのま

まです。あと大きいところは人口の順で吹田、高槻、八尾、枚方、寝屋川が20万以上で、最近ぐっと人口がふえたところは守口と茨木で20万以上でしょう。

人口10万に1つはできるという気持ちで、計画を立てたい。

和歌山県では町にも3つクラブができています(白浜、粉河、那智勝浦)そこまで和歌山はご努力願っておりますので、あまり急速には無理かと思いますが、今2カ所ぐらい話が進んでいますのでぜひ実現していただきたいと思います。

原田世界社会奉仕委員長 概念的にいつて飢餓、疾病、文盲を助けようではないかということで、比較的未開発の国の R. C. が、資料調整室という国際ロータリーへ登録されると、先進国の方から協力するというので、そこにサービスが生じるということだと心得ております。

昨年は表彰状をいただけるような活躍をされました。昨年、堺 R. C. が台湾に医療団を送った。私が見ているとグループでやっている例が多いんですが、単独の方がいいか、グループでやる方がいいか、ご意見をお伺いしたいと思っております。

概略を申しますと、366区には61クラブ、3,700~750人がおられる。やはりやるなら3,700~750人の方が何がしかの形で参加していただくようにしたいと思います。そして近くより遠きに及ぼすというか、韓国、台湾、東南アジアといった近いところがいいではないのか。ただ資金を送るだけでなく、友誼が生まれるやり方がいいのではないかと思います。

委員に堺 R. C. の住吉先生がいらっしゃるのでご援助を得たいと思います。

住吉世界社会奉仕委員 目玉商品の一つ申し上げます。台湾の高砂族だけを看ている小さなミッションの病院があるんですが、電気がない。そこに日本の通貨で発電機を送っていただければ、セティングなどは向うの R. C. ですることです。こういうことを通して、新しいブラザークラブになっていただきたいという話があります。

森国際奉仕委員長 これには世界社会奉仕、米山奨学会、青少年交換 というものがあります。先月の地区協議会で、世界社会奉仕はクラ

ブ単位でやるよりも地区でやってもらい、それを分担することが一番いいのではないかという注文があった。

ガバナーから1972年の「World Community Service Library Project」をもらいましたから各クラブに英語のままですがお送りします。これには、地区単位でやるものも、クラブ単位でできるのもありましようが、これをやりたいとお申し出になりますと、適当なところを世界社会奉仕委員のところできめまして連絡することになっています。

小島会員増強職業分類委員長 会員というのは年々に増強していかなければならない。これは根本方針です。奉仕を理想にして手をつなぐものであれば、多い方がいいのは当り前です。ところが増強といっても、10%の増強は現状維持で、昨年7%増というのは17%ふえたんだらうと思います。ロータリーの老化を防ぐには新会員をふやしていかなければならないと思います。

百々米山記念奨学会委員長 6月10日付で財団法人ロータリー米山奨学会の理事長から普通寄付金の増額がでている。問題は基金の増額をはかりたいというのが趣旨で、増額については各クラブでご決定になるだらうと思います。

基本的な問題として、この資金はロータリーの外にあるという感じを一般の方がもっておられるのではないかと、という気がするが、よく考えますと、後進国の青年が、日本に留学しているのに援助するのは国際奉仕の一番大きい問題だと思ふ。差し当り各クラブレベルの国際奉仕委員の方で、まずこの問題に関心をもってください。そのために会員100人以上のクラブでは、国際奉仕の中に特別委員を作ってください、9月の世界理解週間とか、国際的な問題を取り上げるときに必ず国際奉仕部門として取り上げていただきたい。

山崎研究グループ交換委員 本年度はアルバータ州から受入れ、来年は日本側から派遣することになっている。具体的には来年3月20日から4月の末まで約5週間滞在予定。再来年の5月中旬以降6月いっぱい向うに派遣する。R. I. のハンドブックによれば、到着予定の26

週間前に、情報を各クラブに送り、受入れについての日程、宿舎の提案をする機会を与えなければならない。来年の3月20日から逆算して9月の中旬に情報を各クラブに送らなければならない、従って8月中旬に委員会を開いて、十分検討して各クラブにお願いする、こういうふうにしたいと考えています。

西森ローザンヌ大会行委員長 来年の5月13、14、15日スイスのレマン湖近くのローザンヌで世界大会が開かれる。人口は12万の小さい町ですが、国際大会や、大きい会議がよく行なわれ態勢はできている所と思います。行かれる方は早く予約をなさると便利かと思えます。

尾形直前ガバナー R. I. の方で公認している日本の旅行あっせん機関は4つで、(日本交通公社、富士海外旅行、その他2つ)宿舎は旅行社ではほ押しえておまして、また R. I. の宿泊委員会がありますから、そのことの折衝で地区の委員会はタッチする必要はないと思う。ジュネーブから片道、車で30分、毎日往復しても大したことはないと思えます。

阪田財団推進委員長 前年度は会員1人当たり25ドルという話がありましたが、今度はそこまで触れると大へんだと思えますので、第一目標を当地区は400から500にすることにしておけばどうだろう。そのためには当地区に500%以下の R. C. は20ある。そのうち6 R. C. は500ドルから1,000ドル出せば500%になる。あと14 R. C. は500ドル以下で500%になる。そのためには委員3人が手分けして I. C. G. F. に出席して5分間でも発言の機会を与えていただきますと、目標は達成すると考えております。

若月財団学友委員 財団学友はロータリー財団の奨学金で留学した方の同窓会のようなものです。最近こそ1年に4、5名ですが、つい最近まで1年に1人、若い方ですから就職先がわからない。当地区に関係のない O. B. を入れても10名足らずです。ロータリー財団週間、世界理解週間、I. C. G. F.、地区大会というものにご所望があればこういう方に出してもらいます。

それからこれから行かれる方に、マナーやショートスピーチの指導などしております。

(速記録より抜萃)

(この他の委員会の計画と活動は次号に記載いたします)

1973年国際年次大会

スイス・ローザンヌへのお誘い

国際ロータリー年次大会は、風光明媚な観光の国スイスのローザンヌ市において、73年5月13日より開催されます。すでに多数の出席希望者がおられるように聞いております。

ローザンヌ大会行委員会では、次の件について、各クラブよりのお返事をお待ちしております。

1. クラブ内で、ローザンヌ大会行のリーダーまたは委員のお名前をお知らせ下さい。
2. 各クラブで大会出席希望者数をお知らせ下さい。
3. 大会行についてご質問があればお知らせ下さい。

上記3項目については、8月末までにローザンヌ大会行委員長、西森正昭君(高槻 R. C.)までお知らせください。

なお西森正昭君の住所は下記の通りです。

〒535 大阪市旭区高殿4丁目22-40

画廊ピサーノ

電話(06)954-1947

財団法人ロータリー米山記念奨学会の評議員の方で当方366区から新しく選任された方、ならびに現在在任中の方々をご紹介します。

新しく選任された方

原田 秀雄君(大阪北) 理事
井関 久楠君(和歌山)
尾形 繁之君(堺)
田宮 佐君(高槻)
伊藤 恭一君(大阪)
国崎 裕君(大阪西) 以上 6名

現在在任中の方

塚本 義隆君(大阪) 理事
大谷 一雄君(大阪西)
比企野繁三君(吹田)
須賀川太郎君(大阪南)
富久 力松君(大阪) 以上 5名

(昭和48年8月で任期満了)

☆訂 正

月信第2信7頁第7グループ ロータリー財団に関する記事のうち、ハワイ第500区の500%について365区と共に世界第2位である。と報告いたしましたが、ハワイ500区は800%で、またそのほかに500%が530区、549区の2地区、400%が739区、747区、749区の3地区がありますので、地区の%は400%で、世界的に上位に位置している。と訂正いたします。

公式訪問日程変更

東大阪中 R.C.

10月27日(金)を12月15日(金)に変更

☆お知らせ 例会場及び事務局変更

泉南 R.C. (8月4日より)

●新例会場 泉州銀行尾崎支店
大阪府泉南郡東鳥取町下出45番地の1
〒599-02 電話(0724)72-0601

●新事務局 新例会場と同じ
電話(0724)72-1542

寝屋川 R.C. (8月10日より)

●新事務局 大和銀行寝屋川支店3階
寝屋川市桜木町1番3号
〒572 電話(0720)21-0281

(注) 例会場は変更ありません。

ロータリーの友 創刊20周年記念

論文募集

ロータリーの友は昭和28年1月創刊以来、日本におけるロータリーとともに歩みをつづけ、本年12月で満20周年を迎えます。この創刊20周年を記念して次記の要領により、わが国のロータリークラブ会員、インターアクト、ロータリーアクト会員の諸君から論文を募集します。20周年を記念するにふさわしい充実した論文をお送りください。

テーマ 5年先のロータリー

応募規定 ●400字詰原稿用紙 13枚(約5千字)
論文の他に800字以内の要約を付けること。●締切は10月31日(10月31日の消印有効) ●応募原稿は公正な選考の上、入選者3名の氏名を新年号誌上に発表。
●入選者3名は、それぞれ夫人3名とともにローザンヌ大会へ招待。●応募資格、ロータリークラブ会員であること、ただし名誉会員を除く。

テーマ 私のインターアクト理想像

応募規定 ●400字詰原稿用紙13枚(約5千字)
●論文の他に800字以内の要約を付けること。●締切は10月31日(10月31日消印有効) ●応募原稿は公正な選考の上、入選者6名および佳作3名の氏名を新年号誌上に発表。●入選者6名は昭和48年中の適当なる時期に約20日間、(一応8月の予定) 海外ロータリーア

クトクラブ訪問へ派遣、佳作3名に記念品贈呈。●応募資格 海外派遣の時期においてロータリーアクトクラブ会員であるもの。

テーマ 私のロータリー理想像

応募規定 400字詰原稿用紙13枚(約5千字)

●論文の他に800字以内の要約を付けること ●締切は10月31日(10月31日消印有効) ●応募原稿は公正な選考の上、入選者6名及び佳作3名の氏名を新年号誌上に発表 ●入選者6名は昭和48年中の適当なる時期に約20日間(一応8月の予定) 海外ロータリーアクトクラブ訪問へ派遣、佳作3名に記念品贈呈。●応募資格 海外派遣の時期においてロータリーアクトクラブ会員であるもの。

原稿の送り先

東京都千代田区丸の内3丁目4番2号
日石ビル7階 郵便番号100
ロータリーの友編集事務所
ロータリーの友創刊20周年記念論文係

●応募原稿送付の際のお願い 選考の都合上、応募原稿および要約には、応募者氏名、地区、所属クラブ名などは一切記入しないこと。応募者の氏名、住所および地区、所属クラブ名は別紙に記入して応募原稿に添付の上、送ること。インターアクトおよびロータリーアクト会員は、提唱ロータリークラブ名も明記すること。

7 月 出 席 報 告

(Attendance Report for July)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	75	-	100.00	1	32	東大阪中	4	31	-	95.84	47
1	和泉	4	63	+ 3	100.00	5	33	豊中南	4	35	-	95.72	20
1	吹田	4	59	-	100.00	14	34	泉佐野	4	52	+ 1	95.67	31
1	橋本	4	56	+ 1	100.00	7	35	堺	4	112	+ 2	95.59	48
1	御坊	4	55	- 1	100.00	37	36	田辺	4	70	- 2	95.40	50
1	枚方	4	52	+ 2	100.00	13	37	寝屋川	4	42	+ 3	95.24	49
1	松原	4	52	+ 1	100.00	21	38	貝塚	4	55	-	95.00	30
1	高石	4	47	- 2	100.00	4	38	池田	5	52	- 2	95.00	16
9	和歌山東	4	76	- 2	99.67	9	38	大阪東淀	5	40	+ 1	95.00	51
10	大阪南	4	65	-	99.62	2	41	高槻	4	54	- 1	94.86	39
11	茨木	4	62	+ 5	99.60	6	42	大阪西	5	93	-	94.71	44
12	大阪淀川	4	69	-	99.27	17	43	八尾	4	55	- 1	94.49	40
13	泉南	4	33	-	99.24	21	44	堺南	5	66	-	94.12	20
14	新宮	4	53	- 2	99.06	33	45	和歌山南	4	64	+ 2	94.05	46
15	和歌山東南	5	36	-	98.89	28	46	堺泉北	4	30	-	93.96	12
16	豊中北	4	34	+ 1	98.49	11	47	東大阪東	4	41	- 1	93.29	54
17	大阪天満橋	5	60	-	98.33	3	48	門真	4	26	-	93.27	52
18	東大阪	4	57	+ 1	97.68	10	49	海南	4	58	- 1	93.02	41
19	大阪柏原	5	25	-	97.60	32	50	大阪西北	4	57	+ 2	92.98	19
20	河内長野	4	60	-	97.42	15	51	那智勝浦	4	35	-	92.65	57
21	大東	4	38	-	97.37	25	52	大阪	4	299	- 6	92.60	56
22	岸和田	4	57	+ 2	97.33	43	53	白浜	5	43	-	91.63	59
23	和歌山	4	94	+ 1	97.16	26	54	箕面	4	32	-	91.41	36
24	大阪南	4	150	- 1	96.96	35	55	有田	4	52	-	91.29	27
25	大阪城南	4	48	- 1	96.88	42	56	大阪北	4	185	+ 3	91.24	45
26	大阪東	4	99	- 1	96.65	24	57	大阪住吉	4	70	-	90.00	34
27	泉大津	4	71	- 2	96.43	18	58	堺東南	4	37	-	89.19	55
28	大阪心齋橋	5	33	-	96.36	8	59	豊中	4	53	- 3	89.15	60
29	堺東	4	27	+ 1	96.19	29	60	粉河	4	30	-	88.34	58
30	摂津	4	37	-	95.95	38	61	守口	4	56	- 2	87.50	61
31	富田林	4	62	- 1	95.87	53							
平均出席率							95.75%						
合計							253 3,730 + 4						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大谷 一雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interrotary Osaka

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710

~~~~~  
**LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!**  
Roy D. Hickman                      ロイ D. ヒックマン R.I. 会長  
~~~~~

第 4 信 昭和47年 9月15日 ガバナー 月信 No.4 September 15, 1972

第 366 区年次大会の R. I. 会長代理に 前会長 アnst G. ブライトホルツ氏に決定

ヒックマン R. I. 会長より、昭和48年 3月 3日～4日の両日大阪フェスティバルホールにおいて開催される、当地区の年次大会に、R. I. 会長代理として前会長アnst G. ブライトホルツ氏を指名した旨の書簡を受取った事をお知らせいたします。

皆さんと共に会長代理ブライツホルツご夫妻を心から歓迎申し上げたいと思います。

次にブライツホルツ氏の略歴をご紹介申し上げます。氏は AGA.AB というスエーデンの工業用医学用ガスの製造及び使用装置と電気光学器具を製造している会社の役員であります。

氏はスエーデンの HULTSFIREO の生まれで、アメリカのカリフォルニア大学に学び、ニューヨークのコロンビア大学の大学院で科学修士号を取得されました。ロータリークラブには、1947年以来 KALAMR の会員であり、元会長でありました。

R. I. の第一副会長、理事、地区ガバナー、委員長として活躍され、1971～72年度にはR.I. 会長としても大いに貢献されたのであります。

また氏の輝かしい業績に対してはスエーデン国より数々の勲章を授与されたり、アメリカ、



フランスの国々からも名誉ある勲章を授けられておられるのです。



R. I. 事務総長書翰より

親愛なるロータリアン各位：

“平和への努力は、パンが毎日毎日焼かれなければならないように、毎日毎日行わなければならないものです。”最近行われた世界平和に関する国際大会へ出席した1人の代表はこのように述べました。この言葉は、ロータリーが国際親善、平和理解を達成する方法を適切にのべています。平和の遂行には、海外よりの高校生受入、他の国から訪れるロータリアンとの昼食会における会話、研究グループ交換チームの貴地域社会内の学校への訪問、近隣国からのロータリアンとの炉辺会合、開発途上国の学校への書籍の寄贈、等々……が毎日毎日行われねばなりません。此等又他の多くの行事はまれにしか人々の注目を引くものとなりません。しかしそれらの各々は、人類の目標と夢の実現にしかるべく貢献しているのであります。9月10日から9月16日まで行われる世界理解週間を、更に広範囲にわたって人類について改めて認識させる週といったそうではありませんか。

世界理解週間に思う

パスト・ガバナー 森 寿 五 郎

Rotary の終局の目的である世界永遠の平和は、容易に到達し難いものであることは、万人の認めるところである。Paul Harris も、このことは自分一代でなしとげられるものでないことはよく解っている。然し決して悲観しない、それは自分に続く多くの若人がやってくれることを信ずるからであると。

今日世界状況を見ると、お互に戦備を調べて、何時戦争が起っても構はないというような国はないにしても、何がしかの軍備を調べていないと、相手に物が言えないという場合は、世界各国に非常に多いと思う。又ベトナム戦争の如く、既に10年に垂んとする状態にあり乍ら、何時果てるとも解らない状態で、同様なことは、イスラエルについてもいえる。日々貴い人命を失い、器材が破壊されている。これ等戦争や戦備に費やされた金額は、昨年中実に1,700

億ドルに達するというのである。

他方地球上の人口30数億の内飢餓に瀕する者、無学文盲の者、疾病で治療さえ出来ない者合わせて、その半数に近いといわれている。

争いは、お互が相手の意志をはっきりつかみとれぬところ、或ははっきり表現せぬところから、疑心あんきが嵩じて起るものである。或は逞しい国が弱国を手中に入れんとする場合、それに関連を以っている他の国が、それに反対して起る場合が多い。

世界理解とは、個人と個人、或は国と国とが、善意をもって交われれば、この誤解は、次第に解消するという建前から、Rotary が提唱した運動である。

Rotary ではこのため、matched club, matched district という制度を設けて、各クラブ、各地区の組合わせを行い、そのクラブ、その地区は相手クラブと相手地区と特に緊密な連絡をとって、互に助け合うという方針であるが、近頃この制度があまり行われていないように思われる。年末クリスマスカードのやりとりは行われても、この週間に、メッセージを送ったり、カードのやりとりを行っているところは、割合に少いのではないだろうか。この週間こそ、そのやりとりが最も効果のあるものではないだろうか。

文盲、貧困、疾病に対し、Rotary は国際社会奉仕制度を提唱している。Rotary 本部に集る各地区からの Project を見ると、誠に座視するに忍びないものがある。われわれは、これに参加して、力の限り難民を救い、豊かな人間性をとり戻す運動に、とり組むべきではないだろうか。

青少年週間（10月15日～21日）を奨励

パスト・ガバナー 原 田 秀 雄

R. I. 会長 Roy D. Hickman 氏は来るべき青少年週間を「行動の1週間であり、新しい視野で最新の章を書き始める機会だ」と言っております。今や全世界を通じて我々の次の世代に対する関心は極度に高まって来ております、西といわず、東といわず。勿論国際ロータリーにおいても早くから此の問題を重点的に取りあ

げて、青少年に教育と国際親善の機会を与えるため財団活動を強力に推進しロータリーにおける唯一の継続的な大事業として来たことはご承知の通りであります。数年前より更に青少年に社会奉仕による感激を覚えさせる極めて意義深い実際的な活動の一つとしてインターアクト、ローターアクトクラブの普及をはかり、各ロータリークラブに対しこれ等青少年のクラブの設立を提唱しこれを援助することをすすめて来ました。

又国際間に青少年を短期或は長期交流させて互いに理解を深めさせ、かつそれ等の間に友情の芽ばえを助けて行く青少年交換計画をも活発に実行しております。

更には各クラブで、その地域社会の若者達が何を求めているかを察知して時に膝を交えて語りあうのも有意義な活動と言えましょう。

これ等の運動は何れもそれにより1人でも多くの健全かつ有能な次代の指導的若者の養成を目的としたものであります。

若し、あなたのクラブの今年の活動方針の中にこれ等の有意義な計画が強く盛りこまれていないならば、又計画はあってもまだ実行に移していない場合には、是非この青少年週間を絶好の機会として見逃すことなくそれ等の着手に踏み切ろうではありませんか。

そしてこの週間をあなたの年度の奉仕記録の中に大きな思い出として残すようにしましょう。

第1回合同地区委員会

昭和47年7月8日 於新大阪ホテル
第3信6頁の続きとして記載いたします

吹田財団奨学生委員 この秋に奨学生を募集する選考の方針をきめ、去年のようにポスターを作り、各大学より募集いたします。そして各クラブで受付け、48年3月15日までに申請していただく方針をもっております。去年は50人の応募者があり、その中から本年は5人選考しました。

川端職業奉仕部門委員長 職業奉仕は4つの奉仕活動の基本をなすものだといわれています。その基本をなすものがわかりにくい。わか

ったようでわからないという方がいまだにたくさんあるので、この基本のことがわからない人を、早くなくしたいと思います。基本がわからなくていろいろなディスカッションをするのはおかしいので、本年のガバナーにも格段のご尽力をお願いしたい。

「奉仕こそわがつとめ」これはなかなかわかりにくい。数年前に発行された「職業奉仕の勤どころ」はだいぶわかりやすい。ハーバート・テラーさんの「4つのテストは前進する」というのを塚本バスターガバナーに意識的加筆をしてもらいましたら、読みやすく、又解り易くなりました。

国際奉仕とか社会奉仕は資金を集めて何かやろうということですので、わかりやすいし、力も入れやすいようです。しかし基をなす職業奉仕は、どちらかといえば倫理、あるいは道徳に関するものですから、どうもわかりにくい。どうも職業奉仕という大事なことに對して、力の入れ方がちょっと足りないのではないかと思いますので、この大事な職業奉仕をわからんという声のでないよう努力をお願いしたいと思います。

今井ロータリーの友委員長 この委員会が新しく作られたのは、ロータリーの友に対する会員の関心を高め、地区の会員の声を雑誌に反映させるというねらいだと思います。従来クラブ別に実施されていた雑誌のアンケートの募集を地区でまとめてみられたらどうかということで、このアンケートの様式を研究することにしております。

ロータリーの友創刊20周年記念事業として、ロータリーの友美術館を1冊にまとめて発行します。もう一つは来年の1月号に、20周年記念号として、R. I. 会長のメッセージとか、いろいろの原稿を集め特集号にさせていただきます。

原広報委員 まず広く一般世間にロータリーの歴史、綱領、規模に関する情報を提供しよう。もう一つは、ホームクラブのために適切な宣伝を行なう方策を考案して実施しよう。これはロータリークラブの細則の8条4項に書いて

ある広報委員会の使命です。ことしは皆さんのお力を借り連絡第一で、何かにつけて広報のネタのようなことがあればご連絡いただきたい。

岡崎青少年交換委員長 本年度の活動方針について。まず青少年交換の意義、選考の手続等について各クラブの担当者に説明し、より徹底したい。次に昨年度の継続事業で、青少年交換が現在行なわれており、また現在手続中のものも推進するようにいたします。本年度は海外から10名、海外に10名派遣します。このうち1名は羊毛の技術交換青年で本年度は城南クラブがこれを受け入れることになっています。

従来は米国、オーストラリア地区と主に交換していたが、さらにカナダ、ヨーロッパ、アジア地区にも交流していくようにしたい。次にハワイ500地区から8月にインターアクトが12名来日します。クラブ対クラブの青少年交換をやっているところが多くありますので、委員会にご連絡をいただき、委員会で検討の上、この地区の計画に採用できるものがあれば、どしどし取り入れていきたいと考えております。

山縣青少年活動委員 第1に各クラブの活動計画をまとめたい。第2にこれから委員会をもち、各クラブにアンケートを出してその結果をまとめたい。それによって地区を8つの班に分け(和歌山2、大阪6)それぞれの青少年活動委員長さんが合同でいろいろ相談をしてもらいたい。第3にアンケートのうちからいいものを発表したい。第4に青少年活動の情報を、ロータリーの友を通じて提供したい。

蒲田インターアクト委員長 昨年度の状況をお聞きしますと、最初は6クラブ作る予定が一つも成立しなかった。ことしは少なくとも3つは作りたい。すでに作りたいというクラブもあるらしいので、何とか3つ以上作っていききたいと思います。それとことしの10月か11月ごろに365区と366区合同で、両地区クラブの合同地区協議会をもち、インターアクトの連絡を密にし

たいと思います。

それから最近では海外のインターアクトと交歓したいという希望が強いということをお聞きしますので、ことしからやっていきたいと思っております。

井川(堺南) 私どもは京都西クラブに次いで2番目にインターアクトを作った。ところが中心になってやっていただいた堺市立高校長が定年でやめられて、あとがうまくいかない。困ったと思っておりますところ、私の方の会員にボーイスカートをやっている方がおられ、そこで学校とせず、ボーイスカートを中心にインターアクトを作ってから会員もふえ、現在非常に活動しています。従って今後は学校と限定することができ得ない場合はそういうこともお考えになってはということをお提案します。

平松ローターアクト委員 366区のローターアクトも発展し、ガバナーを置くようになった。ただいま和歌山と大阪地区に各代表を選ぶ準備をしております。こうなると事務も複雑化し、希望として、ガバナー事務所にもローターアクト担当の女子職員を置いていただき、連絡とか資料の保管をさせていただきたいと思っております。

本年の拡大方針として、ガバナーのいらっしゃる大阪西R.C.と、ローターアクト委員になられた八尾R.C.の2つは、今年中に作っていただきたい。できれば海南、橋本にもお願いしたい、本年度中に4～5のクラブを作りたいと思っております。

小田原地区会計 第366区地区資金予算案は試算で、これをたたき台にして、予算を作っていただくために作ったものです。

収入は前期繰越金、地区資金、雑収入すべて概算で、前期繰越金も少し変るといふことです。地区資金にしても前期が3,715名の会員、後期が3,815名で、従って地区資金の602万4,000円も変わってまいります。雑収入の5万円は銀行利息で、これもこの通りになるか分かりません。758万6,906円という金額も概算です。

支出の部は、委員会の活動予算を委員会からご連絡願ひ、それを予算に編入するのが本来の趣旨ですが、何分時間がなかったので、右の端

にあがっている前年度の実績で、しかも概算で、それを参考に物価の値上がりを考慮して、本年度の予算表として、活動委員会の費用をあげさせていただきました。

(速記録より抜萃)

ロータリー財団週間の準備

本年度のロータリー財団週間は11月12日から11月18日です。

この週間に開かれる例会におけるプログラム又、財団を援助するための寄附金を募る方法についてのアイデア等この週間のために特別プログラムを各クラブロータリー財団委員長において、方針を確立されると共に、その実効があげられるよう準備をして下さい。

第366区400% R. F. 地区となる。

8月24日付シュワート R. I. 事務総長よりの書翰により当366区が400%ロータリー財団地区の栄誉を獲得した旨の通知があり、同時に賞牌が送られて来ました。この機会に地区全クラブに対し厚く御礼を申し上げますと共に、引き続き今後の御協力を御願い申し上げます。シュワート事務総長の書翰をお伝えします。



大谷ガバナー殿

R. I. 事務総長 ハリー A. スチュワート

貴地区におかれては最近ロータリー財団貢献目標に関し意義深い大台を達成されました。ここに更めて賞牌を同封し、今回の貴地区400%達成の表彰を明らかにしたいと思います。

ロータリー財団管理委員を代表しこの多大な

援助に対し心から感謝の念を喜んでお伝え致します。

どうか貴地区第366区のロータリアンの皆さんに我々の感謝の気持ちをお伝え下さい。敬具

財団推進小委員会だより

ロータリーの新しい世界の指導者ロイ D. ヒックマン氏の示した本年度の目標、「もう一度見直して行動しよう」を遵奉する手引として、前年度に発行したものを若干手直しした「改訂ロータリー財団便覧」を地区全会員に配布しましたが、その後に入手した情報を茲に紹介致しますので、その追録として頂きたい。

ザ・ロータリアン誌8月号のエバンストン便りの伝うる処では、財団管理委員会は1973~74年度の財団補助金に \$3,045,382 を充当して、8月に選定される当該年度の奨学生数は500名を超えるとある。(くわしくは「ロータリーの友」9月号のエバンストン便りをご参照願います)。

その原因は1971~72年度の寄付金が300万ドル以上にのぼったことにあるとしているが、正確には \$3,448,544 で、前年度より40.1%増となっています。併しこの寄付金額の3分の1はこの年度に生れた1,141名のポール・ハリス・フェローに拠っている事に留意して頂きたい。そしてこのうち日本のロータリアン及びロータリー・クラブからの寄付金額は \$980,408.12で全寄付金額の約28.7%に当り、大いに誇って頂いて結構だと思います。

又ガバナー月信第3号に出ておりますように会員1人当り平均年間寄付額が20ドルを超える地区に対しては従来の4名の外に更に1名の追加奨学金が与えられることになりました。

それに該当する日本の地区は、当方の計算では18地区の内4地区、即ち年間 \$46,889.37 寄付の第351区、年間 \$149,236.67 寄付の第358区 年間 \$88,144.95 の我が第366区に過ぎません。

折角かちえたこの栄誉と特権を落さないように委員会は張り切っております。

そこで本年度の推進目標を400%より500%地区に引き上げ、ポール・ハリス氏歿後25年、初回海外奨学生派遣25周年に因んで、会員1人当

り寄付年間平均25ドル（前年度並）を目安に考えております。この件に関して、会員各位、及び各クラブのご賛同、ご協力を切にお願いいたします。（委員長 阪田靖人）

訂正① ガバナー月信3号4頁左欄の財団推進に関する記事中、上より10行目の新準フェロー84名とあるのを104名に訂正（エバンストンよりの新資料に拠る）。

②先般お送りしました「改訂ロータリー財団便覧」中、第3ページ最終行「受益」を「受益者」に訂正。

③池田 R. C. の累計寄付額を5,739.92ドルと訂正します。

実り多い I. C. G. F. 始まる！



I. C. G. F. 第一組（白浜）8月5日（土）
ホストクラブ 白浜 R. C.

1973年、ローザンヌ大会参加者と各クラブのリーダーの皆さんにお知らせ！

●R. I. ローザンヌ大会幹事 Mr. Marlin K. Tabb 氏より大会に関する連絡が参りましたので内容をまとめてお知らせ致します。

① ローザンヌ大会における宿泊はロータリー宿舎事務局を通じて要求する事。申込書は R. I. より1972年10月中配布されるので宿舎所要求の申込書を R. I. 事務局か、ロータリー宿舎事務局（R. H. B.）に手紙で連絡下さい。宿舎の依頼は先着順に決定しますので、早急にお願いします。

なお指定旅行者を利用されている方はその業者が代行して宿泊申込書を作成し R. H. B. に送る事。

●ロータリー宿舎事務局（R. H. B.）の住所は

ROTARY HOUSING BUREAU

Palais de Beaulieu

1002 Lausanne, Switzerland

②登録申込みは宿泊申込書と同時に配布され宿泊申込書と同時に返送して下さい。

③登録手数料は大会に着いた時 100 スイスフランの登録料を支払って下さい。

④登録は1973年5月12日（土）午前9時開始。

⑤ローザンヌ大会委員会は R. I. 前副会長の Clement A. Morraye と力を合せてこの大会の成功と世界のロータリアン及びゲストがすばらしい国際的体験を得られる様に努力しますので、多くの参加者を希望しております。

◎ローザンヌ委員会におきましては、指定旅行者以外のプラン（旅行期間15日～17日間）を考えておりますので、ご希望の方は高槻 R. C. 西森迄お問合せ下さい。

次にプログラムを簡単にご紹介します。

- 5月12日（土） 登録（大会開期中毎日行われる）
- 5月13日（日） p.m.大会開会式
スイス慣例行事（コース、ダンス）
- 5月14日（月） a.m.第1回本会議
p.m.スイスの伝統的な催し物
- 5月15日（火） a.m.第2回本会議
p.m.国際親善交歓会
会長主催レセプション
- 5月16日（水） a.m.投票、第3回本会議
p.m.婦人のためのファッションショー
青少年のためのカーニバル
グループ別協議会
会長主催レセプション
- 5月17日（木） a.m.第4回本会議

第2回地区職業奉仕委員会報告

開催日 昭和47年8月8日（火）

場所 ガバナー事務所

出席者・川端、諏訪、菅生各委員、露口前委員長、大谷G.

議 事：

1. 前年度残務（職業奉仕週間各クラブ行事一卓話事例報告）を整理し、取りまとめて小冊子を刊行する。
前年度露口委員長列席あり共同作業する事を了承した。本年12月中に完成する予定。
2. 本年度職業奉仕週間の各クラブ卓話講師にバストガバナーの出講を斡旋する。（委員も出講）
講師の要否を11月末日迄に受付ける。
3. 地区職業奉仕賞（ガバナー賞）をもうけ、地区大会で授与する。各クラブは明年2月15日迄に、候補者をガバナーに推薦すること。
4. 職業奉仕週間記念の論文、事例、随想を募集する。締切明年3月末日。前年度に引続き、職業奉仕読本第2巻を刊行する。

第1回地区大会プログラム委員会摘録

開催日 昭和47年8月18日（金）
場 所 ガバナー事務所

◎登録料、其の他

登録料 6,000円。従来の慣習による寄附金（1,000円）は一切とらない。（事前に知らすこと。）

◎行 事

ゴルフ競技会は、明年3月2日（金）鳴尾にて行なう。前夜懇談会は行なわない。

3月2日夜 R. I. 会長代理歓迎パーティーを行なう。（会長、幹事とその家族、ガバナー・ノミニ、地区内バスト・ガバナーに案内状を出す。登録料 5,000円前後。立食でないビュッフェ形式、楽団を入れる。）

3月3日夜、希望晩餐会を行なう。

知事、市長を招待しない。祝電披露なし。

◎会 議

第1日目の部門別協議会はやめてパネルディスカッションにする。（1時間50分程度としテーマを2つ、3つにする。家族は同席させる。）第2日目の部門別協議会並に報告はやめて、一般討論会（ロータリー問答の様なものを考えてはどうか）にする。バスト・ガバナーによる其の他報告は行なわない。クラブ表彰、ポール・ハリス賞及び其の他の表彰は、まとめて最後にする。（各

種の表彰はその方法を考えること。）研究グループ交換派遣生報告紹介と参加クラブ代表挨拶はやめる。国際青少年交換学生紹介と挨拶を入れる。R. I. 現況報告は20分程度にする。第2日目にも30分位の講演を入れられないか。余興は1時間位にしてはどうか。

◎講演者としての候補者名

中村直勝、司馬遼太郎、望月信成、宮本又次、犬養孝、瀬戸内晴美の各氏

◎参加促進

各クラブに参加責任数を割当てること。（一率～%にて割当る事は不可）時に新入会員及び過去大会に未参加の方は必ず参加する様にする事。

◎会 場

ステージ上の方は拡声装置が聞えないので、別に拡声装置をつけること。余興以外は、天井のライトを明かるくすること。サヨナラパーティーはグランドホテルで出来ないかどうか。

◎市内観光とエキスカーション

泊りがけ旅行はやめたらどうか。事業場見学は土、日は休みなので3月2日（金）にしてはどうか。3月4日（日）午後は余り行ってない神社、仏閣めぐりを数班に分けてやったらどうか。3月4日（日）夜の観劇はどうか。

◎余 興

楽団は出来るだけ費用のかからない様に大阪市音楽隊に依頼する。

◎第二回プログラム委員会は9月1日（金）

4.00 p. m. よりガバナー事務所にて開催。

第1回研究グループ交換委員会報告

開催日 昭和47年8月21日（月）

場 所 ガバナー事務所

出席者・西川、山崎、永井、山内、田宮各委員、井関 P. G.、塚本 P. G.、尾形 P. G.、大谷 G.

1972—74年度 G.S.E. 計画に基くカナダ第536地区チームの受入れ計画について検討し、下記の如く決定しました。

1. 期間1973年3月20日より4月28日に致る40日間とする。
2. 当地区を下記の4区に分割して各区毎に受入れ委員会を結成し、委員長並びに副委員長を至急決定して戴くこと。
 - 大阪市内 14 R. C. 代表 大阪北 R. C.
大阪、大阪東、大阪阪南、大阪東淀、大阪城南、大阪北、大阪西北、大阪心斎橋、大阪南、大阪西南、大阪住吉、大阪天満橋、大阪西、大阪淀川の各 R. C.。
 - 和歌山全県内 13 R. C. 代表 和歌山東 R. C.
有田、御坊、橋本、海南、粉河、那智勝浦、新宮、白浜、田辺、和歌山、和歌山東、和歌山南、和歌山東南の各 R. C.。
 - 大阪南部 17 R. C. 代表 堺南 R. C.
和泉、泉大津、泉佐野、貝塚、河内長野、岸和田、松原、大阪柏原、堺、堺東、堺泉北、堺南、堺東南、泉南、高石、富田林、八尾の各 R. C.。
 - 大阪東北部 17 R. C. 代表 池田 R. C.
大東、東大阪、東大阪東、東大阪中、枚方、茨木、池田、門真、箕面、守口、寝屋川、摂津、吹田、高槻、豊中、豊中北、豊中南の各 R. C.。

3. G. S. E. 委員事務分担

予 算	西川委員長
宿 舎	田宮委員
交 通	山崎委員
見学スケジュール	永井委員
オリエンテーション	山内委員
専門ウィーク	

4. 第2回委員会

9月12日(火) 2:00 p.m. - 4:00 p.m. 予定。この際、各区受入れ委員長も出席を戴くこと。

第1回財団奨学生委員会報告

開催日 昭和47年8月26日(土)
場 所 クラブ関西
出席者・箕田、雑賀、吹田、松野、宮本各委員、井関 P.G.、大谷 G.

次の通り奨学生委員会を開き今後の具体的な活動方針について協議した。

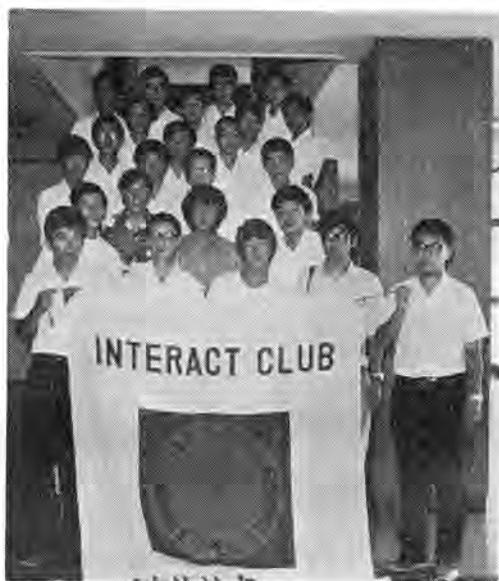
1. 1974—75学年度当地区の補助金数
大学院、大学生、及び専門的訓練は昨年より1口ふえて5口となる見込み。
教師補助金は50名となり25名増加の見込み
2. 奨学生募集用ポスターの件
昨年度の当地区ポスターは各方面から好評を博した。今年度は、全国18地区一括して「ロータリーの友社」に発註することとし、一切の世話役を当地区が仰せつかった。
ポスターの図案については、昨年度のものを1部修正し、加筆の上「友社編集部」に発註する。9月中に印刷完了の予定。
3. 優秀な奨学生獲得のための P. R.
 - (イ) 地区の大学学部長に、ロータリー財団の教育補助金制度の解説と候補者の推薦依頼の手紙と共にポスターとパンフレット、1300—J(教育補助金) 1314—J(教育補助金、掲示用)を10月中に送付する。
 - (ロ) 地区内のロータリー・クラブに対しては会長及びロータリー財団委員長宛にポスター、その他前記文献を送り、夫々のクラブの会員に財団への協力を奨励してもらう。

ハワイ I. A. C. の学生達を迎えて

インターアクト委員 平岡正己

第500地区(ハワイ)のインター・アクト海外交換計画の一つである訪日団は本田直前ガバナーと共に顧問のマーガレット加藤に引卒されて12名の I. A. C. 学生(内男子4名)が7月31日羽田に着き、20日間の日程で各地を訪れ、8月17日最後の訪問地大阪に無事到着した。

第366地区の I. A. C. の生徒達の出迎えを受けた一行は直ちに地区主催の歓迎昼食会に出席の為新阪急ホテルに向った。連日の日本料理に和食には多少食傷気味であった彼等はバイキング形式の西洋料理に久し振りに故国の味を十分に味わい好評だった。堺南 I. A. C. はボーイスカウトの活動の為に参加出来なかったので昼食後は東高校 I. A. C. グループと清風南海高校 I. A. C. グループに別れて彼等を案内した。東高校 I. A. C. は女子学生の世話を受け持ち大阪見物の後、エキスポランドで万博を懐かしみ、童心にかえって楽しい半日を過した後、各家庭に引き取られた。一方、清風南海 I. A. C.



はハワイの4人の男子学生を中心に4つの班に別れて各々大阪見物をし、大阪城、心斎橋筋、地下街等ハワイに無い様な所を案内、その夜は各々日本学生の家庭に泊り、盆踊りなど異国情緒を楽しんだ。

翌18日は女子学生は東高校を訪れ、琴の演奏や茶の接待を受け、日本趣味を満喫した。男子学生は清風南海高校を訪れ学生達と歓談し、剣道や柔道を日本学生から習う一幕もあり両校I.A.C.はいつでも大いに交歓の実をあげた。又男子学生は高石 R.C. の児玉三井泉北石油KK所長の好意で、泉北臨海工業地帯を見学し、その近代技術の粋を具に見る事ができた事は工業国日本を理解する上に大いに役立った。午後は大阪R.C. に招待され、全員が例会に出席してロータリアンとも交歓した。出発まで残された短い時間を日本学生のつきそいで買物に奔走したハワイの若者達は全ての日程を終え、各地で親善の役割を果たして元気に帰国の途についた。

2日間という短い期間であったがI.A.C.の生徒達の綿密なる計画並びにロータリーのご援助のお陰で両国間の学生の交歓と相互理解に於て、予期された以上の成果があったように思われる。この様な生きた勉強をする機会が再び訪れる事を願う次第であります。

新ポール・ハリス・フェロー誕生

ロータリー財団から7月31日付、川崎友正君

(高槻R.C.)、8月15日付、隅谷信二郎君(高石R.C.)、北本佐一郎君(摂津R.C.)8月25日付池田治良吉君(大東R.C.)にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。おめでとうございます。

世界のロータリー

1972年8月24日現在、国際ロータリーは、149の国家及び地理的地域に15,400のロータリー・クラブ、約723,000人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降国際ロータリーに加盟した新クラブは、16か国より30クラブです。

◇1972—73年度版公式名簿の郵送

1972—73年度版公式名簿は各地区ガバナー及び各クラブ会長宛に郵送されました。個人で名簿を購入されたいかたは直接 R. I.事務局へご注文下さい。各部\$1.50です。

◇訂正

月信第2信9頁に記載致しましたガバナー雑報のうち、在日国際ロータリー各種委員と報告いたしました、日本ロータリー連絡委員会の誤りでしたので訂正致します。

7月出席報告のうち、10位大阪南は大阪阪南の誤りでしたので訂正致します。

◇公式訪問日程変更

都合により門真R.C.は9月21日(木)を11月30日(木)に、また大阪阪南R.C.は10月24日(火)を12月5日(火)に変更させて載きます。

1971～72年度各クラブ別ロータリー財団寄付額

寄付額の表示単位米ドル (1972年6月30日現在)

	クラブ名	70年12月 末会員数	71年12月 末会員数	71-72年度 寄 付 額	寄付額累計	71年6月末 パーセント	72年6月末 パーセント	次のパーセン トへの必要額
A	有 田	49	51	585.34	3,329.24	500	600	240.76
D	大 東	35	39	1,500.64	4,445.57	900	1,200	624.43
G	御 坊	62	62	1,444.03	3,734.53	400	600	605.47
H	橋 本	57	57	526.27	2,280.03	300	400	569.97
	東 大 阪	58	59	1,524.41	5,224.13	700	900	675.87
	東 大 阪 東	40	42	410.03	2,610.91	500	600	329.09
	東 大 阪 中	—	—	—	—	—	—	—
	枚 方	53	51	549.04	2,193.52	300	400	356.48
I	茨 木	51	58	1,006.21	5,210.05	800	1,000	1,169.95
	池 田	51	54	2,906.42	5,739.92	600	1,100	740.08
	和 泉	61	60	1,902.33	6,009.09	700	900	590.91
	泉 大 津	71	74	545.03	3,549.55	400	400	150.45
	泉 佐 野	57	51	368.54	3,472.92	500	600	97.08
K	門 真	25	25	280.00	1,000.02	300	400	249.98
	海 南	56	58	446.00	2,793.03	400	400	106.97
	貝 塚	54	53	542.80	2,471.67	400	400	178.33
	河 内 長 野	57	56	501.83	3,916.61	500	600	3.39
	岸 和 田	59	58	486.03	3,247.83	400	500	232.17
	粉 河	27	29	368.73	1,299.88	300	400	150.12
M	松 原	47	51	1,676.75	3,788.59	400	800	801.41
	箕 面	30	32	674.71	1,493.76	300	400	106.24
	守 口	51	53	53.00	2,674.34	500	500	505.66
N	那 智 勝 浦	34	34	428.00	3,917.49	1,000	1,100	162.51
	寝 屋 川	25	28	390.01	1,117.50	300	400	282.50
O	大 阪	291	300	10,376.65	34,537.64	800	1,100	1,462.36
	大 阪 東	87	97	6,987.54	17,073.50	1,200	1,900	2,326.50
	大 阪 阪 南	50	62	2,010.25	3,319.32	300	600	1,020.68
	大 阪 東 淀	27	40	486.12	1,213.07	300	400	786.93
	大 阪 城 南	44	50	780.66	2,212.41	400	500	787.59
	大 阪 柏 原	24	25	450.09	960.13	200	400	289.87
	大 阪 北	161	167	4,726.08	15,870.96	700	900	897.04
	大 阪 西 北	49	53	224.02	1,624.12	400	400	1,025.88
	大 阪 心 齋 橋	28	31	1,041.64	1,331.66	100	400	218.34

クラブ名	70年12月 末会員数	71年12月 末会員数	71-72年度 寄 付 額	寄付額累計	71年6月末 パーセント	72年6月末 パーセント	次のパーセン トへの必要額
大 阪 南	154	153	1,364.94	9,468.41	500	600	1,241.59
大 阪 西 南	64	73	1,834.24	4,516.44	600	700	1,323.56
大 阪 住 吉	74	72	3,292.57	7,283.72	600	900	636.28
大 阪 天 満 橋	55	61	1,449.42	5,251.63	700	900	848.37
大 阪 西	93	93	2,239.01	6,559.05	500	700	880.95
大 阪 淀 川	68	68	1,482.53	4,377.31	400	600	382.69
S 堺	114	112	4,006.95	18,105.79	1,300	1,500	934.21
堺 東	—	—	270.02	270.02	—	—	—
堺 泉 北	—	—	674.21	674.21	—	—	—
堺 南	67	71	4,573.93	10,802.15	900	1,600	1,267.85
堺 東 南	35	35	1,416.62	3,153.47	500	900	346.53
泉 南	—	30	350.02	350.02	—	100	249.98
摂 津	22	32	498.52	1,208.57	300	500	711.43
新 宮	51	53	733.06	2,972.98	300	500	207.02
白 浜	41	40	289.48	2,109.94	400	500	290.06
吹 田	60	61	548.29	3,233.91	400	500	426.09
T 高 石	43	47	1,544.54	2,817.63	300	600	472.37
高 槻	54	51	159.01	2,618.03	400	500	441.97
田 辺	67	70	540.31	4,142.39	500	600	757.61
富 田 林	55	58	3,382.02	5,215.36	300	900	584.64
豊 中	52	57	2,476.06	5,657.99	600	1,000	612.01
豊 中 北	—	—	330.03	330.03	—	—	—
豊 中 南	28	33	86.00	1,279.08	400	400	380.92
W 和 歌 山	96	94	4,969.65	12,110.17	800	1,200	109.83
和 歌 山 東	77	76	1,358.14	7,883.21	800	1,000	476.79
和 歌 山 南	60	59	981.63	8,656.79	1,500	1,500	783.21
和 歌 山 東 南	25	33	555.17	1,055.21	—	400	594.79
Y 八 尾	52	56	871.18	3,304.27	500	600	615.73
合 計	3,495	3,548	88,476.75	289,070.77			

注、表示の「次のパーセントへの必要額」は71年度12月末会員数による。

8 月 出 席 報 告

(Attendance Report for August)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	大阪西南	5	75	-	100.00	1	32	新 宮	5	54	- 1	96.25	14
1	茨 木	5	62	+ 5	100.00	11	33	泉 佐 野	5	53	+ 2	96.23	34
1	東 大 阪	5	57	+ 1	100.00	18	34	大阪心齋橋	4	34	+ 1	96.21	28
1	橋 本	5	56	+ 1	100.00	1	34	泉 南	4	33	-	96.21	13
1	有 田	5	52	-	100.00	55	36	泉 大 津	4	70	- 3	96.01	27
1	枚 方	5	52	+ 2	100.00	1	37	八 尾	5	57	+ 1	95.72	43
1	高 石	5	47	- 2	100.00	1	38	大 阪 南	5	150	- 1	95.68	24
1	和歌山東南	4	36	-	100.00	15	39	池 田	4	52	- 2	95.67	38
9	大阪阪南	5	65	-	99.69	10	40	大阪東淀	4	40	+ 1	95.63	38
10	和 泉	5	63	+ 3	99.67	1	41	堺	5	114	+ 4	95.24	35
11	御 坊	4	55	- 1	99.52	1	41	寝 屋 川	4	42	+ 3	95.24	37
12	和歌山東	5	76	- 2	99.46	9	43	海 南	5	57	- 2	95.09	49
13	撰 津	4	39	+ 2	99.36	30	44	富 田 林	5	61	- 2	95.05	31
14	貝 塚	5	55	-	99.25	38	45	堺 泉 北	4	33	+ 3	94.70	46
15	豊 中 北	4	34	+ 1	98.53	16	46	門 真	5	26	-	94.62	48
16	大 東	5	38	-	98.42	21	47	那智勝浦	4	36	+ 1	94.16	51
17	和歌山南	4	64	+ 2	98.41	45	48	大阪西北	5	57	+ 2	94.04	50
18	豊 中 南	5	39	+ 4	98.38	33	49	箕 面	5	32	-	93.75	54
19	大阪天満橋	4	60	-	98.33	17	50	大阪住吉	4	69	- 1	93.48	57
20	岸 和 田	5	58	+ 3	98.25	22	51	白 浜	4	43	-	93.02	53
21	和 歌 山	5	95	+ 2	98.02	23	52	堺 東 南	5	37	-	92.97	58
22	吹 田	5	59	-	97.97	1	53	東大阪東	5	41	- 1	92.68	47
23	大阪淀川	4	70	+ 1	97.82	12	54	豊 中	5	55	- 1	92.22	59
24	堺 南	4	66	-	97.69	44	55	大阪城南	4	48	- 1	92.19	25
24	松 原	5	52	+ 1	97.69	1	56	大 阪 北	5	185	+ 3	91.05	56
26	田 辺	5	70	+ 2	97.26	36	57	高 槻	5	53	- 2	90.83	41
27	大 阪 東	5	100	-	97.14	26	58	守 口	5	56	- 2	90.71	61
28	大阪柏原	4	25	-	97.00	19	59	大 阪	4	301	- 4	88.87	52
29	河内長野	4	59	- 1	96.55	20	60	粉 河	5	30	-	86.00	60
30	大阪西	4	93	-	96.46	42	61	東大阪中	4	30	- 1	83.04	32
31	堺 東	5	27	+ 1	96.30	29							
平均出席率						96.06%	合 計 281 3,748 +22						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

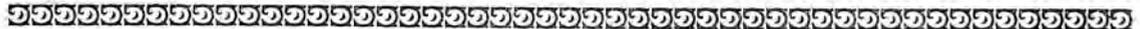


GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大谷 一雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

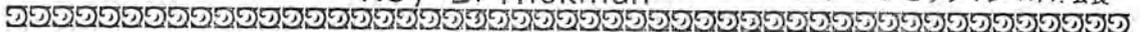
事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 5 信 昭和47年10月15日 ガバナー月信 No.5 October 15, 1972

ヒックマン会長より

さらに会員増強を強く要請さる

親愛なる

ロータリアンの皆様

1972~73年度のプログラムに於て、私は次のように強く要請しております。各ロータリアンが1人の会員を推薦し得るかどうか自問自答して頂くよう求めました。皆さん方の殆んどの方は出来ると答えられるだろうと確信します。ロータリー・クラブの在る地域社会においては、会員の資格のある方がおられるはずで、我々の活動に喜んで参加して頂き、機会があるならロータリーに貢献でき得るでしょう。全ロータリアンは、その所属するクラブ強化の責務を負っており、このために最も効果的な方法は、会員の有資格者を個々に見付け出すことです。その人達はロータリー・クラブの活動的な会員になり、本年はそういった人々に多く参加していただくことです。早



ければ早い程良いのです。ロータリーが社会的にも、国際的にも強力な力あるクラブとして存続するために、会員増強により力とバイタリティーを維持することから繁栄するでしょう。

我々の最初にやるべきことは、クラブ活動において「もう一度見直そう」ということです。我々の堅実なプログラムは、どんな分野での奉仕も確実に遂行し、成功させるでしょう。

我々のクラブをより大きく、より効果的な団体に創り上げることに参加することを決意し直ちに実行に移して頂きたい。

以上は1972年8月14日付国際ロータリー会長ロイ・D. ヒックマン氏より全地区ガバナーに対し、会員増強に関する特別メッセージでありました。



公式訪問半ばを過ぎて

(早退防止について)

ガバナー 大 谷 一 雄

7月19日から始まった公式訪問もようやく半ばを過ぎた。この間、訪問した33のR.C.から頂いたご厚情と色々な有益な示唆について心からお礼申し上げます。

各クラブはいずれもその個性と特色を持ってロータリー活動に励み、そして大きく発展しておられますが、その間、感じたことの第一は、今年の R. I. 会長のターゲット "Let's take a new look!" というのをよく理解し、これをあらゆる奉仕に取入れられようとする努力がありました。

次は、いずれのクラブも親睦こそ奉仕活動の基礎であるとしてこれに努め、特に社会奉仕、



青少年活動、国際奉仕に見るべきものがあり、またロータリー財団への関心も高まりつつあることでありまして心強い限りでありました。

出席については、いずれのクラブも非常に良好で、この点についてはほとんど問題はなかったが残念なことには、一部クラブ例会において早退が非常に多いことでありました。和歌山、堺、豊中および枚方地区においてはまず早退者は皆無といってよかったが、大阪地区の一部においてはその成績必ずしも良好ではなかったのであります。まず私のホームクラブの大阪西 R. C. は公式訪問の当日90名のビジターがあっ

たが、諸報告が一段落したとき40~50名の人がぞろぞろと退席した。大阪心斎橋 R. C. は当日41名のビジターがあったが約20名の人が早退した。大阪西南 R. C. はビジターが少なかったが、それでも10名以上の人が早退をし目についたのであります。大阪南、北各 R. C. もビジターが多いので相当数早退するかと想像しましたが、ビジターがそれぞれ44名、60名あったにもかかわらず退席するものは7~8名にすぎなかったのは寧ろ意外でありました。地方に殆ど早退がなく、市内のクラブに早退が多いのはビジターが多いということにもよるが、やはりビジターそのものの心構えにもよるものと思われます。私はクラブに入会する時、出席については喧しく教育されるが、早退についてはあまり喧しく教育されないのではないかと思います。今後ロータリー情報によって教育する時、早退防止について十分に教育し、"knife and fork member" と言われたり、"食い逃げ会員" と言われたりなどしないように注意しなければならないと思います。大阪市内の R. C. は例会ごとに早退者の統計をとってその防止法について真剣に考えなければならないのではないのでしょうか。

早退防止について「ロータリーの友」8月号に有益にして興味ある記事が記載されているのでここに転記し、ご参考に供したいと思えます。

それは新潟の渡辺厳一さんの記事であります。これによれば次の通りです。

恥を話すようだが、われわれ新潟クラブの例会をみていると、「所定時間の最小限60パーセント」を過ぎるか過ぎない時刻になれば、参

会者の30パーセントないしそれ以上が退席するのである。これは、豈われわれのクラブばかりではない。新潟市内にある他の二つのクラブでも事情は同様である。

かつてロータリーへ入会する前、私は数回卓話を依頼され、講演したことがある。その都度、ロータリーについての印象が、極めて悪かったことを告白しなければならない。それは、私の講演に先だって、退席者の数の高いのが、まざまざと目に映ったからである。こちらでは、地元の名士諸氏に話をするのだということで、多忙な時間をさき、多少は資料も調べた上、原稿を作って出席するのである。ところが、愈々出番がきて、中央の演台の前へ進みでようとする頃、堂々と退席されるのには、いささか閉口せざるをえなかった。「お前さんの話など聞くほど暇人ではない」ともとれる態度に遭遇しては、罪なくして横ッツラヘビンを喰らった気持である。そこで、「二度とロータリーで話などしてやるか」と心に決めたのも、あながち私一人ではなかったであろう。おまけに、帰りぎわ、風呂敷一枚を恭しくくだされては、何をか云わんやである。

(中略)

上述のような経緯があって会長に就任した私は、早速、早退防止にとり組んだ。そして、早退防止の標語を募集し、例会が始まっていよいよ卓話へ移行する直前に、優秀標語一編ずつを、会長自ら大声で朗読し、併せて作者を紹介することにしている。爾来、早退者が目にみえて減少したことは、予期したとおりである。ピジターの数名を除いて、少くとも個有の会員で、早退するものはなくなった、と云うも過言ではあるまい。

そして渡辺氏は「ロータリーの友」8月号に次の標語を載せておられる。

みんなで聞こう終りの点鐘

早退は、楽しいムードの足をひく

早退は、すまいと誓う善意から

例会と卓話で磨く一時間

つとめよ出席、するな早退

話し手の身になって聞くロータリー

年次大会への誘い

当 366 地区の年次大会は、ご承知の如く明年 3 月 3 日、4 日大阪西 R. C. のホストのもとにフェスティバルホールにおいて開催されます。私はこの大会に、できるだけ多くのロータリアンが参加することを切望して止みません。すでにガバナー月信第 4 信においてご承知のとおり R. I. 会長代理として E. G. Breitholtz 夫妻が臨席されます。E. G. Breitholtz 氏は昨年 "Good will begins with you" というターゲットをもって我々を指導してくれた人があります。当地区としては誠に光栄といわなければなりません。もちろん大会第 1 日には同氏の講演、第 2 日目には R. I. 概況報告があります。そして同氏ご夫妻の歓迎、その他についてはいづれ詳細をご通知申しあげる筈であります。このような次第故できるだけ多くのロータリアンに参加していただきたく、また第 2 日も休むことなく同数の出席を希望いたします。

従来例によれば、大会第 1 日目の人数は、第 2 日目には半数以下に減ずるのが常であって誠に寒心すべき状態でありました。ロータリーの交換学生として外国へ行った人の話によりますと、アメリカでは第 1 日目も第 2 日目、さらに第 3 日目の大会にも殆ど人数の増減がなく、また去る 9 月 23 日、24 日開催された北海道の年次大会においても、両日ともに人数は殆ど変らなかったと尾形 P.G. が言っておられます。況や、この度は E. G. Breitholtz 夫妻がご列席下さるので、両日共に出席する御心構えをもって参加されることを心よりお願いして止みません。

財団法人ロータリー

米山記念奨学会評議会開催さる

昭和47年度米山記念奨学会定時評議員会が8月25日東京で開催され、その議事録は各クラブ会長宛通知されたと思いますが、念の為、その要点を記載すれば、募集人員は130名から140名となり、奨学金は一人当たり30,000円より35,000円に増額されました。

以下参考までに、昭和48年度奨学生募集要綱を記載いたします。

I. 応募資格（下記の資格にすべて該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、アジアその他のロータリークラブ所在国から、日本に修学または研究のため来日し、在留している男女。
2. 大学院課程在学者または同課程相当の研究に従事する者を優先詮衡し、大学院不在の地域または特に優秀と認められる場合には学部在学者も詮衡の対象とする。
3. 他の奨学金を受けていない者。
4. 国際理解と親善に関心を持ち、貢献を期する者。

II. 奨学金の条件

1. 奨学金は月額¥35,000とし、他に学会出席旅費等を補助する。
2. 奨学金は原則として2年以内とし、在学する課程を修了するために必要な場合は、2年の奨学金支給期間終了の時点に於て詮衡により奨学金支給期間を延長することがある。
3. 病気その他の事由により修学または研究を継続する見込のない場合、修学または研究の指導担当者から修学または研究の継続に不適合と認められた場合、素行不良なる場合、ロータリーの目的に著しく違反し、或はロータリーの名譽を傷つけたと認められる行動した場合は奨学金の支給を停止する。

III. 詮衡

1. 詮衡は学業、人格、その他を対照に実施し、応募者の指導教官の推薦内容を参照する。
2. 詮衡試験（面接）は昭和48年3月中旬に各地区に於て行う。
3. 詮衡の結果は応募者全員に書面で通知する。

IV. 応募方法

1. 応募者は所定の用紙に所要事項を記載し、写真（上半身5×3.5cm）2枚同封し（1枚は所定の位置に貼付し、1枚は貼付せず、裏面に記名のこと）を下記に持参または郵送して申込むこと。郵送の場合は書留郵便とすること。

〒100 東京都千代田区大手町2-3-6
タイム・ライフビル11階
財団法人ロータリー米山記念奨学会
電話 (03) 241-5911

2. 在日ロータリークラブを経由提出する場合は当該クラブの幹事の署名を求め、且つ推薦状を添付すること。
3. 申込書には下記を添付する。
イ)学業成績表 ㊦指導教官の推薦状
㊧履歴書及び身上書（所定用紙使用のこと）
㊨健康診断書 ㊩可能なる場合、応募者を熟知する者の推薦状（ロータリー会員を含む）
4. 応募は昭和47年11月30日消印のあるもので有効、その後は受付けない。

地区財団推進小委員会便り

（財団週間への準備）

地区財団推進委員長 阪田 靖人

- ① R. F. 管理委員会での1973-74学年度のR. F. 奨学金受領者選考会の結果、当366地区より申請した候補者下記5名は何れも志望通りの課程で認められ、9月1日付でハリー・スチュワート事務総長よりその旨それぞれに通達されております。選ばれた諸君に心から祝福を送りま

に地区世界社会奉仕委員会の方へ報告願ひ、更めてグループによる活動計画を立て実施する。

ローターアクト・クラブ活動報告

地区ローターアクト委員長 世戸一夫

8月15日(火)

第1回地区委員会開催 於：八尾 R.C.

9月17日(日)

第2回和歌山地区 RAC 連絡会

10月19日(木)

第8回大阪府下 RAC 連絡会

於：守口 RAC

10月25日(水)

ホンコン RAC 前会長 Dominic Lee 君の歓迎会を、大阪 YMCA で、大阪南 RAC 主催で開催

第366区 RAC の新役員名、事務局一覧表(大阪、堺、池田は次信にて報告予定)及び大阪府下、和歌山県下の RAC 連絡員は次の通りです。

第366地区 RAC 各クラブ役員名

クラブ名	役員名
守口 RAC	会長 高須 亮 副会長 松岡 信昭 幹事 池上 禎剛 三洋電機健保会館 守口市京阪本通2-22 (06) 993-0010
有田 RAC	会長 山本 剛司 副会長 口井 由三子 幹事 中谷 桂三 紀陽銀行箕島支店 有田市箕島431 (07378) 3-2131
御坊 RAC	会長 田端 俊一 副会長 竹田 八重子 幹事 岸野 晃一

紀州信用金庫内
御坊市御坊148

(07382) 2-4031

大阪南 RAC 会長 福田 勇
副会長 先山 伴子
幹事 菱川 良夫
大阪YMCA内 大阪南RAC
西区土佐堀

(06) 441-0892

和歌山 RAC 会長 浜口 準一
副会長 橋爪 みや
幹事 広井 五十二
和歌山経済センター
和歌山市西汀町1

(0734) 23-9031

大阪北 RAC 会長 今泉 允利
副会長 高丸 博次
幹事 鳴尾 登
淀川善隣館

大淀区本庄中通2-33

(06) 372-1331

◎ 大阪府下連絡 代表(生駒幸子)
安宅産業人事部長室 (06) 445-0380

◎ 和歌山県下連絡 代表(金川光博)
有田市箕島874 (07378) 2-2430

◎公式訪問日程変更

都合により泉佐野 R.C. は11月2日(木)を、12月7日(木)に変更させて戴きます。

◎国際大会事務局の開設

1973年国際大会事務局が、1973年1月上旬、スイスのローザンヌに開設されます。よってその後の国際大会に関連する通信(但し宿泊に関するものを除く)は、すべて下記宛に発信願います。

Rotary International Convention Office
Palais de Beaulieu

東大阪 R. C. 創立15周年記念事業

東大阪 R. C. では、東大阪消防本部へ創立15周年記念事業として救急車の贈呈が決定されていたが、このほど救急車の現品ができ上り、9月6日の例会で、消防本部長池知三郎氏へ、福本清式典委員長より贈られた。

東大阪市では、毎月700~800件の救急患者が出て要員が苦勞しているだけに、職員の士気も盛りひいては、市民奉仕の原動力にもなると、消防本部長の謝辞があった。

(幹事 石橋 皓)



第1回世界社会奉仕委員会報告

場 所 新大阪ホテル
 開催日 1972年9月13日(水)
 出席者 原田、玉置、住吉、田宮各委員、森P. G.、松本地区幹事

1. 昨年実施せしもの、また他地区の提携先は避けることとして、14プロジェクトのデータを請求した中より予め、塚本バスター・ガバナーに選択願った7データを検討することとする。

2. 第366地区の61クラブを一応次の4地域に分割する。

大阪市内、北摂一大和川
 大和川一和歌山県境
 和歌山県下

この場合(7月現在)

A. 大阪市内 14クラブ 1,343名

B. 北摂一大和川 18クラブ 816名
 C. 大和川一和歌山県境 16クラブ 849名
 D. 和歌山県下 13クラブ 722名

61クラブ 3,730名

3. 北摂一大和川は、田宮委員
 大和川一和歌山県境は、住吉委員
 和歌山県は、玉置委員
 大阪市内は、大植・原田両委員
 以上の如く担当する。
4. 北摂一大和川、吹田クラブ
 大和川一和歌山県境、岸和田クラブ
 和歌山県、和歌山クラブ
 以上、世話役クラブとなっていた。
5. 会員多数のクラブは単独実施をお願いする場合もある。
6. 大和川一和歌山県境の地域は、プロジェクトNo.1,082(台湾埔里R.C.)をとり上げる。
 和歌山県下は、プロジェクトNo.458(韓国釜山南R.C.)を検討する。
7. 1カ月間で各グループは立案の上、委員会に報告し、その後速やかに委員会を開催する。この委員会には世話役クラブより関係者の出席を願う。
8. 現在入手のデータ不適當の場合は更にプロジェクトの中より選んで、データを請求し、年度内に、全クラブ、全会員の世界社会奉仕を完了すべく努力する。

9月30日(土)14時 開催の大輪幹事会(ホスト大阪心齋橋クラブ)に森寿五郎地区国際奉仕総括担当、原田世界社会奉仕委員長出席、種々討議の結果、Aグループ(大阪市内14クラブ)に関しては、各クラブがそれぞれ提携している主として第376地区の姉妹クラブ、マッチドクラブを対象に、独自の世界社会奉仕活動計画を樹立し、各クラブ独自の立場に於て実施することに決定した。

なお創立間のないクラブ等に於て、如何しても単独に実施見込の立たない向きは、11月末迄

て世界中の候補者から財団管理委員会の選んだ35名の優秀な教師達が外国へ派遣されることになっております。上記の中村君はその内の1人です。更にこの計画は拡大され、1974—75年度は50名に増加されています。この教師候補者の選考は一括して管理委員会で行われますが、各地区から2名以内の候補者の推薦が出来ます。

猶これは日本のロータリーには直接に関係はありませんが、財団活動拡大の一環として同じく昨年発表された奨学制度に、開発途上の国々からのみ25口の枠外専門的訓練補助金が設けられております。(74—75年度は50口)

また研究グループ交換補助金も年々拡大の一途を辿り、1972—74年度の交換に31カ国で76地区が参加して、70口の交換補助金が支給されております。この年度の当地区の相手地区はカナダの第536地区で、公式名簿によりますと41 R. C. で、会員数2,427名となっており、来年3月に団長他5名の団員が当地区へ来訪の予定になっております。

これ等補助金の額に就いては、25年前の第1回奨学補助金は18名に対して4万ドル支給されましたが、その後の物価騰貴、為替相場の変動などで、現在は1口恐らく5千ドルを超すものと考えられます。それによって往復旅費、一定限度の見学旅行費、教育費全額を賄うのでありますが、ロータリー財団活動の場合は、他の奨学制度では見られないロータリアンの顧問が受入国で委嘱され、勉学年中万事の指導、援助に当り、多くのクラブやロータリアンに紹介その他一切の面倒を個人的に見て貰える利益などを考えれば、受入れ地域の経済的負担も馬鹿にはならないと思います。

研究グループ交換補助金はエコノミー・クラスの見学航空運賃が財団から支給されますが、受入地区内の宿泊及び輸送は受入地区が提供することになっております。

④ 財団支援の重要性とその方途

元来ロータリー財団は各国の国民間に理解と友好関係を増進する目的を以って、博愛、慈善、教育的性質をもつ確実、且つ効果的な企画として、1947年以来奨学金制度を採用して、成功裡に拡大継続して来ております。この事実は明日の人類への偉大な投資の確実性を証明するものでありまして、広くロータリアン以外の人々からの献金をも勧奨している所以であります。本年のヒューストン国際大会で、第4回ポール・ハリス・フェロー年次昼食会が催され、ホッジス財団管理委員長を中心に360名の交歓がありました。この360名の最年長者は92歳のお爺さん、最年少者は15歳のお嬢さんで、ご兩人共に1971年のポール・ハリス・フェローでありました。当地区でも前年度に2名の婦人のポール・ハリス・フェローが生れております。斯様な多彩な財団支援による献金をも含めて、各R. C. は効果的な財団週間行事によって、ロータリーの偉大なこの事業活動を守り立てねばなりません。

財団活動への財団委員会の責務は、地域社会に財団の計画やその偉業を周知せしめ、財団発展のためにクラブと個人とを問わず献金をも含めて財団支援に寄与し、併せて管理委員会の選考にパスするような優秀な奨学金受領候補者を推挙することにあります。

⑤ 各クラブへお願い：(イ)文献事務所より届いている筈の財団週間用資料を充分活用(ロ)「ロータリー財団の友」の認証済のR. C. は16に過ぎません。残りの45 R. C. はこの機会に“1218—J”に抛り、ご参加の上、一応形を整えて下さい。(ハ)各クラブ、各個人の財団寄付額の集計に、時偶誤が発見されます。間違いを早期発見するために、送金の受領証をその都度、必ず内容を精査するようにご協力願います。

すと共に、心身を整えて「善意の使節」としてスポンサー達の期待に充分応えて頂きたいと念願致します。

授与区分	氏名	学 歴	推薦 R.C.
大学院課程	武市 顕義	一橋大学	大 阪
” ”	深谷 秀夫	阪大経	大阪西
大学課程	村上 節子	阪大文	堺 南
専門的訓練	立石カヨ子	静岡薬大 阪大病院	東大阪
教 師	中村 忠雄	京教育大 養護学校	高 槻

この教師を除いた4名の内、3名は1970—71年度の当地区の財団支援寄付額が会員1人当たり平均\$17に達したことに對する賞与的な追加奨学金を授与される特典に基づいた所産であつて、更に1974—75年度には後記のように4口の追加奨学金が認められることになっております。

② 「改訂ロータリー財団便覧」の修正

愈々ロータリー財団週間(11月12—18日)が1ヶ月後に迫つて来ました。各クラブに於かれまして、それぞれに効果的な週間遵奉の準備にご奉仕のことと敬意を表しております。就きましては、曩に配布しました「改訂ロータリー財団便覧」を“もう一度見直して行動し”て頂くための絶好のこの機会に、新しく入手しました資料に基づき、下記の通りご修正をお願い致します。

(イ) 2頁左欄15—24行目(Ⅱ. 財団事業活動と教育補助金支出の項)

1972—73年度 746名 2,336,643ドル

以上の経過を辿り、財団活動開始以来1972—73年度までの補助金授与概算は下表の通り

区 分	受領者数	授与額
大学院課程	3,195名	9,884,540ドル
大学課程	290 ”	1,048,296 ”
専門的訓練	267 ”	1,119,411 ”
研究グループ	1,704 ”	2,329,913 ”
特別補助金		146,245 ”
合 計	5,456 ”	14,528,405 ”

(ロ)Ⅲ財団支援の推移と寄付の表彰の項の内、右欄14行目より24行目までを抹消し、下記を挿入する。

1971—72 3,448,544ドル 40.1%増

斯様に1971—72年度の財団寄付総額は未曾有の増加率で膨れ上り、会員1人当たり平均寄付額も前の年の3.61ドルを突破、5ドルに達し、地域別支援状勢も次表の通りであります。

	1970—71年	1971—72年	増加率
ア ジ ア	\$ 800,439	\$ 1,163,392	45.3%
豪・ニュージーランド、アフリカ、その他	136,369	195,546	43.3
欧大陸、北アフリカ、地中海東部	170,846	258,904	51.5
大英及び愛蘭	83,535	99,139	18.7
中南米、メキシコ、アンチル諸島	94,732	101,604	7.2
米国、カナダ及びバーミューダ	1,175,492	1,629,959	38.7
合 計	2,461,463	3,448,544	40.1

前便でお知らせしました通り1971—72年度の日本のロータリアン及びロータリー・クラブからの寄付金額は、上表アジア地域寄付総額の84%に當る\$980,408で、会員1人当たり平均19.05ドルの計算になります。就中会員1人当たり平均寄付額21ドルの第351地区、35.50ドルの第358地区、48.60ドルの第359地区、及び26.20ドルの当第366地区の4地区が、1974—75年度に4口の追加奨学金受領の特権を与えられる実績を挙げたのであります。

(ハ)R財団奨学生と奨学金申請の項の内、3頁右欄の申請資格一覧表の中で、教師の欄の年齢の項に「21—35」とあるのが改正され、本年度のR.C.への申請期日、即ち1973年3月15日現在にて「25—50」歳と成りました。ご訂正願います。

③ ロータリー財団の新プログラム

ご承知の通り心身障害者教師奨学金制度は昨年発表され、明1973年第1回の教師留学生とし

1002 Lausanne, Switzerland

同事務局の電話番号は (021) 21 31 11 で、電報略号は次の通りです。

INTEROTARY LAUSANNE
(Switzerland)

尚、宿泊施設の予約、変更、取消し、予約の確認など宿泊に関連する通信は下記宛に発信願います。(ガバナ―月信第4信に記載済み)

Rotary Housing Bureau

Palais de Beaulieu

1002 Lausanne, Switzerland

◎新ポール・ハリス・フェロー誕生

岩 木 年 中 君 (大阪東 R. C.)
濱 本 吉世輔 君 (高 槻 R. C.)
平 岡 静 人 君 (高 石 R. C.)
飯 坂 辰 一 君 (和 泉 R. C.)
大 井 治 君 (箕 面 R. C.)
背 尾 主 計 君 (大阪東 R. C.)

◎1973年大会公式宿泊申込書の郵送

1973年国際大会の公式宿泊予約申込用紙と早期登録用紙は、世界中のロータリアンが、ローザンヌのロータリー宿泊準備事務局へその申込みと予約金を送付するのに、大体同等の期間をもつことができるように、ローザンヌからの距離に従って遠隔の地域より一定の間隔をおいて、1972年10月中に郵送されます。公式宿泊予約申込用紙並びに早期登録用紙を使用されなかったならば、ロータリー宿泊準備事務局は、“先着順”に部屋の割当をする公式な申込みとしては受けませんからご注意ください。

◎世界のロータリー

1972年9月22日現在、国際ロータリーは、149の国家及び地理的地域にわたり、15,424のロータリー・クラブと約723,000人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降26カ国より56の新クラブが国際ロータリーに加盟しました。

各クラブ別ロータリー

	クラブ名	71年12月 末会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A	有 田	51	151.98	3,481.22	600	88.78
D	大 東	39	140.99	4,586.56	1,200	483.44
G	御 坊	62	65.99	3,800.52	600	539.48
H	橋 本	57	—	2,280.03	400	569.97
	東 大 阪	59	111.98	5,336.11	900	563.89
	東 大 阪 東	40	40.96	2,651.87	600	148.13
	東 大 阪 中	30	529.95	529.95	* 100	70.05
	枚 方	51	50.00	2,243.52	400	306.48
I	茨 木	58	185.98	5,396.03	1,000	983.97
	池 田	54	—	5,739.92	1,100	740.08
	和 泉	60	1,540.87	7,549.96	** 1,200	250.04
	泉 大 津	74	—	3,549.55	400	150.45
	泉 佐 野	51	66.99	3,539.91	600	30.09
K	門 真	25	—	1,000.02	400	249.98
	海 南	58	57.99	2,851.02	400	48.98
	貝 塚	53	184.98	2,656.65	* 500	523.35
	河 内 長 野	56	59.99	3,976.60	* 700	503.40
	岸 和 田	58	485.95	3,733.78	* 600	326.22
	粉 河	29	30.00	1,329.88	400	120.12
M	松 原	51	101.64	3,890.23	800	699.77
	箕 面	32	100.00	1,593.76	400	6.24
	守 口	53	55.99	2,730.33	500	449.67
N	那 智 勝 浦	34	35.00	3,952.49	1,100	127.51
	寝 屋 川	28	12.00	1,129.50	400	270.50
O	大 阪	300	617.43	35,155.07	1,100	844.93
	大 阪 東	97	835.55	17,909.05	1,900	1,490.95
	大 阪 阪 南	62	75.99	3,395.31	600	944.69
	大 阪 東 淀	40	164.34	1,377.41	400	622.59
	大 阪 城 南	50	48.00	2,260.41	500	739.59
	大 阪 柏 原	25	25.00	985.13	400	264.87
	大 阪 北	167	300.00	16,170.96	900	529.04
	大 阪 西 北	53	384.96	2,009.08	400	640.92
	大 阪 心 齋 橋	31	—	1,331.66	400	218.34
	大 阪 南	153	299.97	9,768.38	600	941.62
	大 阪 西 南	73	—	4,516.44	700	1,323.56

財団寄付額

* 印は本年度期初より上昇したクラブ (*ひとつは100%)
寄付額の表示単位米ドル (1927年8月31日現在)

	クラブ名	71年12月 末会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
O	大阪住吉	72	69.99	7,353.71	1,000	566.29
	大阪天満橋	61	—	5,251.63	900	848.37
S	大阪西	93	—	6,559.05	700	880.95
	大阪淀川	68	69.00	4,446.31	600	313.69
	堺	112	329.97	18,435.76	1,600	604.24
	堺東	27	26.00	296.02	* 100	243.98
	堺泉北	29	279.97	954.18	*** 300	205.82
	堺南	71	384.99	11,187.14	1,600	882.86
	堺東南	35	37.00	3,190.47	900	309.53
	泉南	30	33.00	383.02	100	216.98
	摂津	32	1,000.00	2,208.57	* 600	31.43
	新宮	53	52.99	3,025.97	500	154.03
T	白浜	40	—	2,109.94	500	290.06
	吹田	61	58.99	3,292.90	500	367.10
	高石	47	446.91	3,264.54	600	25.46
	高槻	51	1,187.98	3,806.01	** 700	273.99
	田辺	70	107.99	4,250.38	600	649.62
	富田林	58	370.22	5,585.58	900	214.42
	豊中	57	152.99	5,810.98	1,000	459.02
	豊中北	31	82.99	413.02	* 100	206.98
	豊中南	33	35.00	1,314.08	400	335.92
	W	和歌山	94	92.99	12,203.16	1,200
和歌山東		76	151.98	8,035.19	1,000	324.81
和歌山南		59	211.99	8,868.78	1,500	571.22
和歌山東南		33	395.96	1,451.17	400	198.83
Y	八尾	56	59.99	3,364.26	600	555.74
	合計	3,663	12,399.36	301,470.13		

注：8月31日現在とありますが、実は7月中の財務代行者を通じての寄付送金は、1ヶ月分を取りまとめてエバンストンで事務処理されますので、寄付額の数字は1ヶ月後れとなります。

1972年9月 出席報告

(Attendance Report for September)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	大阪西南	4	75	-	100.00	1	32	貝塚	4	55	-	95.84	14
1	大阪阪南	4	69	+4	100.00	9	32	寝屋川	4	42	+3	95.84	41
1	茨木	4	62	+5	100.00	1	34	池田	4	52	-2	95.67	39
1	和泉	4	63	+3	100.00	10	35	大阪東淀	4	40	+1	95.63	40
1	御坊	4	55	-1	100.00	11	36	富田林	4	61	-2	95.42	44
1	枚方	4	53	+3	100.00	1	37	大阪南	4	150	-1	95.27	38
1	和歌山東南	4	37	+1	100.00	1	38	田辺	4	69	+1	95.00	26
8	東大阪	4	57	+1	99.55	1	39	新宮	4	53	-2	94.81	32
9	摂津	4	41	+4	99.38	13	40	豊中東	4	55	-1	94.55	54
10	大阪淀川	4	73	+4	99.27	23	41	東大阪東	4	41	-1	94.51	53
11	吹田	4	60	+1	99.17	22	42	和歌山南	4	64	+2	94.44	17
12	松原	4	52	+1	99.04	24	43	門真	4	26	-	94.23	46
13	岸和田	4	58	+3	98.69	20	44	海南	4	63	+4	93.65	43
13	大東	4	38	-	98.69	16	45	泉南	4	33	-	93.18	34
15	和歌山東	4	76	-2	98.66	12	46	大阪北	4	185	+3	92.98	56
16	堺東南	4	36	-1	98.61	52	47	堺	4	114	+4	92.73	41
17	和歌山	4	97	+4	98.37	21	48	豊中北	4	34	+1	92.65	15
18	大阪天満橋	4	60	-	98.33	19	49	大阪心齋橋	4	34	+1	91.92	34
19	河内長野	4	59	-1	98.27	29	50	東大阪中	4	33	+2	91.74	61
20	橋本	4	56	+1	98.18	1	51	堺東	4	27	+1	91.67	31
21	高石	4	49	-	97.94	1	52	那智勝浦	4	36	+1	91.43	47
22	大阪西北	4	57	+2	97.81	48	53	箕面	4	32	-	91.41	49
23	堺南	4	69	+3	97.80	24	54	大阪城南	4	50	+1	91.00	55
24	大阪柏原	5	25	-	97.60	28	55	堺泉北	4	33	+3	90.91	45
25	豊中南	4	39	+4	97.44	18	56	大阪	4	299	-6	90.86	59
26	大阪東	4	100	-	96.93	27	57	白浜	4	44	+1	90.84	51
27	泉大津	4	70	-3	96.74	36	58	大阪住吉	4	70	-	90.77	50
28	八尾	4	57	+1	96.49	37	59	守口	4	56	-2	90.18	58
29	大阪西	4	93	-	96.47	30	60	高槻	4	54	-1	88.99	57
30	泉佐野	4	53	+2	96.23	33	61	粉河	4	30	-	87.51	60
31	有田	4	52	-	96.15	1							
平均出席率						95.70%	合計 245 3,776 +50						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大 谷 一 雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電 話 06-341-8710

LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!
 Roy D. Hickman ロイ D. ヒックマン R.I. 会長

第 6 信 昭和47年11月15日 ガバナー月信 No.6 November 15, 1972

R. I. 事務総長書翰より

親愛なるロータリアン各位

1972年11月1日

ロータリー・クラブは、そのクラブが奉仕する地域社会の各種事業並びに専門職業の各面を、できる限り広範囲にというよりは、むしろ、ロータリー奉仕を適用する上において、その効力を最大にするために、職業界全体を代表するものでなければなりません。

そしてロータリー活動の分野並びに規模が次第に拡大されるに従い、より多くの会員の力を必要とします。又、今、既にロータリアンになっている全会員の一層活潑な参加、取行を必要とするのであります。このように内部の充実をはかってこそ、ロイ D. ヒックマン会長の全ロータリアンに対する「もう一度見直して行動しよう」という要請を実践に移すことができるのであります。

ロータリーはすべての地域社会において奉仕する多種多様な機会を提供するものです。今こそ、経過した本ロータリー年度の3分の1を、もう一度見直し、残る3分の2の期間における諸計画を再検討すべきであることを各クラブへ思い起こさせる時であります。

ロイ D. ヒックマン会長



堺泉北、堺東 R. C. 合同認証状伝達式



両クラブ合同チャーターナイトは10月17日(火)堺とは程遠い大阪は北、朝日放送南隣りにあるホテルプラザで行われました。これは遠方からの来賓に対する交通の便を考慮のことです。単独のクラブで行われるチャーターナイトとは異なり、合同となると、いろいろ齟齬のないよう細かく再三、打ち合わせが行われ、その緊張も一入でありました。

幸いにして当日は青天に恵まれ、大谷ガバナー、尾形直前ガバナーをはじめ辻本、阪之上両特別代表、小新地区拡大委員、更に、第366地区のクラブだけでなく、遠くは東北、花巻から南は九州大分からの来賓併せ480名による盛大な式典の行われましたことを心から御礼申し上げます。

堺泉北 R.C. は堺南 R.C. をスポンサークラブとして2月10日に、堺東 R.C. は堺 R.C. をスポンサークラブとして4月25日に創立總會を開いたのであります。堺市は人口100万、更に泉北ニュータウンの開発と共にその開発と共にその増加は必至で早くから新クラブの結成が望まれていたようであります。従って両クラブのこれからの発展は約束されたようなものでありますが、この期待にそえるよう大いに努力したいと念願しております。

式典は午後2時から始められ、島敏氏の司会で流れるように進行。2時25分、大谷ガバナーから堺泉北、貝畑会長、堺東、小林会長にそれぞれ認証状がファンファーレと共に渡され、両会長の感激に満ちた表情が印象的でありました。続いてのアトラクションは、堺泉北、家永三郎会員の努力により、日本の誇るテナー歌手五十嵐喜芳を招聘することができ生の美声に酔いしれる

こと約50分。最後に全員合唱による「赤とんぼ」で式典の雰囲気はその極に達した感がいたしました。その興奮もさめないまま祝宴と引き継がれ、アルコールをくみかわし乍ら箏曲に或いは演歌に耳を傾け、更にはラッキーカード抽選と、隙のない企画をされた堺東の酒井、石井両会員の努力に深甚の謝意を表したいと思います。

兎も角生れたばかりのヒヨコでございます。宜しく御指導下さいますようお願い申し上げます。
(堺泉北 R.C. 伊藤篤記)

堺ローターアクト・クラブ認証状伝達式

昭和47年10月22日(日)午後2時より5時迄明治生命ビル堺支社に於て、チャーターナイトが盛大に挙行された。

昨夜来の雨も午前中にくっきりと晴れ上がり秋たけなわの好天に恵まれ、まず堺 R.C. の磯野幹事の司会に依り開会宣言。

- 「君が代」斉唱 全員
- 挨拶 堺 R.C. 飯沼会長
- 経過報告 堺ローターアクト委員会
浅香委員長
- 堺 R.A.C. 会長紹介 堺ローターアクト委員会
浅香委員長
- 堺 R.A.C. 会員紹介 堺 R.A.C. 竈会長
- 認証状授与 堺 R.C. 飯沼会長
- 祝電 堺市長
- 祝辞 第366区 大谷ガバナー
第366区ローターアクト委員会
世戸委員長
- 謝辞 堺 R.A.C. 竈会長
- 記念講演「利休と堺」と題して
美術史研究家 新屋隆夫氏



以上の如く第一部の式典は滞りなく挙行せられ、一旦休憩の間、帝塚山学院大学茶道部のお嬢さん方の奉仕によるお茶席にのどを潤し、玄関前に参加者全員で記念撮影の後、再び会場に於て第2部のレセプションが堺 R.A.C. 副会長の

中川一美さんの美しい声で司会並びに挨拶が始められ、尾形バスター・ガバナーの発声で一同乾杯。楽団の音楽と共に和気あいのうちに各地区から馳せ参じてくれた各 R.A.C. 会長よりお祝や励ましの言葉と共に全員が R.A.C. の歌を斉唱、アトラクションのくじ引きに上がるどよめきもほろよい加減がかわる中に堺 R.A.C. 安尾幹事の閉会の言葉に依り一同帰路に就いた。

この堺 R.A.C. の結成にご尽力頂きました尾形バスターガバナー並びに世戸委員長、堺 R.A.C. 川勝委員に対し厚く御礼申上げると共に、この堺 R.A.C. の発展と育成を祈念してやみません。
(堺 R.C. 神山記)

新宮 R.C. と韓国三千浦 R.C. との 姉妹クラブ締結訪問



昭和47年6月20日に第376区三千浦 R.C. 禹東永会長(現国際奉仕委員長)より姉妹クラブ締結希望と先方国内事情のため出国困難のため、訪韓されたいとの招待状を当クラブが受信いたしました。早速、世界理解週間の行事の一端として当クラブ理事会にて訪韓の正式決定(10/14—10/17) いたしまして、当クラブ尾崎一郎会長以下11名にて10月14日 p.m.12:30 大阪空港発～釜山空港 p.m.13:30 着にて訪韓いたしました。空港では三千浦 R.C. 朴南作会長、李南圭副会長及び第376区林総裁代理、釜山東 R.C. 許宗横会長の出迎を頂き一路三千浦市へ急ぎ(p.m.18:30) 到着いたしました。市の入口にはロータリーマークを飾った歓迎の大アーチを造り歓迎のあたたかい心はひしひしと胸を打ちました。そして例会会場へ案内され約1時間の予定で姉妹クラブ締結式がとり行われました。また式場には近隣クラブより多数来賓のご出席を頂きました。

両クラブ会長の力強い挨拶と締結文書への署名、バナー交換更に両クラブより心のこもる記念品の贈呈式は厳粛と友情に満ちた全く感激そのもので、文字通り肌で感じる国際親善でありました。感激さめやらぬその後、全市挙げての大歓迎パーティーに出席いたし、交杯と歓談は既に10年来の旧知の如き親しきで時の経つのも忘れる思いでした。三千浦 R.C. とは来年4月頃訪日を約束致しました。

(訪韓団長 新宮 R.C. 佐藤馨三記)

西釜山 R.C. 親善訪問記

この度、大谷ガバナーのご方針に則り、当クラブと姉妹関係にある、第376地区西釜山 R.C. に赴き、例会に参加して、親しく親善交歓する計画を樹てました処、西釜山 R.C. の快諾を得ましたので、早速希望者を募り、親善団を編制、中西副会長を団長に会員21名、家族10名にて、10月5日(木)に西釜山 R.C. (例会場、釜山市東洋観光ホテル)を親善訪問、例会に参加して親しく友好交歓の実を挙げる事に成功致しました。



1969年6月、西釜山 R.C. 初代会長朴正寛氏の又同年10月に総務の朴機夏氏の来訪を受けて、姉妹関係を結びました第376地区西釜山 R.C. とは、月々、週報、会員名簿、ガバナー月信、「ロータリーの友」等の贈呈、時々文信、連絡の外は真の親善、友好の成果にみる可きものも無く過ごして参りました。

10月4日(水)午後、釜山空港に到着致しますと、空港には、西釜山 R.C. より朴正寛初代会長を始め、金鍾烈会長、金容彩、朴機夏両副会長、金正坤総務、李元世国際奉仕委員長等多数の会員諸氏とロータリー旗が待ち受け、中西団長に歓迎の花束を贈呈して頂く出迎え振りに、一同深い感激を覚え、心からの歓迎に「来てよかつ

た」というのが、第一印象の様でありました。バスにて古都慶州に赴き、韓国古来の史跡、美術を見学、民情視察を行い、国情と国民性の理解を深めるのに大変役立ちました。

特に10月5日(木)の例会は、我々の為に特例を以って、例会場も大広間に移し、会員夫人20名の参加による合同親睦の例会を開催して頂き、2時間半に亘って、会員一人々々が親しく懇談し、真の心の触れ合いを身を以って味わい私達に払われた細心の心づかいと心暖まるもてなしには一同一入感激をあらたにすると共に、相互理解、友好親善の実を充分あげる事が出来ました。

今、準戦時態勢下にある韓国、我々のすぐ隣りの韓国民の実情を目のあたりに見、肌ふれて唯単に一方的推察や、理想に走るのではなく、友好親善になす可き事を充分勉強する事ができた様に思われます。

今後は年々新たな会員が訪問し、理解度を深め友好親善の成果を高めて行くと共に、韓国の国情にかんがみて、来る第366地区の年次大会には是非共多数の西釜山R.C.会員を招待申上げ、当方に対する正しい理解と認識を附与して、今後の国際親善、真の平和確立の為の一助たらしめんものと念願致す次第であります。

(大阪西R.C. 国際奉仕委員長 松本清)

ロータリー財団奨学生募集ポスター

当地区が各地区ガバナーの依頼を受けて図案を作成しましたR・財団奨学生募集ポスターはすでに各クラブ及び地区内大学学部宛送付いたしました。皆様におかれましては、これを十分に活用されると共にロータリー財団に対する理解を一層深めて頂きたく思います。なお、募集ポスターの予備が十分ございますので、ご入用の向はお申出下さい。お送りいたします。

1973—74年度ロータリー財団奨学生決定

さる9月1日付でR.I.より正式にロータリー財団奨学生として証認された5名を紹介します。

1. 武市顕義 (大学院課程 大阪R.C.推薦)



生年月日 昭和21年8月20日
住 所 大阪市生野区中川町3丁目10番地
学 業 一橋大学商学部卒
専攻希望 経営学
留 学 先 Dartmouth College (U.S.A.)

2. 深谷秀夫 (大学院課程 大阪西R.C.推薦)



生年月日 昭和23年1月16日
住 所 大阪市大正区南恩加島町108番地
学 業 大阪大学経済学部卒
専攻希望 経済学、アジア経済研究
留 学 先 University of Singapore(Singapore)

3. 村上節子 (大学課程 堺南R.C.推薦)



生年月日 昭和26年7月22日
住 所 堺市上野芝町1丁1008番地
学 業 大阪大学文学部在学中
専攻希望 仏文学、仏語学
留 学 先 Université de Besançon(FRANCE)

4. 立石カヨ子 (専門的訓練 東大阪R.C.推薦)



生年月日 昭和19年6月29日
住 所 東大阪市上石切町2-1383
学 業 静岡薬科大学卒
専攻希望 臨床検査(生化学)
留 学 先 Mayo Clinic (U.S.A.)

5. 中村忠雄 (心身障害者教師 高槻R.C.推薦)



生年月日 昭和16年11月12日
住 所 高槻市栄町43-10
学 業 京都府立大学農学部卒
専攻希望 精神薄弱児教育
留 学 先 Pacific State Hospital (U.S.A.)

新ポール・ハリス・準フェロー

ロータリー財団からの連絡によると、本地区における最近までの新ポール・ハリス・準フェローは下記の方々であります。

会員名	クラブ名	寄付額 (単位\$)
岡 重雄君	和泉R.C.	165
谷 宗次君	"	100
石川 義正君	箕面R.C.	200
池田 丑松君	大阪阪南R.C.	100
林 清明君	"	100
大野 定雄君	"	100
岩国 清君	大阪北R.C.	100
宮野 守君	"	100
三橋 祐太郎君	"	300
沖野 忠行君	大阪心斎橋R.C.	100
安藤 俊雄君	"	100
松井 九一君	"	300

萬 満君	〃	100
森 茂君	堺東R.C.	100
佐々木正男君	堺南R.C.	100
堀内 正男君	〃	100
三谷 卓君	〃	100
西 謐君	高槻R.C.	100
西本 博君	〃	100
井上 一二君	富田林R.C.	200
林 薫君	豊中R.C.	100
小谷 高君	豊中北R.C.	100
大原 正蔵君	〃	100
藤本 直君	八尾R.C.	100

以上 24名

本年度追加寄付された準フェロー

氏 名	クラブ名	寄付累計額 (単位\$)
高石 繁之君	茨木R.C.	500
津田 孝蔵君	〃	400
祖父江龍治君	〃	400
石田 住蔵君	松原R.C.	900
山本 師郎君	那智勝浦R.C.	200
羽賀 一郎君	大阪阪南R.C.	200
橋本 和昇君	〃	200
汲川 圭司君	〃	200
新家 正男君	〃	200
井川 定慶君	堺南R.C.	400
山中 静君	和歌山南R.C.	300

以上 11名

☆例会場及び事務所変更通知

泉南R.C.

- 新例会場及び事務所 泉州銀行尾崎支店
大阪府泉南郡阪南町下出45の1
〒599-02 電話 (0724) 72-0601

白浜R.C.

- 新例会場 白良荘グランドホテル
和歌山県西牟婁郡白浜町868番地
〒649-22 電話 (07394) 2-2566

- 新事務所 同ホテル総務部内

那智勝浦R.C.

- 新例会場 勝浦ボーリングセンター
和歌山県那智勝浦町天満905の1
〒649-53 電話 (07355) 2-1623・1956

出席報告についてお願い

出席報告書提出の遅れるクラブが数クラブあります。出席報告はガバナー事務所集計の上、毎月ロータリーの友へは13日に迄に必着、R.I.本部には17日迄に必着ですので、当事務所には所定のカードにお書き込みの上、8日迄に必着する様お願いいたします。従って、締切後の訂正は致しかねることもありますのでそのような事のない様に、ご協力お願い致します。

世界のロータリー

1972年10月27日現在、国際ロータリーは、149の国及び地理的地域にわたり15,451のロータリークラブと約724,000人のロータリアンを有しています。1972年7月1日以降、29カ国より85の新クラブが国際ロータリーに加盟しました。

ロータリー財団週間に因んで

ガバナー月信の号外発送

今月12日～18日がロータリー財団週間にあたります。ロータリアンはロータリー財団に関心を高められることを希望いたします。

就いては月信号外として「R.I.会長のロータリー財団への招請」及び「地区財団推進小委員会便り」を各クラブ会員数だけお送りいたしました。ご一読をお願いいたします。

(号外2頁に記載の準フェロー5名を8名とし、計23名を24名に訂正。)

ローザンヌ世界大会

—登録、交通、宿泊について—

ローザンヌ世界大会日本輸送委員会から送られてきた標記のリーフレットをコピーして各クラブ宛10部お送りいたします。

☆訂正

月信第5信掲載の9月出席報告のうち、大阪心齋橋R.C.の出席率91.92%を93.39%と訂正致します。従って順位は49位から45位に上りますので、45位泉南から48位豊中北までが1段階つ順位が下ります。また地区平均出席率は95.72%となります。

各クラブ別ロータリー

	クラブ名	71年12月 末会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A	有田	51	151.98	3,481.22	600	88.78
D	大東	39	1,239.99	5,685.56	** 1,400	164.44
G	御坊	62	65.99	3,800.52	600	539.48
H	橋本	57	73.99	2,354.02	400	495.98
	東大阪	59	231.97	5,456.10	900	443.90
	東大阪東	40	40.96	2,651.87	600	148.13
	東大阪中	30	529.95	529.95	* 100	70.05
I	枚方	51	50.00	2,243.52	400	306.48
	茨木	58	305.97	5,516.02	1,000	863.98
	池田	54	—	5,739.92	1,100	740.08
	和泉	60	1,540.87	7,549.96	** 1,200	250.04
	泉大津	74	—	3,549.55	400	150.45
	泉佐野	51	66.99	3,539.91	600	30.09
K	門真	25	—	1,000.02	400	249.98
	海南	58	57.99	2,851.02	400	48.98
	貝塚	53	184.98	2,656.65	* 500	523.35
	河内長野	56	109.99	4,026.60	* 700	453.40
	岸和田	58	485.95	3,733.78	* 600	326.22
	粉河	29	30.00	1,329.88	400	120.12
M	松原	51	203.28	3,991.87	800	598.13
	箕面	32	132.00	1,625.76	* 500	294.24
N	守口	53	55.99	2,730.33	500	449.67
	那智勝浦	34	35.00	3,952.49	1,100	127.51
	寝屋川	28	12.00	1,129.50	400	270.50
O	大阪	300	657.76	35,195.40	1,100	804.60
	大阪東	97	1,835.55	18,909.05	1,900	490.95
	大阪阪南	62	75.99	3,395.31	600	944.69
	大阪東淀	40	164.34	1,377.41	400	622.59
	大阪城南	50	48.00	2,260.41	500	739.59
	大阪柏原	25	25.00	985.13	400	264.87
	大阪北	167	300.00	16,170.96	900	529.04
	大阪西北	53	384.96	2,009.08	400	640.92
	大阪心齋橋	31	729.97	2,061.63	** 600	108.37
	大阪南	153	299.97	9,768.38	600	941.62
	大阪西南	73	74.99	4,591.43	700	1,248.57

財団寄付額

*印は本年度期初より上昇したクラブ(*ひとつは100%)
寄付額の表示単位米ドル(1972年9月30日現在)

	クラブ名	71年12月 末会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
O	大阪住吉	72	69.99	7,353.71	1,000	566.29
	大阪天満橋	61	59.99	5,311.62	900	788.38
	大阪西	93	92.99	6,652.04	700	787.96
	大阪淀川	68	69.00	4,446.31	600	313.69
S	堺	112	417.96	18,523.75	1,600	516.25
	堺東	27	26.00	296.02	* 100	243.98
	堺泉北	29	279.97	954.18	* * * 300	205.82
	堺南	71	405.99	11,208.14	1,600	861.86
	堺東南	35	37.00	3,190.47	900	309.53
	泉南	30	33.00	383.02	100	216.98
	摂津	32	1,073.99	2,282.56	* * 700	277.44
	新宮	53	62.99	3,035.97	500	144.03
	白浜	40	20.00	2,129.94	500	270.06
	吹田	61	58.99	3,292.90	500	367.10
T	高石	47	446.91	3,264.54	600	25.46
	高槻	51	1,187.98	3,806.01	* * 700	273.99
	田辺	70	107.99	4,250.38	600	649.62
	富田林	58	370.22	5,585.58	900	214.42
	豊中	57	152.99	5,810.98	1,000	459.02
	豊中北	31	182.99	513.02	* 100	106.98
	豊中南	33	212.87	1,491.95	400	158.05
	和歌山	94	92.99	12,203.16	1,200	16.84
W	和歌山東	76	151.98	8,035.19	1,000	324.81
	和歌山南	59	498.28	9,155.07	1,500	284.93
	和歌山東南	33	395.96	1,451.17	400	198.83
	八尾	56	275.97	3,580.24	600	339.76
Y	合計	3,663	16,987.36	306,058.13		

注：9月30日現在とありますが、実は8月中の財務代行者を通じての寄付送金は、1ヶ月分
を取りまとめてエバンストンで事務処理されますので、寄付額の数字は1ヶ月後れとな
ります。

1972年10月 出席報告

(Attendance Report for October)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	77	+2	100.00	1	32	貝塚	4	54	-1	96.70	32
1	和泉	4	62	+2	100.00	1	33	有田	4	53	-1	96.66	31
1	御坊	4	60	+4	100.00	1	34	東大阪東	4	41	-1	96.34	41
1	枚方	4	51	=1	100.00	1	35	泉南	4	33	-	96.21	46
1	和歌山東南	4	38	+2	100.00	1	36	池田	4	51	-3	96.10	34
1	大阪柏原	4	25	-	100.00	24	37	大阪西	5	94	+1	95.65	29
7	茨木	4	61	+4	99.59	1	38	海南	4	63	+4	95.64	44
8	橋本	4	56	+1	99.55	20	39	大阪東淀	5	40	+1	95.50	35
9	大阪淀川	4	73	+4	99.30	10	40	豊中	4	55	-1	95.38	40
10	松原	4	52	-1	99.04	12	41	豊中北	4	37	+4	95.19	49
11	吹田	4	60	+1	98.75	11	42	堺東南	4	36	-1	95.14	16
12	大阪阪南	4	69	+4	98.55	1	43	富田林	4	60	-3	94.95	36
13	大阪天満橋	4	64	+4	98.39	18	44	摂津	4	41	+4	94.51	9
14	堺南	5	68	+2	98.22	23	45	田辺	4	68	-	94.50	38
15	泉大津	4	70	-3	98.19	27	46	大阪南	4	155	+4	93.27	37
16	豊中南	4	39	+4	98.08	25	47	堺泉北	4	34	+4	93.25	55
17	大阪東	4	102	+2	97.99	26	48	大阪住吉	4	70	-	92.86	58
18	大阪西北	4	58	+3	97.85	22	49	白浜	4	44	+1	92.62	57
19	岸和田	4	58	+3	97.81	13	50	堺東	4	27	+1	92.60	51
20	和歌山	4	98	+5	97.60	17	51	寝屋川	4	42	+3	92.27	32
21	堺	4	113	+3	97.49	48	52	東大阪中	4	33	+2	92.09	50
22	河内長野	4	59	-1	97.38	19	53	門真	4	25	-1	92.00	43
23	東大阪	4	57	+1	97.27	8	54	大阪北	4	186	+4	91.62	47
24	泉佐野	4	53	+2	97.17	30	55	箕面	4	32	-	91.41	53
25	新宮	4	51	-4	97.11	39	56	大阪城南	4	50	+1	89.50	54
26	大阪心斎橋	4	33	-	97.02	45	57	高槻	4	53	-2	89.47	60
27	和歌山東	4	76	-2	97.00	15	58	守口	4	56	-2	89.29	59
28	八尾	4	57	+1	96.93	28	59	那智勝浦	4	35	-	88.53	52
28	高石	4	48	-1	96.93	21	60	大阪	4	300	-5	88.48	56
30	和歌山南	4	62	-	96.72	42	61	粉河	4	30	-	88.34	61
31	大東	4	38	-	96.71	13							
平均出席率					95.78%		合計 247 3,786 +60						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

ガバナー 大谷 一雄

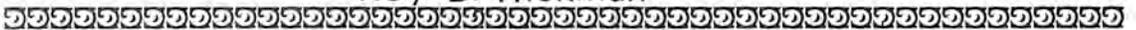
事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



号 外 昭和47年11月8日 ガバナー 月 信 Extra No. November 10 1972

“ロータリー財団週間への招請”

親愛なる同僚ロータリアン諸君;

私は年度の当初に、ロータリアンの皆さんに、「ロータリーをもう一度見直そう」と要請いたしました。われわれロータリアンは、個人並びに総合的な努力により、ロータリーの絶えざる発展に寄与して居ります。ロータリー財団週間(11月12～18日)の一週間は、この努力を更に高めるのに絶好の機会と存じます。

今日ロータリー財団プログラムとして知られているものは、1947年に開始されて以来数千の青年男女がロータリーの後援の下に、海外へ「若い使節」として送り出されていることでもあります。これ等の若人達は、帰国後それぞれ政府の高官になり、又有力な専門職業人や実業人になって居ります。そして海外に居住した年を彼等の生涯の中の華々しい年として記憶し、その後如何なる職業に従事しておるにしても、世界平和と理解のために働くようになったのは、その一年の影響だと考えております。これもひとえに、世界中のロータリアンからの絶大な寄付があったればこそ可能になったことでもあります。1972～73年度だけでも、ロータリー財団は教育補助金、研究グループ交換補助金、特別補助金及び教師奨学金として2百万\$の支出を予定しております。

私はここに、皆さんにこの輝かしいロータリー・プログラムの達成を思い起こしていただき、ただ単に金銭の寄付のみならず、財団のために貴重な時間と努力の貢献についても、各自がその努力をもう一度再評価されるようお願いする次第であります。各クラブもこの特別週間には、それぞれの例会に於て、ロータリー財団のための特別プログラムを考案し、援助することが出来ます。——則ち年度を通じての例会に補助金受領者を招待したり、その地区内の財団補助金受領の適当な候補者を選定したり、その寄付率の順位向上を計り、またクラブ会員に財団への寄付を奨励したりして、財団の支援に協力することが出来るのであります。

敬 具

ロイ D. ヒックマン 国際ロータリー会長



地区財団推進小委員会便り

委員長 阪田 靖人

ロータリー財団週間に当面して思いますことは、ロイ R. L. 会長の説かれているように、ロータリアン各位がこの絶好の機会を逃がさず、もう一度見直して、各自の御努力の再評価をされることをお勧めしたいのであります。

参考資料 I : - R.J. 1971~72年度財務報告

年 度	寄付金額	前年比 増加%	支出金額(補助金)	前年比 増加%
1970-71	\$2,464,463	26.8	\$1,381,908	36.0
1971-72	3,454,837	40.3	1,779,399	28.7
1972-73 (推定)			2,408,300	35.3
1973-74 (×)			3,097,792	26.4
1974-75 (×)			4,000,000	31.3

1972年6月末現在財団投資市価: \$12,289,000

1971~72年度投資収益: 479,353

1971~72年度支出経費: 468,516

斯様に投資収益で、運営費、財団プログラム実施費、及び推進費の経費全額が賄われるので1971~72年の寄付全額を今後の年度に於ける財団の教育および慈善を目的とした活動のために使用が可能となり、1974~75年度には163の地区に対し規定外に授与される264口の特別追加奨学金の外に、更に別枠の奨学金、即ち開発途上国の地区への5011の専門的訓練奨学金や心身障害者の教師奨学金5011などの新規活動発足の根拠は茲にあります。

参考資料 II : - 日本の18地区の本年度第一・四半期(1972年7月1日乃至9月30日)に於ける地区別財団寄付状況一覽表。

地 区	前年度寄付会員当	本年度7-9月寄付		新ホール ハリス フェロー数	新ホール ハリス準 フェロー数
		総 額	会員当		
350	\$12.0	\$21,388	\$11.1	18	18
351 *	21.0	9,949	4.2	5	8
352	8.2	10,723	3.4	2	5
353	5.2	8,349	2.4	2	0
355	16.8	8,740	4.1	2	9
356	15.2	12,379	5.0	2	4
357	17.2	18,761	4.8	7	3
358 *	35.5	36,730	8.3	28	5
359 *	48.6	39,885	9.0	13	10

360	17.9	20,521	5.7	9	4
361	18.9	15,328	4.7	6	3
365	18.0	14,589	6.3	6	8
366 *	26.2	25,860	7.3	8	11
367	11.2	8,076	4.3	1	10
368	14.3	11,578	5.9	5	8
369	9.9	19,997	5.4	3	1
370	10.6	14,724	4.9	8	0
373	9.6	5,033	2.0	0	6
平均又は計	\$19.0	\$302,812	\$5.6	125	113

前年度の財団寄付額が会員当り20\$を超え、1974~75年度に5口の奨学補助金を受領する地区は*印の4地区でしたが、上表の実績では本年度に会員当り20\$以上の寄付額を達成できそうな地区は過半数に及ぶものと考えられ、殊に会員数最少の350区の実績は驚嘆に値します。更には又上表は寄付総額の半分近くがホール・ハリス・フェロー又は準フェローの寄付に拠っていることを示している点に御留意願いたいと思います。

当地区の新ホール・ハリス・フェローは8名とありますが、寄付送金受領証の日付によりますと、ガバナー月信に既報の通りの10名で、同様に準フェローの数も11名が手許の資料では16名の勘定になります。更に第二・四半期に入ってから、大阪西北クラブの古市修次君がホール・ハリス・フェローの表彰を受け、新フェローは計11名が現在数です。準フェローの方も5名殖えて計23名となっております。

11月3日の文化の日には多数の叙勲者の発表がありました。大谷ガバナーもその榮譽に与する一人として受章記念に\$1,000の財団寄付を申し出られております。この好機に乗じて数多くの人々が財団目的の推進にご参加下さるよう推進委員長は心から念願し、又期待しております。

(「友」誌11月号4~12頁及び14~17頁を必読)

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

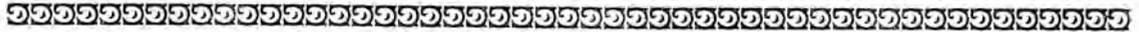


GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大 谷 一 雄

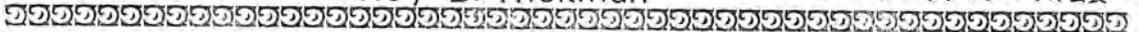
OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku.
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電 話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 7 信 昭和47年12月15日 ガバナー月信 No.7 December 15, 1972

R. I. 事務総長書翰より

親愛なるロータリアン各位：

青少年交換を推進しよう

年末の休暇期が近ずき、ロータリーでも多くの国々にて、歳暮やプレゼントの交換に気を取られる季節となりましたが、暫らく思考を、ロータリアンとして、われわれが若い世代の人々の視野を広く海外へまで拡げさせ得る贈物、即ち、ロータリーの青少年交換活動に参加の機会を提供することに向けて下さい。過去20年にわたってこの活動はますます伸展し、今年度は5千有余名の青年男女が国境を越え他国を訪問することになっています。“交換活動は友好増進のプログラムです”と1年間の海外滞在を終えて帰国したオーストラリアの1青年が報告しています。そして彼は、“交換活動は、偏見のない世界を築くことに役立ちます。交換学生は、何処に滞在しても、その地の人々との間に相通するものを見出すことができます……私が全ロータリアンに申し上げ得ることは、皆さんの子弟、或いは誰でも資格のある青年男女には是非参加させて下さい、という一言です。皆さんご自身並びに参加学生、そして彼らが代表する国国のすべてにとって良い勉強になります。”と、

述べています。貴地区内の各クラブにも交換活動の計画に乗り出すことを奨励して下さい。

ロータリーのイメージを反映する標識

各地、特に米国内を自動車で旅行するとき、町へ入る街道の側に、その地域社会にロータリー・クラブが存在することを示す標識が目につきます。この標識は、ロータリーのイメージの一面をなすものです。各標識は、その地のロータリー・クラブが建てるものであり、それを建てたロータリー・クラブのイメージを反映するものであることは当然ながら、しかし、それは隣の町、そして強いては世界中のロータリー・クラブのイメージを反映するものとなるのであります。故に、ロータリーの徽章を掲げた道端の標識には絶えず注意し手入れが行届いていなければなりません。尚、また、各クラブは、その例会場となるホテルやその他の施設がロータリー・クラブの例会場であることを示す標識を入口やその他の目につき易いところに掲示することを奨励して、その地域を訪問するロータリアンの便宜をはかることができます。



公式訪問を終えて

ガバナー 大 谷 一 雄

ガバナーの公式訪問はこの12月15日をもって全部終わることになりました。7月19日からこの日まで、約5ヶ月間に61R.C.と8組のI.C.G.F.などに出席することは正直言って可成りの努力でありました。しかし、各クラブの皆さんの暖かいご友情と激励に支えられて大過なく過ごすことができました。又、お蔭をもってこの間ロータリーの知識や情報を身に付けることができ大変有難く考えております。改めて厚く御礼申し上げます。

この公式訪問の間、最も強く感じたことは、何れのクラブに於ても親睦と出席に重点をおかれ、また奉仕については職業奉仕を中心に心を配っておられました。個人個人のする職業奉仕以外の奉仕活動については、その一つ一つは素より大きなものではありませんが、その中には奉仕の真心が籠っており、その一つ一つの積み重なりは社会に大きな影響を与えるであろうと確信いたしました。

この地区における新会員の純増は11月末までに75名ありましたが（昨年は54名）昨年は1年間で281名の純増でありました。本年度もこれに劣らない会員の増強が見られますよう祈っております。

尚、ロータリー財団に関する関心が各クラブとも高まりつつありますことを付言しなければなりません。本年の半期が終わるとその実績をR.I.本部に報告しなければなりません、この機会にもう一度見直して、後の半年をさらに実のあるものになるよう心から希望します。

本当にこの半年、皆様にはロータリーの奉仕の理想を実現するために格段のご努力をしていただきましたことに敬意を表し、また私に賜りましたご友情と色々なご厚情に重ねて心からお礼を申し上げますと共に、皆様には益々ご健勝で楽しく明るい新年を迎えられますよう心からお祈り申し上げます。

阪田靖人君（大阪北R.C.）に

アーチ・クラフ功労賞贈らる

本年11月6日付でロータリー財団管理委員会委員長よりの書簡により、阪田靖人君がロータリー財団のために多年にわたり顕著な奉仕をされた功績に対し、アーチ・クラフ功労賞の受賞者に選ばれた旨の通知がありました。今日までの期間に、本賞受賞者として表彰されたのは、全世界で、ただ35名のロータリアンにすぎません。うち日本からの受賞者は去年までに13名、本年は7名です。この栄誉を受けられたことを心からお喜び申し上げます。

大阪 R. C. 創立50周年記念家族会

昭和47年11月20日（月）17：00より、新大阪ホテル5階において、湯浅恭三R.I.第3副会長御夫妻、大谷一雄第366区ガバナーをはじめ大阪R.C.に關係のあったパスト・ガバナーの方方、田宮佐ガバナー・ノミニー並びに大阪市内各ロータリー・クラブ会長及び関係ロータリー・クラブ会長または代表等50名のご来賓をお迎



えし、267名の会員家族の参加をえて、盛大に50周年記念家族会を開催しました。

井狩大阪R.C.会長より、「大正11年11月17日25名のチャーター・メンバーで設立した大阪R.C.が、今日300名という大クラブに発展した歴史を顧みて、特に昭和15年国際ロータリー離脱のやむなきに至っても、なおカタコンベの遺跡をしのぶように、熾烈な戦中も1回の休みもなく例会を続けられた先輩方の、ロータリー精神貫徹の信念の精華に対し深い敬意をはらうと共に、かつて鳥養元ガバナーの述べられた“ロータリーの対社会奉仕活動は衝動的な破壊

力による活動ではなく、静的な圧力量による根強い建設運動である”の言葉のごとく、個々のロータリアンがロータリー精神を絶えずわきまえて、思いやりのある住みよい社会を作るよう尚一層の新しい時代に即した奉仕に徹するよう心がけたい。」との挨拶があり、続いて、

大谷ガバナーからは「日本で第2番目にできた我々の親クラブである大阪R.C.が50周年の輝かしい歴史をもって今日記念式典を催されることは大変お目出度くご同慶の至りである。どうか今後も、老大国となることなく、大先輩として、新鮮味を加えてわれわれを指導し、更に前進大きく発展されるように」との祝辞を頂戴いたしました。

竹中友好委員長のユーモラスな司会のもとに晩餐、余興を楽しみ、朝比奈隆会員の指揮による大阪フィルハーモニー交響楽団の素晴らしい演奏に時の過ぎるのを忘れ、予定より少し遅れて20:45、湯浅R.I.副会長の萬歳三唱で散会しました。

創立50周年記念事業は、露口委員長の大変なご協力で着々と進行しており、11月20日(月)14:40~14:50井狩弥治郎会長と栗本順三会員による毎日放送テレビでの「ロータリー対談TV放映」、50周年記念家族会までの歴史を綴った「大阪R.C.50年史」の編纂、緑化運動と創立50年のシンボル「ロータリー並木」の造成等を行う予定です。(大阪R.C. 絹川 治記)

R.I. 財務報告より見た拡大の重要性

地区財団推進委員長 阪田靖人

1968年に於けるメキシコ国際大会で採択され翌69年1月より実施された人頭割分担金年間\$2の増額(年間\$8納入に)のため、諸物価騰貴に悩んだ国際ロータリーの財政は数字上の収入増加により小康を得たかに考えられたが、1970—71年度の如きは支出を上廻る余分の収入がありながら、その全部を自由に使用出来ない新しい悩みに直面している。即ちそれは国際ロータリーが銀行預金をしている幾つかの国々がその預金の海外輸出を規制凍結しているために凍結資金は膨れながらも使えないことにある。後で紹介する国際ロータリーの貸借対照表にも見られるように1971—72年度にはそれが更に9.2%膨大化して、\$60万を超えている。

幸に当該年度は国際大会がアメリカのヒューストンで開かれたための旅費その他の節約に加うるに、国際地域大会がこの年度には催されなかったもので、\$30万とも推定される経費支出が省かれたこともあり、結局\$662,552の資産増となって、年度末資産残高は\$671万と前年比10.9%の増加となっている。然しながら一方に於いて\$60万余の凍結資産を抱えているので、懐勘定は楽な筈はない。

その証拠には本年ヒューストンで開催された国際ロータリー規定審議会で、約\$2万5千の財源確保のために、新しいロータリー・クラブの認証手数料を現在の\$100より\$150に引上げる案件が採択されている。

斯様な状況を背景として、国際ロータリーの理事会ではロータリーの内外の拡大推進を鼓吹していることは首肯出来る話である。

試みに後に出て来る人頭分担金のことを思っても、その増加率は前年比3.1%であり、その拠って来る処は年度中の新クラブ504が、18,500名の会員を擁して誕生したことにあるが、場合によっては諸物価の騰貴に追付かないこともあり得る訳で、すべてのロータリアンは次の諸数字によってロータリーの拡大の重要性を能く考えて頂きたい。

国際ロータリーの貸借対照表

(1972年6月30日現在)

資産勘定		前年比
現金	\$ 1,801,652	+27.1%
投資	2,443,140	+10.1
不動産	2,355,189	- 2.1
建物代替準備金	854,109	+ 9.9
その他	981,114	+ 1.6
計	8,435,204	+ 8.4
負債勘定		前年比
未払	\$ 827,121	-10.0%
特別準備	875,395	+10.9
預り、前受	18,754	+30.1
資金戻	6,713,934	+10.9
計	8,435,204	+ 8.4
資金戻内訳：不動産	2,355,189	- 2.1%
什器備品	190,704	- 4.7
凍結資金	606,058	+ 9.2
証券他	3,561,983	+23.1
計	6,713,934	+10.9

純収入及び資産概況
(1972年6月30日現在)

一般管理勘定 収入		前年比
人頭分担金	\$ 5,342,076	+ 3.1%
国際大会登録料	337,220	- 1.0
地域大会登録料	0	-100.0
加盟認証料	49,150	-10.9
利子配当	194,261	+13.1
徽章使用料	51,643	+10.8
雑収	20,355	-35.4
計	5,994,705	+ 5.0
為替差損	15,729	
差引全収入	5,978,976	
支出経費(別表)	5,260,619	- 4.4
純運用益	718,357	+53.0
機関誌出版損	(24,994)	(-29.2)
投資物件売却益	22,862	-70.0
本年度純益	716,225	+39.3
1971年6月末資産尻	6,051,382	
	6,767,607	
不動産償却振替	53,673	+ 0.0
1972年6月末資産尻	6,713,934	+10.9
減算(不動産及凍結資産)	3,151,951	
残余資産尻	3,561,933	

(貸借対照表参照)

別表(一般管理費:1971-72年度)		前年度比
会長代理旅費	\$ 130,195	+10.0%
理事会及委員会活動	92,350	-10.0
地区ガバナー勘定	896,353	+ 6.9
国際協議会	502,930	± 0
クラブ宛諸資料	190,397	-11.9
会長勘定	108,810	+ 9.9
地域大会	0	-100.0
R.F.管理勘定	191,623	+17.5
R.I.本部資産勘定	326,249	+ 6.7
中央事務局事務諸費	617,834	+ 5.1
〃 人件費	2,031,955	+ 0.8
チューリッヒ事務局	177,810	- 5.5
その他諸経費	355,739	= 0
計	5,973,211	- 2.3
減算勘定		
機関誌の分担分	401,114	+ 2.0
R.F.の分担分	311,478	+15.0
	712,592	
差引一般管理費合計	5,260,619	- 3.5

新ポール・ハリス・フェロー

10月以降にポール・ハリス・フェローの称号を贈られた諸君は下記の通りであります。

☆皆川 利男君(茨 木)
☆石田 住蔵君(松 原)
北川 一栄君(大 阪 北)
大谷 一雄君(大 阪 西)
古市 修治君(大阪西北)
☆播野林太郎君(堺)
小谷 方明君(堺泉北)
☆大井章一郎君(新 宮)
長束 良雄君(高 槻)

鑑上記9君の内、☆印の4君は曩にポール・ハリス準フェロー計画に参加され、今回予約寄付金1000\$満額を達成された方であります。

新ポール・ハリス・準フェロー

下記の諸君が新しくポール・ハリス準フェロー計画に参加されました。

冬野広楠君(海南)	川口秀夫君(海南)
小嵐 清君(海南)	中野利生君(海南)
玉置 勇君(海南)	山本金助君(海南)
溝端良雄君(貝塚)	帯谷治良君(貝塚)
塔筋博文君(貝塚)	西宮重和君(守口)
塚本義隆君(大阪)	鴻池藤一君(大阪北)
長谷川薫君(大阪西北)	小林 保君(堺東)
鳴尾正次君(泉南)	伊藤晋三郎君(高槻)
和田豊治君(高槻)	

準フェローのその後の追加寄付

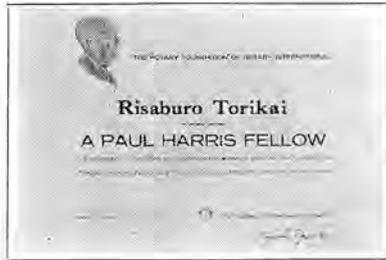
	累計額
野田 三郎君(茨 木)	\$ 200
武田 佳次君(箕 面)	200
岡田稔太郎君(那智勝浦)	200
樋口 宗次君(寝 屋 川)	200
白井 清一君(寝 屋 川)	200
井川 定慶君(堺 南)	500
今井順二郎君(堺 東 南)	400
大塚 正君(堺 東 南)	300
井上 一二君(富 田 林)	400

財団推進小委員会便り

1952年、それは全国1区であった日本のロータリーが分割され、第60区(日本東部)は故小林雅一(東京)ガバナー、第61区(日本西部)は鳥養利三郎(京都)ガバナーの統轄されることになりました。そしてその年に日本西部最初のアディショナル・クラブが時を同じくして、大阪北と大阪南に双生したのであります。

12月16日は両クラブの創立20周年記念日に当り、その記念行事の一環として、両クラブの生みの親である

鳥養・パスト・ガバナーに感謝を表する意味に於いて鳥養パスト・ガバナー名の許に両クラブで財団寄付を行い、同パスト・ガバナーにポール・ハリス・フェローの称号を贈られた事例を報告します。



写真は
鳥養利三郎氏のポール・ハリス・フェローのプラック



奈良財団学友委員長の司会で招かれて出席できた学友8名と、明年度奨学金受領決定者5名の紹介があり次で会食しつつ種々懇談をした。

席上、ロータリー側出席者からインフォメーションが次のように行われた。

- (1)挨拶 財団部門総括担当 井関久楠P.G.
- (2)財団資金の募金はどうなっているか
財団推進委員長 阪田靖人君
- (3)研究グループ交換計画の近況について
研究グループ委員長 西川武四郎君
- (4)ロータリー奨学生の現況と学友活動計画について
財団学友委員長 奈良 伝君

出席の学友及び委員は次の通りであった。

今田 純子さん 1957年 米国 (尼崎R.C.推薦)
 鞆智 匡章君 1963年 〃 (浜松 〃)
 兵藤 進君 1969年 仏国 (名古屋 〃)
 御宮知 樹君 1971年 米国 (大阪 〃)
 清水由紀子さん 1971年 伊国 (芦屋 〃)

—以上元ロータリー奨学生—

木本 武雄君 1968年 米国 (大阪北 〃)
 寺田 耕造君 1971年 西豪州 (和歌山 〃)
 上家 富靖君 1971年 〃 (堺 〃)

—以上研究グループ元メンバー—

学友委員 若月 春雄君 (和歌山南R.C.)
 吉川 信蔵君 (大阪液川R.C.)

尚、この機会に今年9月に決定している明年度渡航する奨学生5名全員(下記記載)も列席し、先輩達の経験などを聞き、有益な第1回のオリエンテーションを受けた。

武市 顕義君 米国 大学院課程 (大阪R.C.推薦)
 深谷 秀夫君 シンガポール 〃 (大阪西 〃)
 村上節子さん 仏国 大学課程 (堺南 〃)
 立石カヨ子さん 米国 専門的訓練 (東大阪 〃)
 中村 忠雄君 米国 教師奨学生 (高槻 〃)

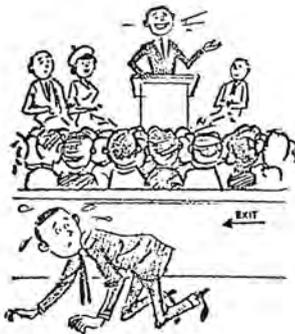
—席上での申合せ—

- 1)各自推薦クラブに願ひで "The Rotarian" 誌及び雑誌 "ロータリーの友" の配布をうけ、この上共ロータリーに関する学習につとむること。
- 2)転勤、住所の移動などは、すぐ推薦R.C.に申しでると同時に、できるだけ現ガバナー又は学友委員にも連絡すること。

尚、隣接の第365区及び第368区よりこの種の会合に合同したい旨の希望が委員長まで申し出られていたが

早退防止の四つのテスト

各クラブに於いては、早退防止についてご努力なさっているでしょうが、大阪 R.C. では例会日の各テーブルの上に早退防止の四つのテストを掲げて着席



者の目につくようにしておられます。ご参考までに下記に掲載いたします。

1. 例会の終りまで留まれない事情ありとは本当のことですかね?
2. 諸君に知識や楽しみを提供しようと、卓話者は自分の時間を割いてくれるのですよ。それを見捨てて去るとは FAIR といえますかね?
3. 私どものお客とクラブの主人役を粗略に扱って、それで善意をもつとか、友情を温めるとか出来ますかね?
4. 会員やゲストやビジターは喰い逃げさんをはにかがしく眺めておりますよ。そんな気持を起させて、みんなのためになりますかね?

第3回財団学友懇談会記録

第3回ロータリー財団学友懇談会は、開始以来3年目を迎え、11月4日(土) p.m.5:30~7:45、大阪市西区土佐堀大阪中央YMC Aホテル第2集会室で19名が合同して開られた。

今回はいろいろな事情で実現にいたらなかった。

一財団学友の消息一

今年度に入り区内に居住しているので、発掘された元ロータリー奨学生は2名もあった。

兵藤 進君 (1969年度 名古屋R.C.推薦)

清水由紀子さん (1971年度 芦屋 #)

転勤により区内に戻ってきた人は次の1名

星野 千一君 (1963年度 大阪R.C.推薦)

留学を終えて米国、伊国より帰着した人は次の2名

御宮知 樹君 (1971年度 大阪R.C.推薦)

新 喜久子さん (1971年度 堺南R.C.推薦)

学友新名簿は既載のとおりである。

☆学友たちの活動—どうぞ例会に招いて下さい。

今年度開られたI.C.G.F.に対し、席上で学友を紹介していただき財団活動の他の半面をP.R.する心組であったが、新学友の留学先からの帰国がおくれたことも影響して、8組のうち次の3組のみにやっと実現した。

9月2日 第3組 泉大津外6R.C.

堀江 正彦君

9月16日 第4組 堺南外8R.C.

堀江 正彦君

10月28日 第7組 河内長野外6R.C.

御宮知 樹君

財団週間などの例会に学友を招待しスピーチを依頼したいクラブに対し、学友委員会はできる限り希望にそうよう斡旋した。

実現したのは次の通り

11月13日 大阪西R.C.へ

御宮知 樹君

17日 大阪R.C.へ

御宮知 樹君

淀川R.C.へ

星野 千一君

豊中北R.C.へ

兵藤 進君

24日 河内長野R.C.へ

清水由紀子さん

30日 東大阪東R.C.へ

清水由紀子さん

箕面R.C.へ

今田 純子さん

今後も機会あるごとに学友たち、留学出発前の奨学生たちをときどきクラブ例会に招いて下さい。

連絡先 財団学友委員長 奈良 伝

TEL 06-441-0892

大阪中央YMCA・内線17

(地区財団学友委員長 奈良 伝記)

ロータリー財団学友名簿

☆大学院課程奨学生

△大学課程奨学生

1972年11月25日現在 (訂正済)

	氏名	年度 推薦クラブ	留学先	現住所	勤務先その他
元補助金受領者	※今田 純子 (旧住谷中)	1957年 (尼崎)	米ミシガン大学	〒569 高槻市総持寺団地45-307 0726-96-8182	朝日放送事業局放送資料室 06-458-5321
	※星野 千一	1963年 (大阪)	米リーハイ大学	〒658 神戸市東灘区住吉町縄手下 1648 078-851-5821	三和銀行本店営業部 06-202-2281
	※鞍智 匡章 オヤマ 匡章	1964年 (浜松)	米シラキュース大学	〒573 枚方市積尊寺町4200 A L 3 0720-53-2112	松下電器生産技術研究所 06-901-1171
	※川島 良一	1967年 (京都北)	米ウエスタン リザーブ大学	〒659 芦屋市岩園町10-16-307 0797-31-3753	住友銀行本店事務管理部 06-227-2756
	△兵藤 進	1969年 (名古屋)	仏プザンソン 大学	〒562 箕面市西小路543 蝶理箕面寮 0727-21-3290	蝶理輸出センイ第4部製品第3課(直通)264-2659
	※堀江 正彦	1970年 (大阪)	米チュレーン 大学	〒565 吹田市千里古江台4丁目1 B25-304 068-32-6758	大阪大学法学部在学中 (外務省外交官試験合格)
	※御宮知 樹 オミヤチ 樹	1971年 (大阪)	米ジョージア 工科大学	〒536-01 奈良県生駒郡斑鳩町 竜田2277 0745-75-5519	三和銀行本店事務部 06-202-2281
	※清水由紀子	1971年 (芦屋)	伊バトウア大学	〒640 和歌山市西庄1095 0734-51-3292	本年帰国在宅中
△新 喜久子 ニイノ 喜久子	1971年 (堺南)	伊ミラノ聖心 大学	〒590 堺市北庄町1-5-6 0722-29-1588	大阪市立大学文学部 (夜間)	
GSETの元メンバー	木本 武雄	1968年 (大阪北)	米 加州へ	〒659 芦屋市朝日ヶ丘16-35 0797-23-2822	T.K. サプライズ株式会社 961-220
	故 里中 忠彦	1968年 (大阪)	米 加州へ	〒567 茨木市宋広町8-8 0726-24-6310	47年10月11日急逝
	佐山 和夫	1968年 (田辺)	米 加州へ	〒646 田辺市湊1159 0739-22-0373	和歌山県立田辺高等学校 (退) 0739-22-1880
	今村 信雄	1971年 (大阪北)	西豪州へ	〒565 吹田市竹見台1丁目1 C26 810号 068-32-6073	資生堂大阪支店電算課 06-328-1631
	寺田 耕造	1971年 (和歌山)	西豪州へ	〒640 和歌山市新通3-13 0734-24-1852	寺田語学研究所 0734-24-1852
	上家 富靖 カミエ 富靖	1971年 (堺)	西豪州へ	〒557 大阪市西成区松通3丁目12 天下茶屋府宮住宅1号 06-661-5648	府立中央勤労青少年ホーム 06-941-2681

地区青少年交換委員会

第二回委員会報告

日時 1972年11月16日(木) 15:00~16:30
場所 ガバナー事務所
出席者 森国際奉仕部門総括担当
岡崎委員長、古市前委員長、玉井委員、入江委員、福地委員

協議事項

- ① 先般実施した「青少年交換計画アンケート」回答結果につき、その報告と内容の検討を行なった。
(R. C. 数61・回答数54・未回答7)
- ② 青少年交換に対する「地区あっせん」を希望するR. C. については更により具体的な希望内容を問合せることにする。
- ③ 橋本R. C. より希望のある長期・短期交換については、長期はアメリカマサチューセッツ州又はカンサス州又はコロラド州と短期はアメリカ・テキサス州との交換実施を至急あっせんする。
- ④ 東南アジアとの交換については、シンガポール地区とが過去の経緯から実現可能性が大きい。
- ⑤ 城南R. C. の羊毛技術交換青年受入れについてより具体的な協力を行なう。
- ⑥ 交換学生を囲む座談会はぜひ時期をみて開催したい。
- ⑦ 「青少年交換実施計画ガイドブック」を本年度はぜひとも完成配布する機努力したい。

雑誌週間 (Magazine Week)

明年1月21日から27日までを雑誌週間として、各クラブとも有効に利用して、適切なるプログラムをたてて下さい。

半期間クラブ業績報告について

R. I. 会長ヒックマン氏より各R. C. 会長宛に半期間のクラブ業績報告を12月15日までにエバンストンに到着するよう送付するようにとの通知があったはずですが、お忘れなく半期間のクラブ業績報告をご送付下さい。その控一通はガバナー事務所までご提出下さい。

R.I. 要請のインターアクト及び ローターアクトについての 報告書の提出について

インターアクト、又はローターアクトをスポンサーしておられるロータリー・クラブの担当委員長宛に、

これらの青少年クラブについての報告書式が12月1日付にて発送されました。インターアクト・クラブ及びローターアクト・クラブをスポンサーしておられるロータリー・クラブの会長の皆さんは、これらの報告が遅滞なく提出されるようにご高配願います。

これらの報告書は、国際ロータリー理事会在インターアクト及びローターアクト・プログラムの実績を評価し、今後の方針を定めるのに重要な基礎資料となるのであります。もしも、貴クラブがインターアクト・クラブ又はローターアクト・クラブをスポンサーしておられるのに同報告書式が未着の場合には、早速、その旨を下記宛にご一報願います。

Rotary International
Youth Activities Section
1600 Ridge Avenue
Evanston, Illinois 60201, U. S. A.

R.I. 送金円レート改定のお知らせ

国際ロータリー在日財務代行者からの連絡によりますと、明年1月1日より向う6カ月間、R. I. への人頭分借金、ロータリアン誌代、財団寄付金などの送金に適用する円のドル換算率は、

\$ 1 = 300円

に改定されました。

従って、人頭分借金(半期1人当たり) \$ 4 = 1,200円、ロータリアン誌(半期1人当たり) \$ 1.50 = 450円となります。

大谷ガバナー自宅転居のお知らせ

12月1日より下記の処に転居いたしましたのでお知らせいたします。

新住所

〒565 吹田市藤白台2丁目27番6号

電話 吹田(068) 32-7013

世界のロータリー

1972年11月27日現在、国際ロータリーは、149の国家及び地理的地域にわたり15,474のロータリー・クラブと約725,500人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降、32カ国より109の新クラブが国際ロータリーに加盟しました。

1972年11月 出席報告

(Attendance Report for November)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	5	77	+2	100.00	1	32	八尾	5	57	+1	96.49	28
1	和泉	5	63	+3	100.00	1	33	豊中	4	55	-1	96.32	40
1	御坊	3	59	+3	100.00	1	34	貝塚	4	54	-1	96.15	32
1	橋本	4	56	+1	100.00	8	35	摂津	3	41	+4	95.93	44
1	高石	4	49	-	100.00	28	36	東大阪	5	58	+2	95.34	23
1	和歌山東南	4	38	+2	100.00	1	37	大阪西	4	94	+1	95.12	37
7	大阪阪南	4	69	+4	99.64	12	37	寝屋川	3	41	+2	95.12	51
8	大阪淀川	3	73	+4	99.53	9	39	大阪東淀	4	39	-	94.97	39
9	大阪心斎橋	4	33	-	99.24	26	40	富田林	4	60	-3	94.92	43
10	茨木	5	61	+4	98.69	7	41	河内長野	3	59	-1	94.74	22
11	堺東南	4	36	-1	98.61	42	42	豊中南	4	39	+4	94.23	16
12	泉大津	3	70	-3	98.54	15	43	堺	4	111	+1	93.70	21
13	大阪天満橋	4	64	+4	98.44	13	44	海南	5	63	+4	93.60	38
14	和歌山東	4	81	+3	98.41	27	45	大阪住吉	3	70	-	93.33	48
15	大阪西北	4	58	+3	98.28	1	46	大阪南	4	155	+4	93.30	46
16	大阪東	4	101	+1	98.24	17	47	和歌山南	3	62	-	92.89	30
17	泉佐野	4	53	+2	98.11	24	48	守口	5	56	-2	92.86	58
18	新宮	5	52	-3	98.06	25	49	堺東	4	31	+5	92.26	50
19	枚方	4	51	+1	98.00	1	50	堺泉北	3	34	+4	92.16	47
20	田辺	4	68	-	97.62	45	51	白旗	4	44	+1	92.05	49
21	和歌山	4	99	+6	97.61	20	52	高槻	4	52	-3	91.92	57
22	箕面	4	31	-1	97.58	55	53	東大阪中	3	33	+2	91.67	52
23	東大阪東	4	41	-1	97.56	34	54	豊中北	3	37	-4	91.49	41
24	吹田	4	60	+1	97.50	11	55	那智寺浦	3	36	-1	90.48	59
25	泉南	3	39	+6	97.44	35	56	池田	4	52	-2	90.38	36
26	堺南	4	69	+3	97.42	14	57	大阪北	5	185	+3	90.27	54
27	大東	4	38	-	97.37	31	58	大阪城南	3	51	+2	89.54	56
28	岸和田	5	58	+3	97.20	19	59	粉河	5	29	-1	88.97	61
29	大阪柏原	4	25	-	97.00	1	60	大阪	3	301	-4	88.77	60
30	有田	4	53	+1	96.70	33	61	門真	4	25	-1	87.00	53
31	松原	4	52	+1	96.64	10							
平均出席率					95.66%		合計					240 3,801 +75	

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku.
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

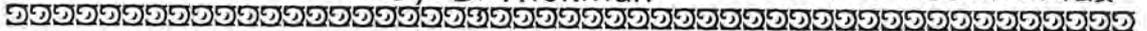
ガバナー 大谷 一雄

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 8 信 昭和48年1月15日 ガバナー月信 No.8 January 15, 1973

後半期を迎えて

大谷 一雄

明けましておめでとうございます。

新年を迎えると共にロータリー年度はその後半に入ることになりました。1月1日付 R. I. 事務総長書翰によれば「旧年をおくり、新年を迎える年のかわり目は、過ぎ去った年に為し遂げたことを回顧し、そして将来を思索して楽しむ。即ち、回顧、思索の時を与えてくれるものである。」とあります。私どもロータリアンはこの際、もう一度、R.I. 会長ヒックマン氏の "Let's take a new look!" を思い起こし、且つロータリーの4つの綱領に照らし、ロータリアン個人として果して何を為したかを反省し、年度の後半へのスタートとしなければなりませんし、又クラブとしての年度プログラムは順調に進捗しているかどうかを再検討して、その完遂について努力を払わねばならないと思います。

最近、福祉国家ということが強調されています。この要請に応えるものとして、ロータリーは最も相応しいものの1つではないでしょうか。

ロータリーは個人と云わず、クラブと云わず、今後この社会の福祉の為に積極的に取組んで行かなければならないと思います。

さて、前半期の当第366地区の概況を申し上げますと下記の如くです。

本年度前半期 昨年度前半期

- | | | |
|-----------------|--------|--------|
| 1. 平均出席率 | 95.82% | 95.58% |
| 2. 会員純増 | 94名 | 73名 |
| 3. ポール・ハリス・フェロー | | |
| | 30名 | 7名 |
| 4. ポールハリス・準フェロー | | |
| | 64名 | 29名 |
| 5. ロータリー財団 | 400% | 300% |

ロータリー財団は本年度500%地区を目標としていますが、まだ6クラブ(1972年1月以降認証4クラブを除く)が僅かではあります。是非この年度後半に500%地区になることを希望しております。

6. 新クラブ設立の特別代表を委嘱
- 松本 三郎君 (高槻 R. C.)
 - 井上 猛君 (大阪北 R. C.)
 - 石田 英男君 (富田林 R. C.)
 - 川崎 一雄君 (大阪東 R. C.)
 - 平野大太郎君 (八尾 R. C.)



地区大会へのご参加とご協力を!

ガバナー 大谷 一雄

地区大会の目的が親睦をかねて、地区並びに国際ロータリーに関する問題を全般的に討論することにより、ロータリーの綱領を推進することにあることは周知の通りであります。

本年度の大会は既報の如く、R.I. 前会長のアンスト G. ブライトホルツ 夫妻がヒックマン R.I. 会長代理として出席されます。誠に光栄であります。

この際、出来る限り多数の会員とそのご家族の参加を熱望して止みません。

ホスト・クラブとしての大阪西 R.C. は年度初めより、この大会の計画、準備の為、絶大の努力をしておられ、誠に感謝に堪えません。

ここに地区大会のプログラムを発表するにあたり、以上を申しあげて、皆様のご協力を期待いたします。

1972—1973 国際ロータリー第 366 区

年次大会プログラム

大会第 1 日 昭和48年3月3日(土) 大阪フェスティバルホール

9:00~9:30	登録		
10:00	点鐘	大会委員長	平塚正俊
	開会	大会幹事	益田乾次郎
	国歌斉唱	ソングリーダー	木村四郎(大阪)
	ロータリーソング「奉仕の理想」	〃	〃
10:10	開会の辞	大会委員長	平塚正俊
10:15	R. I. 会長代理および来賓紹介	ガバナー	大谷一雄
	新クラブ紹介	〃	〃
	参加クラブ紹介	〃	〃
10:30	歓迎の辞	ホストクラブ会長	棕本修
10:35	挨拶 地区状況報告	ガバナー	大谷一雄
10:45	メッセージ	R. I. 会長代理	アンスト G. ブライトホルツ氏
11:05	お知らせ	大会 S. A. A.	古谷庄太郎
11:10	ロータリー寸劇「ロータリーの悲劇」	作	平井常次郎(大阪南)
		出演	池田悦治(大阪西) 里井達三良(大阪) 米山記念奨学生
			ロータリー財団奨学生 ローターアクト会員 各1名

12:00 休憩 昼食

13:00 パネル討論会「現状反省と10年後のロータリー」

アドバイザー	田宮 佐	ガバナー・ノミネー
リーダー	古市 実	(大阪北)
サブ・リーダー	竹中 泰三	(和歌山)
パネリスト	門野 良雄	(大東)
〃	水野 健次郎	(大阪)
〃	村岡 秀雄	(大阪南)
〃	松本 進	(大阪南)
〃	斉藤 一路	(堺)
〃	雑賀 孝夫	(和歌山)

14:20 休憩

14:40 ロータリーソング

「R-O-T-A-R-Y」 ソングリーダー 木村 四郎 (大阪)
物故会員に対する黙祷……………ガバナー 大谷 一雄

14:50 特別講演 演題「大阪商人とその教養」

大阪大学名誉教授 経済学博士 宮本 又次氏 (豊中)
関西学院大学教授

15:50 登録委員会報告……………登録委員長 金子 喜三郎 (大阪西)
信任状委員会報告……………信任状委員長 長岡 栄吉 (大阪天満橋)
選挙委員会報告……………選挙委員長 藤木 厚 (豊中)
ガバナー・ノミネー紹介……………ガバナー 大谷 一雄
ガバナー・ノミネー挨拶
お知らせ……………大会 S.A.A. 古谷 庄太郎

休憩

16:20~17:30 八乙女舞 倭 舞
白拍子 住吉 大社
菅原 洋一 ショー
京 舞 おちや乳人
東山名所 井上 春勇 他

会場移動 新大阪ホテルへ

18:00 希望晩餐会

19:30 散会

大会第2日 昭和48年3月4日(日) 大阪フェスティバルホール

9:00	登 録		
9:30	開 会	大会幹事	益 田 乾次郎
	ロータリーソング「我等の生業」	ソングリーダー	木 村 四 郎 (大阪)
9:35	国際青少年交換学生紹介	ガバナー	大 谷 一 雄
	ロータリー財団奨学生紹介	〃	〃
	ロータリー米山記念奨学生紹介	〃	〃
	ローターアクト・クラブ代表紹介	〃	〃
	インターアクト・クラブ代表紹介	〃	〃
10:00	国際ロータリー現況報告	R.I. 会長代理	アンスト G. ブライトホルツ氏
10:20	決議委員会報告	決議委員長	岡 田 実 (大阪)
	決 議	ガバナー	大 谷 一 雄
10:30	一般討論会「ロータリー問答」		
		リーダー	菅 生 謙 三 (大阪北)
		アドバイザー	平 井 常次郎 (大阪南)
		〃	吉 村 栄 吉 (豊中南)
		カウンセラー	森 寿五郎 (大阪南)
		〃	原 田 秀 雄 (大阪北)
		〃	塚 本 義 隆 (大 阪)
		〃	井 関 久 楠 (和歌山)
		〃	尾 形 繁 之 (堺)
11:10	R.I. 会長代理記念品贈呈	ガバナー	大 谷 一 雄
	直前ガバナー記念品贈呈	〃	〃
	出席優秀クラブ表彰	〃	〃
	ポール・ハリス賞	〃	〃
	其の他の表彰	〃	〃
11:50	参加クラブ代表挨拶	高槻R.C.会長	川 崎 友 正
	次年度大会開催地発表	ガバナー	大 谷 一 雄
	次年度大会開催地会長挨拶		
12:00	挨拶	ガバナー	大 谷 一 雄
	閉 会 の 辞	大会副委員長	国 崎 祐
	ロータリーソング「手に手つないで」	ソングリーダー	木 村 四 郎 (大阪)
	螢 の 光	〃	〃
12:20	点 鐘	大会委員長	平 塚 正 俊
	閉 会		
	昼 食		
13:30	エキスカーション		

わが国で初めてのロータリー研究会

昭和47年12月2日～3日

於・国立京都国際会館

ロータリー研究会とは：

手続要覧（1970年版147ページ以下参照）に掲げられている地域的ロータリー研究会（Regional Rotary Institute）のことであります。すなわち、ある地域内の国際ロータリーの現員および次期役員が相集って、国際、域内ロータ



リーの情況、動向、問題についての情報交換、討議研修を行い、あわせて家族と共に親交を深める会合であります。

わが国では初めての企画：

アジアでは去る10月、インドで開かれたのが最初であります。標記の日時と場所において、湯浅恭三R.I.第3副会長主宰の下に、絹川清第365区パストガバナーを準備委員長とし、ホストの田中豊第365区ガバナーおよび京都と京都南両クラブの協力をうけて催された会合は、この種の研究会として、わが国ロータリー史上はじめての試みでありました。

初冬とは申しながら、なお紅葉に彩られた秋色の残る景勝、清寂な洛北の地、行届いた会場にR.I.役員155名、家族108名、計263名と予期以上に多数の参加があって、会議は次の日程ですすめられました。

そのプログラムは：

第1日 12月2日（土）

ガバナーノミニーマニーマニ及び同夫人朝食会

（8：00～9：00）

於・京都ホテル

司会 湯浅恭三 R.I.第3副会長

（A）レイク・プラシッドについて

上野 泰P.G.

（B）ロータリーとは

塚本義隆P.G.

全体会議

司会 佐々木秀一P.G.

9：50 歓迎の言葉 絹川 清P.G.

” 田中 豊 G.

9：55（1）本研究会の意義
湯浅恭三 R.I.第3副会長

10：05（2）国際ロータリー事務局及びR.I.
会計 松本兼二郎元R.I.理事

10：30 休憩

10：50（3）地区組織と会計

尾形繁之P.G.

11：20（4）R.I.理事会及び規定審議会の決議事項

湯浅恭三R.I.第3副会長

昼食

全体会議

13：30（5）地区大会と地区協議会

秋山康之進P.G.

14：00（6）ロータリーの拡大及び公報

神野太郎P.G.

14：30（7）青少年とロータリー

青山幸高P.G.

第2日 12月3日（日）

全体会議

9：00（8）ロータリー財団とその活動

東ヶ崎潔元R.I.会長

ロータリー財団管理委員長

9：40（9）世界社会奉仕

斎木龜治郎P.G.

10：20 休憩

10：40（10）職業奉仕

神守源一郎P.G.

11：20（11）クラブ及び地区レベルにおける国際的接触

向笠広次P.G.

昼食

全体会議

13：30（12）規定審議会の性格と代議員の選任
原田秀雄P.G.

14：10（13）世界大会について

安野讓次P.G.

14：25（14）クラブにおけるR.I.元役員の仕事
手島周太郎P.G.

- 14:45 休憩
 15:05 (15) 世界情勢とR.I.の方針
 湯浅恭三R.I.第3副会長
 15:35 (16) ロータリーの将来
 松本兼二郎元R.I.理事
 16:25 閉会の辞
 湯浅恭三R.I.第3副会長

夫人プログラム

第1日 12月2日(土)

- 9:50 ロータリーの歴史
 入江直祐P.G.
 10:30 レイク・プラシッドの思い出
 全ガバナー夫人

昼食

<午後自由>

第2日 12月3日(日)

- 10:00 国際ロータリーと地区及び各ロータリー
 クラブ夫々の組織及び関連性
 島津久厚P.G.

昼食

むすび:

以上の通り、2日間の午前午後4回におよんだ全体会議のテーマは、国際、地域、地区にわたって多岐多様でありました。限られた紙幅ではその要旨さえつたえることができませんが、それぞれの項目について、知見と経験の豊かなリーダーから情報の提供、調査の報告、問題点の指摘があって、教えられ考えさせられるところが多くありました。限られた時間に広汎な問題がとりあげられたので、討論質疑の時間が足りなかったことだけは残念でした。

閉幕にさきだって、湯浅R.I.副会長からこの研究会についての感想、希望が求められたのに対して、このような実りの多い企画は今後もぜひ続けられるようにというのが、参加者一同の表明でありました。したがって、この研究会は来年度以降も、おそらくわが国ロータリーにおける年中行事のひとつとなるであります。

改正規定すべて1月1日から発効

昨年6月9～10日、ヒューストンで開催の規定審議会で可決された15件の規定改正および5件の決議は、本年1月1日から発効いたしました。これは事務総長から昨年8月21日付の書簡をもって世界15,393クラブに対して制定および

決議の内容を報告し、もし異議申立てのクラブがあれば120日間の期限、すなわち、12月19日までに回報せられたい旨を知らせたのでありますが、締切りの結果は次のようでありました。異議申立てしたのは970クラブで全体の6.3%、その中で、いずれかの制定項目に対して反対意向を表明したものは、最高が458票でした。すなわち、異議の申立てが合法成立する1,798票にははるかに及ばず(全体の2.5%)という次第です。

改正項目および決議の内容は尾形直前ガバナーの月信(1972年6月30日付第14号)に概略が掲載されておりますが、改めて以下に報告します。各クラブにとってすぐ関係のあるシニア・アクティブ会員制度や例会欠席補填の制度改正には特にご注意下さい。

(1) 会員制度 シニア・アクティブとなるべき資格が生じた会員は本人の意思如何にかかわらず、一律に自動的にシニア・アクティブとなること。(72-9)

(2) 出席規定 旧規定によるメイクアップの期日、すなわち、欠席した例会の前後各6日間というのが変更されて、直前の通常例会日時から直後の通常例会日時までの間となったこと。(72-13) この「通常日時」というのは各クラブが細則で定めた例会曜日および時刻を指すものであります。たまたま休会となった場合の2週間または後の例会とか、あるいは例会開催が変更された日時ではないという意味です。英語で the usual time と書いてあります。

(3) クラブ新設 に際してのR.I.加盟申請手数料は過去50年間100米ドル据置きであったのが150米ドルに増額された。(72-35)

念のために本年1月1日から発効した規定改正および決議を提案番号順に次ぎに記載します。*印は提出原案が規定審議会で修正のうえ可決されたものを示します。内容の項目別詳細はここでは省きますが、昨年8月21日付事務総長から各クラブあてに差出された「規定審議会の決定に関する報告」を参照して下さい。

(規定改正項目) *72-3、72-8、*72-9、*72-12、*72-13、*72-14、72-15、72-16、72-35、72-36、72-37、72-44、72-45、72-47、72-81；(決議項目) 72-71、71-72、72-73、72-75、72-83。

なお、上記に伴いロータリークラブ標準定款が改正されますが、この改正定款はR.I.から各クラブあてに間もなく直送されます。クラブでは各個に定款改正の手続きを取る必要はありません。

附記：同審議会で採択された決議票について検討し、その影響を知っておくことが重要です。決議案は定款上の規定を修正するものではありませんが、R.I.の方針を定め、或いは、従前のそれを廃止するものであります。

(1972年規定審議会地区代表 塚本義隆パスト・ガバナー)

地区財団小委員会使り

①ザ・ロータリアン誌の1月号に拠ると、1972年はロータリー財団にとって飛び切り素晴らしい年であったし、1973年の成長も同様に高度に推進されつつあります。7月以降11月10日現在までの財団寄付金額は100万\$の線に到達し、前年同期の受理額の48.9%増となっておりますが、寄付者の数は僅かに2.2%増にとどまっております、平均寄付額の増大と多くのポール・ハリス・フェローの誕生を物語っております。即ち7月1日乃至11月10日の間のポール・ハリス・フェローの称号認証数は前年度の192名に対し、本年は426名となっております。当R.I.第366地区の場合を見ましても、手許の資料によりますと7月1日より12月12日の間に1000\$以上の財団寄付をされた方は、前年度の11名に対して本年は26名を数えるに到っております。

この趨勢に呼応して財団管理委員会は1973—74年の海外奨学生数を未曾有の528名と致しております。尤もこの中には発展途上国より招かれる枠外の専門的訓練生25名と、心身障害者に対する教師35名も含まれてのこととあります。

②1973年1月1日以降6ヶ月間のロータリーに於ける米日為替率は1米ドルにつき300円に改められました。

☆ 祝ロータリー機関誌創刊62周年

① 機関誌の年譜

1911年：—1月にザ・ナショナル・ロータリアンと題して全米ロータリークラブ連合会初代幹事チェスレー・R・ペリーが自ら編集主幹となり、8頁の創刊号を3千部発行。

1912年：—ロータリーが国境を越えてカナダに、海を渡ってイギリスにも誕生することになり、機関誌の題名を現在のザ・ロータリアンと改称。

1930年：—従来機関誌の拡張活動は非公式であり、多くのロータリアンは公式機関誌の刊行を自分達だけの自慢の種にして、その影響伝播の努力を渋り勝ちであったので、この年の7月に国際ロータリー雑誌委員会（現在の出版物委員会）が新設され、正式な拡張活動が始められた。

1933年：—別にスペイン誌のレピスタ・ロータリアが公式機関誌として発刊された。

1934年：—ポール・ハリス氏の著書 This Rotarian Ageによると、1934—35年度の予算に機関誌発行経費として20万弗を計上しており、当時の発行部数は15～16万を推定。

1943年：—R.I.雑誌委員会はこの年より、毎年機関誌創刊記念の月、1月最終の完全1週間を公式な「雑誌週間」と呼称するように勧奨。

1962—63年度の機関誌ザ・ロータリアンの発行経費は957,512米ドルで、部数概算は404,000部、11月の全ロータリアン数542,500名に対し75%に当る。

1971—72年度の発行経費は1,591,071米ドル、発行部数概算455,000部で、11月のロータリアン数725,500名に対し、63%と減少傾向にある。

1973年：—1月21—27日が本年度の雑誌週間であり、そのテーマは“Let's Take a New Look at Our Magazine”とあるので、昔を「もう一度見直したい」

② チェスと機関誌

まず忘れてならないのは愛称チェスこと、チェスレー・R・ペリーその人であります。ロータリーの創始者ポール・P・ハリス氏が尊敬される限り、チェスはロータリーの機関誌の生みの親として敬愛されて然るべきと思われます。チェスは生粋のシカゴ人で、学校時代には文学会の会長や学校新聞の編集主幹に挙げられ、また野球部や蹴球部のマネージャーも勤め、米西戦争には米軍少尉として従軍し、その間にも3～4の新聞雑誌の通信員として活躍した人で、

その文学愛好の故にシカゴ図書館の役員となり、夜学校の教師でもあったが、ロータリーに唱歌を導入した功労者のハリ－・ラッグルス氏の推薦で、1908年にシカゴ R. C. に入会、時に彼は36才の働き盛りでありました。

1910年にチェスの提案が物をいって、当時国内に存立していた16の R. C. が8月にシカゴに集って、全米 R. C. 連合会を結成して、初代会長にポール・ハリス氏が、初代幹事にチェスが選ばれたのであります。そこでチェスは連合会の発展のために連絡機関誌の必要性を痛感して、早速その編集に取り掛り、翌年1月に年譜に示されているザ・ナショナル・ロータリアンの創刊を見たのであります。

ポール・ハリス氏の著書“*This Rotarian Age*”に書かれているように、「最後の些細な小事にも忠実精勤」なチェスの如き人物がロータリーの枢機に与かるようになったことは、正に天佑であり、機関誌のみならずロータリーの発展に不滅の貢献を残された彼に対し、若しポール・ハリスがロータリーの設計者と呼ばれ得るなら、チェスはロータリーの建設者といえようと裏書されております。

チェスはポール・ハリス氏の引退後も引続いて、1942年に70才で引退されるまで国際ロータリーの事務総長としてその敏腕を振られたのであります。1954年のシャトル大会は彼の功績を称えて名誉事務総長に推挙したのであります。チェスは単なる1会員として残りたいたとて、それを固辞されたという人柄でありました。そして1960年2月88才を一期として昇天され、ロータリー歴は実に52年でありました。

③ ザ・ロータリアン誌の算盤

機関誌勘定の収支尻は国際ロータリー細則の規定により、その一切が国際ロータリーの一般会計に繰り入れられるので、機関誌購読の如何に拘らず、多少ともその算盤に関心を持たれて良からうかと思ひます。

1971—72年度のザ・ロータリアン誌の発行経費は年譜に掲げた通りの1,591,071\$であるに對し、収入は購読料(1,142,344\$)、広告料(430,356\$)、雑収入(6,094\$)、為替差益(4,822\$)、合計1,583,616\$で、差引純損失7,455\$の計上となって、僅かながらこの損失は一般会計に編入されております。

購読料が値上されたにも拘らず、この赤字は年譜に見るように購読部数率の低下もその原因の一であろうが、諸式物価の値上りもそれに拍車を掛けているようであります。併し何といつても、ザ・ロータリアン誌の経済を支えているものは、R. I. 細則の規定により米国及びカナダの R. C. の会員は総て機関誌の有料購読者になることが会員資格の一つとなっていることにあるので、現実に1972—73年のオフィシャル・ダイレクトリーによると、当該地域のロータリアン数は約345,000人で、ザ・ロータリアン誌発行部数の76%に当たっています。

④ ザ・ロータリアンとロータリーの友

参考のため、1972年6月30日で終った1ヶ年間の両誌の収支を較べると次表になります。

支 出	ザ・ロータ リアン(弗)	ロータリー の友(円)
原稿及拡張	271,574(16.7%)	3,861,001(4.4%)
用 紙	145,110(15.1%)	17,835,317(20.1%)
印 刷	363,339(22.4%)	29,719,232(33.5%)
発 送	143,455(8.5%)	8,387,664(9.4%)
償却・保険	1,782(0.1%)	—
事 務	415,994(25.7%)	16,955,818(19.1%)
人 費 件	187,131(11.5%)	11,979,561(13.5%)
合 計	1,628,385(100%)	88,738,619(100%)
收 入		
購 読 料	1,128,187(71.2%)	74,515,168(77.0%)
広 告 料	448,518(28.5%)	20,906,100(22.0%)
雑	5,222(0.3%)	963,610(1.0%)
合 計	1,579,929(100%)	76,384,878(100%)
差 引 (-)	48,456	(+7,646,159)

詳しくはお考え願ひます。

(財団推進委員長 阪田靖人)

世界社会奉仕委員会報告

1. 岸和田R.C.ホスト（大和川以南より和歌山県境まで）16クラブ合同にて、救急手術室用発電機一組（日本貨80万円）を第345地区台湾埔里R.C.を通じて、埔里基督教病院に寄贈の件は下記の如く完了した。

旧臘12月12日：岸和田R.C.代表、米本佐一郎氏と地区委員住吉勝也氏が台中東南R.C.の5周年式典に出席し、台湾中部10R.C.の代表が集められた席上にて埔里R.C.会長、呉松連氏に対し、贈呈式を行った。同時に大谷ガバナーより寄せられたメッセージを披露し出席者一同の感佩を得た。

尚、宜蘭の児童図書館に書籍を送る件については、R.I.に登録するよう指導し、充分理解して頂けたので、登録後に具体的にすすめる予定である。

2. 和歌山R.C.ホスト（和歌山県下）13クラブ合同にて、第376地区南釜山R.C.を通じてサンヂ孤児院に牡牛を寄贈の件は、最初南釜山R.C.よりの返信がなく、やや難渋したが、ホストクラブより、書信、電話でたびたび連絡を重ねた結果、年末の29日先方からも懇切な回答が到着した。各クラブよりの浄財はホストクラブに集っており、近日中に送金のはこびとなる予定である。

3. 吹田R.C.ホスト（大和川以北、北摂地区）18クラブ合同にて第325地区ネパールのカトマンズR.C.を通して、結核病棟増設資金の一部を援助する件については、各クラブよりの浄財は1月末までにホストクラブに振込まれる。カトマンズへは確実な方法で送金する予定である。

4. 大阪市内各クラブについて

単独実施計画をもっているクラブは、大阪R.C.一釜山R.C.、大阪北R.C.一光州南R.C.、大阪南R.C.一大邱R.C.、大阪東R.C.一東釜山R.C.

大阪西南R.C.一北釜山R.C.、大阪城南R.C.一倭館R.C.といずれも、韓国のクラブと協力している。市内他の8クラブについて、大阪住吉R.C.がホストとなり、8クラブ合同にて、第376地区東大邱R.C.を通じて、貧農援助のための仔山羊購入資金援助の件は、相互に懇ろな連携があるので、3月頃には実施可能の予定である。

（委員長原田誠一）

ローターアクト活動報告

1. 各クラブの交流と親睦

従来、大阪府下のクラブと、和歌山県下のクラブが、それぞれ2ヶ月に1回連絡協議会をもって交流と親睦を計って来たが、11月より3ヶ月に1回連絡会をもつことに改められた。1973年1月17日には大阪南R.A.C.がホストになって大阪府下連絡協議会を開き、1月21日には和歌山R.A.C.がホストになって県下連絡協議会をもつ予定。

尚、交流のプログラムとしては、10月15日に守口R.A.C.主催でスポーツ大会が開かれ11月18～19日大阪南R.C.の後援により六甲YMCA研修所で「結婚を考える集い」を開催、それぞれ約40名の出席があった。

2. 地区協議会大会開催

有田R.A.C.がホストになり有田R.C.の後援を受けて、1973年6月3日に有田で開催の予定をたて、委員会を組織し、委員長には富山巖君が選ばれ準備を進めている。各R.A.C.、各R.C.のご支援を切に希望します。

3. 全国ローターアクト委員長会議

11月3日東京に於て、全国各地R.A.委員長会議が開かれ、当地区よりは平松委員が出席され、会員増強と運動拡大の協議が行われた。

4. 大阪、堺、池田R.A.C.の役員

大阪R.A.C.

会長 小坂 隆

副会長 松尾 純二
“ 松沢 節子
幹事 長坂 進

池田R.A.C.

会長 松村 克彦
副会長 石原 基義
幹事 生田 雅之

堺R.A.C.

会長 竈 和夫
幹事 三浦 正

(委員長 世戸一夫)

インタラクティブ及びローターアクトに 関する報告の提出

インタラクティブ・クラブ及びローターアクト・クラブをスポンサーしておられるローターアクト・クラブは、このほど、国際ローターアクト・クラブの青少年クラブに関する報告書式をお受け取りになられたことと思います。この報告書を提出することの重要性は、今更、強調するまでもありません。幾つかのインタラクティブ・クラブやローターアクト・クラブにとっては、この報告書の提出がR.I.事務局へ通信する唯一の機会なのです。そして、この報告書は国際ローターアクト・クラブ及びローターアクト・クラブの実績を知り、特に何かの問題に面しているクラブへの助言を提供する機会を与えてくれるものとなるのです。

尚、皆さんのクラブ提唱のインタラクティブ又はローターアクト・クラブで活動が停滞しているクラブがあっても、その旨、一言記入して必ず提出して下さい。

R.I.事務局内の担当職員の方からも、そのようなクラブの活発化をはかるのに役立つ資料や助言を提供することができるからです。

ローターアクト創立記念日

来る2月23日(金)はご承知の通り、ローターアクト創立記念日です。各クラブに於いては、ロ

ーターアクト創立当初より今日までのことをかれこれと思い合わせて、この記念日を意義あらしめられる様お願いいたします。

職業奉仕週間

2月18日(日)～24日(土)

2月23日(金)のローターアクト創立記念日を含む職業奉仕週間は昨年度初めて計画実施され、多大の成果をあげました。本年もまた、2月18日(日)よりこの週間を迎えます。各R.C.に於いては既に適当な企画と準備を進めておられると思いますが、ご参考までに若干の事項を申しあげます。

1. 例会卓話：職業奉仕の理論、体験を中心として。
2. クラブ・レベル・フォーラム：「職業奉仕の勤どころ」、「Four Way Testは前進する」、「サービス思想の意味するもの」、「1971年度・職業奉仕週間記録」などを資料として、特定のテーマを定め、会員各位が準備して参加すること。
3. 職業奉仕採点表：この標準的な職業奉仕採点表の20項目を取捨して各クラブに適した採点表を作って実施すること。(「職業奉仕の勤どころ」79～83頁参照)

なお、職業奉仕の事例の調査と報告は去年と同様に刊行したく思いますので、調査の上、資料をガバナー宛ご通知下さい。

優秀なローターアクト奉仕の写真を 求めらる

1月1日付の事務局総長書翰には下記の如く、優秀なローターアクト奉仕の写真を求めていますので、適当な写真がありましたら至急ガバナー宛ご提出下さい。

ザ・ロータリアン誌の6月号には、“Reporting on Rotary”(ローターアクト年次報告書)という特集部分が綴じ込まれます。この報告に

は、世界各地から提出された地区やクラブにおける活動の写真、ロータリー活動についての記事が掲載されます。地区ガバナーとして、皆さんは貴地区における、地区やクラブの意義ある活動を示す写真で、この報告に記載するのに値する写真の在所をご存知か、或いは所持しておられるのではないのでしょうか？クラブ又は地区における、四大奉仕部門、青少年交換、ローターアクト、インターアクト、等々、あらゆる分野の活動を写した写真ならば、カラー写真でも黒白の写真でも結構です。ご提出下さるようお願いします。そして、有益な奉仕活動を実施中のクラブへは、会員の活躍中の姿を撮った写真を提出するように奨励して下さい。尚、写真の選択は、出版の数カ月前に行ないますので、1973年2月の第1週中には到着するようにご提出願いたく存じます。

ニカラグア大地震 被災者義損について

皆様もご承知の通り、ニカラグアの首都マナグア国マグワナ市は、今般大地震によって大きな被害を受けました。東京大震災の際は、世界の各R.C.より義損金を受けた例もあり、この際当地区といたしましては、義損金について考慮しては如何かと存じます。各R.C.はその自由意志によって、募金の上、下記宛にご送金下さい。なお、その旨をニカラグア大使館（TEL：03-401-0201）にご一報下さい。

東京銀行赤坂支店

口座番号 39349 マナグア救援基金

世界点字楽譜解説書の発刊

今回（財）日本文化財団より、“世界点字楽譜解説”日本語版が発行される由、365地区ガバナー田中豊氏よりの通知がありました。各クラブで、盲人施設等へ寄贈の目的でも購入いただければ幸いです。

▽参 考 事 項

原著 世界点字楽譜統一会議楽譜審議会委員会

翻訳 故 鳥居築治郎氏

編纂 林 繁男 氏 他

発行 財団法人日本文化財団

名誉会長 松下幸之助 理事長 白石英司

期日 昭和47年11月23日発刊

価格 6,000円（送料共）

申込先 国際ロータリー第365地区ガバナー
事務所

京都市下京区京都駅前

京都タワーホテル四階内

世界のロータリー

1972年12月22日 現在、国際ロータリーは、149の国及び地理的地域にわたり15,493のロータリー・クラブと約727,750人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降、35カ国より131の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

訂 正

月信 No.7 記載の新ポール・ハリス・準フェロー帯谷治良君（貝塚）は帯谷正治郎君、また鳴尾正次君（泉南）は成子正次君と謹しんで訂正いたします。

1972年12月 出席報告

(Attendance Report for December)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	77	+ 2	100.00	1	32	大阪西	4	94	+ 1	96.20	37
1	和泉	4	63	+ 3	100.00	1	33	新宮	4	51	- 4	96.09	18
1	御坊	5	60	+ 4	100.00	1	34	門真	3	25	- 1	96.00	61
1	橋本	4	56	+ 1	100.00	1	35	吹田	4	59	—	95.77	24
1	枚方	4	52	+ 2	100.00	1	36	貝塚	4	54	- 1	95.76	34
1	和歌山東南	5	40	+ 4	100.00	1	37	東大阪東	4	41	- 1	95.73	23
7	大阪淀川	5	72	+ 3	99.71	8	38	豊中北	5	37	+ 4	95.67	54
8	茨木	4	61	+ 4	99.59	10	39	大阪南	4	155	+ 4	95.42	46
9	大阪阪南	4	69	+ 4	99.28	7	40	堺	4	114	+ 4	95.00	43
10	東大阪	4	59	+ 3	99.12	36	41	海南	4	63	+ 4	94.76	44
11	泉大津	5	70	- 3	99.10	12	42	守口	4	56	- 2	94.64	48
12	松原	4	54	+ 3	99.08	31	43	摂津	5	41	+ 4	94.63	35
13	大阪天満橋	5	64	+ 4	99.07	13	44	富田林	4	61	- 2	94.58	40
14	和歌山東	4	80	+ 2	99.04	14	45	泉佐野	4	54	+ 3	94.44	17
15	和歌山	4	98	+ 5	98.67	21	46	河内長野	5	59	- 1	94.39	41
16	高槻	4	53	- 2	98.08	52	47	八尾	4	57	+ 1	94.30	32
17	高石	4	49	—	97.96	5	48	大阪東淀	4	38	- 1	94.22	39
18	大阪心齋橋	5	33	—	97.57	9	49	和歌山南	5	61	- 1	94.00	47
19	大東	4	40	+ 2	97.47	27	50	有田	4	52	—	93.84	30
20	岸和田	4	58	+ 3	97.37	28	51	大阪住吉	5	70	—	93.42	45
21	大阪柏原	4	25	—	97.00	29	52	寝屋川	5	41	+ 2	92.68	37
22	大阪西北	4	58	+ 3	96.99	15	53	堺東	4	35	+ 9	92.67	49
22	東大阪中	5	34	+ 3	96.99	53	54	大阪北	4	183	+ 1	92.66	57
24	泉南	5	39	+ 6	96.92	25	55	大阪城南	5	51	+ 2	92.55	58
25	田辺	4	70	+ 2	96.88	20	56	池田	5	52	- 2	91.93	56
25	豊中南	4	40	+ 5	96.88	42	57	大阪	5	303	- 2	90.71	60
27	箕面	4	31	- 1	96.77	22	58	粉河	4	29	- 1	89.66	59
28	堺南	4	69	+ 3	96.69	26	59	那智勝浦	5	37	+ 2	89.40	55
29	堺東南	4	37	—	96.58	11	60	白浜	5	44	+ 1	88.18	51
30	大阪東	4	102	+ 2	96.50	16	61	堺泉北	5	34	+ 4	86.47	50
31	豊中	4	56	—	96.43	33							
平均出席率					95.93%		合計					263 3,820+94	

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

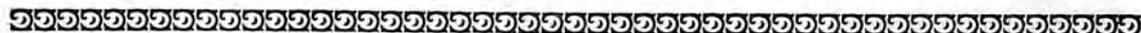


GOVERNOR: KAZUO OHYA

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

ガバナー 大谷 一雄

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 9 信 昭和48年 2月15日 ガバナー 月信 No.9 February 15, 1973

R. I. 会長 (1974~75) 候補の指名

1974~75年度 R. I. 会長候補指名委員会は、1973年 1月18日 付をもって R.I. 細則に従って WILLIAM R. ROBBINS 氏を会長候補に指名した旨発表致しました。

WILLIAM R. ROBBINS 氏の略歴

ウィリアム R. ロビンズ氏はフロリダ州のマイアミの屋根建築材料関連会社の経営者であります。

彼は今、Fort Lauderdale に住んでいて、ミカン栽培や家畜の飼育そして他にも仕事もしている。

彼はマイアミに生れそして Gainesville のフロリダ大学を卒業した。

彼はマイアミのメトロポリタン YMCA と YMCA 南部地区評議会の前会長であり又、マイアミ商工会議所前理事でもあります。他に公的な業務に従事され、2つの貿易団体の会長として社会に貢献されています。

1949年以降のロータリーアンでありマイアミロータリークラブの会長を歴任され(マイアミロータリークラブの名誉会員である) 現在は Fort Lauderdale R.C. の会長であります。彼



ウィリアム R. ロビンズ氏

は R.I. の副会長、理事、地区ガバナーを歴任し、会長や委員会議長を補佐しそして、メンバーとしてもロータリーに奉仕をしています。

ガバナー被指名者を宣言



去る12月15日付月信 No. 7 追信をもって、1974~75年度第366区ガバナー・ノミニエ候補者として大阪東R.C. 会員峯村英薫君(みねむらひでしげ)君を推薦

し、他の候補者推薦の期限を1月31日といたしました。同期間までに他の候補者の推薦がありませんでしたので、R.I.細則第12条第5節(へ)項にもとづき、大阪東R.C. 会員峯村英薫君を以って、地区ガバナー被指名者たるべきことを宣言いたします。

まことに適当な被指名者を宣言することを得たことを深く感謝し、地区ロータリアン各位とともに同君のご活躍を期待いたします。

新ポール・ハリス・フェロー

下記の諸君に新しくポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。

中北 博君(大東) 阪口 清正君(枚方)
高松 貞三君(茨木) 塩野孝太郎君(大阪北)
室賀 国威君(大阪北) 飯田 慶三君(大阪南)
平井常次郎君(大阪南) 森 寿五郎君(大阪南)
早川 徳次君(大阪南) 桃谷 順一君(大阪南)
佐野川谷安太郎君(大塚) 管家 敬祐君(堺東南)
今井順二郎君(堺東南) 広本喜久男君(田辺)
榎本 長平君(田辺) 木村 高子君(豊中)
(木村実会員夫人)
森本 要君(豊中) 馬淵 昌之君(豊中北)
以上18名

新ポール・ハリス・準フェロー

下記の諸君が新しくポール・ハリス・準フェ

ロー計画に参加されました。

橋本 秀雄君(茨木) 秋本 宣伸君(茨木)
大森 慈祥君(茨木) 長田 幸永君(池田)
森 麟利君(池田) 田中 貞統君(貝塚)
南川 学君(貝塚) 山田 昌也君(貝塚)
嘉田 久平君(貝塚) 嘉田 品三君(貝塚)
山中 治雄君(貝塚) 賀鳥 三男君(貝塚)
平田 正二君(寝屋川) 大塚由太郎君(大阪南)
浅野 治君(大阪南) 照井堯造君(大阪南)
小川敏夫君(大阪南) 佐谷春隆君(大阪南)
竹内 大助君(大阪北) 芦田 泰三君(大阪北)
小寺大次郎君(大阪北) 酒井 芳申君(大阪南)
則武 岩松君(大阪南) 久我 俊一君(大阪南)
清水 潔君(大阪南) 板谷 博之君(高槻)
米田 誠宏君(高槻) 矢倉甚兵衛君(田辺)
吉田 正夫君(和歌山) 東 晃君(和歌山)
上田 隆章君(和歌山) 島村 富朗君(和歌山)
小島 良親君(和歌山) 雑賀 孝夫君(和歌山)

研究グループ交換

(Group Study Exchange)

1973~74年度

この制度はロータリー財団の主要事業の1つであって、特定の地区間に若い社会人(25才~35才迄)を選んでチームを作り、1名のロータリアンがガバナー代表として1行を引率して交互に相手地区を訪問する。その間にその国の一般的な知識を得ると同時に一般人に接して国際親善の実を挙げることを目的とする。

訪問期間は最長2ヶ月、最短1ヶ月とし、宿泊は原則としてロータリアン家庭の民宿とする。

費用は往復航空料金は本部が負担し、滞在中の諸費用は被訪問国のロータリーが各々負担する。

本年度当第366地区ではカナダ第536地区(アルバータ州)より先づ来訪することが決定した。(当地区のチームは来年5月6日に先方を訪問する。)

第536地区来訪メンバーの明細も既に到着し、目下受け入れ準備を急いでいる。

到着予定日3月19日羽田着翌20日新幹線にて大阪に到着。3月23日迄YMCAホテルに滞

在、その間にオリエンテーション数回、府知事、市長を公式訪問。

- 3月24日～3月31日 阪南地区担当
3月31日～4月7日 和歌山地区担当
4月8日～4月13日 団員各人の希望により各自の研究調査、視察等を個別に行う。訪問の宿泊その他の世話は追って決定する。
4月14日～4月20日 大阪市内地区担当
4月21日～4月27日 北摂地区担当
27日夜はガバナー主催歓送会を新大阪ホテルで催し、その夜は同ホテルに宿泊。
4月28日 大阪空港発 東京着 観光
4月29日 観光
4月30日 羽田発帰国

米山記念奨学会

委員長 百々 貞雄

去る12月22日米山記念奨学会理事会に於て、次の通り審議決定されましたので報告します。

議 事

1. 台湾出身者の件

中華人民共和国との国交正常化に伴う台湾出身在日留学生の処遇については、政府としては出来る限り、実質的に不変の方針をとっている。しかし、今後、国費留学生の新たな招致は、台湾に於ける留学生の選考を含む技術的な困難をも予想され不可能となることも考えられる。在日台湾出身者に対しては従前通りの処遇を方針としているが、国籍問題を含めて、如何なる事態を生ずるか予想は困難な情勢にある。

本会としては、情勢の変化に伴う対策の要をふまえて、当面、台湾出身留學生にす対る方針は従来通りとするが、国交を断絶した中華民国の呼称を用いることは避け、出身地を台湾とすることに決定した。

また、帰台を逡巡する一部留學生の動向については、奨学期間の延長認否を含めて慎重な配慮を加えることにする。

2. ＊米山功労者賞、設定の件

佐世保R.C.会員坂田重保氏の個人特別寄付累計は、¥425,000に達し、これを特に表彰すべきであるという第370区の申出に対し＊米山功

労者賞、を設定し、地区大会に於て楯贈を呈した。これを正式に恒久化すべく次の通り決定した。

個人 ¥300,000以上
クラブ ¥1,000,000以上

(以上何れも一時または累計額)

該当者は現在次の通りで、地区大会の席上表彰することに決定した。

田中猛男氏 (東京江戸川R.C.)
佐藤千寿氏 (東京東R.C.)
瀬木博政氏 (東京小石川R.C.)
東京江戸川R.C.

3. 基金募集の件

本会の基本財産は、¥30,000,000に過ぎず、これの強化については、従来共、特別寄付の積立を実施してその実現に歩を進めて来た。しかし、米山奨学金に対する要望は益々強く、教育を通じて国際理解を計ろうとする本会の事業の範囲と規模を拡大すべしとの要望に応えるためにも、この際早急に基本財産を拡充するため次の方法によって募金を計画する事に決定した。

- (1) 募金目標 ¥300,000,000
- (2) 寄付に対する免税措置の許可を求める事
- (3) 地区ガバナーを含む募金委員会を設置すること。
- (4) 募金立案の上は臨時評議会を招集し、議決を求めること。
- (5) 原案を作製し、免税措置につき大蔵省の内諾を求めること。

4. 昭和48学年度奨学生採用の件。

(1) 財 源

昭和48年及び昭和49年上半年の普通寄付収入
予想 ¥122,160,000

これに繰越金及び利子収入を合計すると収入
予想は ¥125,360,000

この他の特別寄付は次の通り

特別寄付積立金 ¥12,748,311

昭和49年6月までの

特別寄付見込 ¥10,000,000

計 ¥22,748,311

(2) 既定支出

昭和48年3月までの未支出奨学金

(2～3月分125名) ¥8,750,000

昭和48年度継続支給者44名に対する

奨学金一年分 ¥18,480,000

上記44名に対する旅費その他の経費
 (@¥20,000) ¥ 880,000
 計 ¥28,110,000
 昭和48年1月～49年6月 事務費
 ¥24,700,000
 合計 ¥52,810,000

以上により、昭和48学年度に対する、奨学期間延長希望者を含める奨学生採用のための財源は次の通りとなる。

特別寄付を繰入れない場合 ¥72,550,000

特別寄付を繰入れる場合 ¥95,298,311

これにより、継続者44名の他に、特別寄付を繰入れない場合は最高164名、繰入れる場合は216名の奨学生の採用が可能である。

ただし、事務能力を勘案し、また財政の健全を考慮して、昭和48学年度奨学生数は、継続者44名を含めて180名とすることに決定した。(昭和47学年度当初の奨学生は133名)これを次

の通り各ブロックに配分した。ただし東京を含む第3ブロックに対しては、場合により、10名までの増員を認めることにした。何れも期間延長を含む員数である。

採用試験は各ブロックとも、原則として、3月10日(土)に実施することに申し合せた。

5. 崔銘湜に対する研究費支出の件

本会事業種目の拡大の意味から是とするも、研究費の支出については、選考の方法その他内規の設定を必要とする。

本件は臨時の措置を講ずることとして、更に調査の上、決定することにした。

6. ポスト・ドクトレート・コースに対する奨学金の件

アブ・ツェブ、アブ・アーメッドの申請は拒否することとし、今後もこの種の申請は受け付けないことを原則とするよう決定した。

昭和48学年度奨学生ブロック別割当

ブロック	地区	現在数	継 続		奨学期間3月迄			新規申込		申地 込 総 数 区	申ブ 込 総 数 ク	採用 割 当	次年度 学生数
			学部	大学院	総数	延長申込		学部	大学院				
						学部	大学院						
1	350 351	1 4	0 0	0 3	1 1	0 0	0 0	0 4	0 4	4	4	3	6
2	352 353	13 2	0 0	3 2	10 0	0 0	5 0	0 0	12 2	17 2	19	13	18
3	355 356 357 358 359	0 3 4 39 7	0 0 0 0 0	0 1 2 7 3	0 2 2 32 4	0 1 0 0 0	0 1 0 14 2	0 4 4 19 0	0 2 5 116 7	0 8 9 149 9	175	62 (+10)	75 (+10)
4	360 361	5 4	0 0	2 2	3 2	0 0	3 0	1 1	4 7	8 8	16	10	14
5	365 366 368	8 5 5	0 0 0	5 3 2	3 2 3	0 0 0	1 0 1	8 2 6	5 12 3	14 14 10	38	20	30
6	367 369	3 4	0 0	1 0	2 4	0 0	0 2	0 3	0 6	0 11	11	8	9
7	370 373	14 4	0 1	7 0	7 3	0 0	6 0	4 7	23 5	33 12	45	20	28
計		125	1	43	81	1	35	59	213	308	308	136 (+10)	180 (+10)

韓国農村激励と青少年交歓会

— 大阪西南R.C. —



(上) 花亭部落牛管理者より感謝状をうける
(左) 贈呈した牛五頭のうち

大阪西南R.C.では昨年度より、第376区姉妹クラブ「北釜山R.C.」との間で共同社会奉仕活動事業を継続中ですが、このたび先方の要請もあり、昨年鎮区内の寒農村へ贈った役牛5頭の贈呈式出席を兼ねて、両国青少年による親睦交歓会を計画、実施しました。

昭和48年1月5日、片桐会長夫妻はじめ、会員7名、子弟9名よりなる使節団は釜山水管空港にて、北釜山R.C.の姜成福会長夫妻以下70名にも及ぶ会員、夫人、子弟の出迎えを受け、お互いに再会の固い握手を交したあと、14時、役牛贈呈式と部落民激励のため約30軒ほど離れた金谷洞花亭部落へと向いました。

空地の広場には一張りの天幕がしつらえてあり、椅子が10脚ばかり置かれて、ここが式場となります。

ここで型通り式が行われ、両クラブ会長の挨拶と村民激励、牛の管理者と村民代表のお礼のことばと感謝状の伝達、そしてそのあと李源甲国際奉仕委員長の経緯説明と辛宜烈釜山鎮区庁長の感謝と部落民激励のことばがありました。

式が終って部落を一巡、施設の改善に我々の奉仕事業の成果が実ることの一日も早からんことを祈りました。

こんな身近かに、こんなた易い方法で、国際理解、国際親善の実際があるではないか、これでよかった、これだけでもはるばるやって来た甲斐もあったと、一同寒さも忘れはれられた

気持ちにひたりました。

釜山市内「月世界礼式場」で両クラブ子弟による交歓会を行いました。

この席で片桐会長より、共同事業費第二年度分として1,000ドル、及び青少年交歓に寄せられた当地区大谷ガバナーのメッセージが姜会長に手渡たされ、一同感激のうち、特に臨席の第376区総裁林英植氏は大谷ガバナーとは旧知の間柄であり、懐慕の面持ちも一しおでした。

終って子弟は2人づつ5家庭に案内され、夕食と宿泊を先方子弟と共にしたわけですが、わずか一泊の友情がこれほどまで日韓両国若人の間に共感と感動の嵐を呼び起す結果になるうとは誰が想像し得たでしょうか。

帰国後も会員の子弟が、韓国の友人のすばらしかったことを誇らし気に親に告げ、再度訪韓の希望を述べております。両国の次代を担う若人達がお互いにこのように心から理解しあい親近感を懐いてくれたということは、今後の日韓の真の融合、ひいて世界平和の樹立の上にとれほど意義のあることか、ここにロータリアンとして一つの大きな責任を果し得た喜びと安堵感を今ひしひしと感じている次第です。

(幹事 今橋 茂)

ロータリー財団奨学生候補者の募集

締切日迫る！

度々月信誌上でお知らせしておりますが、1974～75年度のロータリー財団奨学生の申込締切日が切迫して参りました。希望者をお持ちのクラブは遅れないよう申請書類を提出して下さい。

各R.C.が申請希望者よりの願書を受理する最終日 1973年3月15日

クラブ推薦者の申請書をガバナーが受理する最終日 1973年4月1日

地区推薦候補者の申請をR.I.事務局が受理する最終日 1973年5月15日

また各地区は、心身障害者の教師に授与される奨学金に対する候補者を推薦することができます。

各 ク ラ ブ 別 ロ ー タ リ ー

	ク ラ ブ 名	会 員 数	本 年 度 寄 付 額	寄 付 額 累 計	パ ー セ ン ト	次 の パ ー セ ン ト へ の 必 要 額
A	有 田	51	161.98	3,491.22	600	78.78
D	大 東	39	1,272.99	5,718.56	* * 1400	131.44
G	御 坊	62	355.96	4,090.49	600	249.51
H	橋 本	57	1,213.81	3,493.84	* * 600	496.16
	東 大 阪	59	231.97	5,456.10	900	443.90
	東大阪東	40	40.96	2,651.87	600	148.13
	東大阪中	30	669.94	669.94	* * 200	230.06
	枚 方	51	50.00	2,243.52	400	306.48
I	茨 木	58	1,405.97	6,616.02	* 1100	343.98
	池 田	54	51.99	5,791.91	1100	688.09
	和 泉	60	1,540.87	7,549.96	* * 1200	250.04
	泉 大 津	74		3,549.55	400	150.45
	泉 佐 野	51	66.99	3,539.91	600	30.09
K	門 真	25	26.00	1,026.02	400	223.98
	海 南	58	1,638.03	4,431.06	* * * 700	208.94
	貝 塚	53	709.38	3,181.05	* * 600	528.95
	河内長野	56	159.99	4,076.60	* 700	403.40
	岸 和 田	58	485.95	3,733.78	* 600	326.22
	粉 河	29	30.00	1,329.88	400	120.12
M	松 原	51	580.19	4,368.78	800	221.22
	箕 面	32	1,332.00	2,825.76	* * * * 800	54.24
	守 口	53	673.09	3,347.43	* 600	362.57
N	那智勝浦	34	455.00	4,372.49	* 1200	47.51
	寝屋川	28	12.00	1,129.50	400	70.50
O	大 阪	300	814.26	35,351.90	1100	648.10
	大 阪 東	97	3,233.98	20,307.48	* 2000	62.52
	大阪阪南	62	1,011.39	4,330.71	600	9.29
	大阪東淀	40	251.66	1,464.73	400	535.27
	大阪城南	50	70.00	2,282.41	500	717.59
	大阪柏原	25	25.00	985.13	400	264.87
	大 阪 北	167	2,406.13	18,277.09	* * 1100	1,762.91

財 団 寄 付 額

* 印は本年度期初より上昇したクラブ (*ひとつは100%)
 寄付額の表示単位米ドル (1972年12月31日現在)

クラブ名	会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセントへの必要額
大阪西北	53	1,884.96	3,509.08	** 600	200.92
大阪心斎橋	31	939.97	2,271.63	*** 700	208.37
大阪南	153	799.97	10,268.38	600	441.62
大阪西南	73	94.99	4,611.43	700	1,228.57
大阪住吉	72	1,099.99	8,383.71	* 1100	256.29
大阪天満橋	61	141.30	5,392.93	900	707.07
大阪西	93	1,092.99	7,952.04	* 800	717.96
大阪淀川	68	248.98	4,626.29	600	133.71
S 堺	112	417.96	18,523.75	1600	516.25
堺 東	27	226.00	496.02	* 100	43.98
堺 泉 北	29	1,279.97	1,954.18	***** 600	75.82
堺 南	71	1,803.66	12,605.81	* 1700	174.19
堺 東 南	35	279.74	3,433.21	900	66.79
泉 南	30	133.00	483.02	100	116.98
撰 津	32	1,183.88	2,392.45	** 700	167.55
新 宮	53	972.99	3,945.97	** 700	294.03
白 浜	40	82.99	2,192.93	500	207.07
吹 田	61	108.99	3,342.90	500	317.10
T 高 石	47	1,548.40	4,366.03	*** 900	333.97
高 槻	51	3,607.98	6,226.01	***** 1200	403.99
田 辺	70	107.99	4,250.38	600	649.62
富 田 林	58	570.22	5,785.58	900	14.42
豊 中	57	264.43	5,922.42	1000	347.58
豊 中 北	31	652.96	982.99	*** 300	257.01
豊 中 南	33	451.85	1,730.93	* 500	249.07
W 和 歌 山	94	92.99	12,203.16	1200	16.84
和 歌 山 東	76	151.98	8,035.19	1000	324.81
和 歌 山 南	59	506.53	9,163.32	1500	276.68
和 歌 山 東 南	33	395.96	1,451.17	400	198.83
Y 八 尾	56	335.96	3,640.23	600	279.77
合 計	3663	42,457.06	331,527.83		

1973年1月出席報告

(Attendance Report for January)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	76	+1	100.00	1	32	大阪東	4	101	+1	96.51	30
1	大阪天満橋	4	64	+4	100.00	13	33	田辺	4	71	+3	96.21	25
1	和泉	4	63	+3	100.00	1	34	河内長野	4	61	+1	96.19	46
1	茨木	4	62	+5	100.00	8	35	泉南	4	39	+6	96.16	24
1	御坊	4	61	+5	100.00	1							
1	橋本	4	57	+2	100.00	1	36	大阪南	4	153	+2	95.66	39
1	有田	4	51	-1	100.00	50	37	大東	4	40	+2	95.63	19
1	和歌山東南	4	39	+3	100.00	1	38	大阪西	3	95	+2	95.34	32
9	枚方	4	55	+5	99.51	1	39	吹田	4	59	-	95.28	35
10	箕面	4	35	+3	99.29	27	40	堺南	3	69	+3	95.10	28
11	大阪淀川	4	71	+2	99.28	7	41	摂津	4	40	+3	95.00	43
12	大阪心斎橋	4	33	-	99.24	18	42	堺泉北	4	34	+4	94.86	61
13	大阪東淀	3	43	+4	99.22	48	43	泉佐野	4	55	+4	94.55	45
14	和歌山東	4	80	+2	99.04	14	44	堺	4	115	+5	94.32	40
15	大阪阪南	4	69	+4	98.91	9	45	岸和田	4	57	+2	94.30	20
16	大阪柏原	3	26	+1	98.72	21	46	海南	4	63	+4	93.65	41
17	東大阪	4	59	+3	98.69	10	47	豊中北	4	38	+5	93.43	38
18	東大阪中	4	34	+3	98.49	22	48	和歌山南	4	61	-1	93.33	49
19	高槻	4	54	-1	98.11	16	49	大阪住吉	4	70	-	93.22	51
19	松原	4	53	+2	98.11	12	50	寝屋川	4	42	+3	92.86	52
21	貝塚	4	54	-1	98.08	36	51	堺東	4	34	+8	92.65	53
21	新宮	4	52	-3	98.08	33	52	粉河	4	30	-	92.50	58
23	大阪西北	4	60	+5	97.90	22	53	大阪城南	4	51	+2	92.16	55
24	泉大津	4	73	-	97.49	11	54	白浜	4	44	+1	91.88	60
25	豊中南	4	40	+5	97.44	25	55	大阪北	4	183	+1	90.83	54
26	富田林	4	62	-1	97.13	44	56	東大阪東	4	45	+3	90.43	37
27	高石	4	50	+1	97.00	17	57	堺東南	4	37	-	90.36	29
28	八尾	4	56	-	96.89	47	58	大阪	4	302	-3	90.18	57
29	和歌山	4	97	+4	96.84	15	59	門真	4	25	-1	90.00	34
30	豊中	4	59	+3	96.62	31	60	那智勝浦	4	37	+2	89.59	59
31	池田	4	52	-2	96.57	56	61	守口	4	57	-1	89.44	42
平均出席率						96.04%	合計 240 3,848+122						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大 谷 一 雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku.
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電 話 06-341-8710



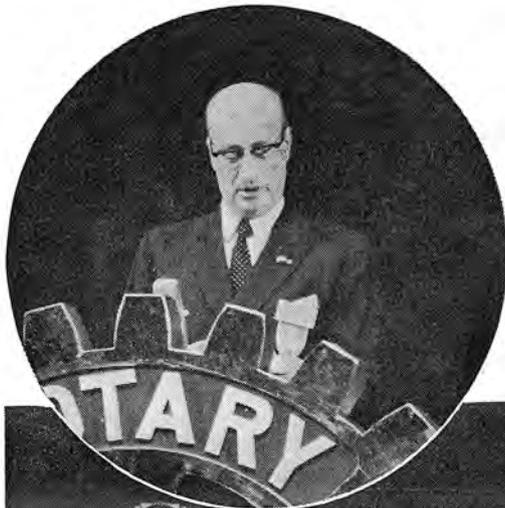
LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 10 信 昭和48年 3 月15日 ガバナー月信 No.10 March 15. 1973



(上) R.I. 会長代理アンストG. ブライトホルツ氏のメッセージ朗読

(下) 会場舞台全景





(上) 大谷ガバナーの地区状況報告

(右上) 第1日目登録始まる

(右下) 来賓席の一部



第366地区 年次大会 1972—73年

第366地区年次大会は R.I. 会長代理として前 R.I. 会長アンスト G. プライトホルツ氏をお迎えし、3月3日・4日の両日にわたって大阪の中之島フェスティバルホールにて挙行された。幸い両日は好天に恵まれ、地区内外から、会長代理ご夫妻、韓国第375区李丙虎ガバナー、第376区朴正寛パストガバナーをはじめ50名に近い来賓と2,000名を超える会員並びに家族の参加を得て、予定のプログラムと諸行事を滞りなく進行し相互の友愛と研修の目的を充分達成し無事に閉幕した。

◎大会第一日 3月3日(土)

大阪フェスティバルホールに於いて、定刻10時、琴の演奏と共に開幕、平塚大会委員長の点鐘、益田大会幹事の開会宣言、平塚大会委員長の開会の辞、大谷ガバナーの R.I. 会長代理並びに来賓の紹介、新クラブ堺東 R.C. 及び仮クラブ大阪大淀 R.C.、高槻 R.C.、八尾東 R.C. の紹介、続いてホストクラブ棕本大阪西 R.C. 会長より歓迎の辞、大谷ガバナーより挨拶並びに、地区状況報告が行われた。

R.I. 会長代理より最も内容に富んだメッセー

ジをうかがった。

新しく本年は寸劇として「ロータリアンの悲願」を取り上げて見ました。

午後からは、パネル討論会で「現状反省と10年後のロータリ」と題しての討論が行はれた。

物故会員35名に黙祷を捧げた後、大阪大学名誉教授の宮本又次君(豊中 R.C. 会員)の「大阪商人とその教養」と題した特別講演、次いで議事に入り登録委員長より登録の報告、信任状委員長よりの報告、選挙委員長より74年度規定審議会に当地区代表として田宮佐ガバナー・ノミニーと代表代理峯村英薫君をおくる事、次期ガバナー・ノミニーとして峯村英薫君が選ばれた。報告について満場の拍手で採決、ガバナーより峯村英薫君の紹介が行われた。

少憩后住吉大社の八乙女舞が行はれた、此の舞は門外不出で今回が初めてご神前以外で演じられたのであります。

余興では菅原洋一の歌謡曲、井上春勇他の京舞を観し第一日目を終了、舞台を新大阪ホテルへ移し希望晩餐会開幕、ロータリーソング、スコールの委員長の発声で乾杯、終始なごやかに1時間30分にわたった宴も散会した。

◎大会第2日 3月4日(日)

午前9時30分開会宣言、ロータリーソング後、奨学生の紹介、ローターアクト・クラブ代表紹介、インターアクト・クラブ代表紹介、R.I.会長代理より国際ロータリーの現況報告が行はれ、たゆまざる進歩を続ける現況と最新の情報に耳を傾けた。

決議委員会より次の通り決議案の上程があった。1972-73年国際ロータリー第366区年次大会決議案

決議第1号

国際ロータリー会長代理に対する感謝の件

決議第2号

国際ロータリー会長ロイ D. ヒックマン氏の年度目標に協力する件

決議第3号

青少年の国際交流を推進する件

決議第4号

国際ロータリー第366区直前ガバナー尾形繁之君に対する感謝の件

決議第5号

地区大会のホストクラブに対する感謝の件

決議第6号

次年度地区年次大会開催の件

以上を万場一致で採決された。

続いて一般討論会「ロータリー問答」予定の時間を過ぎるほど熱の入った討論であった。R.I.会長代理及び夫人、直前ガバナーに記念品の贈呈後、ポールハリス賞、アーチクランプ賞、出席率優秀クラブ賞、会報優秀クラブ賞、職業奉仕賞等授与。参加クラブを代表して川崎高槻クラブ会長の挨拶、次年度大会開催地会長挨拶、終りに近づいて大谷ガバナーの挨拶、国崎大会副委員長から閉会の辞があってロータリーソング「手に手つないで」と螢の光を合唱、大会の全プログラムを点鐘と共に終了昼食後希望者によるエキスカージョンへと出発を見送った。

1973~74年度

R.I. 第366区年次大会開催日

開催日：昭和49年4月6日・7日

場所：枚方市菊ヶ丘松下電器体育館

ホスト：枚方R.C.

コホスト：大東、茨木、門真、守口、寝屋川、高槻の6R.C.

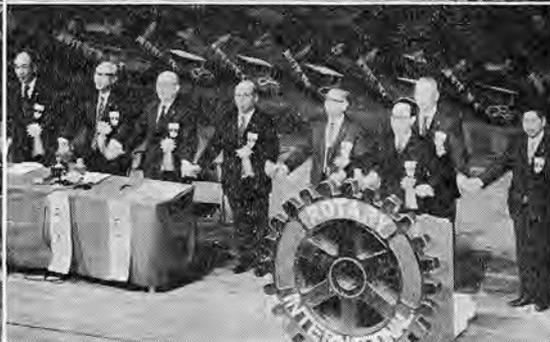


(左上) 新参加クラブ紹介に応える堺東RC会員
(左下) ロータリー・ソング合唱



(右上) 寸劇「ロータリアンの悲願」

(右下) ロータリー・ソング「手に手つないで」合唱



R.I. 理事会の決定事項抄録より

1973年1月

◎立法案の検討

理事会は、各地区ガバナーに対し、従来、各立法年度に開催することを奨励していた立法案を検討するための地区会合（手続要覧1970年10月版、第115頁）を、地区大会プログラムの1部として開催することを推奨する。

◎研究のため R.I. 理事会へ

付記された立法案

制定案72-49～理事会は

- イ) 制定案72-49にて提案されている通りに、クラブの同一区域限界内に二つ以上のクラブの結成を認めるように国際ロータリー細則を改正することには賛成し；
- ロ) かかる改正を行なう立法案は、理事会でなく、クラブ又は地区から提出されるべきことを決議いたしました。

◎推奨ロータリー・クラブ

細則の一部改正

推奨ロータリー・クラブ細則内の規定、並びにその中で推奨されている手続を、1972年規定審議会において修正された標準ロータリー・クラブ定款の規定と符合させるために、理事会は推奨クラブ細則の一部を次の通り、修正いたしました。

- イ) その第1条「理事及び役員選挙」の条項の下に下記の註を含める：

役員選挙の手続中、クラブ会長は、彼が会長に就任する年度の前、2年以内の期間中いつでも選挙し得るという規定を設けることができる。

- ロ) その第11条第2節の条文中、「その定例又は臨時理事会に出席…」の字句より次降の条文を削除し、そこへ下記の条文を入れる：

その定例又は臨時理事会に出席する理事の投ずる反対投票が……票を超えない場合、その被推薦者は正式に選挙されたものと認められるべきものとする。但し、本クラブの正会員又はバスト・サービス会員で本クラブ定款に定められたシニア・アクティブ会員の資格条件をすべて備えている者は、自動的に本クラブのシニア・アクティブ会員になるものとする。この

ようなシニア・アクティブ会員については申込書も選挙もこれを必要としない。

◎国際学生交換プログラム

理事会は、国際学生交換プログラムに関し、特に、一地区以上の地区内クラブが他地区内クラブと合同事業、又は共同活動として参加している数地区合同プログラムに関し、次の決定を採択いたしました。

- 理事会は、或る地区においては、青少年交換プログラムを管理する責任を地区ガバナーの監督、取締りの下より、取り除こうとする傾向が台頭しつつあることを懸念するものである。
- 理事会既定の方針に照らし、理事会は、2以上の地区のクラブが関与する、公式な代行者、又はその他の運営組織を設置することには賛成しない。同時に、理事会は、2以上の地区のクラブが、共同で交換活動又はプログラムを実施するように協力し合うことを望む例があることは認めるものである。理事会は、かような協調、協力に反対するものではない。但し、4以上の地区のクラブが関与する合同活動又は事業は、各関係地区の過半数のクラブが事前に、そのような合同活動又は事業に参加することを承認し、且つ、各関係地区の地区ガバナーが、事前に、そのような合同活動又は事業に参加することにつき国際ロータリー理事会の許可を受けた上でない限り、実施することはできないものとする。

2月15日付

R.I. 事務総長書翰より

◎ニカラグア国の大地震被害者への救援

皆様の中には、ニカラグアへの救援につき問い合わせをお受けになられた方が多々あることと存じますが、ニカラグア国の Emergency National Committee は、Managua ロータリー・クラブが、世界各地のロータリアンよりの救援物資義捐金等を受理し、マナグア市の近郊、郊外に避難している人達へ配布することを許可いたしました。よって、救済義捐金は、マナグア・ロータリー・クラブを受取人として公式名簿にある住所宛にご送金願います。又、同クラブでは、食糧、医薬品、衣類、等々の救援

物資も取扱うことになっておりますが、それらの物資を提供されるクラブは、募集し送付する前に、先ず、マナグア・クラブの会長に、必要としている物資並びにその送付の方法手続を問合わせ、折角の救援物資が遅延なく、マナグアへ届くように手配されることをお勧めいたします。

備考：1月15日付月信記載の通り処理されてもよろしいと思います。

◎職業奉仕委員会の任務

推奨ロータリー・クラブ細則第8条第3節に、職業奉仕委員会は、“本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げる上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする”とあります。これによって、職業奉仕委員会が全クラブ会員の行動につき大きな責任を有することは明らかであります。職業奉仕委員会は、今日、各職業人が直面している実際問題を検討し、それに関するプログラムを考案しなければなりません。それらの問題は各職業人の体験、新聞のビジネス欄、各職業関係出版物、同業者組合での話題に、又、しばしば、新聞の第一面並に、ラジオやテレビのニュース等々から、容易に見出すことができます。

◎クラブ会報をR.I.本部へ

中央事務局は、毎月、平均して、約5,600通のクラブ会報を受け取ります。これらのクラブ会報は、中央事務局内の職員が各クラブの活動やプログラムについて知る上に大変、参考になるものです。就いては、クラブ会報の郵送名簿に中央事務局を加えることを貴地区内各クラブへも奨励して下さい。

3月6日付

R.I. 事務総長書翰より

◎定款、細則の改正事項の検討

各クラブ会長宛の国際ロータリー・ニュースの3月～4月号には多数の同封物があり、その中にペーパー第12A号、標準ロータリー・クラブ定款及び第12B号推奨ロータリー・クラブ細

則の改訂版が入っております。そして、これらの規定文書は、1972年規定審議会での決定に基づき修正されたものであり、クラブ理事会、各委員長、又全クラブ会員と共に研究する重要性を貴地区内全クラブ会長へ強調して下さい。

これらの新改正条項は、既に効力を発し、現行の規定であり、各クラブの理事会において良く検討し、そして例会において全クラブ会員にも精通させなければならない規定なのであります。

また、推奨ロータリー・クラブ細則内の改正事項は、各クラブにおいて、それぞれの細則を再検討し、国際ロータリー理事会によって推奨されている新改正事項を含む、現行の定款諸規定に即した細則に改正する手続をとることが必要となったことを意味します。

◎パンフレット第706号へ

関心事項登録を奨励

パンフレット第706号「国際奉仕計画」は、今年もまた、改訂され、海外のロータリー・クラブとの国際的提携を結ぶことを求めているクラブの新しい名簿がつけられます。各クラブがこのパンフレットに、関心事項を登録申込みする締切日は6月15日です。

阪田靖人君(大阪北R.C.)に贈られた

アーチ・クラフ賞のブラック

月信 No.7
でお知らせ致しました阪田靖人君のロータリー財団に顕著な功績に対し、この度の年次大会でR.I. 会長代理ブライツ氏から写真の功労章が手交されました。写真はそのブラックです。



例会出席規定厳守の申し合せ

当地区年次大会の一般討論会「ロータリー問答」に於て、大阪心齋橋R.C.よりメークアップをする人に早退する人が非常に多いことが訴えられ、各市内クラブもほぼ同感である意志表示があった。

このことは、すでにガバナー公式訪問又は月信に於いて指摘し、各ロータリアンに自覚を促してきました。

中途退席を防止するため、大阪市内各R.C.幹事会に於いて下記の通り申し合せましたので掲載いたします。

- (1) 国際大会決議29-12(ダラス)の出席規定第一項には「出席とは、会員の所属クラブ又は他のロータリークラブ又は仮ロータリークラブの例会に、その所定時間の少なくとも60%列席した事実をいう」と定めてあり、その条件に満たない場合は欠席と記録すべしと明記されている。
- (2) 大阪市内各クラブの例会状況を見るに、60分が例会の所定時間である。しかるに近時、食事終了直後に、又はビジター紹介終了次第、あるいは開会后30分経過のころに無断退場のロータリアンを少なからず見受ける。
- (3) クラブ例会はその終了まで列席するのが当然である。万一やむを得ない事情のある時は、理由をあらかじめ会長又はS.A.A.に申出でて中途退席の許しを求めるべきがロータ

リアンの当然のモラルである。かかる場合に備えた救済手段が前述の60%列席の規定なのである。

- (4) 中途退席者の多いことは、例会のふん囲気を破損して一般列席者に迷惑となるのみならず、卓話者に対する無礼な行為である。近時の状態を黙認し放置することは、やがてロータリーの不信感につながり、同時に規則無視を許すことであり、幹事の責任は、重大である。
- (5) 仍って、大阪市内各ロータリークラブ幹事は、昭和48年2月26日開催の大輪幹事会において、来3月1日以降、出席規定第一項、即ち、例会時間の60%に満たない中途退席会員を欠席として記録することを厳守し、また、ビジターに対してはその所属クラブに氏名を明記、同様の旨を通知することを申合わせた。なお、この申合わせについてはそれぞれのクラブ理事会に報告してその支持を求める。

塚本パスト・ガバナー

世界のロータリー

1973年2月28日現在、国際ロータリーは、149の国及び地理的地域にわたり、15,511のロータリー・クラブと約73万2千人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降、41カ国より、197の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

新 ク ラ ブ 誕 生

名 称	大阪大淀R.C.	八尾東R.C.	高槻東R.C.
スポンサークラブ	大阪北R.C.	八尾R.C.	高槻R.C.
会 長 名	小西利夫	山本隆一	村上二郎
幹 事 名	中山正一	久保田喜雄	小阪健三
例 会 場	ホテル・プラザ	山本町 第一勧銀	高槻商工会議所大ホール
例 会 日	木	金	金
時 間	12:30~13:30	12:30~13:30	12:30~13:30
チャーターメンバー	30名	26名	24名
創立総会日	2月22日	2月23日	3月1日
特別代表名	井上 猛	平野 大太郎	松本 三郎

次年度 公式訪問及び

I.C.G.F. 予定表

田宮次年度ガバナー

◎公式訪問（7月・8月分）

7月9日(月)大阪柏原	8月1日(水)海 南
10日(火)松 原	3日(金)大阪住吉
12日(木)和歌山東	6日(月)堺 南
13日(金)河内長野	7日(火)大阪阪南
16日(月)大阪東淀	9日(木)東大阪東
18日(水)大阪西南	10日(金)泉 南
20日(金)東大阪中	11日(土)大阪天満橋
21日(土)和歌山東南	15日(水)和 泉
23日(月)大 阪 西	16日(木)富 田 林
25日(水)岸 和 田	17日(金)大阪城南
27日(金)泉 大 津	21日(火)貝 塚
28日(土)大阪心斎橋	22日(水)八 尾
31日(火)大阪西北	23日(木)門 真
	25日(土)池 田
	28日(火)大 東
	29日(水)東 大 阪
	31日(金)和歌山南

◎インターシティーゼネラル・

フォーラム (I.C.G.F.)

第5組 (10月27日一土曜) 9 R.C.

大 東(ホスト): 東大阪、大阪東、東大阪東、
枚方、門真、守口、寝屋川、
東大阪中

第6組 (11月10日一土曜) 10 R.C.

茨 木(ホスト): 大阪北、豊中、池田、箕面、
豊中南、吹田、高槻、摂津、
豊中北

第2組 (12月8日一土曜) 8 R.C.

和歌山南(ホスト): 和歌山東、海南、和歌山、粉
河、橋本、和歌山東南、有田

第3組 (1月19日一土曜) 7 R.C.

泉 佐 野(ホスト): 泉大津、岸和田、貝塚、和泉
高石、泉南

第4組 (1月26日一土曜) 9 R.C.

大阪住吉(ホスト): 堺南、大阪南、堺、堺東南、
大阪西南、大阪阪南、堺泉北
堺東

第1組 (2月9日一土曜) 5 R.C.

那智勝浦(ホスト): 白浜、新宮、田辺、御坊

第7組 (2月23日一土曜) 7 R.C.

富 田 林(ホスト): 河内長野、大阪、八尾、大阪
柏原、松原、大阪心斎橋

第8組 (3月9日一土曜) 6 R.C.

大阪天満橋(ホスト): 大阪淀川、大阪西、大阪西
北、大阪城南、大阪東淀

新奨学生のワーク・ショップ報告

今年留学する大学課程の武市、深谷両君、大学課程の村上さん、専門訓練の立石さん、身障者学校教師の中村君、これら5名の当地区新奨学生は、去る2月25日(日)午後、大阪YMCAホテルに集い、みっちり第2回オリエンテーションのワーク・ショップを催した。

主なる課題は次の通り

1. 留学生のクラブ例会に招かれた際のスピーチ
(1) 英文または仏文のショート・スピーチを各自作成、これが形を整頓し、字句などの修正作業を行なう。
(2) 更に推こうのうえ、写を全員に配布し、次回までスピーチを自習、実演する。
(3) 応用問題としてこれを20分のスピーチに拡げる作業などを行なう。

なお、一般にわが国学校教育では Public Speaking のコースが皆無に近いので、この機会に簡単にインストラクションを受けた。

2. ロータリアンの家庭に招かれた際の行儀作法
(1) 住居のドア到着時から帰るまで Goodwill Ambassador または Ambassadoress としての最少限度のエチケット・マナーなどについて。これは今回自習に止めたが実習の要があるようす。
(2) 食卓で家庭料理を食する時のテーブル・マナーについてこれは実際食事をなしつつ実習したから徹底した。
3. 留学先の地区とクラブ及び特にそのカウンセラーになるロータリアンのホームクラブの調査など以上は3時間では到底できないので、4月下旬に第3回をひらくことを約して散会した。

(財団学友委員長 奈良 伝)

地区の再編成 (7月1日以降)

第349地区	千葉県
第352地区	宮城県、岩手県
第353地区	福島県、山形県
第354地区	秋田県、青森県
第357地区	埼玉県

第2回合同地区委員会開催お知らせ

日時: 昭和48年3月31日(土)
午前10時~午後4時
場所: 新大阪ホテル 3階

1973~74年度地区協議会開催お知らせ

日時: 昭和48年6月2日(土)・3日(日)
場所: 新大阪ホテル
開催時間など詳細は追って通知いたします。

訂正 地区R.F.推進小委員会より2月に発送の財団寄付額累計概算表中、泉大津 R.C. の名順位600②を500①にご訂正願います。

1973年2月 出席報告

(Attendance Report for February)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	76	+1	100.00	1	32	大阪柏原	4	26	+1	96.16	16
1	御坊	4	61	+5	100.00	1							
1	橋本	4	57	+2	100.00	1	33	堺南	4	69	+3	95.96	40
1	和歌山東南	5	40	+4	100.00	1	34	八尾	4	55	-1	95.93	22
5	大阪淀川	4	72	+3	99.64	11	35	大東	4	40	+2	95.63	37
6	和泉	4	63	+3	99.59	1	36	池田	4	52	-2	95.59	31
7	枚方	4	54	+4	99.53	9	37	岸和田	4	56	+1	95.56	45
8	和歌山東	4	80	+2	99.36	14	38	和歌山南	4	60	-2	95.38	48
9	大阪西北	4	58	+3	99.15	23	39	河内長野	4	60	-	95.19	34
10	高槻	4	60	+5	98.73	19	40	堺	4	114	+4	95.19	44
11	豊中北	4	38	+5	98.69	47	41	東大阪	4	59	+3	95.18	17
12	箕面	4	35	+3	98.57	10	42	守口	4	57	-1	95.09	61
13	大阪阪南	4	70	+5	98.56	15	43	大阪城南	4	50	+1	95.00	53
14	大阪東淀	4	43	+4	98.25	13	44	大阪住吉	4	70	-	94.94	49
15	門真	4	25	-1	98.00	59	45	吹田	4	59	-	94.92	39
16	茨木	4	62	+5	97.99	1	46	白浜	4	44	+1	94.77	54
17	貝塚	4	57	+2	97.81	21	47	大阪南	4	153	+2	94.63	36
18	大阪心斎橋	4	33	-	97.73	12	48	寝屋川	4	41	+2	94.57	50
19	新宮	4	52	-3	97.60	21	49	豊中	4	59	+3	94.50	30
20	高石	4	50	+1	97.50	27	50	泉佐野	4	54	+3	94.41	43
20	豊中南	4	40	+5	97.50	25	51	海南	4	62	+3	94.40	46
22	泉南	4	39	+6	97.44	35	52	田辺	4	69	+1	94.30	33
23	松原	4	55	+4	97.27	19	53	富田林	4	61	-2	94.20	26
24	堺泉北	4	34	+4	96.97	42	54	東大阪中	4	34	+3	91.18	19
25	大阪天満橋	4	64	+4	96.88	1	55	那智勝浦	4	37	+2	90.97	60
26	摂津	4	39	+2	96.78	41	56	東大阪東	4	45	+3	90.91	56
27	和歌山	4	97	+4	96.58	29	57	大阪	4	303	-2	90.83	58
28	有田	4	51	-1	96.57	1	58	堺東南	4	38	+1	90.72	57
29	大阪東	4	102	+2	96.54	32	59	大阪北	4	182	-	89.94	55
30	泉大津	4	72	-1	96.48	24	60	堺東	4	34	+8	89.71	51
31	大阪西	4	94	+1	96.20	38	61	粉河	4	30	-	86.67	52
平均出席率						95.99%	合計 245 3,846 +120						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

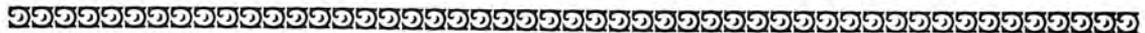


GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大谷 一雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku.
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

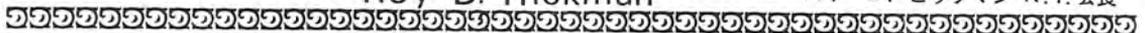
事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



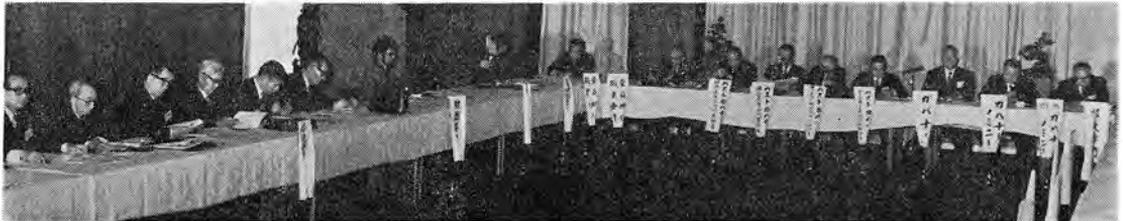
LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 11 信 昭和48年 4 月 15 日 ガバナー 月 信 No.11 April 15, 1973



第 2 回合同地区委員会 3 月 31 日 (土) 於: 新大阪ホテル



第2回合同地区委員会報告

3月31日(土)午前10時から午後3時15分まで新大阪ホテルに於いて、ガバナー司会のもとに、本年度第2回合同地区委員会が開催された。この合同地区委員会は今までの実績を計画に照らし、報告、検討するとともに、次年度ガバナーがレイク・プラシッドの国際協議会に参加する際の参考事項を提供することを目的としている。まず始めに、ガバナーの挨拶があり、次いで田宮次年度ガバナーより答辞があって以下述べる順序に従って報告がなされた。

拡大部門

委員長 塚本 義隆

◦今までに設立された新クラブ

大阪大淀 (スポンサークラブ大阪北)

八尾東 (" " 八尾)

高槻東 (" " 高槻)

◦目下計画中の新クラブ

大阪城東 (スポンサークラブ大阪東)

吹田北 (" " 吹田)

羽曳野 (" " 富田林)

古座一串本 (" " 田辺)

藤井寺 (" " 松原)

なお、第361区の若松ガバナーの要請によって、熊野市に新しいクラブを作ることについて、新宮クラブ等が協力中である。

地区指名委員会

委員長 尾形 繁之

大阪東R.C.の峯村英薫君を1974—75年度のガバナー・ノミニーに所定の手続を経て決定した。

広報委員会

委員長 浅田 敏章

去る3月3日・4日の年次大会に於いて、優秀会報クラブを表彰した。

即ち、御坊、東大阪東、茨木、岸和田、大阪、大阪住吉、堺東の7クラブである。

その審査基準は

- ① クラブ活動の正確な記録が簡明に記載されているかどうか。
 - ② ロータリー情報の普及に役立っているかどうか。
 - ③ 会員相互の親睦を深める糧となっているかどうか。
 - ④ 会員の出席改善に効果があったかどうか。
- の4つである。

これに対して、もう1つその会報が興味あるものであることを追加しては如何との意見があった。

ロータリーの友委員会

委員長 今井 龍雄

「第366地区を語る」の記事、次に「奉仕とはなお足らざるの心なり」と題する記事をロータリーの友に記載した。

他に大谷ガバナー、尾形直前ガバナーの原稿、桃谷委員を通じて有田R.A.C.、加藤委員を通じて箕面R.C.の活動についての記事をロータリーの友に載せた。年度末までにもう一度委員会を開き、次年度委員会への参考資料を提供したい。

この説明後、ロータリーの友を財団法人にしては如何との話があった。また諸物価の値上がりにともない「ロータリーの友」の定価も改正しなければならないかも知れぬとの話が出た。

職業奉仕部門

委員長 川端 駿吾

本年度の年次大会で4名の人に職業奉仕ガバ

ナー賞を授与した。

その他「1971年度職業奉仕週間の記録」（小冊子）及び、塚本義隆パスト・ガバナー著「サービス思想の意味するもの」、小話「フォアウェイ・テスト」を地区内全員に配布した。

また、職業奉仕週間については、5人のP.G.、2人の職業奉仕委員が分担して各クラブへ卓話に出講した。

尚、年度内に職業奉仕記念論文集を刊行する予定である。

社会奉仕部門

委員長 原田 秀雄

社会奉仕の大きなものとして、特に取り上げられた問題は公害である。この公害問題は職業奉仕とも極めて密接な関係があり、公害防止意識の向上は極めて緊要である。

尚、各クラブの実施している社会奉仕の具体的なものを一覧表にして、他クラブの参考にしては如何との話があった。

青少年活動委員会

委員長 松田 稔

青少年活動は極めて幅の広い問題である。現在、各クラブにアンケートを出しているが、いづれこれをまとめて報告書を作り、各クラブへ配布したい。

インターアクト委員会

委員長 蒲田 政治

昨年8月中旬ハワイ第500地区からインターアクトの訪日団を迎えたが、明年は、京都第365地区と当地区からできれば22名のハワイ訪問団（顧問教師を含む）を組織して派遣したい。これに要する費用は約26万円である。

尚、今後年度中に、インターアクトの顧問教師の研修、又は、インターアクトの協議会を催

す予定である。

ローターアクト委員会

委員長 世戸 一夫

地区内9つのローターアクト・クラブは随時連絡協議会を催し、或はスポーツ大会、キャンプ、ヨットの会等親睦活動を行っているが、来る6月3日には有田ローターアクト・クラブがホストとなり年次地区協議会を催す予定である。尚、6月8日から13日までロータリーの友記念論文に投稿した3名のローターアクト会員をホンコンに派遣する予定である。

世界社会奉仕委員会

委員長 原田 誠一

地区を4地区に分割した。

大阪市内は14クラブの内5クラブが単独で実施し、他は全部合同で実施することにした。

A. 完了したもの

○大阪府南部16クラブ合同（岸和田 R.C. ホスト）台湾の埔里基督教病院に救急手術用発電機一組寄贈（約80万円）

尚、近く宣蘭ロータリー・クラブの児童図書館に書籍を送る予定。

○和歌山県下13クラブ合同（和歌山 R.C. ホスト）韓国 376 地区 Sung Ji 児童養護施設に牡牛寄贈（88万9,200円）

○大阪府北部18クラブ合同（吹田 R.C. ホスト）ネパールのカトマンズロータリー・クラブを通じ、結核病棟増設資金寄付（1,016,400円）

○大阪北 R.C.

韓国377地区光州南 R.C. を通じて農具購入資金援助（600ドル）

B. 近日完了見込みのもの

○大阪市内9クラブ合同（大阪住吉 R.C. ホスト）第376地区東大邱 R.C. を通じ仔山羊購入資金援助（54万9,000円）

C. 年度末までに終了予定

○大阪 R. C.

第376地区釜山 R. C. と折衝中。

○大阪南 R. C.

第376地区大邱 R.C. に牡牛購入資金寄贈。
(15万円)

○大阪東 R. C.

第376地区東釜山 R.C. と目下プロジェクト検討中。

○大阪西南 R. C.

第376地区北釜山 R.C. を通じ継続事業としての牛贈呈。

新規支給者

氏名	国籍	大学	コース	スポンサークラブ
*林 彩 梅	台湾	近畿大学	修士	大阪城南
陳 思 乾	台湾	大阪大学	学部	大阪淀川
許 錫 美	台湾	大阪大学	修士	豊 中
葉 権 儀	台湾	近畿大学	博士	大 阪
劉 成 基	台湾	近畿大学	博士	八 尾
ファン・バン・ツオン	ベトナム	大阪府大	学部	堺
*南 沃 祐	大韓民国	大阪音大	修士	豊中南

*は女性、台湾の呼称については理事会内規に基く。

青少年交換委員会

委員長 岡 崎 恒 雄

現在まで枚方R.C.へアメリカ・ミネソタ州から1名、また、大阪北R.C.にオーストラリア・プレストンより1名受け入れ、現在それぞれ通学中。この他、アメリカ・デンバーR.C.(第545地区)より女性1名長期派遣の申込みあり、さらにオハイオ州(第665地区)より相互交換長期1名の申込みがある。

日本よりは橋本R.C.よりアメリカへ長期1名(女性)、短期2名(男女各1名)、御坊R.C.より1名(女性)アメリカへ短期派遣の申込みがあり、現在先方のR.C.と交渉中。

継続支給者

氏名	国籍	大学	コース	スポンサークラブ
黄 慶 連	台湾	大阪大学	修士	大 阪
林 敏 雄	台湾	大阪大学	博士	豊 中
サイド・ソウ・ウディ	イラン	大阪大学	修士	大 阪

ローザンヌ大会行委員会

委員長 西 森 正 昭

日本より約3,000名がローザンヌにおけるR.I.国際大会に参加すると言われる。17日間の計画を立案したが、この計画を用いたのは高槻クラブ他1クラブにすぎなかった。

米山奨学委員会

委員長 百 々 貞 雄

米山奨学金については年1,500円のいわゆる割当て寄付があり、これは比較的順調であるが、特別寄付については考慮する必要がある。

48年度の米山奨学生としては当地区から7名が新規に選考され、継続支給のもの3名を加えて合計10名である。ちなみにその氏名は次の通りであり、これらの人々には毎月35,000円の奨学金が支給される。

財団奨学生委員会

委員長 箕 田 貫 一

本年度は奨学生5名と他に1名(教師奨学金)を推薦することとなった。

現在までの奨学生の応募者は大学院課程14名、大学課程7名、専門的訓練2名であり、語学としては英語、仏語、独語、伊語を選択している。(その後4名の申し込み追加があった。)これは4月中旬語学の試験を行い、最終試験は4月23日頃の予定である。

研究グループ交換委員会

委員長 西川 武四郎

カナダ第536地区より研究グループ交換としてリーダーを合わせて6名が3月19日に来日し、目下予定通り各地区を回り研修中である。研究グループ交換を順調に運ぶため当地区を4地区に分割し、それぞれの地区に委員長を委嘱した。

即ち、次の通りである。

1. 大阪市内地区 14R.C. (大阪北) 日比野清次
2. 和歌山地区 13R.C. (和歌山南) 安本 松隆
3. 阪南地区 17R.C. (堺) 万野 善昭
4. 北摂地区 17R.C. (池田) 村上 実

尚、この研究グループは4月30日東京を離れ帰国する予定である。

明年は当地区よりカナダ第536地区に研究グループ交換生を派遣する予定であり、さらにイギリス第122地区より当地区と研究グループ交換を持ちたいと申し出があり、田宮次年度ガバナーが、レイク・プラシッドに於いてこれにつき先方と接触されることを希望する。

財団推進委員会

委員長 阪田 靖人

当委員会としてはI.C.G.F.に出席してP.R.に努め、又、文書によっても財団支援のことをお願いした。

お陰をもって、ポール・ハリス・フェローは47名であり、ポール・ハリス・準フェローも多数を数えた。

当地区としては現在の400%地区を500%地区にすることを目標としている。幸いに各クラブの協力によって、400%以上であり500%に達していないクラブは僅か4クラブになった。この4クラブには特にご協力をお願いしている次第である。尚、和歌山及び大東クラブが、昨年度末をもって1500%に達して、東ヶ崎ロータリー財団管理委員長より表彰(タテ)を下されたと

のことである。

尚、この機会に財団寄付表彰の%順位算定の基準について若干の矛盾がある。例えば、会員が減少した場合自然に%が上昇するのでこの場合、どのようにすべきか問題になっている。

財団学友委員会

委員長 奈良 伝

財団学友即ち、元奨学金受領者、元研究グループ交換団員を調査し、その名簿を作成した。その数は両者合わせて15名である。特にこの際奨学生として海外に出る人に希望したいことは、自分の勉強もさることながら、与える奨学生、換言すれば相手国の人はその奨学生から日本のことを知りたがっているから、日本についてもよく知識を有し、それらの人々に与える学生でなければならない。

オリエンテーションの場合、パブリックスピーキングについてこの点を特に強調しておく必要がある。

会員増強職業分類委員会

委員長 小島 清司

現在まで120名の純増があった。その数字は3.3%にすぎない。できるならば10%までに達しなくとも7%に達したいと思う。

この席場で、職業分類が乱れている、例えば、医師、銀行関係について色々な名称即ち、職業分類を作ることに批判的意見がでた。

最後に地区資金について極めて順調に推移しているとの説明があり、和氣蕩蕩に3時15分に散会した。

地区協議会

<1973~74年度クラブ役員等の研修のため>

6月2日(土)・3日(日)

於：新大阪ホテル

ホスト：高槻 R. C.

プログラム (仮)

第1日 6月2日(土) 参加者：次期クラブ会長・幹事

- 13:00登 録
- 13:30開 会
- 開会のことば.....地区協議会委員長
- 開会の挨拶.....地区ガバナー
- 次期ガバナー紹介..... ”
- 13:40 挨拶.....次期ガバナー
- 13:45 「本会合の目的と機構、その進め
方や研究会場等について」.....地区ガバナー
- 出席報告.....地区協議会準備委員長
- 13:55 「クラブ運営について」.....討 議
- 15:25休 憩
- 15:40本 会 議
- 「会員資格の原則」.....次期ガバナー
- 16:20 「地区の関心事項」.....地区ガバナー
- 17:00懇 親 晩 餐 会
- 18:00閉 会

第2日 6月3日(日) 参加者：次期クラブ会長・幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕担当の各次期理事。

- 9:00登 録
- 10:00 挨拶.....地区ガバナー
- リーダー紹介..... ”
- 10:10 挨拶.....次期ガバナー
- 新年度の方針..... ”
- 10:30研究分科会
- 11:30休 憩
- 13:00~14:40研究分科会

14:45本会議
14:50	閉会の挨拶.....地区ガバナー
15:00	散会宣言.....次期ガバナー

新クラブ設立の 特別代表を委嘱

吹田北 R. C. 設立の為、新たに田中和一郎君
(吹田 R. C.) を特別代表に委嘱いたしました。

大阪大淀 R. C. 正式加盟

去る2月22日(木)大阪北R.C.をスポンサー・
クラブとして結成された大阪大淀 R.C.は、R.I.
本部より、3月20日に正式加盟の承認をうけま
した。

田宮次年度ガバナー

国際協議会 (レイク・プラシッド)
及び国際大会 (ローザンヌ) へ

田宮次年度ガバナーは5月1日～9日までレ
イク・プラシッドに於ける国際協議会、次いで
5月13日～17日までスイスのローザンヌに於け
る国際大会に参加の為、4月23日(月)15:35
羽田発 PA 846便にて出発、5月26日(土)帰
国の予定です。

尾形パスト・ガバナー

レイク・プラシッドへ

尾形P.G.は京都第365区の絹川清 P.G.と共に
日本語部門ガバナー・ノミニーのグループ・リ
ーダーとして、国際協議会・国際大会に出席の

為4月23日(月)15:35羽田発 PA 846 便にて
出発、5月26日(土)帰国の予定です。

田宮次年度ガバナー事務所開設

1973～74年度国際ロータリー第366区ガバナ
ー事務所が下記の通り開設されました。

〒569 大阪府高槻市紺屋町5番20号
尾崎ビル4階
高槻郵便局私書箱49号
TEL (0726) 83-6249番

国鉄高槻駅前住友信託銀行の広告塔のあるビ
ルです。国鉄プラットホーム京都寄り南側改札
口より出て下さい、すぐ目の前にあります。

郵便には私書箱番号をお忘れなくお書き下さ
い。

次年度のクラブ会長・幹事

	クラブ名	会長	幹事
A	有田	佐々木 惇	浜地 寛夫
D	大東	西岡 末男	根本 昌幸
C	御坊	戸根 重三	瀬戸 新一
H	橋本	豊沢 末木	楠 公延
	東大阪	中村 俊一	森 彰郎
	東大阪東	水守 俊英	光久伊太郎
	東大阪中	六車 慶次	渡辺 斌
	枚方	有沢 源蔵	岸上 拓司
I	茨木	橋本 秀雄	土方 俊雄
	池田	竹本 利治	中井 和夫
	和泉	山本 利治	飯坂 辰一
	泉大津	北野 茂	前山作二郎
	泉佐野	大工 竹人	永橋 肇
K	門真	森 武助	辻村 司

	海	南	東	義行	原	礼三
	貝	塚	直	太作	毛尾	義雄
	河内	長野	小林	治祐	阪野	寿彦
	岸和	田	柏村	長治	才門	三郎
	粉	河	向井	芳雄	野崎	弘己
M	松	原	和田	一雄	脇田	正義
	箕	面	武田	勝蔵	岡田	健一
	守	口	池田	俊郎	小西	豊和
N	那智	浦	岡田	稔太郎	内田	正年
	寝屋	川	清水	孝正	松島	磐
O	大	阪	里井	達三良	絹川	治
	大	阪	西尾	専太郎	松山	英夫
	大	阪	内藤	正章	神末	雅博
	大	阪	吉川	武夫	富士川	誠治
	大	阪	井上	敏寿	光信	昌明
	*大	阪	奥村	良蔵	石脇	達三
	大	阪	布川	宗治	小南	勝弘
	大	阪	佐治	敬三	森川	照光
	大	阪	西村	信夫	森	忍
	大	阪	山西	利夫	中山	正一
	大	阪	柴田	進二	中山	篤三
	大	阪	藤井	恒一	越井	健
	大	阪	神田	孝一	杉浦	一宗
	大	阪	倉石	治七郎	西沢	信雄
	大	阪	松田	稔	小杉	建次
	大	阪	中西	正二	鴻野	真太郎
	大	阪	広岡	治	田中	収
S	堺		村田	正雄	田中	誠二
	堺	東	瀬良	好澄	高砂	芳秋
	堺	泉	家永	三郎	生田	勝久
	堺	南	油谷	正経	北野	国春
	堺	東	鈴木	利雄	森本	静雄
	泉	南	河村	善二	成子	彰
	摂	津	中谷	定吉	瀬川	昭
	新	宮	竹中	雄一	玉置	孟春
	白	浜	百合	辰雄	木下	明彦
	吹	田	藤平	一男	北村	英一
T	高	石	片山	公平	日比野	琢也
	高	槻	矢野	精太郎	入江	輝彦
	*高	槻	村上	二郎	小阪	健三
	田	東	橋本	太次兵衛	小川	隆次
	富	田	上田	剛三	杉多	利夫
	豊	中	植田	高三	八谷	平吉
	豊	中	福田	茂治	石田	範一
	豊	中	加藤	知衛	柏木	義文

W 和歌山 竹中 泰三 中村 栄
 和歌山東 堀 良造 中村 靖男
 和歌山南 山本 芳郎 北畑 慶哉
 和歌山東南 園部 馨 森川 登

Y 八尾 高井 保雄 堀井 繁寛
 *八尾東 山本 隆一 久保田喜雄
 *八尾東 R.C. は 2月23日、高槻東 R.C. は 3月1日、
 大阪城東 R.C. は 4月27日に創立総会開催、本年度
 中に R.I. より加盟の承認を受ける予定。

新ポール・ハリス・フェロー

下記の諸君に新しくポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。

西村 光子君(池田) 長田 幸永君(池田)
 (西村一夫会員夫人)
 清水 潔君(大阪南) 南 広恵君(豊中)
 広石幸八郎君(豊中) 堀 正君(豊中)
 下地 玄信君(大阪) 小林 保君(堺東)
 谷 宗次君(和泉)

新ポール・ハリス・準フェロー

下記の諸君が新しくポール・ハリス・準フェロー計画に参加されました。

森田 一夫君(東大阪) 吉沢 和夫君(東大阪)
 西田 義郎君(岸和田) 上野 正夫君(大阪東)
 山田 安邦君(大阪東) 金子栄五郎君(大阪城南)
 紫田 進二君(大阪心斎橋) 中島蓬太郎君(大阪心斎橋)
 対島 修一君(大阪心斎橋) 藁田 正朝君(堺)
 金子又兵衛君(吹田) 大野 真義君(高槻)
 武田 良逸君(富田林) 神崎 茂君(八尾)
 白井 勇君(八尾) 渡辺 奇敏君(八尾)

事務所移転のお知らせ

大東R.C. 事務所(4月3日以降)

移転先: 〒577 大阪府守口市京阪本通り
2の22

三洋電機健康保険会館内

電話: 06-991-1181

寝屋川R.C. 事務所(4月13日以降)

移転先: 〒572 寝屋川市東大利町2番14号

寝屋川市立産業会館内

電話: 0720-21-0277

1973年3月 出席報告

(Attendance Report for March)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	3	78	+3	100.00	1	32	豊中北	5	38	+5	96.84	11
1	御坊	5	61	+5	100.00	1	33	新宮	3	52	-3	96.80	19
1	橋本	5	56	+1	100.00	1	34	大阪住吉	5	70	—	96.57	44
1	枚方	4	54	+4	100.00	7	35	東大阪中	5	34	+3	96.42	54
1	和歌山東南	4	43	+7	100.00	1	36	大阪西	4	94	+1	96.20	31
1	大東	4	41	+3	100.00	35	37	池田	5	52	-2	96.05	36
1	豊中南	5	41	+6	100.00	20	38	堺南	4	70	+4	96.01	33
1	大阪心斎橋	5	33	—	100.00	18	39	高石	4	50	+1	96.00	20
9	有田	5	51	-1	99.61	28	40	大阪柏原	4	26	+1	95.30	32
10	和泉	4	63	+3	99.59	6	41	岸和田	3	56	+1	95.24	37
11	茨木	3	61	+4	99.45	16	42	八尾	3	56	—	95.08	34
12	大阪淀川	5	72	+3	99.14	5	43	貝塚	4	57	+2	94.74	17
13	摂津	5	39	+2	98.98	26	44	大阪南	4	156	+5	94.72	47
14	箕面	5	35	+3	98.86	12	44	大阪城南	5	53	+4	94.72	43
15	東大阪	3	58	+2	98.81	41	46	堺	5	115	+5	94.71	39
16	和歌山東	5	82	+4	98.74	8	47	海南	3	62	+3	94.59	51
17	吹田	5	60	+1	98.66	45	48	泉佐野	5	55	+4	94.50	50
18	高槻	5	61	+6	98.61	10	49	田辺	5	69	+1	94.46	52
19	泉大津	5	72	-1	98.31	30	50	堺泉北	5	34	+4	93.37	24
20	大阪東淀	4	43	+4	98.26	14	51	豊中	4	59	+3	93.22	49
21	河内長野	5	60	—	98.25	39	52	守口	3	57	-1	92.86	42
22	大阪阪南	4	70	+5	98.21	13	53	白浜	5	44	+1	92.56	46
23	大阪西北	4	59	+4	97.87	9	54	寝屋川	5	42	+3	92.38	48
24	大阪東	5	101	+1	97.60	29	55	堺東南	5	42	+5	91.43	58
24	門真	5	25	-1	97.60	15	56	大阪北	3	181	-1	90.77	59
26	和歌山	4	96	+3	97.58	27	57	東大阪東	5	45	+3	90.45	56
27	富田林	5	60	-3	97.33	53	58	大阪	5	303	-2	88.90	57
28	松原	4	55	+4	97.27	23	59	粉河	3	30	—	88.89	61
29	和歌山南	5	60	-2	96.95	38	60	那智勝浦	5	37	+2	88.34	55
30	泉南	5	39	+6	96.92	22	61	堺東	4	35	+9	87.78	60
31	大阪天満橋	5	64	+4	96.88	25							
平均出席率					96.22%		合計 268 3,867 +141						

各 ク ラ ブ 別 ロ ー タ リ ー

	ク ラ ブ 名	会 員 数	本 年 度 寄 付 額	寄 付 額 累 計	パ ー セ ン ト	次 の パ ー セ ン ト へ の 必 要 額
A	有 田	51	341.88	3,671.12	* 700	408.88
D	大 東	39	2,337.98	6,783.55	***** 1700	236.45
G	御 坊	62	480.90	4,215.43	600	124.57
H	橋 本	57	1,269.80	3,549.83	** 600	440.17
	東 大 阪	59	351.96	5,576.09	900	323.91
	東大阪東	40	120.95	2,731.86	600	68.14
	東大阪中	30	669.94	669.94	** 200	230.06
	枚 方	51	1,073.00	3,266.52	** 600	303.48
I	茨 木	58	2,873.21	8,083.26	*** 1300	36.74
	池 田	54	1,978.07	7,717.99	*** 1400	382.01
	和 泉	60	1,995.16	8,004.25	*** 1300	395.75
	泉 大 津	74	81.18	3,630.73	400	69.27
	泉 佐 野	51	70.99	3,543.91	600	26.09
K	門 真	25	26.00	1,026.02	400	223.98
	海 南	58	1,766.01	4,559.04	*** 700	80.96
	貝 塚	53	1,442.38	3,914.05	*** 700	325.95
	河内長野	56	159.99	4,076.60	* 700	403.40
	岸 和 田	58	610.90	3,858.73	* 600	201.27
	粉 河	29	174.99	1,474.87	* 500	265.13
M	松 原	51	580.19	4,368.78	800	221.22
	箕 面	32	1,332.00	2,825.76	**** 800	54.24
	守 口	53	678.04	3,352.38	* 600	357.62
N	那智勝浦	34	470.00	4,387.49	* 1200	32.51
	寝 屋 川	28	112.00	1,229.50	400	170.50
O	大 阪	300	1,585.20	36,122.84	* 1200	2,877.16
	大 阪 東	97	3,890.71	20,964.21	** 2100	375.79
	大阪阪南	62	2,079.10	5,398.42	** 800	181.58
	大阪東淀	40	339.94	1,553.01	400	446.99
	大阪城南	50	542.99	2,755.40	500	244.60
	大阪柏原	25	25.00	985.13	400	264.87
	大 阪 北	167	4,899.12	20,770.08	*** 1200	939.92

財 団 寄 付 額

*印は本年度期初より上昇したクラブ (*ひとつは100%)

寄付額の表示単位米ドル (1973年2月28日現在)

ク ラ ブ 名	会 員 数	本 年 度 寄 付 額	寄 付 額 累 計	パ ー セ ン ト	次 の パ ー セ ン ト へ の 必 要 額
大 阪 西 北	53	1,884.96	3,509.08	** 600	200.92
大 阪 心 斎 橋	31	1,151.67	2,483.33	**** 800	306.67
大 阪 南	153	8,746.69	18,215.10	***** 1100	144.90
大 阪 西 南	73	94.99	4,611.43	700	1,228.57
大 阪 住 吉	72	1,365.84	8,649.56	** 1200	710.44
大 阪 天 満 橋	61	397.05	5,648.68	900	451.32
大 阪 西	93	1,097.94	7,656.99	* 800	713.01
大 阪 淀 川	68	1,192.96	5,570.27	** 800	549.73
S 堺	112	2,564.10	20,669.89	** 1800	610.11
堺 東	27	377.84	647.86	** 200	162.14
堺 泉 北	29	1,629.94	2,304.15	***** 700	15.85
堺 南	71	1,829.66	12,631.81	* 1700	148.19
堺 東 南	35	1,705.74	4,859.21	**** 1300	40.79
泉 南	30	1,185.04	1,535.06	**** 500	264.94
摂 津	32	1,263.87	2,472.44	** 700	87.56
新 宮	53	987.99	3,960.97	** 700	279.03
白 浜	40	82.99	2,192.93	500	207.07
吹 田	61	108.99	3,342.90	500	317.10
T 高 石	47	1,630.90	4,448.53	*** 900	251.47
高 槻	51	3,827.98	6,446.01	***** 1200	183.99
田 辺	70	2,246.89	6,389.28	** 900	610.72
富 田 林	58	817.82	6,033.18	* 1000	346.82
豊 中	57	2,264.43	7,922.42	*** 1300	57.58
豊 中 北	31	1,662.96	1,992.99	*** 600	177.01
豊 中 南	33	462.85	1,741.93	* 500	238.07
W 和 歌 山	94	3,796.95	15,907.12	**** 1600	72.88
和 歌 山 東	76	1,576.43	9,459.64	** 1200	420.36
和 歌 山 南	59	567.52	9,224.31	1500	215.69
和 歌 山 東 南	33	395.96	1,451.17	400	198.83
Y 八 尾	56	1,455.90	4,760.17	** 800	279.83
合 計	3663	82,734.43	371,805.20		

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

ガバナー 大 谷 一 雄

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電 話 06-341-8710

~~~~~  
**LET'S TAKE A NEW LOOK!** もう一度見直そう!  
Roy D. Hickman                      ロイ D. ヒックマン R.I. 会長  
~~~~~

第 12 信 昭和48年 5 月 15 日 ガバナー 月 信 No.12 May 15, 1973

国際ロータリー 第366地区 } 間の姉妹締結期間 国際ロータリー 第376地区 } 3カ年間延長さる

1973年4月1日、釜山市に於ける国際ロータリー第376地区年次大会で同地区林英植ガバナー及び当第366地区ガバナーの署名した両地区間の姉妹締結期間を、引続き3カ年そのまま延

長する同意書が交換された。因にこの延長については3月3日・4日両日開催の当地区年次大会で決議されております。



同意書を交換するガバナー代理塚本義隆パスト・ガバナーと林英植ガバナー。

ロータリー
資料室

ブライトホルツ直前R.I.会長 からのお礼状

国際ロータリー 第366区

ガバナー 大谷 一雄殿

拝啓

私共が貴地区に滞在致しました節は、言葉では言い表わせない程の貴地区ロータリアン全員のご親切な歓待を頂き、心より厚くお礼申し上げます。

貴殿がガバナーとして主催されました貴地区年次大会は成功裡に終了し、実に意義深いものでした。

又、その大会の席上、我々に贈呈して頂きました贈物は大変素晴らしいもので、私共の忘れえない思い出として残ることと存じます。

私共は今一度是非貴殿にお目に掛かれることを心より望んで止みません。

どうか貴地区の会員の皆様様にくれぐれもよろしくお伝え下さいます様お願い申し上げます。

敬具

アンスト G. ブライトホルツ

研究グループ交換委員会報告

委員長 西川武四郎

カナダ第536地区と当第366地区との交換によりカナダ地区が先に来訪した。

A. その団員は下記の通りである。

1. 団長 ロバート・ヒロナカ氏

Dr. Robert Hironaka

地区ガバナー代理 45才

住所：アルバータ州 レスブリッジ

職業：カナダ国立農業研究所動物栄養
研究員

イースト・レスブリッジ R.C.

1970—71 会長



2. ガース・ダイヤモンド氏

Mr. Garth A. Dymond 33才

住所：アルバータ州 カルガリ市

職業：弁護士

3. ロバート・エンダース氏

Mr. Robert J. Enders 34才

住所：アルバータ州 ラコンベ市

職業：高校教師

4. ドナルド・エリクソン氏

Mr. Donald A. Eriksson 33才

住所：アルバータ州 エドモントン市

職業：建築家

5. モーリス・ロブ氏

Mr. Maurice R.A. Lobe 33才

住所：サスカチュワン州グラスリン市

職業：製材会社社長

6. ロバート・ポールスランド氏

Mr. Robert A. Powlesland 34才

住所：アルバータ州 レスブリッジ市

職業：大学職員、食堂経営

B. 1行の滞在並にその行動

以上6名が3月19日羽田着。西川委員長

及び田宮次年度ガバナーが出迎え。当夜は羽田東急ホテルにて一泊、翌日新幹線ひかり号にて、午後3時10分新大阪駅着。

YMCA ホテルに宿泊。

3月21日正午、新大阪ホテルにて、G.S.E. 委員及び受入委員が歓迎昼食会を催す。

午後3時より、大相撲見物で大満悦。

3月22日午前中、YMCA ホテルにて、オリエンテーション開催。

講師 Dr. Frank Brown

(大阪淀川R.C.)

住野 喜正君 (大阪R.C.)

午後 大阪府知事及び市長訪問

3月23日午前中、YMCA ホテルにてオリエンテーション開催。

講師 奈良 伝君、世戸一夫君、青木靖彦君。

3月24日より3月30日迄

阪南地区の受持ち、堺市を中心に臨海工業地帯並に日立造船、関西電力等の大工場及び繊維関係ユニチカ工場、中小毛織工場見学。

高等学校、中学校、小学校等参観。

仁徳御陵、泉北ニュータウン見学。

奈良観光、P.L.教団施設視察。

3月31日より4月6日迄

和歌山地区巡遊——高野山、勝浦、白浜潮岬等観光。和歌山住友金属工場、貯木場染色工場見学。

4月7日より4月14日迄

Special Interest Week として団員各自の個別的な研究。

4月15日より4月20日迄

大阪市内及び神戸見学。

4月21日より4月27日迄

北摂地区見学。その間京都市内観光。

4月27日夜 新大阪ホテルにて、ガバナー

主催歓送会

ガバナー、パスト・ガバナー、G.S.E. 委員、受入委員長出席。

4月28日午前9時25分大阪空港発 10時25分東京空港着。4月30日まで東京に滞在し、その間、東京R.C.のR.財団委員長鈴木勇氏その他のお世話で東京観光。当受入れ委員日比野清次君が付添。

4月30日午後9時30分 NWAにてホノルル経由で帰国。西川委員長見送り。

財団奨学生委員会報告

委員長 箕田 貫一

—1974—75年度奨学生候補者選考—

1974—75年度の当地区の奨学金割当数は大学院、大学課程及び専門的訓練合計5口、他に教師奨学金1口推薦できることになった。候補者の募集については、ポスターその他の文献を各クラブ、地区内の大学に送りPRに努めました。結局14のクラブから27名の申請がありました。その内訳は大学院課程17名、大学課程8名専門的訓練課程2名であった。

選考については、選考委員会をつくり、委員としてガバナー、パスト・ガバナー、ガバナー・ノミニー、奈良財団学友委員長、本奨学生委員が参加、更に語学担当として次のロータリアンの協力を特にお願した。

英語 Mr. Robert O. Smith (大阪)

ノースウエスト航空会社支配人

独語 Mr. Klaus Kran (大阪)

バイエル薬品株式会社副社長

仏語 Mr. Daniel Guérard (大阪)

エール・フランス国営航空会社南日本地区支配人

伊語 Mr. Pietro Buttacavoli (大阪北)

アリタリア航空会社大阪地区支配人

選考方法については、昨年の方式にならい、第1次面接テスト（英語4月11日、独・仏・伊語4月13日）を行ない語学力の考査を行った。合格者は12名で内訳は大学院9名、大学2名、専門的訓練1名、語学別では英語9名、独語2名、伊語1名であった。次いで4月23日第二次面接テストを行い、全般について考査を行った。考査の結果について、下記の通り地区確認の候補者を決定し、R.I.事務総長に申請書類を送った。財団において審査の結果、9月頃に正式の採否が決定される。

- 大学院課程正候補者 高橋和夫（大阪南）
- " " 西村悟郎（堺）
- " " 小竹 徹（大阪）
- " " 柘木芳子（箕面）
- 専門的訓練課程正候補者
- 藤原 敏（大阪）
- 大学院課程第1補欠候補者
- 山本皓二（箕面）
- " 第2補欠候補者
- 堂本和隆（河内長野）
- （括弧内は推薦クラブ名）

地区財団推進小委員会情報

並びにお願い

委員長 阪田 靖人

情報I：1972—73年度も残る処2ヶ月足らずとなり、ロータリーの行事予定は略ぼ終了。5月1日—9日のレイク・プラシッドに於ける国際協議会に続くスイスのローザンヌで開催されるR.F.財政委員会（5月10日）、R.F.管理委員会年次総会（5月11日）、及び第64回年次国際大会（5月13—17日）、並びにR.I.理事会の1972—73年度最終及び1973—74年度第1回会合を余すのみとなりました。

さて、財団活動の目的は各国の国民間の国際

理解を増進するにあるので、将来にその成果を約束されている青年の海外研究派遣に眼目をおいており、その財源確保増大のための財団支援態勢として、賢明にも財団管理委員会の案出に係る寄付状況の優秀な地区に対してボーナス的に奨学生の割当数を増加する制度の採用は、結果として財団寄付金額の加速度的な累進増大を来いたしました。1972—73年ロータリー年度の前期6ヶ月間の寄付総額は1,509,350.99米ドル（前年同期比28.6%増）となっており、内31.48%の474,393.15米ドルが日本からの支援寄付で会員平均1人当たり約8.30米ドルの計算となります。

因に現行の地区会員1人当たり平均年間寄付額と奨学生割当数はご承知の下記の通りです。

	会員当平均寄付(米弗)	割当数
I	2.99以下	1
II	3.00乃至5.99	2
III	6.00乃至8.96	3
IV	9.00乃至19.99	4
V	20.00以上	5

この表で気になりますことは、I—IIIが3米ドル刻みであるのに、IVの幅は11米ドルと飛躍的に大きく、ロータリーの標語の“He Profits Most Who Serves Best”に相応しくない刻み方で、サービスの良い方が割が悪い印象を受けているのは筆者だけでありましょうか。そこで、せめてIVを2分して9.00乃至13.99米ドルをIVとし、14.00乃至19.99米ドルをVとして、奨学生割当数をそれぞれに4名と5名にして、20.00米ドル以上の寄付地区には6名を割当てるように改める方が標語にも忠実であり、且つ推進も一層し易くなるのではなかろうかと。R.F.推進部へ申入れておりますが如何相成りましょうか。

これは高額の寄付をした地区への追加奨学金の授与の制度は変動性で、時の状況に応じて、毎年管理委員会が決めるもので、1975—76年度

のスケジュールは、今月ローザンヌで開かれる管理委員会総会で、曩に提起されたR.C.の%順位計算基準改訂案と共に決定されましょう。

情報Ⅱ：第2回地区合同委員会で問題になった“新クラブ結成のために退会するポール・ハリス準フェローの特別寄付額の帰属”に就いては、その儘旧R.C.のクレジットとして残され、新R.C.のクレジットに移すことは許されません。但し個人の特別寄付額の実績は勿論その個人のものとして付いて廻る筈です。

。お願い：曩にお願いの「ロータリー財団の友」に関して、その後の新参加R.C.は17で、累計33を数えますが、仮クラブを除き28R.C.が未参加の儘で大変残念です。財団活動は世界平和を旨とする国際的な活動でもありますので、そのエチケットとしても「ロータリー財団の友」の額を各クラブの例会場に備えたいものです。宜しくお願い致します。

多彩なローザンヌ国際大会

ザ・ロータリアン誌5月号の伝える処に依りますと、本大会のスローガンは“A New Look At World Peace”とあります。このスローガンはロイ R.I.会長のターゲット “Let's Take A New Look” に因んで採りあげられたと推測されますが、それよりも更に驚かされるのは掲げられたスローガンの世界平和への序曲に、フランス生れのスイス人故アルツウル・オネゲル氏の偉大なオラトリオ「ダビデ王」の大合唱で国際大会が開幕されます。神の思し召しに従って、イスラエルに平和とソロモンの繁栄の基礎を築きあげたダビデ王の聖譚曲の合唱をラジオ・ロマンデ聖歌隊がローザンヌ室内交響楽の伴奏で行われます。

更に本大会の特徴は第1、第2、及び第3の本会議に於て、著名人3名を招いて、スローガンに関するそれぞれの講演が聞けることであり

ます。

第1本会議の講師は、Olivier Reverdin氏（スイス外交官、編集主幹、大学教授、1955年来のスイス連邦議會議員、欧州議会同盟元議長）。

第2本会議では、Arnold Brown氏（英国の著述、放送、牧師、音楽、71ヶ国の救世軍将校25,000人を統率する副司令官、1970—71年度ロンドンR.C.会長）。

第3本会議の講師は、Maurice F. Strong氏（カナダの元財務資源実業家、現国連環境プログラム専務理事、人間環境国連会議の専務総長）。

本大会の委員長は、元R.I.副会長のベルギー人Clement A. Morraye氏で、ホスト・クラブの実行委員長 Eugène Dénéreaz氏の報告では、上記プログラムの他、グループ別協議会、現及び元R.I.役員昼食会、地区ガバナー・ノミネー昼食会、ポール・ハリス・フェロー招待昼食会、2日に亘る青少年観光プログラム、及び婦人達の為のファッショ・ショー、R.I.会長主催レセプション、その他投票、R.I.役員選挙の主要行事を以て5月17日に閉会となりますが、呼び物の余興は月、火、及び水曜日の毎夕刻に、「スイスの色彩」と題するスイスの伝統的な文化民俗の芸術が毎日出し物を変えて演出の予定です。

Z.O.とは？

1925年にR.I.の理事会は、ヨーロッパ、北アフリカ、及び地中海東部地域のR.C.にサービスする為に、スイスのチューリッヒにR.I.事務局の支局、“Zurich Office”を設けました。

Z.O.はその略号です。所管地域内のR.C.数は2,704、会員数116,225名（ザ・ロータリアン誌5月号に拠る）に対するZ.O.のサービス職員は21名（その国籍数は7ヶ国）、10ヶ国語による通信や文献作成の外に、為替レートの違う20種類の通貨を日々取扱っているサービス拠点で、現所長はロータリアンのNelson W. Price氏

であります。この4月1日に次の新事務所へ移
転しました。Witikonstrasse 15, 8032
Zurich, Switzerland. (Y.S.)

「四つのテスト」使用について

総ての「四つのテスト」の複製は著作権文と同一
語辞でなければならないと共に「1946年国際ロ
ーターリー著作権所有 (Copyright, 1946, Rotary
International)」と書き加えられなければならない
のです。正しい複製の型は次の通りです。

四つのテスト

言行はこれに照してから

1. 真実かどうか。
2. みんな公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。

著作権、1946年、国際ロータリー(手続要覧P.
208参照)

上記の様に「著作権、1946年、国際ロータリー」
と付記されていない四つのテスト複製を所有さ
れている方は所属クラブでまとめて東京の国際
ロータリー文献事務所迄返却下さい。新た
に正式の「四つのテスト」が送付されます。

世界社会奉仕活動完了

委員長 原田誠一

1. 大阪府南部16クラブ合同

(ホスト・岸和田R.C.)

台湾第345地区埔里R.C.を通じ、埔里基督
教病院に救急手術用発電機一組寄贈の件は、
12月12日、住吉地区委員と岸和田R.C.代表米
本君が台湾訪問、埔里R.C.会長に対し贈呈式
を行い完了す。(800,000円)

2. 和歌山県13クラブ合同

(ホスト・和歌山R.C.)

韓国第376地区南釜山R.C.を通じ、Sung

Ji 児童養護施設に牡牛購入資金寄贈の件は、
2月10日送金し完了す。(889,200円)

3. 大阪府北部18クラブ合同

(ホスト・吹田R.C.)

ネパール第325地区カトマンズR.C.を通じ、
結核病棟増設資金援助の件は、3月24日同地
訪問の日本基督教海外医療協力会総主事奈良
常五郎氏(東京西北R.C.会員)に小切手を託
し受渡し完了す。(1,016,400円)

4. 大阪市内9クラブ合同

(ホスト・大阪住吉R.C.)

韓国第376地区東大邱R.C.を通じ、比較的
貧しい農家援助のため、仔山羊購入の資金寄
贈の件は、4月2日送金済み完了す。

(549,000円)

5. 大阪北R.C. (単独実施)

韓国第377地区光州南R.C.を通じ、Boy's
Town の電気水道施設の資金寄贈の件は、
4月6日小切手により送金し完了す。

(600ドル)

6. 大阪R.C. (単独実施)

4月上旬、塚本P.G.が韓国第376地区釜山
R.C. (matched club) を訪問され協議され
た結果、両クラブがそれぞれ\$ 1,000ずつ拠
出して、釜山市内の龍頭山公園に植樹するこ
ととなり、4月14日小切手にて送金し完了
す。(1,000ドル)

7. 大阪南R.C. (単独実施)

韓国第376地区大邱R.C. (matched club)
を通じ、農村に牝豚購入資金寄贈の件は、4
月18日送金し完了す。(500ドル)

8. 大阪西南R.C. (単独実施)

韓国第376地区北釜山R.C. (matched
club) とは親交あり、1月5日から3日間会
員及びその子弟15名が訪問し、親善を深めた。
同クラブを通じ、花亭部落に農業用の用水機
の資金を送る件は、4月19日送金し完了す。

(1,000ドル)

9. 大阪東R.C. (単独実施)

韓国第376地区東釜山 R.C. (matched club) とは 親密な交際を続けている。5月3日会員16名が東釜山R.C.を訪問し、例会の席に於て、“新しい村づくり”の資金(両クラブより同額拋出)を贈呈し完了す。実際には牛の購入資金として使われる。

(100,000円)

10. 大阪府南部16クラブ合同

(ホスト・岸和田R.C.)

この地域のグループは4月17日から21日まで、31名が台湾を訪問し、台湾第345地区年次大会に出席するとともに、昨年12月実施の埔里基督教病院の発電機が有効に使用されていることを確認した。

更に、住吉地区委員と岸和田R.C.代表米本君が、第345地区宣蘭 R.C.を訪ね、同地に建設中の児童図書館を視察し、図書購入費の一部を贈呈し完了す。(300,000円)

以上をもちまして、当第366地区61クラブは全て世界社会奉仕活動に参加して頂いたこととなります。又、全ての計画が完了致しました。御協力を深く感謝致します。

新ポール・ハリス・フェロー

下記の諸君に新しくポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。

田中 経人君 (大阪天満橋)
長谷川 薫君 (大阪西北)
畑地 実君 (田 辺)

新ポール・ハリス・準フェロー

下記の諸君が新しくポール・ハリス・準フェロー計画に参加されました。

上田満弘君 (大阪阪南) 会津幸雄君 (大阪西南)
福島亀吉君 (大阪西南) 羽毛田 每美君 (〃)

長谷恭介君 (大阪西南) 長谷川純二君 (大阪西南)
今西茂雄君 (〃) 石川 増雄君 (〃)
片平俊郎君 (〃) 丸山 良治君 (〃)
松本 実君 (〃) 中西順一郎君 (〃)
中山雅己君 (〃) 小倉 真市君 (〃)
岡本恵年君 (〃) 四宮 正善君 (〃)
菅 時雄君 (〃) 杉浦 一宗君 (〃)
田中 実君 (〃) 土弘 清君 (〃)
上山久夫君 (〃) 横井 英朗君 (〃)
松村勉君 (大阪心斎橋) 原田 富一君 (堺)
和田隆円君 (堺) 井上 錦一君 (〃)
広沢禎三君 (白 浜) 西森 正昭君 (高 槻)

創立20周年を祝う

田辺ロータリー・クラブ



田辺ロータリー・クラブ(糸川清一郎会長、会員69名)の創立20周年を祝う記念式典は4月26日午前11時半から田辺市大浜の伯扇閣で盛大に開かれた。

同クラブは昭和28年1月、国内で95番目のクラブとして誕生して以来、今年で20年目にあたるもので、この日、田辺ロータリー・クラブのホスト・クラブである和歌山ロータリー・クラブを代表して、垂井清之助君をはじめ、大谷一雄地区ガバナー、井関久楠パスト・ガバナーの他県下12クラブ会長ら約100人のロータリアンが参加した。式は小野寺20周年記念委員長が開会を宣言来賓、遺族の紹介、物故会員への黙祷

のあと、記念事業が行なわれた。

これは同クラブが20周年記念事業の一つとして現在、市が建設中の346運動公園の一角に緑と憩の場を造る目的で総額150万円を投じ馬目、モッコク、キョウチクトウなど15種1465本に及ぶ木々を植樹、その名も「ロータリーの森」と名づけ、この日特別に参加した野見市長に糸川会長から目録が手渡された。

このあと広本喜久男、榎本長平、畑地実の3君が輝くポール・ハリス・フェローとして表彰され、また森下祐児君（紀陽銀行本店勤務）が同クラブ奨学生を代表して「昭和30年、貴クラブに奨学生制度が発足して以来、幾多の奨学生が生まれることが出来ました。すでに実社会に出てそれぞれの分野で活躍されている方々も大勢おられますが、私もその1人としてロータリーの奉仕の精神を生かして社会のためにつくしたい」と謝辞を述べた。

午後からは祝賀会にうつり、この日のために結成されたTRC合唱団（田辺ロータリー・クラブ合唱団の略称）が地元田辺民謡など数々の曲を演じ、また大谷ガバナーはとても素人とは思えぬ常磐津を披露されるなど一同なごやかなうちに同2時すぎ幕を閉じた。

なお同式典に客賓として出席の予定だった韓国蔚山ロータリー・クラブ会長らの一行は、渡航手続きの関係で実現できなかった。

（田辺R.C. 榎本宇内記）

新クラブ設立の特別代表を委嘱

藤井寺市に新クラブ設立の為、植村政雄君（松原R.C.）を特別代表に委嘱いたしました。ご尽力をお願いいたします。

新クラブ誕生

—大阪城東R.C.—

大阪東R.C. 拡大委員諸君と特別代表川崎一雄君の努力で大阪市城東区に大阪城東R.C. が誕生した。

例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

例会場 東区マーチャンダイズマートビル
20階 東天紅

事務所 大阪市東区京橋1丁目
マーチャンダイズマートビル
京阪電鉄 K.K. 内
電話：06-943-2010

会長 奥村 良蔵

幹事 石脇 達三

高槻東R.C.・八尾東R.C.

正式加盟

去る3月1日（木）高槻R.C.をスポンサー・クラブとして結成された高槻東R.C.は4月19日に、又2月23日（金）八尾R.C.をスポンサー・クラブとして結成された八尾東R.C.は5月2日に夫々R.I.本部より正式加盟の承認をうけました。

新クラブ事務所

大阪大淀R.C.

〒531 大阪市大淀区大淀町南2-2
ホテルプラザ内

電話：06-453-1111

高槻東 R.C.

〒 569 高槻市大手町 3-46

高槻商工会議所内

電 話：0726-74-5615

八尾東R.C.

〒 581 八尾市山本町南 4 丁目 1 番 3 号

岩田ビル 4 F 7 号室

電 話：0729-97-0626

訂 正

月信No.11 中、高槻東R.C.の次年度幹事は小阪健三君とありますが、小阪謙造君の誤りでしたので謹んで訂正いたします。

なお、同月信中の大阪淀川R.C.の次年度幹事として田中収君と記載いたしましたが、岩崎兼幸君に代わられましたので訂正いたします。

敬 弔

堺東南 R.C.会長 鶴 繁松君

昭和48年5月5日御逝去されました。

ここに謹んでお悔み申上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

世界のロータリー

1973年4月5日現在、149の国及び地理的に15,582のロータリー・クラブと、約732,000人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降43カ国より230の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

例会場・変更のお知らせ

堺東R.C. (5月22日以降)

移転先：〒591 堺市金岡町1181

中モズワコーレーンズ2階

電話：0722-52-8585

吹田R.C. (6月1日以降)

移転先：〒564 吹田市広芝町10番3号

サニーストン ホテル

電話：06-385-1281

新事務所は新例会場と同じ。

各 ク ラ ブ 別 ロ ー タ リ ー

	クラブ名	会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセントへの必要額
A	有 田	51	341.88	3,671.12	* 700	408.88
D	大 東	39	2,337.98	6,783.55	***** 1700	236.45
G	御 坊	62	540.89	4,275.42	600	64.58
H	橋 本	57	1,269.80	3,549.83	** 600	440.17
	東 大 阪	59	2,688.11	7,912.24	***** 1300	347.76
	東大阪東	40	120.95	2,731.86	600	68.14
	東大阪中	30	669.94	669.94	** 200	230.06
	枚 方	51	1,073.00	3,266.52	** 600	303.48
I	茨 木	58	2,883.21	8,093.26	*** 1300	26.74
	池 田	54	2,152.55	7,892.47	*** 1400	207.53
	和 泉	60	1,995.16	8,004.25	*** 1300	395.75
	泉 大 津	74	581.13	4,130.68	* 500	309.32
	泉 佐 野	51	70.99	3,543.91	600	26.09
K	門 真	25	26.00	1,026.02	400	223.98
	海 南	58	1,766.01	4,559.04	*** 700	80.96
	貝 塚	53	1,442.38	3,914.05	*** 700	325.95
	河内長野	56	214.99	4,131.60	* 700	348.40
	岸 和 田	58	610.90	3,858.73	* 600	201.27
	粉 河	29	234.98	1,534.86	* 500	205.14
M	松 原	51	580.19	4,368.78	800	221.22
	箕 面	32	1,332.00	2,825.76	***** 800	54.24
	守 口	53	678.04	3,352.38	* 600	357.62
N	那智勝浦	34	270.00	4,187.49	* 1200	232.51
	寝 屋 川	28	312.00	1,429.50	* 500	250.50
O	大 阪	300	1,585.20	36,122.84	* 1200	2,877.16
	大 阪 東	97	4,618.89	21,692.39	*** 2200	617.61
	大阪阪南	62	2,079.10	5,398.42	** 800	181.58
	大阪東淀	40	339.94	1,553.01	400	446.99
	大阪城南	50	542.99	2,755.40	500	244.60
	大阪柏原	25	47.00	1,007.13	400	242.87
	大 阪 北	167	5,083.60	20,954.56	*** 1200	755.44

財 団 寄 付 額

* 印は本年度期初より上昇したクラブ (* ひとつは100%)
寄付額の表示単位米ドル (1973年3月31日現在)

クラブ名	会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセントへの必要額
大阪西北	53	1,884.96	3,509.08	** 600	200.92
大阪心斎橋	31	1,151.67	2,483.33	**** 800	306.67
大阪南	153	9,646.69	19,115.10	***** 1200	774.90
大阪西南	73	94.99	4,611.43	700	1,228.57
大阪住吉	72	1,375.84	8,659.56	** 1200	700.44
大阪天満橋	61	397.05	5,648.68	900	451.32
大阪西	93	1,097.94	7,656.99	* 800	713.01
大阪淀川	68	1,192.96	5,570.27	** 800	549.73
S 堺	112	2,564.10	20,669.89	** 1800	610.11
堺東	27	1,027.78	1,297.80	**** 400	52.20
堺泉北	29	1,629.94	2,304.15	***** 700	15.85
堺南	71	1,829.66	12,631.81	* 1700	148.19
堺東南	35	1,747.74	4,901.21	***** 1400	348.79
泉南	30	1,185.04	1,535.06	**** 500	264.94
摂津	32	1,263.87	2,472.44	** 700	87.56
新宮	53	987.99	3,960.97	** 700	279.03
白浜	40	82.99	2,192.93	500	207.07
吹田	61	826.98	4,060.89	* 600	209.11
T 高石	47	1,630.90	4,448.53	*** 900	251.47
高槻	51	3,977.98	6,596.01	***** 1200	33.99
田辺	70	3,146.89	7,289.28	**** 1000	410.72
富田林	58	927.82	6,143.18	* 1000	236.82
豊中	57	4,596.84	10,254.83	***** 1700	5.17
豊中北	31	1,662.96	1,992.99	***** 600	177.01
豊中南	33	462.85	1,741.93	* 500	238.07
W 和歌山	94	3,796.95	15,907.12	**** 1600	72.88
和歌山東	76	1,576.43	9,459.64	** 1200	420.36
和歌山南	59	567.52	9,224.31	1500	215.69
和歌山東南	33	395.96	1,451.17	400	198.83
Y 八尾	56	1,455.90	4,760.17	** 800	279.83
合計	3,663	92,676.99	381,747.76		

1973年4月 出席報告

(Attendance Report for April)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	77	+2	100.00	1	32	八尾	4	59	+3	96.19	42
1	和泉	4	63	+3	100.00	10	34	大阪大淀	4	32	+32	96.10	—
1	御坊	4	61	+5	100.00	1	35	箕面	4	38	+6	96.06	14
1	橋本	4	58	+3	100.00	1	36	白浜	4	44	+1	95.93	53
1	和歌山東南	4	43	+7	100.00	1							
1	大東	4	41	+3	100.00	1	37	粉河	4	29	-1	95.69	59
7	大阪東淀	4	43	+4	99.43	20	38	茨木	4	61	+4	95.49	11
8	大阪西北	4	59	+4	99.16	23	39	豊中北	4	38	+5	95.40	32
9	和歌山東	4	82	+4	99.05	16	40	大阪柏原	4	26	+1	95.19	40
10	摂津	4	39	+2	98.72	13	41	大阪西	4	94	+1	95.10	36
11	大阪天満橋	4	66	+6	98.46	31	42	海南	5	62	+3	95.08	47
12	河内長野	4	60	—	98.21	21	43	和歌山南	4	64	+2	94.76	29
13	松原	4	55	+4	98.17	28	44	大阪南	4	156	+5	94.74	44
14	池田	4	53	-1	98.04	37	45	堺東南	4	42	+5	94.65	55
14	有田	4	51	-1	98.04	9	46	大阪住吉	4	70	—	94.64	34
16	大阪東	4	102	+2	98.02	24	47	堺南	4	70	+4	94.56	38
17	吹田	4	61	+2	97.95	17	48	泉佐野	4	55	+4	94.55	48
18	泉大津	4	72	-1	97.86	19	49	堺	4	114	+4	94.49	46
19	大阪心斎橋	4	34	+1	97.80	1	50	堺泉北	4	34	+4	94.12	50
20	東大阪中	4	34	+3	97.71	35	51	貝塚	4	57	+2	93.86	43
21	田辺	4	69	+1	97.68	49	52	岸和田	4	56	+1	93.31	41
22	新宮	4	52	-3	97.60	33	53	泉南	4	39	+6	92.95	30
23	豊中南	4	42	+7	97.59	1	54	豊中	4	60	+4	92.92	51
24	東大阪	4	57	+1	97.27	15	55	東大阪東	4	45	+3	92.05	57
25	門真	4	25	-1	97.00	24	56	守口	4	57	-1	91.52	52
26	枚方	4	58	+8	96.93	1	57	高石	4	50	+1	91.50	39
27	和歌山	4	96	+3	96.77	26	58	那智勝浦	4	37	+2	90.28	60
28	高槻	4	62	+7	96.69	18	59	堺東	4	35	+9	89.28	61
29	大阪阪南	4	70	+5	96.43	22	60	大阪北	4	184	+2	89.17	56
30	大阪淀川	4	71	+2	96.40	12	61	寝屋川	4	41	+2	89.08	54
31	大阪城南	4	53	+4	96.23	44	62	大阪	4	299	-6	88.44	58
32	富田林	4	60	-3	96.19	27							
平均出席率					95.91%		合計 249 3,917 +191						

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366



GOVERNOR: KAZUO OHYA

ガバナー 大谷 一雄

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku,
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

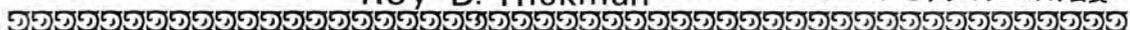
事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 13 信 昭和48年 6月15日 ガバナー 月信 No.13 June 15, 1973



国際ロータリー第366区1973～74年度地区協議会々場（48.6.2～3）於：新大阪ホテル



1973—74年度地区協議会開催さる

1973—74年度地区協議会が去る6月2日(土)・3日(日)の両日新大阪ホテルで開催された。参加者391名、欠席者14名であった。

先ず大谷ガバナーより次の挨拶があった。

「皆さんはロータリー・クラブ運営の中心的責任者として新しい年度の門口に立っています。皆さんのロータリーについての知識、情報及び情熱の程度如何が新年度のロータリー・クラブの運営と活動に重大な影響がある。皆さんはこの協議会に於て多くのことを学ばれ、奉仕の機会と責任について一層の理解を深められることを希望する。」

第1日目のパネル討議「クラブ運営について」

司会 G. 大谷 一雄

- (1)クラブの結成及びクラブ委員会の編成
リーダー P.G. 森 寿五郎
- (2)財政と地区ガバナーの公式訪問について
リーダー P.G. 原田 秀雄
- (3)理事会の目的とその司会
リーダー P.G. 塚本 義隆
- (4)広報
リーダー P.G. 井関 久楠
- (5)各種のロータリー大会
リーダー G.E. 田宮 佐
- (6)会員の増強と拡大
リーダー G.N. 峯村 英薫

第2日の研究分科会からの報告は次の通りです。

1) クラブ会長グループ

説明リーダー 田宮 佐(高槻R.C.)

討論リーダー 峯村 英薫(大阪東R.C.)

1. 会長はクラブのリーダーである。ロータリーのルールを充分承知の上で行動しなければならない。即ちクラブ定款・細則を知らなければならない。その上手続き要覧を熟読してほしい。このクラブ定款・細則、手続き要覧は英文のものも入手してほしい。和文で難解でも英文では案外簡単に理解出来るからである。以上の事をふまえて今後1ヶ年間の計画を立て予算の大綱を立てなければならない。その成否が今後1ヶ年間のクラブの活動を左右し、良きにせよ悪しき

にせよクラブの歴史の一頁となるからである。

2. 会長は社長である。会社経営に関して俗に重役会議と云うものが行われる。クラブに関してはクラブ協議会と呼ばれる。クラブ運営に関して全ての事を理事、委員長と協議し十分な相談をする会合である。この会合により会長は、クラブの活動が如何にすれば、或はどの様な状態で動いているかを確認し、会長として指導、調整しなければならない。その開催時期としては、〔I〕地区協議会后直ちに行う。これは出来れば現理事、委員長と合同で行うのもよい。前年度何が行われ何が出来なかったかその理由を知る為であるが、前年度の事業をそのまま踏襲する事は好ましくない。何故ならば前年度をそのまま踏襲するとすれば次期会長・理事委員長の意志が入らないクラブ運営がなされるからである。〔II〕7月1日直後は愈々会長として運営の実行権限を握った時である。〔III〕ガバナー公式訪問の少くとも2週間前。〔IV〕ガバナー公式訪問のとき。〔V〕地区大会の後。この時は地区大会で新しいアイデア又は決議がクラブ運営を実により良いものにするとする。〔VI〕1月又は2月中に時々。これは各会社に於ても各部の実績を調査し予算の凸凹を是正して更に効果の上る様予算の再編成が行われる。これがそれである。後半年の実際的な計画を立ててより効果のある様にしなければならない。〔VII〕6月の地区協議会后にも一度次年度理事、委員長と協議を開き、過去1ヶ年間の成功失敗の秘訣を伝授するのよい。

3. 会長は裁判長である。クラブの中の運営に関しては、人間の集団である以上色々のトラブルがある。例えば新会員の入会にも色々の意見があるにしても、その新会員の入会がクラブの今後により利になるかどうかを充分考えクラブ定款・細則に照らして判断を下して貰いたい。

4. 協議事項のこと。〔I〕ガバナー月信(写)は1部30円では赤字となるので40円とし、半年240円とする。〔II〕地区大会分担金は会員全員が責任をとるべきだとの考えから分担金を3,000円とする。以上会長全員の賛成を得て決定した。(田宮)

2) クラブ幹事グループ

説明リーダー 塚本 義隆 (大阪R.C.)

討論リーダー 今井 龍雄 (大阪R.C.)

新設4R.C.を含めて地区内65R.C.が一人の欠席もなく二日間全員出席だったのは、さすがに幹事の役目の重要性を認識されているもので、うれしく思いました。おまけに副幹事同伴参加のクラブが3つもありました。

点呼の際に調べたところ、幹事の経験者が1人、副幹事経験者が過半数の35人もあったのは前年に比較して大きな差異で、頼もしい傾向であると思います。

討論の時間には、発言のため手を挙げる人が重なり勝ちであり、とぎれた瞬間は全然なく、活発そのものでした。「沈黙は金に非ず、鉛である」などという誘いの言葉をリーダーが述べる余地はありませんでした。

R.I.から送付された説明指針や討論指導要領は詳しくはあるが、肝心の幹事としての心構えや気位について訴えるべき点が物足りないことを感じます。そこで説明リーダーは次のように大切なポイントを最先きに強調しました。

(1) 日本語での幹事は宴会の幹事を連想させて安すっぽく受取られがちだが、ロータリーの生れたアメリカでの Secretary は大臣である。President は大統領であり、その補佐役がセクレタリーである。ロータリー・クラブの諸文書には会長と幹事の署名が必要であるのを見ても重要性がわかるだろう。

(2) 広げて美しい扇子もカナメで保たれている。カナメが外ずれたら扇子はバラバラになる。クラブの幹事は扇のカナメである。「肝腎かなめ」の言葉があるが、ロータリーでは「幹事カナメ」という言葉が日本には昔からある。

(3) ロータリーの会長は扇の面であり、クラブの顔であるが、幹事は引締め役のカナメであり、会長の女房役である。但し、顔を立てておくだけで実権は女房が握るというのでは困る。近ごろは女性上位という言葉が流行するが、メンドリが時を告げてはロクなことは起らぬ。夫婦は一心同体であるべきで、共同動作、協力運営こそ最も大切である。

(4) 一番たくさんの時間をクラブに捧げるの

は幹事である。クラブの大小にもよるが、少なくとも毎日1時間はロータリーのために働くべきである。(塚本は幹事をつとめた10数年前に毎日4時間をクラブのため捧げた。)物質的酬いは何も期待できないが精神的酬いは大きく、人を多く知り、人物大成という結果が現われよう。幹事の仕事をクラブの事務員や会社の秘書に任かすことは禁物である。

(5) ロータリーを形式的な事務的なクラブに墮落せしめないための工夫を常に考えることは会長および幹事の最大の責任である。Object of Rotary を忘れてはクラブ存在の価値はない。(塚本)

3) クラブ奉仕グループ

説明リーダー 大谷 一雄 (大阪西R.C.)

討論リーダー 納谷 良一 (大阪西R.C.)

クラブ奉仕部門では65R.C.中4R.C.(和泉、那智勝浦、堺泉北、大阪大淀R.C.)の欠席があったことは残念であったが、討論は極めて熱心に行なわれた。先ず説明リーダーから「クラブ奉仕はクラブ活動発展の基礎を成すものであって、これがためにはR.I.のリーフレットにもある通り『奉仕の機会としての知り合いを拡める』ことが大切である」と述べ、次いで討論リーダーより討論の切掛けとして、例会における卓話が必ずしもロータリー的でない場合、即ち一般に興味を引くような題目の卓話が多いようであるが、これについての見解を求められた。これに対し卓話がロータリー的でなければならぬということについてはあまり拘泥するクラブはなく、それを聞く人の受け取り方の問題である。そして非常に多数のビジターのあるところにおいては、どうしても一般的話にならざるをえない。要するに一般教養に役立ち且つ興味あるものであれば先ずよいのではなかろうかということになった。また、リーダーから或クラブに於ては、例会で三味線を引き小唄を披露したとのことだが、これについての感想を求められた。

芸術の理解解説を主とするものであれば問題はないが、実質上アトラクションになるようで

あれば問題があるだろうという意見があった。次いで、親睦のあり方の問題について、親睦はロータリー活動の原動力であるが、親睦を目的とする会合はロータリーに相応しいものでなければならぬ。それ故会員親睦や家族会が或料亭で行なわれ、それをもって例会としたり、メイキャップも困難なところで例会を開催したり、また例会と懇親会を区別せず混同しているようなことがあれば甚だ怪しからんという意見がでて、大いに反省すべきものときれた。

また、会員が60名以上になると、そのクラブでは同じクラブの会員でありながらお互いよく知らなかったり、会社の役員や支店長等の転勤などで親睦の実が思う様にあがらないことが多い。そこで会員もこの程度以上は増やすまいという考えすら出てくるというクラブが多かった。これに対し説明リーダーは会員が60~70名以上に達し、そういう感じを持った時はアディショナル・クラブを作るべき気運にあるのではなからうかと述べた。

最後にクラブ会長選出について、副会長がクラブ奉仕の担当理事となり、やがて次に会長となることが多い。ことに昨年度の規定改正に於て、2年以内に会長ノミニーを選ぶことが出来るということになったこともあり、各クラブの実状を聞いたところ約半が副会長必ずしも次期の会長にならないということであった。(大谷)

4) 職業奉仕グループ

説明リーダー 森 寿五郎 (大阪南R.C.)
討論リーダー 川岸 功 (大阪南R.C.)

参加各クラブで本年度職業奉仕部門として実施した事業と調査、当日提出するように依頼しておいた。提出したクラブ数は53であった。これは後に実例の説明をする場合必要であったからである。

説明概要書に認めてある通り、われわれ Rotarian はおのおの異った職業分類をもって、同一の分類のものは一人もいない。従って、われわれは業界を代表する第一人者であるということの認識が必要である。各 Rotarian は、それぞれの職業を通じて、同僚に Rotary の精神を伝え、又自己の職業上の理想を、クラ

ブ内会員に知ってもらうために、機会ある毎に卓話等によって話し合いをすることが必要である。

今回の討論では、従来あまり触れたことのない、売手買手の問題、競争業者、従業員との関係等にも触れた。又既提出の本年度の実績の2-3について説明を求めた。あまり活発な議論であったとは思われないが、予定の時間内のものではまあまあといったところであろう。

事例と取りくむこと、「奉仕こそわがつとめ」を読めということは再三提唱しておいた。行動の計画については、資料にほとんど書かれているから、どれを採用するかは、各クラブの任意である。

Rotaract, Interact, に職業奉仕の理想を導入しようと考えているクラブもあるようだ。

最後に明年度会長カーター氏の

職業人としての質の向上をはかる。あなたの同業者に、なによりも完べきなサービスやよい製品の提供を最優先するよう説得するために最善の努力を注ぐ——正当な報いはおのずから伴うものとして

なお大谷ガバナーが「Rotary の友」本年5月号に掲載の“近頃思うこと”の一節を引用して、自分だけよければ他人はどうでもよいという思想が、近頃 Rotarian の中、然かも Leading Rotarian の中に、かもし出されて来たことは、誠に悲しむべきことである。

Rotarian は表面だけのものではない、心から Rotarian でなければならぬ、他人のためになるかならぬかということ、先づ考えるべきではなからうか。(森)

5) 社会奉仕グループ

説明リーダー 井関 久楠 (和歌山R.C.)
討論リーダー 山崎 城 (和歌山R.C.)

今回の報告は後日協議会報告書として出されることであろうから簡単に感想だけを述べたいと思います。

討論リーダー山崎君の立案により次期理事に選任されクラブ運営の責任者となった会員諸君の活動を促す意味から、社会奉仕の一ヶ年間の計画を早く建ててもらいたいため、4月中旬各

クラブへアンケート用紙を送りました。そうして1ヶ月程の余裕を見てその返事を求めました。締切り期日までに約%までしか集まりませんでしたので、催促しまして殆ど集まり、結局7クラブだけ返事はありませんでした。また当日欠席会員2〜3名あり、また代理が本人との連絡が充分でない方もありました点は残念でした。然し当日出席の委員諸君は熱心に意見の発表とその研究をして頂きました。みのは充分あったと思います。アンケート出題は所定地域の最も要求している本年度のニーズは何か、会員或はクラブは其中で取り組むべき仕事は何かについて求めました。結果が一番多いのは青少年、二番老人福祉、三番選境向上、四番交通その他児童及び健康問題でした。また活動の区域範囲はプロジェクトにより広げること賛成が多く、また同一地方という回答が多数でした。

あくまでもクラブの社会奉仕活動は会員各々の奉仕の訓練と実習のためであり、少ない資金で行うものであることを前提としての仕事のことゆえ大きな制限があり、且つ政治に巻き込まれぬようにするため、みすみす見逃がさねばならぬ問題もありましたが、これはロータリーだけでは手のとどかぬところであり、また毎年同じ仕事を繰り返す、マンネリ化することは避けてなるべく会員各自のアイデアを生かして、明るい豊かな地域造りに協力することを希望して、2時間半の研究会は終わりました。

(井関)

6) 国際奉仕グループ

説明リーダー 尾形 繁之(堺R.C.)

討論リーダー 木川田正毅(堺R.C.)

国際奉仕活動のめざすところは、綱領(4)が示す通りである。新年度のR.I.カーター会長のメッセージ“今こそ行動のとき”のうちにも——国際人としての質の向上をはかる。あらゆる困難を排して、世界中のロータリアンと、ロータリー独特の交信によるつながりを維持する。そして援助を必要とする人々を慰問し、救済する——と説かれている。

国際奉仕のうち、近年特に重視されているの

は世界社会奉仕(W.C.S.)である。周知の通り当地区はこの実践がきわめて活発である。その昨年度実績は高く評価されR.I.年間報告のハイライトの一つとして“ROTARIAN”誌(1972年6月号)上に掲げられた。本年度もすでに全クラブが参加して、総額約450万円を醸出、ネパール(325区)、台湾(345区)、韓国(376、377区)からの10の求援計画に応じた。来年度については、更に各クラブからのアイデアと協力を求め、R.I.のW.C.S.のライブラリー(資料調整室)登録のうちから吟味選択して、計画を練り実行したい。(ライブラリーの機能の説明は、ここでは省略する。)

各クラブは、W.C.S.のほか、「国際奉仕計画」(パンフレット706-J)を活用することによって、海外の地区、クラブとの接触交流を深めることができる。そのためは、上記資料の最新年度版から、こちらの応じられそうな交流の計画と方法を示している相手クラブを選ぶと共に、来年度版に当方の関心事項が記載されるように、各クラブはR.I.へ登録の手続を所定の書式を用いて採らねばならない。

次はロータリー財団を通じての国際奉仕である。5種の奨学金制度の詳細については、各クラブに配布される資料によって承知されたい。来年度から実際に留学生が出る心身障害児教師奨学制度は引続いて、その数を増し実行される。また当地区は本年度第536区からの研究グループの受入れをすでに完了したが、来年度はこれを送り出すこととなるので、優秀なグループが充分その目的を達するように有能な候補者の発掘推薦につとめられたい。

財団に対する当地区の寄付は年々大幅に増加し、本年度もその実績はすでに11万ドルを突破し(1人当たり平均30ドル以上)、地区としても昨年度の400%から500%地区に達して、わが国のトップ、世界の全地区にあっても5指のうちにはいったようである。来年度の問題は、この剰金が真に活用されたために、各クラブが各種の奨学生候補者をできるだけ多く発掘して、そのうちから割当限度の最適任者が選ばれ、送り出されるようにと努力するにある。同時に地区内のO.B.の結束とクラブとの交流をたかめることも大切である。

以上のほか、年々広く行なわれている青少年

交換、世界理解週間についても、今から新年度の計画について、地区としても、各クラブとしても、更に新しい企画工夫を加え、またこれまで余り試みられたことのない「彼らの身になって」(R.I.出版物日本語版709J)の会議を企画することもお勧めしたい。(尾形)

大邱のW.C.S.事業 実施現場を見る

パスト・ガバナー 塚本 義隆



No. 1
1972年大邱東RCのWCS企画による小豚飼育所の
一つを視察(1973. 4. 2)



No. 2
1972年大邱東RCのWCS企画による児童遊園施設
を視察(1973. 4. 2)

韓国第376区大邱東R.C.の企画によるW.C.S.登録第476号貧農村の養豚事業は和歌山、東、和歌山、海南、有田、粉河、橋本6 R.C. 360人の援助により1972年に実行されたが、本年4月2日塚本P.G.が大邱東クラブの案内で現地を視察する機会を得た。それによると、大邱市郊外16キロの谷合いの農家90戸がめいめい小豚を購入、1年後には大豚となったのを売却して、代

わりにまた小豚を買入れ現在二世が飼育されている。(写真No.1)これによって得た利益は生活向上の資金となり、そのほかに売却豚一頭につき2,000元を共同で積立てることができた。この積立てを5か年続けて村へ電燈を引く計画であるという。1,000ドルのW.C.S.援助がこれほどの効果を挙げているのはうれしい話です。

次に、大邱南R.C.の企画によるW.C.S.登録第524号、大邱市南部に児童遊園を造成(土地1,500坪は大邱市が提出)して運動施設を整理する事業は、和歌山南、和歌山東南、御坊、田辺、白浜、那智勝浦、新宮7 R.C. 353人の援助により同年実施された。前記と同日に塚本P.G.が大邱南クラブの案内でこの児童遊園を参観したが、写真No.2のような運動具(すべり台、円形回廊、鉄製ジャングル・ジム)が設備され、近隣の児童らが来てうれしそうに遊んでいるのが見られました。

宜蘭R.C.よりお礼状

国際ロータリー第366地区
ガバナー 大谷 一雄 殿

謹啓 春暖の候、貴下には益々御健勝の事とお慶び申し上げます。

陳者、当宜蘭ロータリー・クラブもお蔭さまにて創立以来大過なく我等が理想たる奉仕活動を続けて参りまして去る5月16日十八周年記念式典を挙行するに至りました。

扱て、当クラブは兼ねてより中、小学生を対象とする児童図書館の建設を計画いたしました。この程実現の運びとなり現在鋭意施工中でございましたところ、去る4月21、22の両日台北市にて開催されました当地区年次大会には貴地区世界社会奉仕訪問団30数名の多数に及びご参会を得、なかんづく世界奉仕委員 住吉勝也氏、岸和田クラブ国際奉仕委員長米本佐一郎氏はわざわざ当市迄ご来駕の上種々ご指導を賜わり、その節両氏より貴地区Cブロックよりの奉仕寄贈金1,100ドルを頂戴いたしました。茲に上記の次第ご報告いたしますと共にご厚志の程、肝に銘じて衷心より感謝申し上げる次第でございます。この児童図書館は来月中には完成

の予定であります、竣工の暁には重ねてご報告申し上げ度い所存でございます。

不幸にして両国の外交関係は断絶するに至りましたが、それにも拘りませず、民間ベースでの交流は一層緊密の度を加え経済上の合作は却って上昇の一途を辿っている現状であります。我がクラブの会員一同、ロータリーに国境なきことを新たに認識し貴国ロータリーアンの奉仕の精神を鑑といたしましてロータリーの発展の爲め両国の親善の爲め精進いたし度い覚悟でございます故、今後とも宜しくご鞭撻の程をお願い申し上げます。

当地はすでに初夏を思わせる温暖な毎日でございますがご来台の節は何卒お立ち寄り下さいますようお願い申し上げます。

末筆ながら貴地区のご発展と貴下のご健祥をお祈りいたしまして先ずはご報告並びにお礼の言葉と致します。

国際ロータリー第345地区宜蘭ロータリークラブ

会 長 林 新土
社会奉仕
委 員 長 陳 徳茂

中華民國62年5月25日

第6回365・366両地区 インターアクト協議会報告

委員 平岡 正巳

5月3日の憲法記念日に堺の大阪府臨海センターで高石 R.C. 並に清風南海高等学校のホストで、第6回365・366両地区合同のインターアクト協議会が、田中第365地区ガバナー、塚本第366地区パスト・ガバナー臨席のもとに23名のロータリアン、14名の顧問教師、そして西京商業高校 I.C. (京都西R.C.)、樞原学院 I.C. (樞原R.C.)、一条高校I.C. (奈良R.C.)、智弁学園I.C. (五條R.C.)、堺南 I.C. (堺南R.C.)、東高校 I.C. (大阪R.C.)、清風南海高校 I.C. (高石R.C.) の会員160名合計197名の参加を得て盛大に行われた。

協議会は10時より大村恵三清風南海高校 I.C.

幹事の司会で始った。特に田中ガバナーからは

R.I. が最も関心を持っているのは青少年問題と国際理解である。青少年問題は人類の歴史につながる問題であり、国際理解は地球の平和につながる問題である。その2つの問題に直接関係の深いインターアクトについて残念ながらそのクラブ数において両地区は必ずしも世界の最高水準に達していない。それだけに今日集っているI.C. 会員諸君は貴重な存在であり、大いに今後の活動に期待するとの励ましの言葉があ



った。塚本パスト・ガバナー、原口高石R.C.会長の祝詞にひきつづき本年度の各クラブの活動実績報告で午前の部は終った。

午後は関西電力堺発電所を全員で見学し、その後近代施設の発電所の中の緑薫る庭園で、堺南 I.C. 顧問先生の指導のもとで全員リクリエーションを楽しみクラブ全員相互の親睦を深め、時間の立つのも忘れ楽しい一時を過ごした。

再び臨海センターにもどり午後2時半より「I.C. 会員の獲得方法」「インターアクト・クラブのP.R.」「I.C. の対外交流方法は如何にすべきか」についてパネルディスカッションを行った。インターアクトの原点にまでさかのぼって討論され、「ただ奉仕だけでは若い僕等 はないて行けない。楽しみながら奉仕する。あるいは奉仕の後に大きな楽しみがあるようにしないと益々 I.C. は若い人から離れて行く。」と現在の I.C. の持つ一番の弱点を指摘する生徒もおり、我々ロータリアンも大いに勉強になった。あまり熱心に討論が行われたので予定の時間を超過し、映画を上映する予定であったがとり止めた。

最後に塚本パスト・ガバナーより「サービス」についての特別講演があった。先ず最初に国旗が掲げられているにもかかわらず、誰も敬礼しないとお叱りを受け「愛国心」について話

されたが、協議会の最初に国旗に敬礼すべきで、主催者として深く反省をしている次第である。塚本パスト・ガバナーは長年の人生経験から得られた奉仕についての考えを述べられ、ワーズワースの言葉“Small service is true service”を引用され奉仕とは皆が考えているような大それたものではない。他人に迷惑をかけるかと言う事を頭において日常生活の中で実践する事である。それが奉仕であり、この場合むしろ「サービス」と言う言葉の方が適切であると力説され、生徒達に多大の感銘を与え有意義な協議会は無事終了した。

ローターアクト・クラブ 地区協議会報告

委員長 世戸 一夫

R. I. 第 366 地区としては第 1 回の歴史的な地区協議会が、6 月 2 日(土)・3 日(日)有田ローターアクト・クラブがホストとなって開催されました。第 1 日目は会長、幹事、及び地区委員のロータリアン約 40 名が集まり、地区ガバナー(地区代表と改称)を選んだ。来年度のホストクラブを大阪南 R. A. C. に決定しました。第 2 日目は、会館借り切りで立派に準備された有田市民会館に於て、原田秀雄パスト・ガバナー、阪田靖人地区財団推進委員長、及び世戸一夫、平松龍雄、山畑雅裕の地区委員をゲストにして R. A. C. メンバー男女約 200 名、ロータリアン約 50 名が出席され盛大に行なわれました。昨年迄は隣りの 365 地区と合同で行なっていましたが、本年始めて単独で行なうことになり、会員の意気も高く次の 5 つの分団に分れて熱心な討議が行なわれました。

第 1 分科会 日常生活におけるアクト精神の実践について。

第 2 分科会 職場とアクト活動の関連性について。

第 3 分科会 資金調達について。

第 4 分科会 ローターアクト・クラブの P. R. について。

第 5 分科会 ロータリー・クラブとの関係。

特別講演は有田 R. C. 初代会長森川仙太氏から「紀伊国屋文左衛門」について興味ある話があり、郷土芸能「おとだの舞」のアトラクションもあって実に素晴らしい若きあふれる会で一同大いに感銘を受けました。

尚、オーストラリアよりの交換学生 Miss Vivian

Hume や 財団奨学生寺田君等も出席され友好を深めることが出来ました。又、近く R. A. C. を結成される橋本 R. C.、茨木 R. C. よりも参加者があり、今後の発展が期待されます。

最後に、この大会のために半年以上準備をされた有田 R. A. C.、有田 R. C. の役員、委員及び会員の皆様のご努力に深い敬意を表すると共に、心から感謝を申し上げます。

財団推進小委員会情報

委員長 阪田 靖人

1972~73 年ロータリー年度も余す所僅か、日数で数えるように期末が迫って参りました。

本年度の当 366 地区の財団支援の必要性の認識は当初より順調に深まり、各 R. C. 会員各位のご精進により、本年 2 月の時点では 400 名順位は 4 クラブにまで減じましたが、その 4 クラブそれぞれに、創立記念日を前にして所要の財団寄付を致され、5 月 25 日を最後に 500 名順位を達成されました。それによって当地区の対象クラブ数 57 クラブの悉くが 500 名順位以上の段位を占め、従って自動的に当 366 地区は年度初めの目標の 500 名地区を達成することと成りました、ご同慶の至りでございます。ご協力を感謝します。有難うございます。

5 月 30 日現在で、本年度の新ポール・ハリス・フェローは 51 名、累計 108 名と数え、準フェローは新しく 128 名が加わり、累計 263 名の所、11 名は約束の 1,000 ドル寄付額達成のためポール・ハリス・フェローの称号を贈られたので、この時点では総数 252 名の準フェローとなっております。5 月 30 日現在までの本年度の地区寄付金合計は 11 万ドルを突破し、会員 1 人当たり平均 630 ドルを超えましたが、その金額の半分はポール・ハリス・フェロー、及び準フェローによる特別寄付金であることにご留意願います。

最後に来年度のことに触れて恐縮ですが、敢えて鬼に笑って貰う積りで申し述べますと、来年度の地区の推進目標は必然的に 600 名地区ということになりました。本年度期初には対象クラブ数 57 中 400 名或はそれ以下の順位のクラブが 16 あったのが、現在既に 500 名地区になっております。来年度のために似たような計算を致しますと、対象となる 617 クラブ中、現時点で 500 名或はそれ以下のクラブ数は、10 クラブにとどまり、本年度よりも数字的にはより楽に 600 名地区達成を期待できるのではありますまいか。

世戸一夫君(大阪南R.C.)を 顧問ロータリアンに委嘱

1973～74年度ロータリー財団奨学生(専門的訓練研修生)として韓国第376地区大邱R.C.推薦の裴炯元君(Hyeong Weon Pai)の顧問ロータリアンに世戸一夫君を委嘱いたしました。
ご苦労ですが、ご奉仕をお願いいたします。

東釜山R.C.親善訪問記

国際奉仕委員長 前田 亮

本年度当クラブの重要行事の一つである韓国第376地区の組合せクラブである東釜山R.C.親善訪問は、昨年8月以来文通による打合せを進め、松井会員の東釜山R.C.例会出席、同クラブの池会員の当クラブ例会出席等により、又会員の皆様方の暖いご協力により、諸事万端準備も整い、去る5月3日より2泊3日の日程で韓国を訪問いたしました。

今回の目的は両クラブの会員の友情とよりよき理解を深めると共に、ひいては国際理解と親善と平和を育成することにあります。

5月3日、行田会長、川崎元会長、西尾次年度会長はじめ15名のメンバーで、13:00釜山水営空港に到着、ターミナルビルの外で、東釜山R.C.の許宗模会長、金京勲副会長、金炳純総務、金封甲次年度会長、文幸泰国際奉仕委員長、金鳳熙前国際奉仕委員長等会員多数の出迎えをうけ、許会長より行田会長に花束の贈呈を受け、一同深い感銘を覚えたのであります。19:00東萊観光ホテルに於ける例会に出席、例会場には「歓迎大阪東ロータリークラブ」の幕がはられ、私達一同はカーネーションのコサージュを胸につけて着席しました。メインテーブルには、第376地区林英植ガバナー、許会長、金総務、行田会長、市内西、北、南、各R.C.の会長又は総務が着席し、李成禧S.A.A.の日韓両国語による軽妙な司会により例会が進められました。

許会長の暖い歓迎の挨拶、ロータリーの歌、懐しのクレメンティン斉唱後、行田会長より当クラブ会員の紹介、大谷ガバナーよりのメッセージの朗読、特にその一節に「日本の謠に、遠い親戚よりも、近くの他人と言う言葉があります。貴国と日本とは、世界のどの国よりも近い距離にあり、従来より親睦の実をあげております。私はこのたびの訪問が一粒の麦となつて、貴ロータリークラブと大阪東ロータリークラブ、否、貴国と我国との親善と理解、そして今後の世界平

和のために役立つことを望んで止みません」と大谷ガバナーは述べておられ出席者全員深い感銘を覚えたのであります。

行田会長より日本と韓国、釜山と大阪との交流にふれ、ほんとに来てよかったとお礼の言葉があり、記念品としてニコニコ箱、お土産としてテーブルセンター、ロータリー日本五十年史を贈呈しました。許会長より当クラブに対し、立派なニコニコ箱を、私達にバナーを頂戴しました。暖いもてなしに感激し、行田会長は携行したダレスバッグを許会長に進呈し、寄贈した。ニコニコ箱へ金一封を投ずるというハプニングもありました。

又、世界社会奉仕として金一封を贈呈し、東釜山R.C.と相協力して新しい農村づくりの役牛購入資金の援助の一部として、地域社会の人びとに寄与することが出来たことは今回の親善訪問を有意義なものとして、参加者一同、責任を果し得た喜びにひたっている所以であります。

ロータリーの友地区委員会報告

委員 今井 龍雄

1. ロータリーの友誌代は向う1年間は据置きとする。
(1冊10円ぐらゐの赤字になるがこれは剰余金でまかなう)
2. ロータリー手帖は前回の委員会の意見に従って改定する。
3. 全国会員名簿については露口四郎氏と話し合いの結果、ロータリーの友地区委員会の責任で実務は大丸印刷でやるということになった。
4. 顧問制について顧問会議の結果、直前ガバナーのうち、各ブロックごとに1名を推薦し顧問は5～6人とすることになった。
第4ブロックは366、367、368の3地区。

第8回シェルター委員会 開催報告

1. 6月中旬シェルターの贈呈式をダッカで挙げる。
日時はダッカR.C.に一任する。
2. 贈呈式には斎木特別委員と中川委員の2名を派遣する。
3. 贈呈式費用として¥800,000支出することを承認する。
4. お世話になった方々へ謝意を表するためReceptionを開く。人選、設営については沢井三菱ダッカ支店

長に一任する。

5. シェルター建設報告書を印刷して全国の各クラブ並びに関係筋に配布する。印刷部数は2,000部として執筆担当者を齋木特別委員とする。出版費用として¥800,000の支出を承認する。
6. 派遣委員には旅費宿泊料を支給する。
7. お土産品はロータリーのマークの小銭入れ20個を用意する。

新クラブ誕生

——吹田北R.C.・羽曳野R.C.——

吹田R.C.拡大委員諸君と特別代表田中和一郎君の努力で吹田市北部に吹田北R.C.が、また富田林R.C.拡大委員諸君と特別代表石田英男君の努力で羽曳野市に羽曳野R.C.がそれぞれ誕生した。

クラブ名	吹田北 R.C.	羽曳野 R.C.
例会日時	火曜日 12:30~13:30	水曜日 12:30~13:30
例会場	564 吹田市千里丘1-2 MBSスポーツランド ミリカレン 06-877-5555	583 羽曳野市古市6丁目15-5 レストランサンデア 0729-56-6178
事務所	例会場と同じ	例会場と同じ
会長	芳沢弘司	本所又一
幹事	伊藤明	山口重雄

新クラブ公式訪問の日程

本年度に入って創立された大阪大淀、高槻東、八尾東の3クラブへのガバナー公式訪問は、下記の日程によって行ないます。各クラブとは既に打合せをいたしました。スポンサー・クラブに於かれてもよろしくご配慮とご指導をお願いいたします。

訪問日	新クラブ	スポンサー・クラブ
6月1日(金)	八尾東R.C.	八尾R.C.
6月8日(金)	高槻東R.C.	高槻R.C.
6月14日(木)	大阪大淀R.C.	大阪北R.C.

新ポール・ハリス・フェロー

本年度51人目のポール・ハリス・フェローの称号が門田東君(堺東南R.C.)に贈られました。

新ポール・ハリス・準フェロー

下記の諸君が新しくポール・ハリス・準フェロー計画に参加されました。

- 西川 嘉吉君(堺 南)
- 奥谷竹三郎君(大阪東淀)
- 鵜飼泰三郎君(大阪東淀)
- 堺井 秀雄君(高 槻)

R.I. 送金円レート改定のお知らせ

国際ロータリー在日財務代行者からの連絡によりますと、昭和48年7月1日から始まる上半期の適用相場、人頭分担金、ロータリアン誌購読料が下記の通り改定されました。

1. 人頭分担金 1人当り 1,060円
2. ロータリアン誌購読料 1口当り 398円
3. ロータリー財団寄付に適用される相場 265円

大阪城東R.C.正式加盟

去る4月27日(金)大阪東R.C.をスポンサー・クラブとして結成された大阪城東R.C.は6月7日にR.I.本部より正式加盟の承認をうけました。

訂正

月信No.12の各クラブ別ロータリー財団寄付額一覧表中、大阪西南R.C.のパーセント700を600に、次のパーセントへの必要額1,228.57を498.57に訂正いたします。



**1973 Rotary International Assembly and Institute
REGISTRATION AS OF 4 MAY, 1973**

919 persons from 50 countries and geographical regions as follows:

Argentina	17	Jordan	2
Australia	35	Korea	4
Austria	2	Malaysia	1
Belgium	4	Mauritius	2
Bermuda	2	Morocco	2
Bolivia	2	Mexico	13
Brazil	39	Netherlands, The	10
Canada	25	New Zealand	12
Chile	7	Northern Ireland	2
Colombia	2	Norway	12
Dahomey	1	Pakistan	1
Denmark	9	Panama	3
Dominican Republic	1	Paraguay	2
Ecuador	2	Peru	4
England	44	Philippines	5
Finland	7	Portugal	1
France	24	Puerto Rico	4
Germany, Federal Republic of	19	Scotland	4
Greece	4	Sweden	18
Hong Kong	1	Switzerland	6
Iceland	5	South Africa	10
India	25	United States	451
Israel	2	Uruguay	4
Italy	13	Venezuela	3
Japan	47	Wales	4

919

BREAKDOWN BY CATEGORY IS AS FOLLOWS:

Official Participants	414
(including 343 nominees)	
Guests of Official Participants	370
Participants in Institute	42
Guests of Participants in Institute	40
Staff	42
Miscellaneous	11

GRAND TOTAL 919

LAUSANNE CONVENTION REGISTRATION

These 103 countries and geographical regions were represented by a total paid registration of 16,957. In addition there 230 guests under 16 years of age for a total attendance of 17,187.

ALGERIA 6	EGYPT, ARAB	ITALY 415	NETHERLANDS	SOUTH WEST AFRICA 2
ARGENTINA 91	REPUBLIC OF 23	JAMAICA 30	ANTILLES 4	SRI LANKA 3
AUSTRALIA 882	ENGLAND 500	JAPAN 4103	NEW ZEALAND 98	SUDAN 5
AUSTRIA 15	ETHIOPIA 6	JORDAN 7	NIGERIA 11	SWEDEN 111
BAHAMAS 27	FINLAND 23	KENYA 12	NORFOLK ISLAND 2	SWITZERLAND 713
BAHRAIN 5	FRANCE 1786	KOREA 46	NORWAY 18	TANZANIA 2
BARBADOS 3	FRENCH POLYNESIA 1	LEBANON 2	PAKISTAN 92	THAILAND 37
BELGIUM 278	GERMANY, FEDERAL	LIBERIA 1	PAPUA NEW	TOGO 1
BERMUDA 6	REPUBLIC OF 344	LIECHTENSTEIN 1	GUINEA 5	TRINIDAD & TOBAGO 7
BOLIVIA 14	GHANA 6	LUXEMBOURG 6	PARAGUAY 4	TUNISIA 2
BRAZIL 145	GREECE 5	MALAGASY 1	PERU 31	TURKEY 39
CAMEROUN 2	GUADELOUPE 4	MALAWI 2	PHILIPPINES 10	UGANDA 3
CANADA 613	GUAM 3	MALAYSIA 15	PORTUGAL 53	UNITED STATES 5,739
CAYMAN ISLANDS 4	GUATEMALA 8	MARTINIQUE 5	PUERTO RICO 9	URUGUAY 9
CHILE 10	HONDURAS 2	MAURITIUS 1	REUNION 3	VENEZUELA 30
CHINA 40	HONG KONG 28	MEXICO 53	RHODESIA 5	VIETNAM 3
COLOMBIA 7	ICELAND 1	MONACO 2	SAIPAN 2	VIRGIN ISLANDS
COSTA RICA 1	INDIA 102	MOROCCO 21	SALVADOR, EL 2	(U.S.A.) 11
CYPRUS 19	INDONESIA 2	MOZAMBIQUE 11	SCOTLAND 27	WALES 12
DENMARK 99	IRAN 7	NEPAL 5	SIERRA LEONE 4	WEST INDIES
DOMINICAN REPUBLIC 9	IRELAND 7	NETHERLANDS, THE 114	SINGAPORE 18	ASSOC. STATES 9
ECUADOR 19	ISRAEL 9		SOUTH AFRICA 215	ZAMBIA 13

1973年5月 出席報告

(Attendance Report for May)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	
1	大阪西南	5	79	+4	100.00	1	33	新宮	5	58	+3	95.02	22	
1	和泉	5	62	+2	100.00	1	34	茨木	5	60	+3	95.00	38	
1	御坊	4	60	+4	100.00	1	35	東大阪中	4	35	+4	94.81	20	
1	橋本	5	57	+2	100.00	1	36	豊中北	4	38	+5	94.74	39	
5	吹田	4	61	+2	99.59	17	37	海南	4	62	+3	94.58	42	
6	池田	3	53	-1	99.36	14	38	粉河	5	29	-1	94.48	37	
7	箕面	4	38	+6	99.34	35	39	泉佐野	4	54	+3	94.44	48	
8	大阪東	4	102	+2	98.52	16	40	田辺	4	69	+1	94.23	21	
9	大阪天満橋	3	66	+6	98.48	11	41	高石	5	49	-	93.88	57	
10	大阪西	4	97	+4	98.38	41	42	大阪住吉	4	69	-1	93.87	46	
11	高槻	4	62	+7	98.36	28	43	和歌山東南	3	42	+6	93.65	1	
12	和歌山	4	81	+3	98.09	9	44	岸和田	5	69	+14	93.62	52	
13	大阪阪南	5	69	+4	97.97	29	45	泉南	4	39	+6	93.59	53	
13	摂津	4	37	-	97.97	10	46	大阪大淀	4	35	+35	93.57	34	
15	泉大津	4	73	-	97.92	18	47	東大阪	5	58	+2	93.53	24	
16	松原	5	55	+4	97.82	13	48	大阪南	5	154	+3	93.50	44	
17	大阪淀川	4	71	+2	97.50	30	49	堺	4	115	+5	93.39	49	
18	大阪西北	5	60	+5	97.36	8	50	堺東南	4	41	+4	93.29	45	
19	河内長野	4	60	-	97.29	12	51	豊中	4	59	+3	92.84	54	
20	堺南	4	69	+3	97.06	47	52	堺泉北	4	34	+4	92.65	50	
21	大東	5	40	+2	97.00	1	53	貝塚	5	57	+2	92.28	51	
22	八尾	5	59	+3	96.61	32	54	堺東	5	35	+9	92.00	59	
23	枚方	5	57	+7	96.43	26	55	富田林	4	63	-	91.94	32	
24	高槻東	4	28	+28	96.33	-	56	東大阪東	4	45	+3	91.48	55	
25	大阪心斎橋	3	34	+1	96.08	19	57	寝屋川	4	41	+2	91.42	61	
26	有田	4	50	-2	96.05	15	58	守口	5	59	+1	91.22	56	
27	和歌山	5	99	+6	95.97	27	59	大阪北	5	184	+2	90.00	60	
28	大阪東淀	4	42	+3	95.88	7	60	門真	4	24	-2	89.58	25	
29	豊中南	4	42	+7	95.84	23	61	八尾東	4	26	+26	88.47	-	
30	和歌山南	4	64	+2	95.64	43	62	大阪	4	297	-8	87.82	62	
31	大阪城南	4	54	+5	95.34	31	63	那智勝浦	4	38	+3	85.14	58	
32	大阪柏原	4	27	+2	95.30	40	64	白浜	3	44	+1	83.33	36	
平均出席率						94.79%	合計							271 3,990 +254

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



TO THE CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

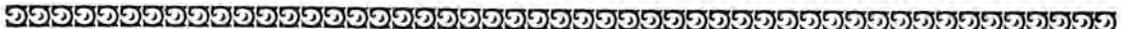


GOVERNOR: KAZUO OHYA

OFFICE: Shin Osaka Bldg.
ADDRESS: 1-25-1, Dojima Hamadori, Kita-Ku.
Osaka 530, Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Osaka

ガバナー 大谷 一雄

事務所 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地の1
新大阪ビル1階 (〒530)
電話 06-341-8710



LET'S TAKE A NEW LOOK! もう一度見直そう!

Roy D. Hickman

ロイ D. ヒックマン R.I. 会長



第 14 信 昭和48年 6月30日 ガバナー 月信 No.14 June 30, 1973

退任のご挨拶

ガバナー 大谷 一雄

私は1ケ年の任期が満了する今日——6月30日——現職のガバナーを辞することになりました。

願れば、私のロータリーの知識と経験は正直に云って頗る貧しいものでありました。若し私が大過なくこの一年を送ることが出来たとすれば、それは皆さんの寛容と温かい思い遣りのお蔭であって、本当に有り難いことと感謝せずにはいられません。

ガバナーの任務や活動は極めて多様であり、且つ多忙であります。到底ガバナー個人の力の及ぶところではありません。パスト・ガバナーや、地区の各委員長、並に委員の方々の深いご理解とご協力と而してご鞭撻がなくては責任が果たせなかったと思います。これらの方々に改めて心からお礼を申し上げます。

次に公式訪問や、地区大会や、フォーラム、其の他に於て、私に賜った皆様の温かいご友誼と、「共に前進しよう」としてお示下されたご熱情に対し、クラブ会長やリーダーの方々に始

め全ロータリアンの方々に、心からなる敬意と感謝を捧げます。

私はこの一年ロータリーを通じて沢山の友人知己を得ましたことをこの上ない仕合せと考えております。而してこの友情の絆がガバナーを辞めても永く続くことを衷心願っております。

本年のR.I. 会長ロイD.ヒックマン氏は Let's take a New Look と言うターゲットを我々に与えられました。私はこの一年間ほど、皆様がこのターゲットに応えられ、ロータリーの原点というべきロータリーの綱領について常に考え、反省を深められた時はないのではないかと思います。このことは公式訪問の際にうかがったクラブの奉仕活動や熱心な討論の上から、十二分に察知出来るのであります。而して地区大会やフォーラム等についても同様なことが言えます。

今、ガバナーを辞める私の脳裡には、公式訪問其他で受けたなつかしい印象が走馬燈の如く駆けめぐっています。私は各クラブから貴重な

奉仕活動の計画や実例を拝聴しました。併しそれらをここに一々列挙することは残念ながら事実不可能であります。というのは、それらの奉仕活動は原則として個人によって行われ、クラブとして行われる場合でもそのクラブの自主的な独自の立場から行われることが多く、又その数が余りにも多いからであります。

唯、幸に地区として行ったか、地区内に共通するものとして展望出来る奉仕活動があります。私は今や現職を去らんとするに当って、皆さんが為し遂げたこの素晴らしい業績を回顧し皆さんの絶大なご奉仕とご厚誼に報いたいと存じます。

最後に一筆。
ガバナー事務所の2人の女性にも心からお礼を申しあげます。 (6月30日記)

1972—73年度業績報告

1. 地区ロータリアン数
純増 345名 年度末会員総数 4,071名
(9.2%増)
2. 地区 R.C. 数
増加 6 R.C. 年度末 67R.C.
3. 新クラブ認証
・ 6 R.C.全部認証済。(但し認証状伝達式を取り行ったクラブは 3 R.C.)
・ 第361地区熊野市に当地区新宮 R.C. がスポンサークラブとして熊野 R.C. を結成、6月30日 R.I.に正式加盟、尚、特別代表は辻本寛三君(新宮R.C.)
4. 地区出席率
95.67%
5. 主要行事
 - (イ) 年次大会
3月3日(土)・4日(日)ホスト：大阪西R.C.
於：大阪国際フェスティバルホール
第1日目 出席者 2,096名
第2日目 出席者 750名
 - (ロ) 地区協議会

6月2日(土)・3日(日)ホスト：高槻R.C.
於：新大阪ホテル

第1日目参加者 次期クラブ会長・幹事
第2日目参加者 次期クラブ会長・幹事、
クラブ奉仕、職業奉仕、
国際奉仕、社会奉仕
各次期理事

- (ハ) 合同地区委員会
第1回 7月8日(土)於：新大阪ホテル
第2回 3月31日(土)於： “
(出席者 地区委員)
- (ニ) I.C.G.F.
第1組 8月5日(土)ホスト：白浜R.C.
参加者 172名 計 5 R.C.
第2組 8月19日(土)
ホスト：和歌山東R.C.
参加者 287名 計 8 R.C.
第3組 9月2日(土)
ホスト：泉大津R.C.
参加者 238名 計 7 R.C.
第4組 9月16日(土)ホスト：堺南R.C.
参加者 219名 計 9 R.C.
第5組 10月14日(土)
ホスト：東大阪R.C.
参加者 233名 計 9 R.C.
第6組 10月7日(土)
ホスト：大阪北R.C.
参加者 253名 計 10 R.C.
第7組 10月28日(土)
ホスト：河内長野R.C.
参加者 165名 計 7 R.C.
第8組 11月11日(土)
ホスト：大阪淀川R.C.
参加者 140名 計 6 R.C.
6. ローザンヌ大会
5月12日～5月28日
参加者 全国 4,103名 当地区不詳
7. 世界社会奉仕
グループ別 5件 総額 3,554,600円
単独実施 5件 総額 830,850円
合計 10件 総額 4,385,450円
8. 海外 R.C. との交流
別紙調査表の通り。

9. 研究グループ交換

相手地区 カナダ第536地区

人 員 5名 責任者1名 計6名

期 間 1973年3月19日～4月30日

10. 青少年交換

1. 橋本 R.C. — オースチン R.C. (アメリカ・テキサス州)

オースチン R.C. より 男子高校生

昭和48年7月3日より5週間

橋本 R.C. より 男女高校生各1名

昭和48年7月23日より5週間

2. 有田 R.C. — デラノ R.C. (アメリカ・カリフォルニア州) 男女高校生各1名

昭和48年7月20日より

3. 橋本 R.C. — デンバー R.C. (アメリカ・コロラド州)

Miss Susan A. Cooley

昭和48年8月18日より1ケ年間

田中 執子さん

昭和49年9月より1ケ年間

4. 枚方 R.C. — ワイザット R.C. (アメリカ・ミネソタ州)

Miss Laurie L. Day

1ケ年間の留学を終え近々帰国の予定。

5. 大阪北 R.C. — プレストン R.C. (オーストラリア)

Miss Vivian Hume

1ケ年間の留学を終え近々帰国の予定。

11. 刊行物

- ・「1971年度・職業奉仕週間記録」
職業奉仕委員会発行
- ・「サービス思想の意味するもの」
塚本 義隆 P.G. 著
職業奉仕委員会発行
- ・小話「フォアウェイ・テスト」
塚本 義隆 P.G. 著
職業奉仕委員会発行
- ・「わが地区の生い立ちと拡大を語る」
ロータリーの友委員会発行
- ・「ロータリーの金看板・職業奉仕」
職業奉仕委員会発行

12. ロータリー財団

- (イ) アーチ・クランプ賞 阪田 靖人君
(大阪北 R.C.)

(ロ) 400%地区から500%地区となる

(ハ) 1500%以上の R.C.

池田 R.C.、大阪東 R.C.、堺 R.C.、堺南 R.C.

堺東南 R.C.、豊中 R.C.、和歌山 R.C.、和歌

山南 R.C.

(ニ) 地区内1人平均約34ドル

(ホ) ポール・ハリス・フェロー 59名

(ヘ) ポール・ハリス・準フェロー 142名

(ト) 財団奨学生

大学院課程正候補者 4名

専門的訓練課程正候補者 1名

大学院課程第1補欠候補者 1名

大学院課程第2補欠候補者 1名

R.I.申請分 計 7名

(チ) 1973—74年度ロータリー財団専門的訓練

研修生 妻桐元君 7月よりヤンマージー

ゼルにて研修、カウンセラー 世戸一夫君

(大阪南)

13. 米山記念奨学会

米山奨学金 年1,500円(但し、7 R.C. は1,000円)

48年度米山奨学生

新規選出 7名

継 続 3名

合 計 10名

14. インターアクト

ハワイ第500地区より12名のインターアクト学生(内男子4名)来日

期 間 7月31日～8月17日

5月3日(木) インターアクト合同協議会

15. ローターアクト

6月2日(土)、3日(日) ローターアクト地区協議会

6月9日から3日間 3名 R.A.C.員 Hong kong 親善訪問

6月17日(日) 池田 R.A.C. 認証状伝達式
尚、インターアクト、ローターアクト・クラブは残念ながら新設クラブがありませんでした。

16. 地区資金中間報告(1973年6月28日現在)

地区会計 小田原 鐵也
収入の部 (円)

既収入額 15,470,256

収入予定額 92,600

収入推計額 15,562,856

支出の部

既支出額 13,427,793
支出予定額 1,590,000
支出推計額 15,017,793

次期繰越金 545,063

なお、最終会計報告につきましては、7月31日〆切後公認会計士の監査を受け詳細に亘り御報告申し上げます。

ロイ D. ヒックマン

R.I.会長よりの書翰

1973年6月29日

R.I.第366地区ガバナー

大谷 一雄 殿

拝啓 私たちの年度も間もなく終わろうとしています。この機会に貴地区における貴下の献身的な指導と奉仕に感謝の意を表したく思います。

貴下の年度が輝かしい年度であったということがロータリー歴史の一ページとなることでしょう。

来たるべき年においても貴下のご健康とご幸福をお祈り申し上げます。

近い将来再びお目に掛かれる日を楽しみにいたしております。

敬 具

会長 ロイ D. ヒックマン

ハリー A. スチュワート

事務総長よりの書翰

1973年6月30日

国際ロータリー第366地区

ガバナー 大谷 一雄 殿

拝啓 本日をもって終了するこのロータリー年度を通じて、世界中のロータリアンはロイ D. ヒックマン会長の“もう一度見直して行動しよう”という呼びかけに効果的に応えてきました。本年成しとげられた業績の数々は、貴下並びに各地区ガバナーの格段の奉仕による努力の賜物です。1972—73年ロータリー年度は着実にさらに一歩前進しました。

貴地区4つの新クラブに対する公式訪問の報告書を速みやかにご提出頂き有難うございました。貴下がロータリー財団の推進に於いてもすばらしい成果を上げられ、又貴地区年次大会にて38名のロータリアンに新しいポール・ハリス・フェローのメダルを授与されたことも大変喜ばしいことです。

地区ガバナーとしての貴下の奉仕に対し深く敬意を表し厚く感謝申し上げますと共に今後ロータリーの発展の為一層のご奉仕をお願い申し上げます。

敬 具

国際ロータリー

事務総長 ハリー A. スチュワート

DISTRICT 366

NOW 500 PERCENT

R.F.推進委員長 阪田 靖人

首題の英文は7月2日(月)にエバンストン R.F.発の大谷ガバナー宛 L.T. 電報の本文です。これにより待望日本最初の500%地区達成の確認が得られた訳で、偏にこれは各クラブ会員諸君のR.F.活動への深いご理解とご支援の賜で、

誠に同慶の至りに存じます。

クラブの%順位算定に就いて：——手続要覧(73年4月版、213頁)の解説、殊にクラブの国際奉仕委員会資料9頁の指示に拠ると、「当該年度中、%順位の基準として使用される会員数は直前年度12月の出席報告記載の数字が用いられ、その他の数字は使用されません」とありますことから、多くのロータリアンは直前年度後半(1月乃至6月)に加盟認証されたクラブは当該年度の順位計算の対象外と考え勝ちであります。エバンストンのR.F.推進部の実務処理では、規定の有無に拘らず全く常識的で、当該年度7月1日に加盟済のR.C.の順位計算の基準として創立会員数を使うことにしております。にも拘らず幸にして、1972年3～5月に加盟承認の東大阪中、堺東、堺泉北、及び豊中北の4クラブも本年度中に500%以上の順位を目出度達成されましたので、当第366地区が500%地区となったのであります。

従って、念の為1973—74年度の当地区についていえば、6月末に2クラブの駆け込み加盟承認があり、下表に示されたように合計6つの新クラブが直前年度中に結成承認されましたので若しも年度順位目標を600%地区におくならば、これ等6新クラブの%順位も600%にまで引き上げねばなりません。

ポール・ハリス・フェロー：

1970年6月30日以前	11名
1970—71年度	9名
1971—72年度	37名
1972—73年度	59名
合計	116名

ポール・ハリス・準フェロー：

1972年6月30日以前	136名
内P.H.フェローに	10名
現在数	126名
1972—73年度中	142名
内P.H.フェローに	6名
	136名
現在P.H.準フェロー合計	262名

当地区の本年度財団寄付額の過半は上記個人の特別寄付金に依存し、下表の如く、12万数千ドルに達し、会員1人当たり平均寄付額も米貨34ドルを超えております。

下表の成績は手元の数字を取まとめ拙速を尊んだもので、為替換算誤差、財務代行者を通じないR.F.への直接送金の有無等のため、概算に過ぎません。何れR.F.より届けられる確かな数字は9月号のガバナー月信に期待できます。

表中12/71会員数とは1971年12月の出席報告に拠るもので、括弧内、または二重括弧内の数字はチャーター・メンバー数を示し、%順位欄の円内の数字は年度内の順位躍進数です。

1972—73年度 第366地区財団推進概況表

クラブ名	本年度 寄付(米弗)	6/30現在 累計寄付額 (弗)	12/71 会員数	% 順位
有田	493.70	3,822.94	51	700①
大東	2,367.98	6,813.55	39	1700⑤
御坊	1,440.89	5,175.42	62	800②
羽曳野	(6月30日加盟)		(25)	
橋本	1,269.80	3,549.83	57	600②
東大阪	2,878.11	8,102.24	59	1300④
東大阪東	220.95	2,831.86	42	600
東大阪中	1,500.56	1,500.56	(30)	500①
枚方	1,184.11	3,377.63	51	600②
茨木	2,983.21	8,193.26	58	1400④
池田	3,142.55	8,882.47	54	1600⑤
和泉	2,895.16	8,904.25	60	1400④
泉大津	581.13	4,130.68	74	500①
泉佐野	109.51	3,582.43	51	700①
門真	249.98	1,500.00	25	500①
海南	1,766.01	4,559.04	58	700③
貝塚	1,447.94	3,919.61	53	700③
河内長野	564.99	4,481.60	56	800②
岸和田	1,960.90	5,208.73	58	800③
粉河	234.98	1,534.86	29	500①
松原	3,580.19	7,368.78	51	1400⑥
箕面	1,420.90	2,914.66	32	900⑤
守口	678.04	3,352.38	53	600①
那智勝浦	280.00	4,197.49	34	1200①
寝屋川	312.00	1,429.50	28	500
大 阪	4,835.20	39,372.84	300	1300②
大 阪 東	4,851.13	21,924.63	97	2200③
大阪阪南	2,732.09	6,051.41	62	900③
大阪東淀	843.64	2,056.71	40	500①
大阪城南	586.99	2,799.40	50	500

大阪城東	253.00	253.00	《23》	100①
(6月7日加盟)				
大阪柏原	349.25	1,309.38	25	500①
大阪北	5,203.60	21,074.56	167	1200③
大阪西北	2,384.96	4,009.08	53	700③
大阪大淀	(3月20日加盟)		《30》	
大阪心斎橋	1,922.78	3,254.44	31	1000⑥
大阪南	9,926.69	19,395.10	153	1200⑤
大阪西南	3,360.58	7,877.02	73	1000③
大阪住吉	1,375.84	8,659.56	72	1200②
大阪天満橋	1,437.05	6,688.69	61	1000①
大阪西	1,097.94	7,656.99	93	800①
大阪淀川	2,207.71	6,585.02	68	900③
堺	6,030.10	24,135.89	112	2000④
堺東	1,938.78	2,208.80	(27)	800⑦
堺泉北	1,629.94	2,304.15	(29)	700④
堺南	2,397.66	13,199.81	71	1800②
堺東南	3,831.75	6,985.22	35	1900⑩
泉南	1,185.04	1,535.06	30	500④
摂津	1,291.57	2,500.14	32	700②
新宮	1,043.54	4,016.52	53	700②
白浜	831.88	2,941.82	40	700②
吹田	1,273.98	4,507.89	61	700②
吹田北	(6月28日加盟)		《22》	
高石	1,723.49	4,541.12	47	900③
高槻	4,277.98	6,896.01	51	1300⑧
高槻東	280.00	280.00	《24》	100①
(4月19日加盟)				
田辺	3,241.45	7,383.84	70	1000④
富田林	957.82	6,173.18	58	1000①
豊中	6,101.00	11,758.99	57	2000⑩
豊中北	1,662.96	1,992.99	(31)	600⑤
豊中南	495.85	1,774.93	33	500①
和歌山	3,796.95	15,907.12	94	1600④
和歌山東	1,765.83	9,649.04	76	1200②
和歌山南	1,496.41	10,153.20	59	1700②
和歌山東南	991.56	2,046.77	33	600②
八尾	1,645.92	4,950.19	56	800②
八尾東	520.00	520.00	《26》	200②
(5月2日加盟)				
計	127,362.02	416,682.80	3663	

*対象外3新R.C.よりの寄付金計1,053ドルを除き、1972年6月30日以前の加盟承認R.C.の基準会員3,663名にて計算すれば、会員1人当たり平均34.48ドルとなります。

原田誠一(大阪南R.C.) 地区世界社会奉仕委員長に R.I. よりお礼状

1973年6月8日

国際ロータリー第366地区
地区世界社会奉仕委員会
委員長 原田 誠 一 殿

拝復 5月7日付のご報告書を受理し、拝見させて頂きました。誠にありがとうございました。貴地区は世界社会奉仕にて模範的な活動を続けられ、又、貴殿のご活躍も等しく他への範をなすものであり、深く敬意を表す次第です。

貴殿をはじめ第366地区内ロータリアン各位の一層のご活躍を念じて止みません。いつもながら、貴殿よりのお便りに接しましたことを喜ぶものであります。

敬 具

ジョナサン フイスク

課長 世界社会奉仕担当

吹田北R.C.・羽曳野R.C. 正式加盟

去る6月12日(火)吹田R.C.をスポンサー・クラブとして結成された吹田北R.C.は6月28日に。又6月13日(水)富田林R.C.をスポンサー・クラブとして結成された羽曳野R.C.は6月30日に夫々R.I.本部より正式加盟の承認をうけました。

1972~73年度 R.I. 運営活動

—ザ・ロータリアン誌6月号より—

大阪北 阪田 靖人

1972~73年度のR.I.の運営は、理事会の理事14名、地区ガバナー334名、その他の役員及委員会委員と事務総長並びにそれを補佐する米国エバンストンとスイスのチューリッヒに在る事

務局の職員達によって遂行されました。

1972～73年度理事会は、テキサスのヒューストン、エバンストン、レーク・プラシッド、及びニュー・ヨークで開かれ、約 350 の案件を討議処理しております。これ等案件の多くは、理事会の諮問に答えるために会長の指名した 8 常任委員会、及び 12 特別委員会の研究成果でもあります。

1972～73年度の国際委員会の構成は 34 国からのロータリアン 128 名から成っております。R.I. の 8 つの常任委員会とは、定款細則委員会、1973 年国際大会委員会、1974 年国際大会委員会、地区編成委員会、財務委員会、企画委員会、出版物委員会、及び広報委員会の 8 委員会のことで、17 国からの 35 名のロータリアンで構成されております。

特別委員会には拡大委員会、会員増強委員会、1973 年ロータリー研究事項委員会、世界社会奉仕委員会、世界親睦活動委員会、青少年諸活動委員会が含まれており、18 国からのロータリアン 56 名がこれ等の特別委員会に奉仕しております。

17 国からの 30 名のロータリアンが、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のための諮問グループのメンバーとして奉仕しており、新規及び改訂出版物のテキスト、その他の事項に就いて事務総長に助言を与えております。

本年度の臨時特殊委員会としては、1973 年の国際大会のために日本輸送委員会と北米輸送委員会の 2 つがあり、3 国からのロータリアン 6 名がそのメンバーとして活躍致しました。

1974～75 年度 R.I. 会長指名委員会は、この 1 月にエバンストン中央事務局で開催、米国フロリダのホート・ロダーデール R.C. の会員 William R. Robbins 氏を選びました。氏の長年のロータリー活動には、クラブ会長、地区ガバナー、R.I. の理事、会長補佐の副会長、及び委員会の委員や委員長の奉仕が挙げられ、スイス・

ローザンヌの 1973 年国際大会で各 R.C. 代表によって選挙されたのであります。

1972 年の規定審議会の採択案件は、12 月に結末を告げた郵便投票の結果、全案件が R.C. の支持を獲得したことになりました。即ちこの審議会はヒューストンの 1972 年国際大会開催中に、R.I. の立法体としては第 1 回目の会合であってその審議報告及び投票は 8 月 21 日に 15,393 R.C. 発送され、反対投票は 12 月 19 日の締切日までに 980 R.C. (6.3%) からにとどまりました。

R.I. に地区の設けられている所以は、ロータリーの効率的な運営を可能にするためであり、地区ガバナーは各 R.C. 及び各クラブ会員と最も頻繁な個人的接触を保ち得る R.I. の役員であります。この地区及び地区ガバナーの数はロータリーの拡大成長に応じて増加する必要が生じますが、そこにこの個人的方式の運営管理形式採用を固執している所以でありましょう。

1972～73 年度には 13 の新地区が加えられて、地区数は現在 334 であります。1973 年 7 月 1 日には 345 に達するでしょう。

地区ガバナーとしての準備着手は、彼が地区の各 R.C. からノミニーに選挙された時から始まり、1972～73 年度のガバナーにとっては、5 月 29 日～6 月 6 日の 9 日間、米国ニューヨーク州レイク・プラシッドのレイク・プラシッド・クラブ・ハウスで催された国際協議会が正しくその頂点に達しました。6 国語の案内でそのプログラムは、教育、激励、その他説話、映画或はグループ討議などによる動機付けが行われ、すべては友情によって円滑に進展を見たのであります。その友好的な雰囲気の中で、しばしば彼等は世界社会奉仕、研究グループ交換、青少年交換の相互地区プログラム組み合わせの端緒を掴んだことであります。

地区ガバナーの 1 年は活動旋風の真直中に居るようなもので、骨が折れ且つ時間の浪費にしばしば泣かされます。彼はその間に少くとも 1

回各R.C.を訪問して、当該地区のロータリー効果増強諸計画実践を推進し、新しいR.C.を幾つか組織することになっております。

地区の年間行事の大きいものに地区大会と地区協議会があります。この2つの地区会合は、恰もR.I.の国際大会と国際協議会とに似たもので、地区大会はロータリー教育、激励、及び地区の全ロータリアンの友情を喚起するものであり、地区協議会は次期クラブ役員への基本的教育と動機付けを与えるように計画されております。

各ガバナーから集った報告によりますと、1971～72年度の地区協議会への全世界のR.C.の出席率は、前年度と同じ91.5%の成績でありました。地区協議会用の推奨プログラム資料一式が予め地区ガバナーに支給されましたが、地区の多くはR.I.理事会推奨の2日協議会プログラムを採用しております。

全R.C.の指導者達には彼等の1年間を成果あるものにするために計画された印刷資料が支給されましたが、その出版物の多くは、指名又は選挙の時点で、それぞれの任務に就くまでに役員達に手交されております。その他定期的の出版物は1年を通じてその都度発送されております。

クラブ水準では、会長に「会長必携業務摘要」が交付され、それには業務の指針、記録保存様式、その他の幫助物が、委員長の指針として、配布し得るリーフレットを含んでおります。クラブ幹事には「クラブ幹事便覧」が交付され、又1年を通じて会長及び幹事にはロータリーの世界情勢の進展を知らせ、且つクラブのプロジェクトやプログラムに示唆を与える「R.I. ニュース」が随時の同封物を含めて送られています。(R.I. ニュースは7ヶ国語で出版されている。)

地区ガバナーには、彼が国際協議会へ出発するまでに、「地区ガバナー案内書」が渡され、又年間を通じてR.I.ニュースやインフォーマー

ションを盛った事務総長書簡が毎月送達されま

す。その他パンフレット類、ニュース書簡類、及び聴視覚用資料なども、中央事務局へ申込みば何日でも入手可能であります。これらの資料には奉仕の各部門その他の諸活動が網羅されており、世界社会奉仕、ロータリー財団、I.A.C.及びR.A.C.役員や青少年交換役員のためのニュース書簡も用意されております。

以上の外、各クラブ及び各地区に奉仕するために、エバンストン及びチューリッヒ事務局の特別部局が設けられており、問題の起った際の指針や勧告を与えるに吝でない多数の練達したロータリアンが配置されております。

以上のように国際ロータリーの活動体系概容が簡単に解説されております。ロータリーの組織を知るのに好個の資料だと思います。

なお、1970～71年会計年度に於けるR.I.の資産増加は米貨460,685ドルであつたのに対し、1971～72年度の増加は米貨662,552ドルでありました。1972～73年度に対するものは未だ期末の帳簿を〆めなければ判りませんが、何れその財務報告が11～12月頃にR.I.ニュースと共に各クラブ宛に発送されることになっております。

R.I.の財務委員会は各会計年度の予算を明確に策定して理事会に推荐することになっており1973～74年度の予算はR.I.一般管理費の約91%に当る財源、即ちR.I.の拡大のもたらす人頭分担金額の増加収入を見越して作成されております。

R.I.は、幾つかの国が通貨の輸出制限を行っておりますので、諸活動を容易にするためにR.I.の銀行勘定を38カ国に持っております。

そして20カ国にR.I.財務代行者を設けて仕事をし易くしておりますが、これらの代行者はすべて自発的に申出られたロータリアンの完全なサービスで、各クラブよりの送金支払を受領し預金し、事務総長によって与えられた権限に基

づいて資金を支出することになっております。

因に、1972年6月30日現在の R.I.財務報告をガバナ一月信第7信(12月15日号)の3～4頁に紹介しておりますので、ご参考にして頂きます。

1973年度 第64回国際大会 (スイス・ローザンヌ)に出席して

地区ローザンヌ大会行
委員長 西森 正昭



。 “世界平和のために、もう一度見直そう” をテーマとして開催された、第64回国際大会に出席して(ローザンヌ大会行委員長 西森正昭)

平和を愛し中立を誇りとするスイスの美しさを背景に快晴の陽ざしをいっぱいにあびたレマン湖に面した、ローザンヌにおいて、開催された国際大会の全望を大会日報よりまとめて見ました。

。 5月12日(土)9時～19時登録と信任状の提出

。 5月13日(日)大会開会式(パレ・ド・ボユにて)

会場がせまいため一度に収容し得る席がなく2度に分けて式が行なわれ、午後2時30分からの開会式はローザンヌ、ジュネーヴ、モントルー、ヴェベなどの近接地域以外に宿泊している会員が出席し、午後5時からはローザンヌの近くに宿泊している方々が出席して行なわれた。

まず1973年国際大会委員長クレモンモレー氏が歓迎の辞を述べられた後、R.I.会長ロイ D.

ヒックマン氏は次の様な歓迎の言葉を語られました。(抜粋)

“ロータリーがこの美しいスイスにおいて国際大会を開きますのはこれが二度目であります。最初のスイス大会は1957年にルザンで開かれました。本大会のテーマは『世界平和のためにもう一度見直そう』であります。本会議においては皆様は世界的に著名な方々の講演を聞かれる事と思いますがその講演はいずれもこの大会を強調するものです。大会におけるグループ別協議会、国際親善会議にも是非参加下さる様ご案内申し上げます。

これらのグループ会合は国際的な雰囲気の中でロータリーの親睦インフォメーションを分かち合う無二の機会となります。皆々様心ゆくまで本大会をお楽しみになりそして皆様揃って無事に帰国になられるよう心よりお祈り申し上げます。

。 5月14日(月)第1回本会議

開会宣言後、ヴォード州知事のマーク、エンリ・ラビサン氏の歓迎の辞とスイス連邦議会議員のネロー・チェリオ氏のあいさつがあり、答辞として R.I.第三副会長湯浅恭三氏の言葉がありました。

本会議での議事は英語で行なわれ、フランス語・ドイツ語・日本語への同時通訳でなされた。

続いて事務総長の諸事報告と信任状委員会の中間報告をハリー A・スチュワート事務総長が述べられ、つづいてロイ D.ヒックマン会長の演説があった。

午後14時30分より年次大会を記念して記念像がローザンヌ市へ寄贈されることになり、その贈呈式が行なわれた。この彫刻は、スイスの彫刻家アンツェル・デュアーテ氏の作品で “世界への目ざめ” と云う題名でスイスの第179地区と第180地区の寄付金によって贈呈なされた。

。 5月15日(火)第2回本会議

ハリー A. スチュワート事務総長の諸事報告

とロイド・ホリスター財務局長の財務報告につづいて東ヶ崎潔委員長のロータリー財団報告があった。

午後1時45分より4時迄に渡って国際親善会議が開かれた。この会議の目的は世界各国からのロータリアンが集まって他国からの参加者と親しく接触し自由に討論しお互に理解し合い友好を深めるため10組に分かれて討論なされ、すべて英、仏、独、日、の4カ国語で行なわれた。

○5月16日(水)第3回本会議

特別講演として国連環境プログラム局長のモリス F・ストロング氏が人間環境について話され、つづいて次年度の R.I.会長ウィリアム C. カーター氏の紹介があった。

午後2時～6時までグループ別協議会が開かれクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、ロータリー財団につき各国からのクラブ代表者を一堂に集めて意見やアイデアを交換しお互に理解を深めるように努力をした。

○5月17日(木)第4回本会議

ローザンヌ大会の最終日となった本会議は、事務総長の諸事報告の後投票準備委員会報告があり、R.I. 役員選挙と紹介がありつづいて次期地区ガバナーと大会委員・役員の紹介が行なわれた。特別講演としてアポロ14号操縦士で月の表面を歩いた6番目の地球人エドガーD.ミッチェル氏の講演があった。そして、ヒックマン会長家族とカーター次期会長家族の紹介があり退任役員への感謝と新国際ロータリー理事の紹介が行なわれた。

最終のプログラムに当り、次期会長のウィリアム C. カーター氏の新年度の抱負をのべた講演とロイ D. ヒックマン会長の閉会の辞があり「螢の光、のメロディーと共に6日間にわたっての第64回国際大会の幕は静かにおろされました。

○1974年度の国際大会は米国ミネソタ州のミネ

アポリス・セントポールにて開かれ6月9日～13日の予定となっております。

○ローザンヌ大会登録者数(中間報告)は、ロータリアン9,579名ゲスト(家族)6,612合計16,184名で参加国は72ヶ国となっております。

○最後に本大会を楽しみ親睦に満ちた大会とすることに尽力されたピエール・デネレア大会委員長を初めとするホストのローザンヌクラブに対し感謝の意を表します。

高槻東 R.C.国際ロータリー 八尾東

加盟認証状合同伝達式



6月16日(土)の式典当日は梅雨期の真只中で最も危惧した天候も幸に申し分の無い晴天に恵まれ、登録開始時には参加会員の車の列がひっきりなく続いて大変混雑し、登録委員の方々の苦勞は一方ならぬものがあったと感謝している。来賓としてお招きしたガバナー、パスト・ガバナー、ガバナーノミニーの方々全員の御列席を戴き、広い式場に溢れるばかりのロータリアンの方々の御祝福の裡に、1分の狂いも無く厳肅に然も流れる様に式を終えることができた。特別代表の創立経過報告の中で「この様な立派な有資格者をロータリーの枠の外に今迄置いたことは云々」のお言葉には今後の責任の大きい事を痛く感じ、大谷ガバナーの式辞、来賓の祝辞に、無理をしてガバナー任期中に伝達式を挙げて良かったという気持と共に、大きな力強いロータリーの輪の中で今後進むべき路を誤らぬ様努めなければならない事を思い、多数先輩の

仲間に加えられた感慨一入なものがあった。式典の立案進行に当られた方々、又この為影の努力を致された方々に深い感謝を表するものである。

式典終了と共に雰囲気は一転して桂春団治師匠の落語に堅苦しい気分を払拭されて次の祝宴に席を移し、和気藹々の裡に多数先輩の方々と歓を共にすることができた。遙々花巻より参加された佐々木氏のチャーターナイト 200 回出席富士宮の高橋氏の 101 回出席の紹介には一驚を喫し、尽きぬ名残を残しつつ大谷ガバナー発声のバンザイ三唱で宴を閉じたのは午後 3 時であった。

終りに今度のチャーターナイトを持つに当り終始御指導を賜わった松本、平野両特別代表を始め、両スポンサークラブ会員の方々、その他有益な御助言を賜わった吹田 R.C. 細谷氏を始め登録をして下さった 67 R.C. 638 名の会員諸賢、殊に貴重な一刻を割いて御出席下さった来賓を始め同業者 86 名を含め 595 名の方々に衷心よりの感謝と共に今後の御指導をお願い申し、又お祝を賜わった多くの R.C. の御好意に厚く御礼を申し上げます。なお当日混雑且下手際で不行届の点多かった事と御詫び申し上げます。

(実行委員長 青木 友 高槻東 R.C.)

大阪大淀 R.C. 国際ロータリー 加盟認証状伝達式



6月23日(土) ホテルプラザ醍醐の間に於て

15時より認証状伝達式が第 366 区ガバナー大谷一雄氏、第 366 区ガバナーエレクト田宮佐氏、第 366 区ガバナーノミニー峯村英薫氏、第 366 区パスト・ガバナー森寿五郎氏、原田秀雄氏、塚本義隆氏(地区拡大委員長)、井関久楠氏、第 368 区ガバナー古河滋氏、大阪北 R.C. 会長野田孝氏、大阪北 R.C. 拡大委員長原清氏他多数の御来賓御出席の下に厳粛に挙行された。

・伝達式次第

- | | | | |
|------------------------|----------------|----------|-------|
| | 司会 | 幹事 | 中山 正一 |
| 1. 点鐘 | | 特別代表 | 井上 猛 |
| 2. 開会の言葉 | | 特別代表 | 井上 猛 |
| 3. 国歌斉唱 | ソングリーダー | 大阪北 R.C. | 日比野清次 |
| 4. ロータリーソング (我等の生業) | | | |
| | ソングリーダー | 大阪北 R.C. | 日比野清次 |
| 5. ガバナー及び来賓紹介 | | | |
| | | 特別代表 | 井上 猛 |
| 6. 参加クラブ紹介 | | 副会長 | 佐伯 洋 |
| 7. クラブ結成経過報告 | | | |
| | 大阪北 R.C. 拡大委員長 | 原 | 清 |
| 8. 認証状伝達 | | ガバナー | 大谷 一雄 |
| 9. ガバナー告辞 | | ガバナー | 大谷 一雄 |
| 10. 新クラブ会長挨拶及び新クラブ会員紹介 | | | |
| | | 会長 | 山西 利夫 |
| 11. ロータリー財団寄金贈呈 | | 会長 | 山西 利夫 |
| 12. 地区拡大委員長祝辞 | | | |
| | パストガバナー地区拡大委員長 | 塚本 | 義隆 |
| 13. 来賓祝辞 | 大阪北 R.C. 会長 | 野田 | 孝 |
| 14. 祝電披露 | | 副幹事 | 新海 研志 |
| 15. 記念品拝受 | 大阪北 R.C. 会長 | 野田 | 孝 |
| | | 会長 | 山西 利夫 |
| 16. 記念品贈呈 | | 会長 | 山西 利夫 |
| | | ガバナー | 大谷 一雄 |
| | | 特別代表 | 井上 猛 |
| | 大阪北 R.C. 拡大委員長 | 原 | 清 |
| 17. ロータリーソング (奉仕の理想) | | | |
| | ソングリーダー | 大阪北 R.C. | 日比野清次 |

18. 閉会の言葉 特別代表 井上 猛
 19. 点鐘 特別代表 井上 猛
 20. お知らせとご案内 S.A.A. 鈴木 宏
 ・特別祝賀催物

- 司会 副幹事 岩田 淳一
 1. 日本舞踊 長唄 助六 花柳 芳松
 2. 祝賀演奏
 指揮 阪急少年音楽隊々長 鈴木 武夫
 演奏 阪急少年音楽隊

・披露パーティ次第

- 司会 中村 鋭一
 1. 開会の言葉 シンキング委員長 下條吉次郎
 2. 開宴歓迎の挨拶 会長 山西 利夫
 3. 参加クラブ代表挨拶
 大阪R.C.会長 井狩弥治郎
 4. 乾盃 バスト・ガバナー 森 寿五郎
 祝宴
 5. アトラクション
 6. 万才三唱 ガバナー・エレクト 田宮 佐
 7. 閉会の言葉 次次年度会長 長岡 迪夫
 8. ロータリーソング (手に手つないで)
 ソングリーダー 大阪北R.C. 日比野清次
 (会報委員長 新海 研志)

新ポール・ハリス・フェロー

下記の諸君に新しくポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。

- 淀谷 辰造君(東大阪) 西本 正一君(松原)
 鶴 繁松君(堺東南) 小石 雄治君(大阪)
 山本 末男君(松原) 小川 繁造君(松原)
 井上 錦一君(堺) 伊藤忠兵衛君(大阪)
 上田喜太郎君(堺)

新ポール・ハリス・準フェロー

不記の諸君が新しくポール・ハリス・準フェロー計画に参加されました。

- 沢田 昌雄君(高槻) 氏家通夫君(大阪心斎橋)
 赤坂 祐次君(堺南) 竈 利二君(堺)
 片山 清君(岸和田) 柏村長治君(岸和田)
 藤本 敬造君() 吉沢 重次君()
 丹羽 亮君(堺) 吉田善三郎君(池田)

熊野ロータリー・クラブ (第361地区) 創立

P.G. 井関 久楠

熊野は旧紀州藩の領地内で廃藩置県の際、東西牟婁は和歌山県へ、南北牟婁は三重県へと両断されたので、東牟婁郡の新宮と南牟婁郡の熊野とは今も密接な連がりをもっている地域なのです。その新宮ロータリー・クラブは17年前に誕生したが、三重県側では伊勢の鳥羽以南には一つのロータリー・クラブもありませんでした。気にかかっていたのは紀州の側でして、私のガバナー時代(1970年)新宮ロータリー・クラブへ働きかけを願ったのですが、既に10年程前にライオンズ・クラブが出来ていて未遂に終わりました。たまたま第361地区(岐阜、富山、三重、石川県)のガバナーが三重県から出られたのを機会に伊勢ロータリー・クラブの若松ガバナーと密接な連絡を取り新宮ロータリー・クラブ尾崎会長、佐藤幹事に強力に働きかけ両君とも非常な熱意を示され幾多の難関を突破されて遂に第366区の新宮ロータリー・クラブをスポンサークラブとして大谷ガバナーより辻本寛三君を特別代表に指名して貰い、6月28日創立総会に漕ぎつけ、6月30日R.I.理事会より加盟承認の運びに至りました。

隣県とは申せ他地区にロータリー・クラブを創設した事は全く異例の事であり、第361区の若松ガバナー及び新宮ロータリー・クラブの会長、幹事、特別代表始め会員諸君の御健闘に対して深く感謝致す次第であります。

熊野ロータリー・クラブは創立会員24名の壮年会員で組織され木曜日を例会日とし澄みきった黒潮を眼下に見下す眺望絶佳の「くまのオレンジホテル」を会場として開かれています。

ここ1ケ年間はスポンサー・クラブ新宮ロータリー・クラブの会員諸君の御指導を特に願うと共に、紀南周遊の機会には是非同クラブを御訪問下され新たな友達を御激励下さる様切に願う次第です。

大谷ガバナー 論文選考委員になる

「ロータリーの友」論文募集

- (1) 論文課題：「ロータリー何をすべきか」
- (2) 7月号「友」誌上へ発表する。
- (3) 応募規定：400字詰原稿用紙13枚（約5,000字）
論文の他に800字以内の要約を付けること。
 - 締切は10月31日（10月31日の消印有効）
 - 応募原稿は公正な選考の上、入選者3名を新年号誌上へ発表。
 - 入選者3名はミネアポリス大会へ招待。
- (4) 応募資格：ロータリー・クラブ会員であること。ただし名誉会員をのぞく。
- (5) 論文選考委員会は下記の4君で構成する。

委員長 湯浅 恭三（東京）

委員 鈴木 達雄（東京西）

大谷 一雄（大阪西）

立花 和雄（柳川）

世界のロータリー

1973年6月26日現在、150の国及び地理的地域に、15,708のロータリークラブと、約74万人のロータリアンを有します。

1972年7月1日以降国際ロータリーに加盟した新クラブは、50カ国より363クラブであります。

訂正とお詫び

月信No.13記載の大阪西南R.C.のロータリー財団寄付額の訂正は誤りでしたので、ここに訂正を取消しますとともにお詫びいたします。

海外 R.C. との交流関係調査報告

(1973年6月9日 現在)

	クラブ名	関係項目	相手 R.C.	地区	活動計画	実施状況
A	有田	姉妹クラブ マッチド・クラブ 青少年交換	デラノ(米国) 安東 デラノ	376	堀川、中村両氏訪問。 本年から学生2人交換予定。	ロータリアン宅に泊す。
D	大東	マッチド・クラブ	済州	376		
G	御坊	国際奉仕 文通程度	釜山 Black Mountain シンガポール東	376 767	会員の子弟が訪問、将来交換学生にまでたかめたい。	県下13クラブ合同孤児院に援助(当R.C. ¥73,200)。文通によって左記のことが可能か打診している。昨年度当方が親善訪問をした。
H	橋本	マッチド・クラブ 青少年交換	居昌 テキサス(米国)	376 591	6月2名受入、7月2名派遣。	「ロータリーの友」贈呈。
	東大阪	姉妹クラブ	台中		姉妹提携4年目。 会員女子交換訪問計画。 記念行事に招待を受け会長メッセージを託す。	国際情勢変化当分見送り、左の計画を実行。
	東大阪東	マッチド・クラブ	昌寧	376	会員家族の人的交流。	書簡交換、「ロータリー友」送付。
	東大阪中	国際奉仕 青少年交換 文通程度			夏休みに短期間交流を考慮。 個人文通からクラブ同志までに進めてみたい。	研究グループ交換に協力。
	枚方	文通程度	河東	376		8月15日文通その後返なし。
I	茨木	姉妹クラブ 国際奉仕 青少年交換	台北西北	345	文通、情報、子弟交換、 会員訪問。 夏休、姉妹R.C.訪問を計画。	夏休みを利用子弟の訪問を受ける。 カナダグループ2名お世話。
	池田	マッチド・クラブ	普州	376	「ロータリーの友」送付。	コピーマシーン1台寄贈予定。
	和泉	姉妹クラブ	台北西	345	1970年4月締結、本年4月再調印。	毎月週報及び文通あり。
	泉大津	国際奉仕 青少年交換	ウエスタン リーハイ	743		カナダ研究グループ受入。 中島敬次君47年9月より交換留学、トマス君受入れ、明星高校に通学。
	泉佐野	マッチド・クラブ	金泉	376	来年文通より始める予定。	
K	門真	姉妹クラブ	アイントフォー フェン サン・ジョゼ・ ドス・カンボス	161 460		鯉のぼり寄贈。 当クラブ会員門真市長が訪問する。
	海南	姉妹クラブ 青少年交換 文通程度	サンベール サンベール	米国	夏休みの学生交換	スイス国際大会で交流。 小学生の絵画交換。 現在会員の1人訪問中 ルパング島小野田少尉救出協力依頼状を送付した。

クラブ名	関係項目	相手 R.C.	地区	活動計画	実施状況
貝塚	姉妹クラブ	カルバー・シティ	528	日米親善、相互理解の目的。 先方R.C.ジャック杉原氏来日、同市の日本庭園造りの交渉代表、貝塚市外各団体と協力援助を約束する。万博の年以來学生交換。本年は学生2名送り、来年受入。	市会議所も姉妹関係、人の交流、経済の相互広報行う。現在設計図見積りをとり、ジャック杉原氏と協議し日本式庭園を寄贈する予定。本年7月大学生2名派遣し、家庭、社会見学一約半月の予定。
	国際奉仕	〃	〃		
	青少年交換	〃	〃		
河内長野	マッチド・クラブ	慶州	376		「ロータリーの友」送付返無し。
岸和田	姉妹クラブ	馬山	376	本年11月11日当R.C.20周年式典に数名招待する計画。	1972年11月8日当方より5名訪問、姉妹提携の調印す。
粉河	マッチド・クラブ	密陽	376		47年5月会員9名交流のため訪問、大歓迎を受く。 1. 会の現況等の報告。 2. 季節のたより等。
	文通程度	〃	〃		
M 松原	姉妹クラブ	嘉義	345	74年訪問し交流開始したい。 海外より研究グループの受入れをする予定。	1973年中に相当の会員個人が相互訪問した。 交換学生ミス・グレンダが松原市に1年間滞在その間数回例会に出席す。
	マッチド・クラブ	義城	376		
	国際奉仕	Krugersdorp	230		
箕面	マッチド・クラブ	永川	376		「ロータリーの友」を送付。
守口	姉妹クラブ	ニュー・ウェスト トミンスター	504	守口市姉妹都市提携、協会との協賛で会員の交流を計画。 カナダ研究グループの地域内での研究活動を援助。 カトマンズの資金援助に地区協同事業に参加。 会員の海外R.C.訪問による親善活動、シカゴ、ニューヨーク・ピックバーグ・ローマR.C.等。	会員の交流計画は次年度に実施。
	国際奉仕				
N 那智勝浦	文通程度	カルタギローネ	190	1968～1970年頃まで文通盛ん、現在はクリスマスカード交換程度です。	
寝屋川	マッチド・クラブ	宣寧	376	第1次計として文通を計画している。	本年度初期に週報、「ロータリーの友」に会長書翰を添付郵送、目下返事を待望。
O 大阪	姉妹クラブ	釜山	376	会員の相互交流	1973. 4. 姉妹結縁塚本P.G. 訪韓、金永福P.G. 来阪。 世界社会奉仕活動として \$1,000 寄付、公園に植樹。 地震義損金 ¥27,080 地震見舞金 ¥42,100
	国際奉仕	〃 Melipilla	474		
	青少年交換	デボンポート	283		
大阪東	マッチド・クラブ	東釜山	376	親善訪問 世界社会奉仕	5月3日会長以下15名訪問理解と友情を深めた。 5月3日 ¥100,000 贈呈、東釜山R.C.も同額拠出し、新しい村づくり資金援助。
	国際奉仕	〃	〃		

クラブ名	関係項目	相手 R. C.	地区	活動計画	実施状況
大阪阪南	マッチド・クラブ	陝川	376	国際奉仕委員長より手紙出すも音沙汰なし。 本年 New Zealand より羊毛技術者1~2名来日の予定。	1.5年以上「ロータリーの友」相当数送るも連絡なし。 昨年3月より1カ年技術者(センイ)1名派遣。
	青少年交換	Palmerston North	294		
大阪東淀	マッチド・クラブ	南海	376	立案中	未実施
大阪城南	マッチド・クラブ	倭館	376	親善訪問	1972.5.1~4、団長以下15名釜山-慶州-倭館-ソウル
大阪柏原	姉妹クラブ	Five Point	530	当クラブの活動状況を知りたいとの申入あり。 相互に子弟交換の実施 情報交換、友好関係申入あり。	①X'マスプレゼント文換 ②会員渡米時訪問。 ①毎月「ロータリーの友」送付。 ②通報も同封して送る。幹事の訪問を受け、活動状況の情報交換。 奈良見物に当会員同行する本年6/15から7/6まで2名の会員子弟と通訳1名来る。
	マッチド・クラブ	忠武	376		
	国際奉仕	Chandan Nagar	325		
	青少年交換	Five Point	530		
	文通程度	Battle Creek	636		
大阪北	姉妹クラブ	プレストン	279	先方から3名当方から2名年間往来あり。 大阪市内R.C.の元締として1週間のスケジュール並に特別研修プログラム作成。 加藤洋子さん1年留学帰国。ビビアン嬢目下お世話中。	
	国際奉仕	カナダ研究グループ			
	青少年交換	プレストン	279		
大阪西北	マッチド・クラブ	善山	376	国際社会奉仕について援助、提携。 小山羊を贈る。	未だ軌道にのらない。 市内各R.C.合同事業に参加。
	国際奉仕	〃	〃		
大阪大淀				創立日浅く交流関係なし	
大阪心斎橋	姉妹クラブ	サンパウロ	461	72年10月発足。	現在文通程度、将来訪問。 5月28日バナーと共にマッチド・クラブの意志のある挨拶、書簡を受取。
	マッチド・クラブ	北大邱	376		
大阪南	姉妹クラブ	ボストン	793		クリスマス・カード交換。 会員各個人の文通。 大邱近効農村救済寄付。
	マッチド・クラブ	大邱	376		
大阪西南	姉妹クラブ	北釜山	376	共同社会事業(3年継続)	韓国「新しい郷造運動」協賛。 第1年農村に役牛5頭寄贈。 第2年 〃 水利権と揚水機購入費寄贈。 第3年未定。 先方家庭宿泊。 1/5~1/6実施、次年度夏休み実施計画中。 両地共訪問の際は必ず立寄。
	青少年交換	〃	〃	青少年交歓会、例会出席。	
大阪住吉	マッチド・クラブ	浦項	376	「ロータリーの友」送付。	毎月10部を送っている。 浦項から昨年11月、ROTARY KOREA 10部1回送ってきた。
	国際奉仕	〃	〃	申入れをしたが返事なし。	
大阪天満橋	マッチド・クラブ	中釜山	376		毎月「ロータリー友」10冊送付。

クラブ名	関係項目	相手 R. C.	地区	活動計画	実施状況
大阪西	姉妹クラブ	西釜山	376	1.「ロータリーの友」週報、会報交換。 2.名簿交換による個人文通。 3.親善訪問。 4.年次大会に代表派遣。	1.「ロータリーの友」週報、会報、名簿等交換。 2.国際奉仕委員長文通活動計画の研究。 3.47年10月30名親善訪問。 4.366区年次大会にガバナー朴正寛氏を招く。 5.48年3月7名の親善団例会に出席夜親善パーティ。
	国際奉仕	〃	〃	1.世界社会奉仕参加。 2.年次計画書交換。 3.友好親善訪問。	1.東大邱R.C.事業に参加 1人千円 92,000円 西釜山R.C.会員出国手続の援助。
大阪淀川	姉妹クラブ	高雄	345	再締結の際、代表数名渡台の予定。	締結 1970.6.9 於高雄 1970.7.31 於大阪
	国際奉仕	アルバータ	536		再締結 1973.6
堺	姉妹クラブ	パークレー 台中東南	516 296	各年に夏季交換学生、会報交換。 クラブ会報交換。	本年度は7/28~8/17まで受入。
	堺東			外国R.C.との交流検討調査中	
堺泉北	国際奉仕 青少年交換			カナダのG.S.E.日本視察に協力。 アメリカパークレー市と青少年交換。	宿泊、視察案内をする。 堺5R.C.と協力、パークレー市におくる。
堺南	姉妹クラブ	パークレー	516	交換学生15~6名 (期間夏休み)	毎年派遣又は受入。1972~3年は派遣1973~4年は受入。
堺東南	姉妹クラブ	台中西北	345	会員相互の往来交歓。	クラブ3周年例会に相手クラブ20名訪問団出席。会報交換、児童絵画交換。
	マッチド・クラブ	金海	376	「ロータリーの友」毎月7部、クラブ週報2~3部送付。	
泉南				創立後日浅く外国R.C.との交流関係について鋭意努力しています。	
摂津	文通	パリ	166	}会員個人の通信、今後も継続 クラブ間の通信再会の予定	通信交換 3回
		パリ北	166		〃 2回
		ローマ	188		〃 1回
新宮	マッチド・クラブ	三千浦	376	①当初は人的交流を行う。 ②通って諸計画を立案実施の予定。	各年毎に相互クラブ訪問を行う。 1973.10.14.12名三千浦R.C.訪問。 1974.6.2三千浦より4名来訪
	青少年交換	〃	〃		
白浜	姉妹クラブ	ハワイ ウインドワード	500		クリスマスカード交換。 羽山会員訪問、金会員来訪パーティ及びガイド実施。
	国際奉仕	三陟	375		
吹田	姉妹クラブ	Encinias	534	クリスマスを中心にした贈物交換(毎年)。	1972.12月日本調ハンカチセットを贈る。先方よりポインセチアの花が届く。 1973.6月カリフォルニア・ポピーの種を送って来た。 1973.3月完了
	国際奉仕	カトマンズ	325	大阪東北18クラブの世話役として世界社会奉仕推進。	
		West Edmonton	536	吹田に関する資料を求めてきた。	1973.3月吹田市発行パンフレット送る。
		Acton	707	バザーに出品を依頼してきた。	婦人用財布を発送した。

	クラブ名	関係項目	相手 R. C.	地区	活動計画	実施状況
T	高石	マッチド・クラブ	山清	376	毎月「ロータリーの友」10部送る、先方から一度ロータリーコーリアが送られたのみ。	
	高槻	マッチド・クラブ	尚州	376	クラブ個人の交流を主とした。	
	高槻東				クラブ創立日浅く交流関係は早急に検討中。	
	田辺	国際奉仕	釜山	376	世界社会奉仕計画に和歌山県内R.C.と共同で実施。 1971年10月訪問。 1973.4月20周年式典に招待。	会員1人当たり1,000円を抛出。
		青少年交換	蔚山	376		当クラブ14名親善訪問。 再三の要請にも実現をみず。
	富田林	青少年交換	ベスレヘム	アメリカ	青少年交換研究グループ。	48.8当R.C.より5名交換青少年を送る計画なり。
	豊中	姉妹クラブ	サン・マテオ	513	昨年8月国際奉仕委員長が訪問。 国際奉仕の班に入り拠金。	今年7-8月双方R.C.会員の子弟2名交換談合中。 毎月「ロータリーの友」送る。
		マッチド・クラブ	栄州	376		
		国際奉仕	カトマンズ	325		
	豊中北	姉妹クラブ 国際奉仕	サンマテオ カトマンズ	513 325	結核病棟寄贈済み。	
	豊中南	マッチド・クラブ	梁山	376	昨年10月当方11名訪問した。 近く先方より訪日の予定。 その際姉妹クラブの盟約を結ぶつもりです。	毎月「ロータリーの友」寄贈す。
W	和歌山	姉妹クラブ	南釜山 ペーカース フィール北	376 524		世界社会奉仕の御礼に当クラブ訪問。 親善使節団として当市を訪問す。
	和歌山東	マッチド・クラブ	大邱東	376		
	和歌山南	姉妹クラブ	Vibo Valentia	190	クリスマスカード交換。	外国語の問題もあり本年交流杜絶。
		マッチド・クラブ	南大邱	376	「ロータリーの友」送付。	何等の反応なく交流が行なわれていない。
	和歌山東南					外国R.C.との交流は今のところなし。
Y	八尾	姉妹クラブ	台北東	345	来る11月結盟式に会長以下グループ出席、派遣青少年の受入れ等。 英文図書の贈呈（現地青少年向け、次年度新計画）。	相互訪問（任意会員により数回）。
		国際奉仕	フィリピン マロロス	380		
		文通	カナダ・チェズリー	633		
			オーストラリア ライダルメール	268		
			カナダ・ウェスト エドモントン	536		
八尾東				認証式終了次第、小委員会を開催し、新年度の計画を樹立する予定。		

1973年6月出席報告

(Attendance Report for June)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	79	+4	100.00	1	33	東大阪中	5	35	+4	96.00	35
1	和泉	4	62	+2	100.00	1	34	富田林	4	62	-1	95.91	55
1	御坊	5	60	+4	100.00	1	35	大東	4	40	+2	95.63	21
1	橋本	4	57	+2	100.00	1	36	和歌山	4	99	+6	95.53	27
1	摂津	5	37	—	100.00	13	37	八尾	4	59	+3	95.34	22
6	河内長野	5	59	-1	99.27	19	38	豊中南	4	42	+7	95.24	29
7	大阪淀川	5	72	+3	99.17	17	39	和歌山南	5	62	—	95.18	30
8	松原	4	55	+4	99.09	16	40	海南	4	62	+3	95.00	37
9	高石	4	49	—	98.94	41	41	貝塚	4	57	+2	94.30	53
10	吹田	4	61	+2	98.77	5	42	和歌山東南	5	42	+6	94.29	43
11	箕面	4	38	+6	98.69	7	43	堺	4	116	+6	93.94	49
12	大阪天満橋	5	66	+6	98.48	9	44	豊中北	5	40	+7	93.91	36
13	泉大津	5	73	—	98.33	15	45	田辺	4	70	+2	93.56	40
14	大阪心斎橋	5	34	+1	98.18	25	46	大阪北	4	183	+1	93.42	59
15	高槻	4	62	+7	97.95	11	47	豊中	4	60	+4	93.34	51
16	大阪西北	4	60	+5	97.92	18	48	門真	4	24	-2	92.71	60
17	大阪西	4	96	+3	97.87	10	49	大阪南	4	154	+3	92.67	48
18	大阪阪南	4	69	+4	97.83	13	50	茨木	4	60	+3	92.50	34
19	大阪東淀	4	44	+5	97.73	28	51	泉佐野	4	53	+2	92.45	39
20	和歌山東	4	80	+2	97.43	12	52	大阪住吉	5	68	-2	92.15	42
21	新宮	4	58	+3	97.42	33	53	有田	4	51	-1	92.11	26
22	枚方	4	59	+9	97.34	23	54	岸和田	4	69	+14	91.92	44
23	東大阪	4	57	+1	97.33	47	55	寝屋川	5	41	+2	91.42	57
24	池田	5	53	-1	97.27	6	56	守口	4	62	+4	91.39	58
25	大阪柏原	4	26	+1	97.22	32	57	粉河	4	29	-1	91.38	38
26	堺東	4	35	+9	97.14	54	58	堺東南	4	41	+4	90.85	50
27	大阪東	4	104	+4	96.81	8	59	那智勝浦	5	38	+3	90.27	63
28	大阪城南	5	54	+5	96.67	31	60	堺泉北	5	36	+6	90.00	52
29	大阪大淀	5	36	+36	96.66	46	61	東大阪東	4	45	+3	89.78	56
30	高槻東	5	28	+28	96.43	24	62	白浜	5	44	+1	89.53	64
31	泉南	5	39	+6	96.41	45	63	八尾東	5	26	+26	89.23	61
32	堺南	4	71	+5	96.40	20	64	大阪	5	298	-7	89.17	62
平均出席率						95.45%	合計						279 4,001 +275

1972—73年度 平均出席率

(Average Attendance Report for 1972—73)

順位	クラブ名	年間平均 会員数	年間平均 出席率	順位	クラブ名	年間平均 会員数	年間平均 出席率
1	大阪西南	77	100.00	34	八尾	57	95.87
2	御坊	59	99.96	35	貝塚	56	95.81
3	和泉	63	99.90	36	池田	52	95.64
4	橋本	57	99.81	37	田辺	69	95.59
5	枚方	55	98.97	38	豊中北	37	95.42
6	和歌山東南	40	98.90	39	富田林	61	95.29
7	大阪淀川	72	98.84	40	泉佐野	54	95.23
8	大阪阪南	69	98.72	41	高槻	57	95.22
9	和歌山東	79	98.66	42	和歌山南	62	95.15
10	大阪天満橋	64	98.34	43	大阪南	153	94.65
11	松原	54	98.27	43	堺	114	94.65
12	吹田	60	97.86	45	海南	62	94.42
13	泉大津	71	97.62	46	豊中	57	93.96
14	大東	39	97.49	47	東大阪中	33	93.83
15	東大阪	58	97.48	48	堺東南	38	93.53
16	大阪心斎橋	33	97.40	49	門真	25	93.50
17	茨木	61	97.33	50	大阪城南	51	93.48
18	高石	49	97.30	51	大阪住吉	70	93.34
19	大阪東	101	97.29	52	寝屋川	42	93.18
20	大阪西北	58	97.28	53	東大阪東	43	92.93
21	摂津	39	97.27	54	堺泉北	34	92.79
22	和歌山	97	97.23	55	堺東	32	92.52
23	豊中南	40	97.02	56	守口	57	91.39
24	大阪柏原	26	97.01	57	白浜	44	91.36
25	新宮	53	96.99	58	大阪北	184	91.16
26	河内長野	60	96.93	59	那智勝浦	37	90.10
27	大阪東淀	41	96.64	60	大阪	300	89.64
28	堺南	69	96.42	61	粉河	30	89.04
28	有田	52	96.42		高槻東	28	96.38
30	大阪西	94	96.14		大阪大淀	34	95.44
31	箕面	34	96.10		八尾東	26	88.85
32	泉南	37	96.06				
33	岸和田	58	95.88				

64クラブの年平均出席率は 95.67%

(注) 順位外は本年度に設立の新クラブ。また、大阪城東R.C.(6月7日認証)、吹田北R.C.(6月28日認証)、羽曳野R.C.(6月30日認証)は、それぞれ6月R.I.正式認証クラブのため出席率競争より除外。